

令和7年度  
住まいに関する  
県民インターネットアンケート

調査報告書

令和8年(2026年)1月5日～1月19日

長野県建設部

# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	1
<b>II 結果の内容</b>	
1 住宅・居住環境に関する意識・志向について .....	5
2 住宅の環境対策について .....	34
3 住宅の地震対策について .....	46
4 高齢社会における住宅対策について .....	52
5 空き家対策について .....	61
6 公営住宅のあり方について .....	73
7 賃貸住宅に対するニーズ .....	78
8 景観について .....	88
9 地域コミュニティについて .....	92
10 これからの信州の住まい方について .....	103
<b>III 調査票</b> .....	112

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、令和3年度を初年度とする長野県住生活基本計画の見直し等にあたり、県民の住宅及び住環境に関する現状、意識、ニーズ等を把握し、基礎資料とする目的で実施された。

## 2 調査の項目

- 1 回答者の属性
- 2 住宅・居住環境に関する意識・志向について
- 3 住宅の環境対策について
- 4 住宅の地震対策について
- 5 高齢社会における住宅対策について
- 6 空き家対策について
- 7 公営住宅のあり方について
- 8 賃貸住宅に対するニーズ
- 9 景観について
- 10 地域コミュニティについて
- 11 これからの信州の住まい方について
- 12 その他

## 3 調査の設計

この調査は、次の通り設計した。

- (1) 調査対象 長野県内に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 調査対象者数 1,000人
- (3) 抽出方法 Webモニターのパネルから抽出
- (4) 調査方法 WEB調査
- (5) 調査時期 令和8年(2026年)1月5日(月)～1月19日(月)

## 4 割付

年齢	東信地域	南信地域	中信地域	北信地域	合計
18-29歳	37	38	45	44	164
30-39歳	42	42	42	42	168
40-49歳	42	42	42	42	168
50-59歳	42	42	42	42	168
60-64歳	42	42	42	42	168
65歳以上	41	41	41	41	164
合計	246	247	254	253	1,000

※長野県全域のモニターへ配信

## 5 回収対象者の分類

### 【地域】

		実数	割合
東信地域	上田市	103	10.3%
	小諸市	29	2.9%
	佐久市	53	5.3%
	東御市	19	1.9%
	小海町	2	0.2%
	佐久穂町	6	0.6%
	川上村	2	0.2%
	南牧村	-	-
	南相木村	-	-
	北相木村	-	-
	軽井沢町	15	1.5%
	御代田町	9	0.9%
	立科町	5	0.5%
	長和町	2	0.2%
	青木村	1	0.1%
	計	246	24.6%
	南信地域	岡谷市	18
飯田市		48	4.8%
諏訪市		23	2.3%
伊那市		37	3.7%
駒ヶ根市		19	1.9%
茅野市		23	2.3%
下諏訪町		12	1.2%
富士見町		3	0.3%
原村		3	0.3%
辰野町		5	0.5%
箕輪町		15	1.5%
飯島町		4	0.4%
南箕輪村		5	0.5%
中川村		2	0.2%
宮田村		6	0.6%
松川町		5	0.5%
高森町		6	0.6%
阿南町		2	0.2%
阿智村		3	0.3%
平谷村		-	-
根羽村		-	-
下條村		3	0.3%
売木村		-	-
天龍村		-	-
泰阜村		-	-
喬木村		2	0.2%
豊丘村		3	0.3%
大鹿村	-	-	
計	247	24.7%	

		実数	割合
中信地域	松本市	135	13.5%
	大町市	8	0.8%
	塩尻市	34	3.4%
	安曇野市	46	4.6%
	上松町	4	0.4%
	南木曾町	1	0.1%
	木曾町	5	0.5%
	木祖村	1	0.1%
	王滝村	-	-
	大桑村	-	-
	麻績村	-	-
	生坂村	-	-
	山形村	5	0.5%
	朝日村	1	0.1%
	筑北村	-	-
	池田町	4	0.4%
	松川村	4	0.4%
白馬村	6	0.6%	
小谷村	-	-	
計	254	25.4%	
北信地域	長野市	179	17.9%
	須坂市	13	1.3%
	中野市	19	1.9%
	飯山市	4	0.4%
	千曲市	20	2.0%
	坂城町	6	0.6%
	小布施町	2	0.2%
	高山村	-	-
	山ノ内町	3	0.3%
	木島平村	-	-
	野沢温泉村	1	0.1%
	信濃町	3	0.3%
	飯綱町	2	0.2%
	小川村	-	-
	栄村	1	0.1%
	計	253	25.3%

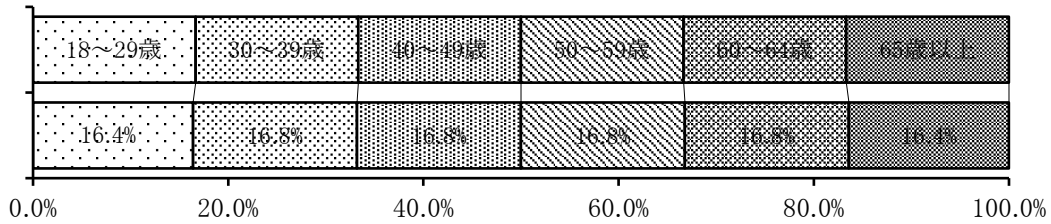
### 【住まいの立地】

	実数	割合
市街地(大きな都市の中心部)	157	15.7%
郊外の住宅地(大きな都市の中心部周辺や隣接町村)	503	50.3%
町村の中心部(中心集落)	159	15.9%
農山村中山間地	167	16.7%
保健休養地	7	0.7%
その他	7	0.7%
合計	1,000	100.0%

【年代】

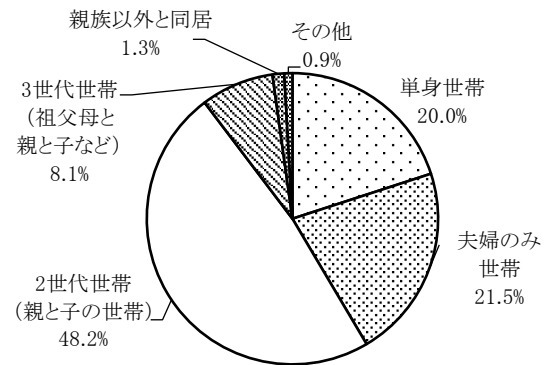
(上段実数:下段割合)

	総数	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
全体	1,000	164	168	168	168	168	164
	100.0%	16.4%	16.8%	16.8%	16.8%	16.8%	16.4%



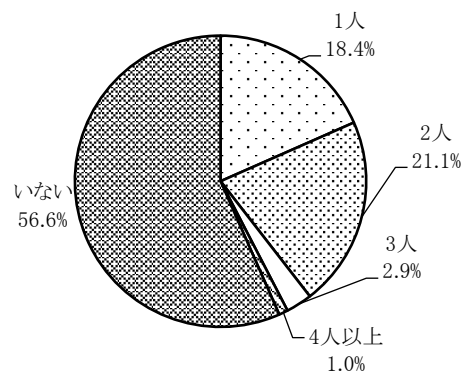
【世帯構成】

	実数	割合
単身世帯	200	20.0%
夫婦のみ世帯	215	21.5%
2世代世帯(親と子の世帯)	482	48.2%
3世代世帯(祖父母と親と子など)	81	8.1%
親族以外と同居	13	1.3%
その他	9	0.9%
合計	1,000	100.0%



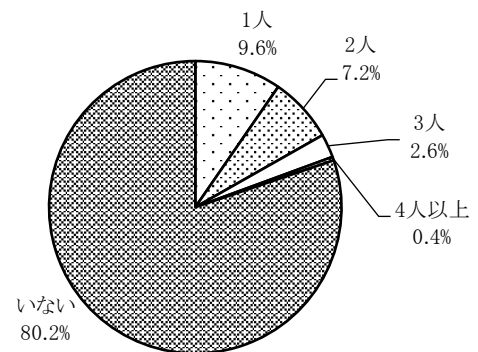
【65歳以上の方】

	実数	割合
1人	184	18.4%
2人	211	21.1%
3人	29	2.9%
4人以上	10	1.0%
いない	566	56.6%
合計	1,000	100.0%



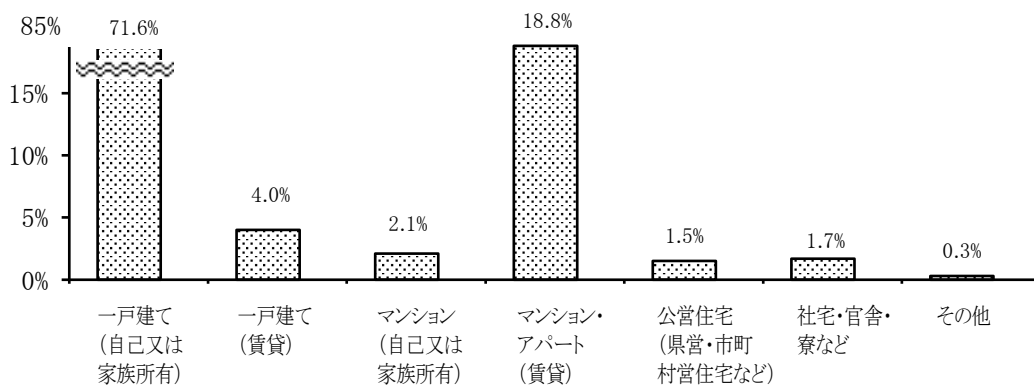
【18歳未満の方】

	実数	割合
1人	96	9.6%
2人	72	7.2%
3人	26	2.6%
4人以上	4	0.4%
いない	802	80.2%
合計	1,000	100.0%



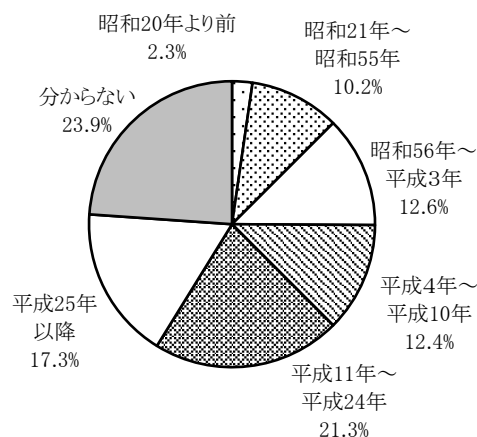
## 【住宅形態】

	実数	割合
一戸建て(自己又は家族所有)	716	71.6%
一戸建て(賃貸)	40	4.0%
マンション(自己又は家族所有)	21	2.1%
マンション・アパート(賃貸)	188	18.8%
公営住宅(県営・市町村営住宅など)	15	1.5%
社宅・官舎・寮など	17	1.7%
その他	3	0.3%
合計	1,000	100.0%



## 【築年数】

	実数	割合
昭和20年より前	23	2.3%
昭和21年～昭和55年	102	10.2%
昭和56年～平成3年	126	12.6%
平成4年～平成10年	124	12.4%
平成11年～平成24年	213	21.3%
平成25年以降	173	17.3%
分からない	239	23.9%
合計	1,000	100.0%



## 6 その他

- (1) 調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。従って、比率の内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。
- (2) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を上回る場合がある。
- (3) 設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において便宜上短く省略している場合がある。



## Ⅱ 結果の内容

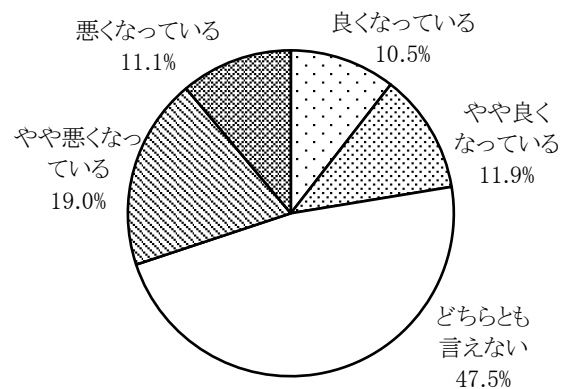
## 問9 現在の住まいの評価

### ◆ 10年前に比べて「住まい向上」2割強

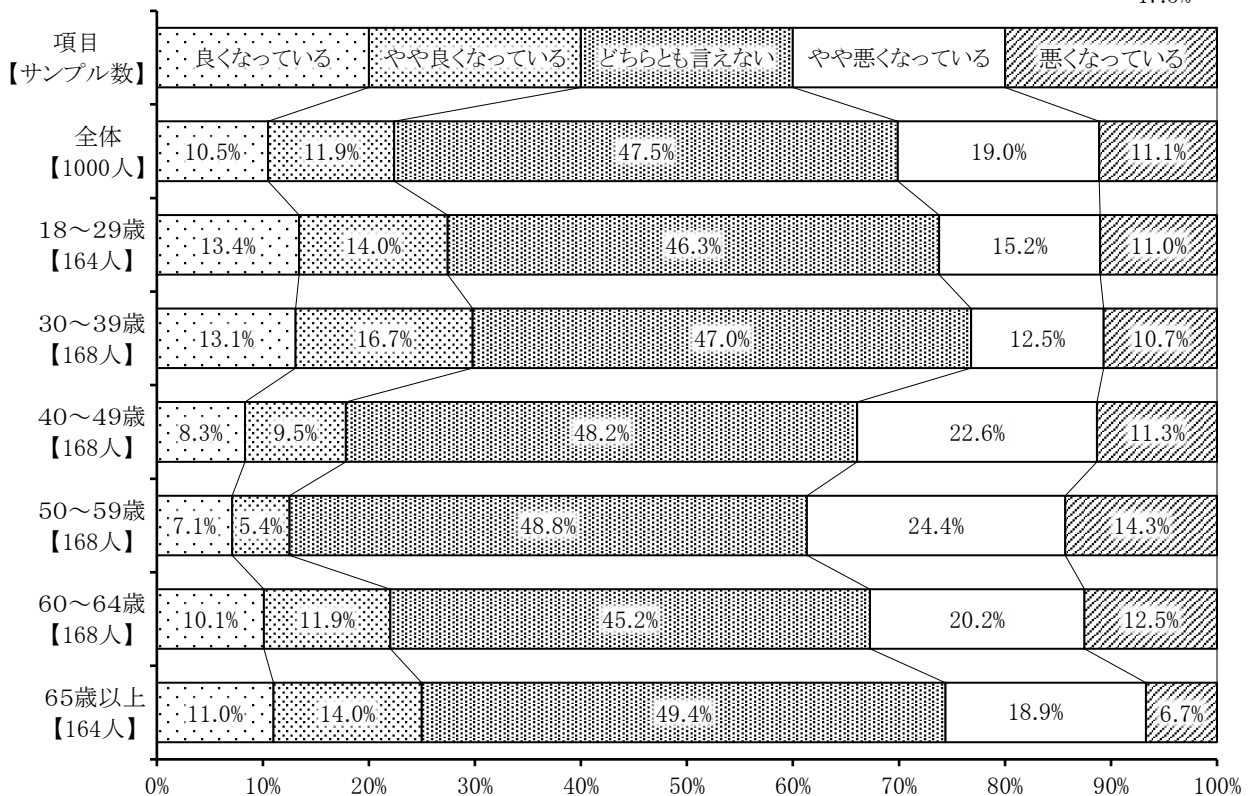
- 現在の住まいは、10年前に比べて良くなっているかについて、10.5%が「良くなっている」とし、「どちらとも言えない」が47.5%と上回り、住まい向上とまではなっていないようである。
- 住まいの向上について、18歳未満がいる世帯は「良くなっている」が16.2%と、18歳未満がいない世帯の9.1%を上回った。
- 築年数別では、平成25年以降で「良くなっている」が29.5%、それ以前の築年数の「良くなっている」は1割に満たなかった。

問9 「衣」「食」「住」のうち、あなたの「住」(住まい)は、10年前に比べて良くなっていますか。

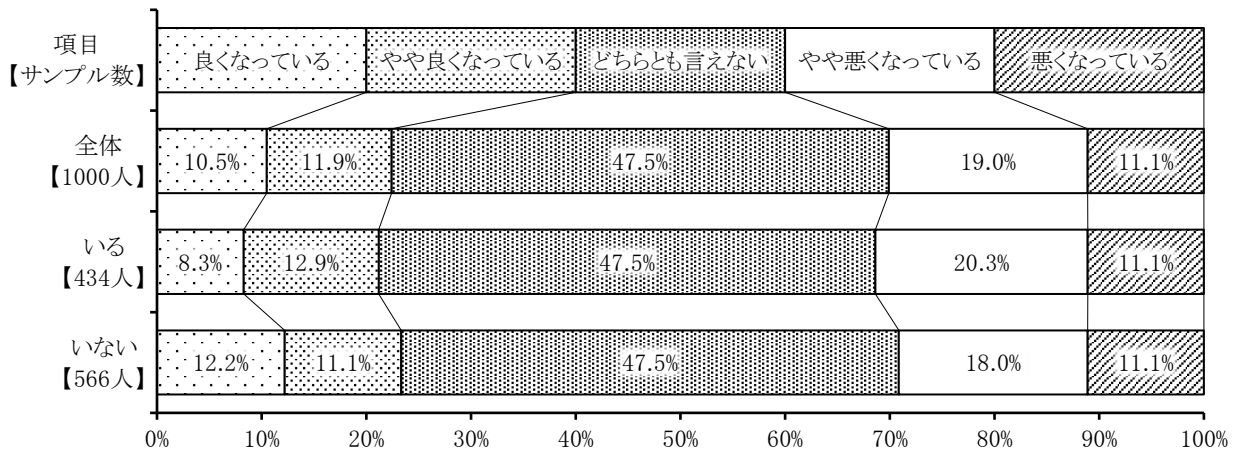
	回答者数	割合
1 良くなっている	105人	10.5%
2 やや良くなっている	119人	11.9%
3 どちらとも言えない	475人	47.5%
4 やや悪くなっている	190人	19.0%
5 悪くなっている	111人	11.1%
サンプル数	1,000人	100.0%



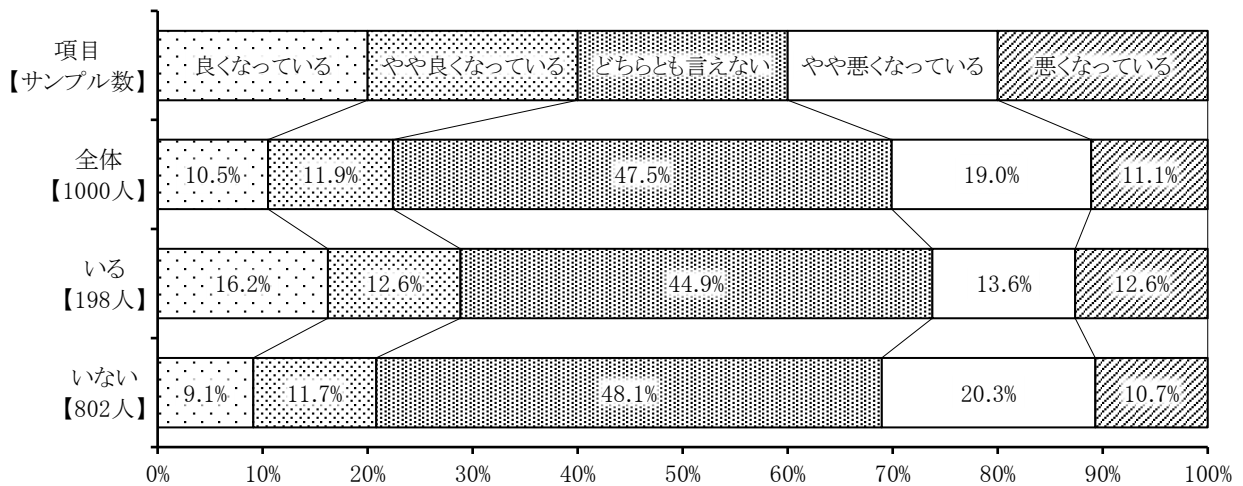
#### 【年代別】



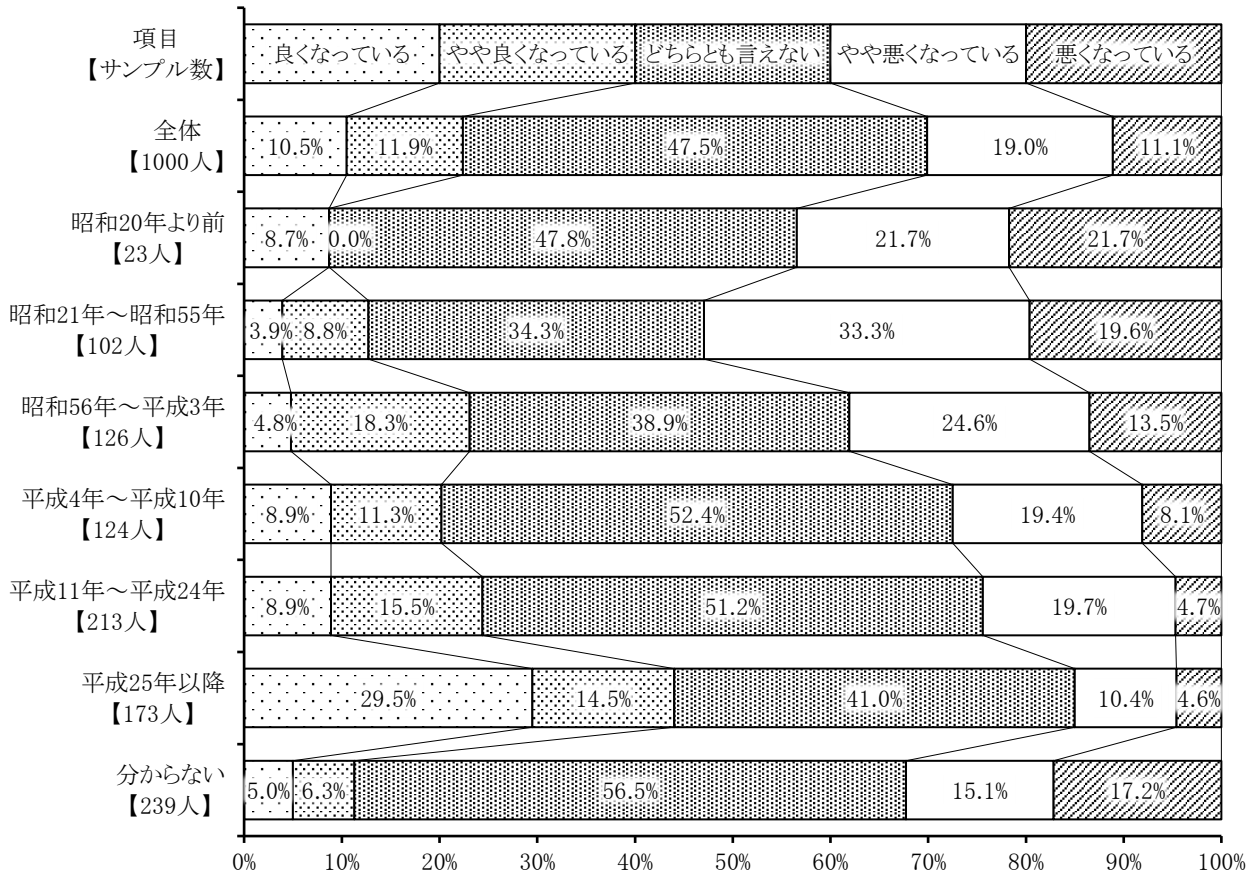
【65歳以上の同居の有無】



【18歳未満の同居の有無】



【築年数別】



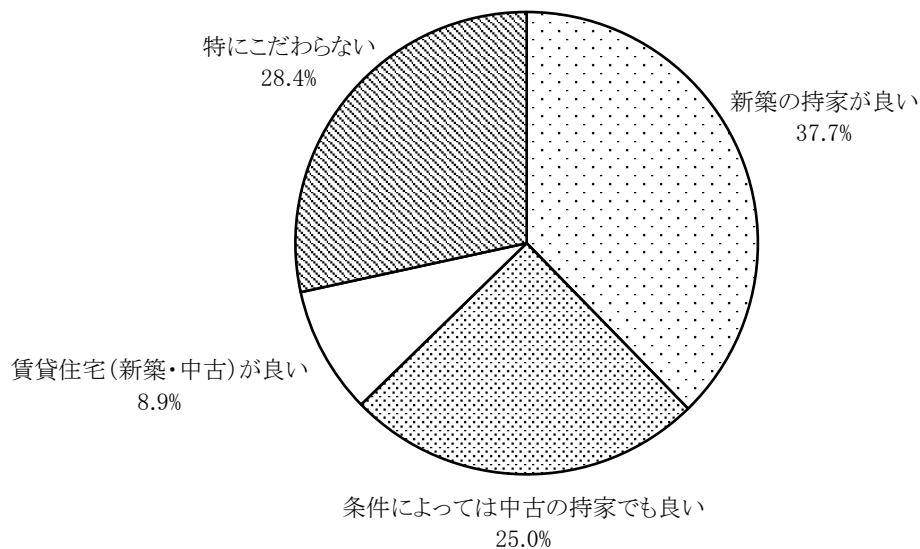
## 問10 住んでもよいと思う住宅

### ◆ 自宅は「新築の持家が良い」が4割弱

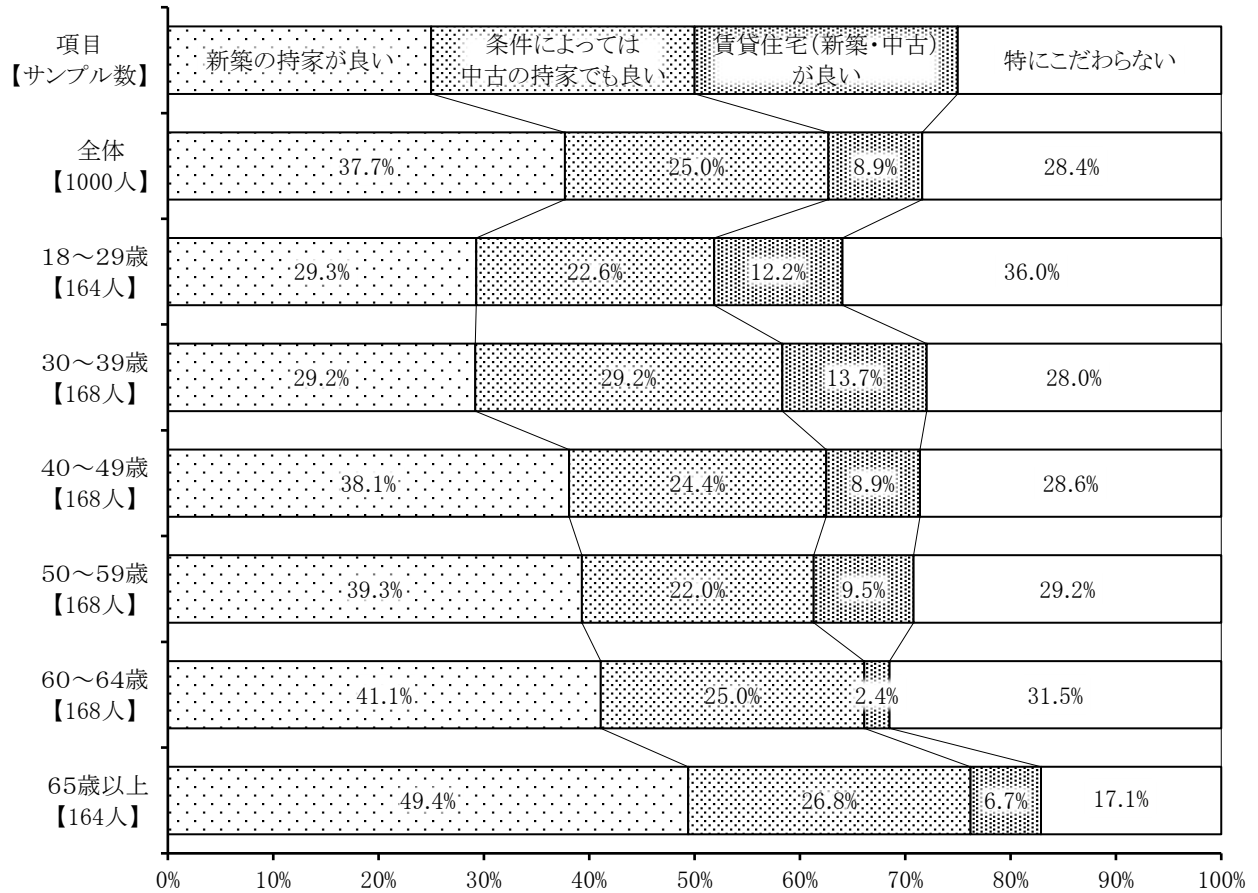
- 自分が住んでもよいと思う住宅について、「新築の持家が良い」は37.7%、「条件によっては中古の持家でも良い」は25.0%となっており、持家志向が6割強と多い。
- 世帯構成別では、単身世帯で「新築の持ち家が良い」が20.0%と、他の世帯より少ない。
- 住宅形態別では、一戸建て(所有)で「新築の持ち家が良い」が49.5%と多く、一戸建て(賃貸)で5.0%と少ない。

問10 自分が住んでもよいと思う住宅について、あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。

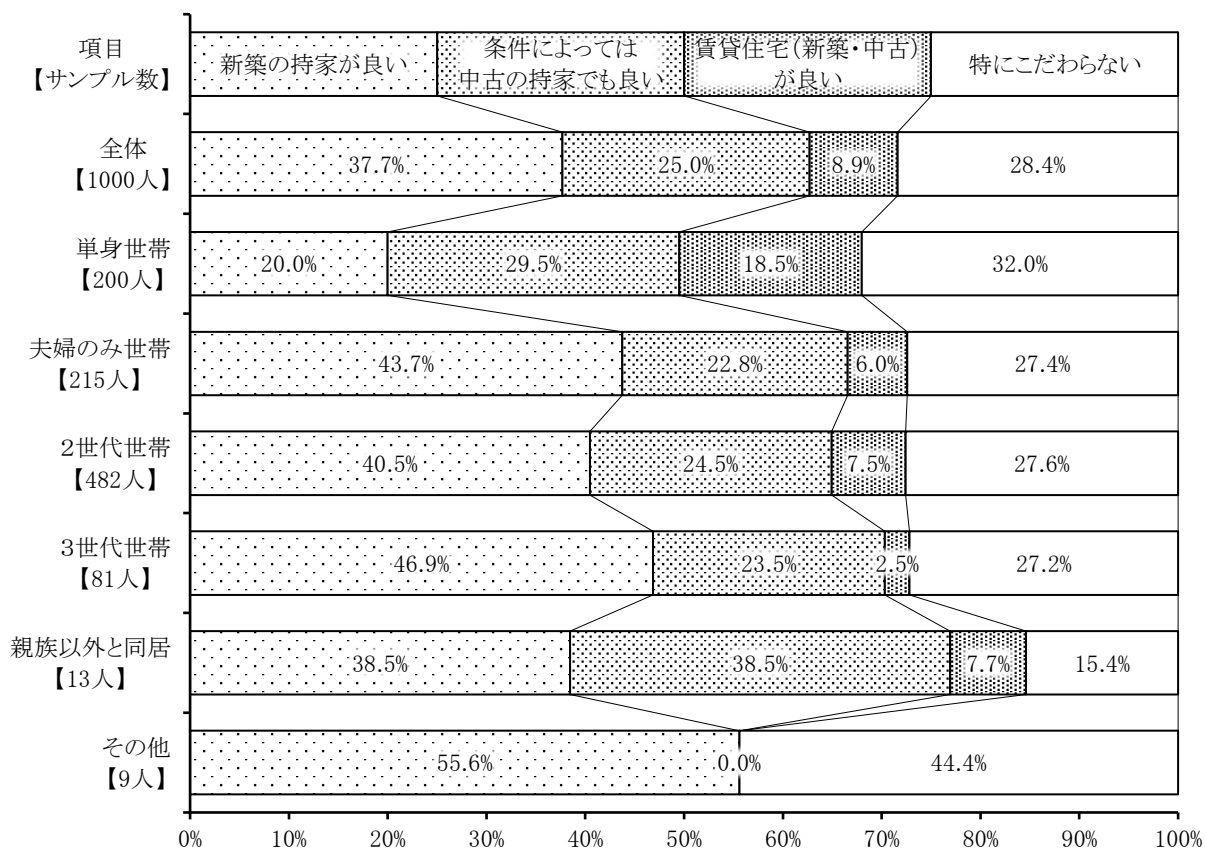
	回答者数	割合
1 新築の持家が良い	377人	37.7%
2 条件によっては中古の持家でも良い	250人	25.0%
3 賃貸住宅(新築・中古)が良い	89人	8.9%
4 特にこだわらない	284人	28.4%
サンプル数	1,000人	100.0%



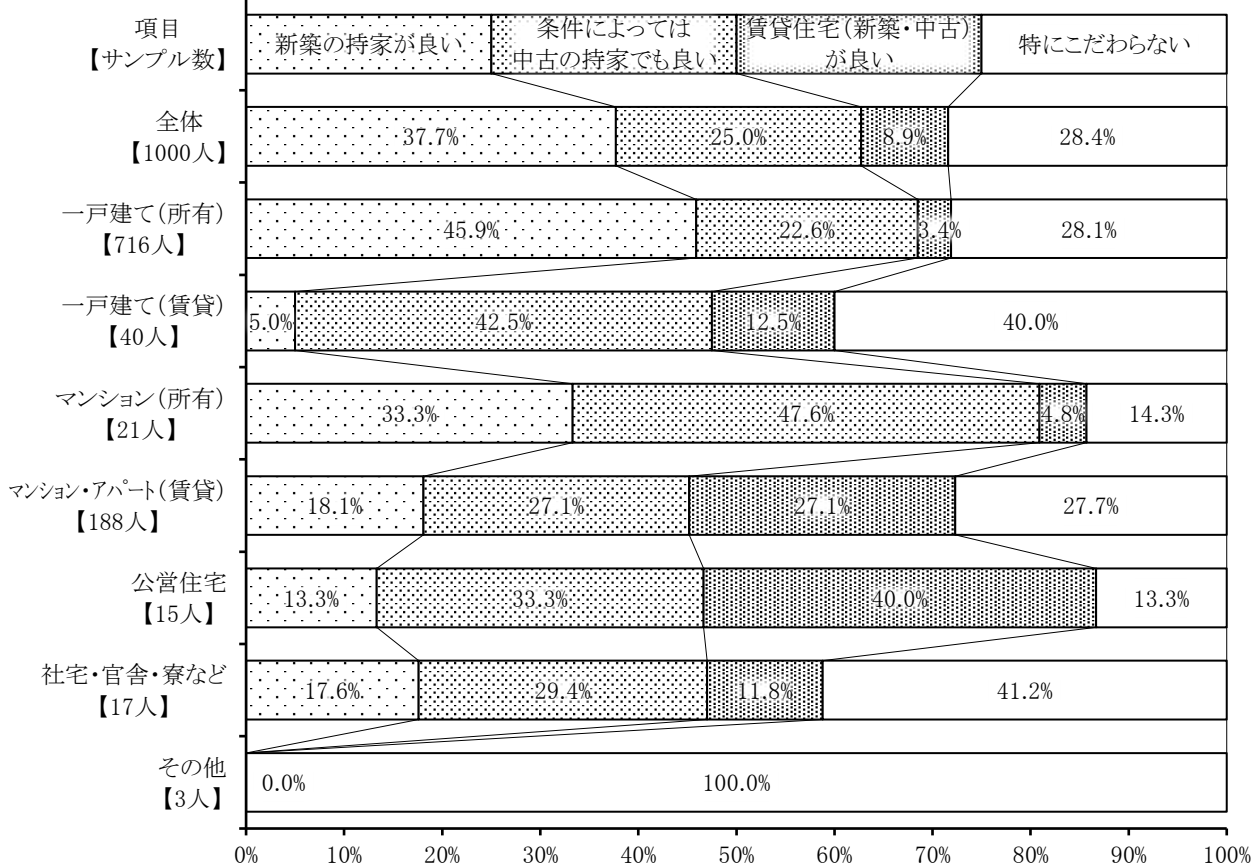
【年代別】



【世帯構成別】



【住宅形態別】



## 問11 中古住宅の非選択理由

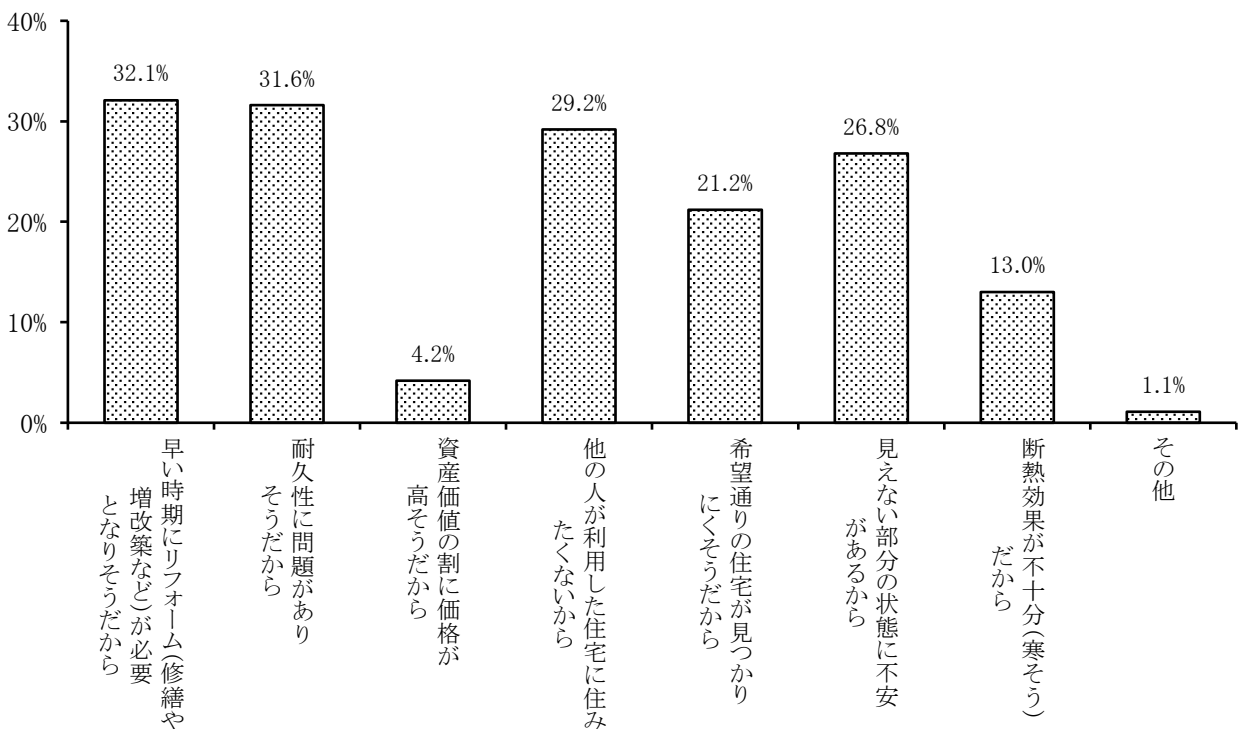
### ◆ 中古住宅を選択しない理由

「早い時期にリフォームが必要となりそう」が3割強

- 自分が住んでもよいと思う住宅で、中古住宅を選択しなかった理由について、「早い時期にリフォーム(修繕や増改築など)が必要となりそうだから」が32.1%、「耐久性に問題がありそうだから」が31.6%、「見えない部分の状態に不安があるから」が26.8%と、住宅自体に対するものが多い。一方、「他の人が利用した住宅に住みたくないから」が29.2%と、心理的理由も多い。
- 年代別では、18～29歳で「他の人が利用した住宅に住みたくないから」が54.2%と、過半数を超える。
- 世帯構成別では、3世代世帯で「耐久性に問題がありそうだから」が44.7%と最も多く、世帯人数が増えるほど多い傾向にある。

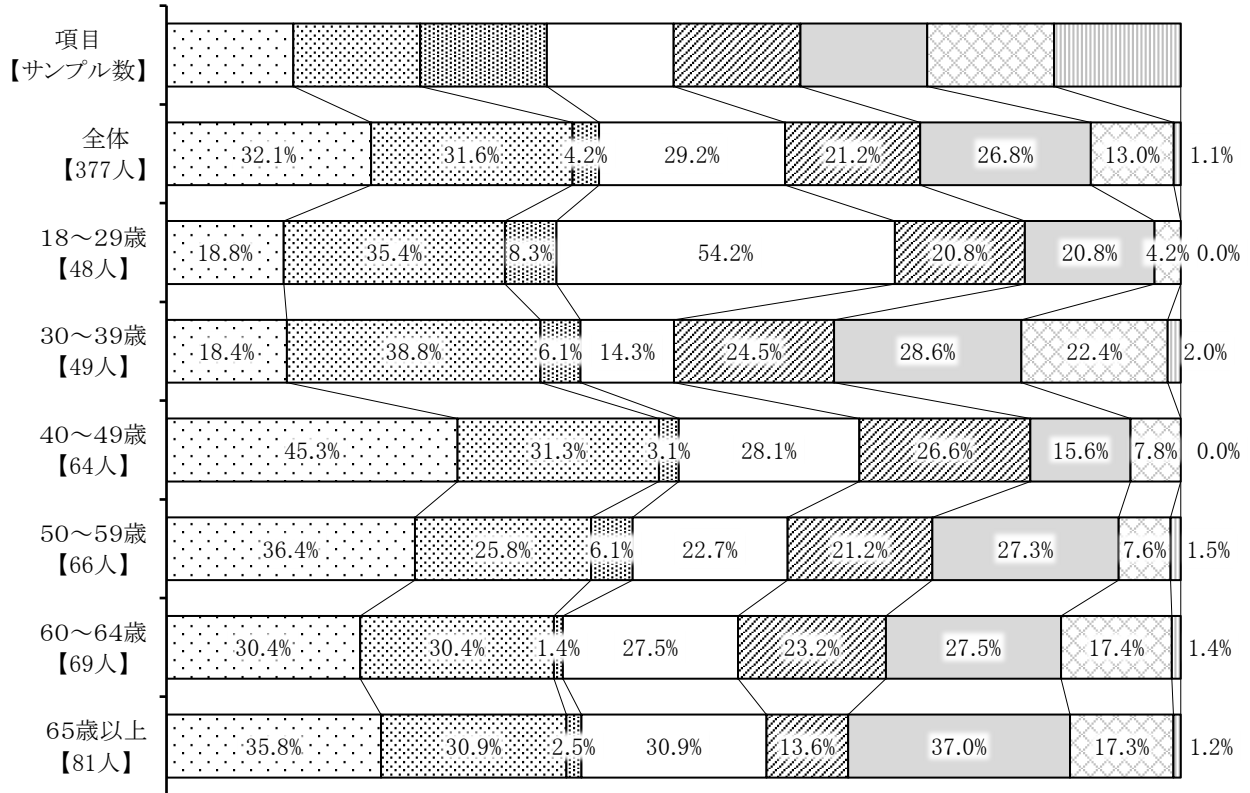
問11【問10で1を選んだ方におたずねします】中古住宅を選択しなかった理由を次の中から2つ以内で選んでください。

	回答者数	割合
1 早い時期にリフォーム(修繕や増改築など)が必要となりそうだから	121人	32.1%
2 耐久性に問題がありそうだから	119人	31.6%
3 資産価値の割に価格が高そうだから	16人	4.2%
4 他の人が利用した住宅に住みたくないから	110人	29.2%
5 希望通りの住宅が見つかりにくそうだから	80人	21.2%
6 見えない部分の状態に不安があるから	101人	26.8%
7 断熱効果が不十分(寒そう)だから	49人	13.0%
8 その他	4人	1.1%
サンプル数	377人	100.0%

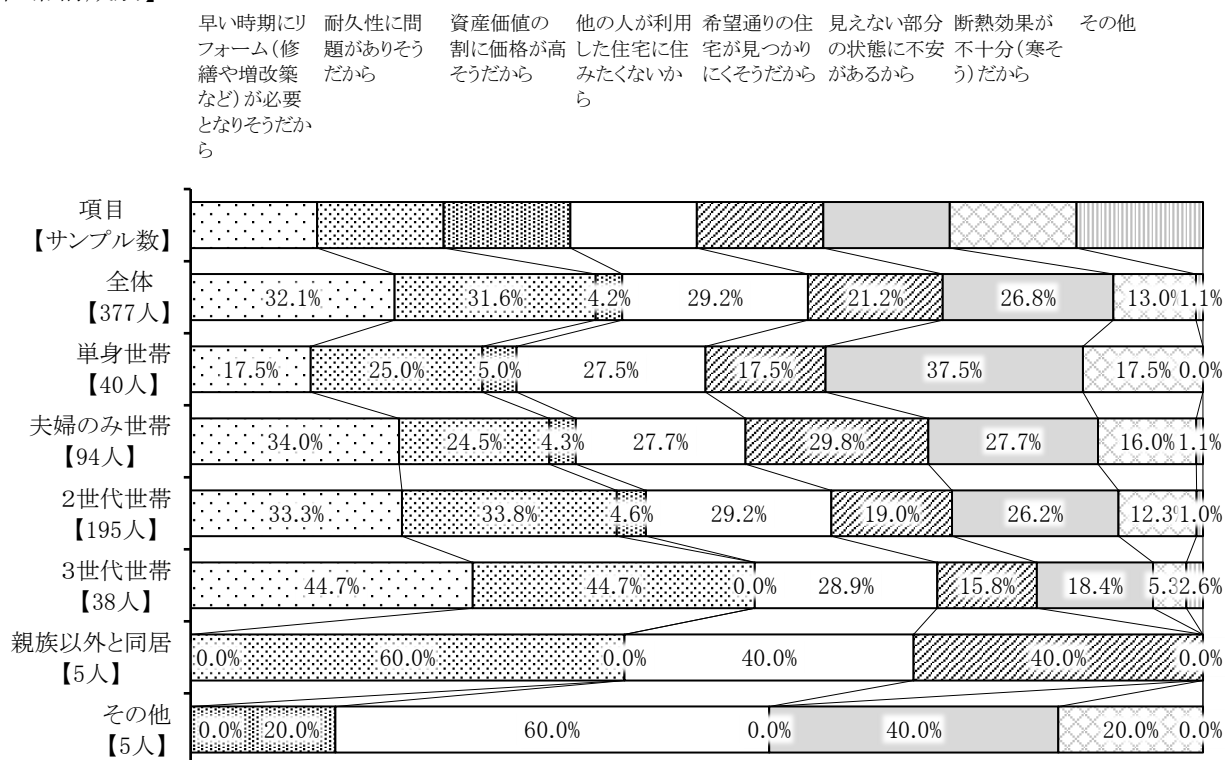


【年代別】

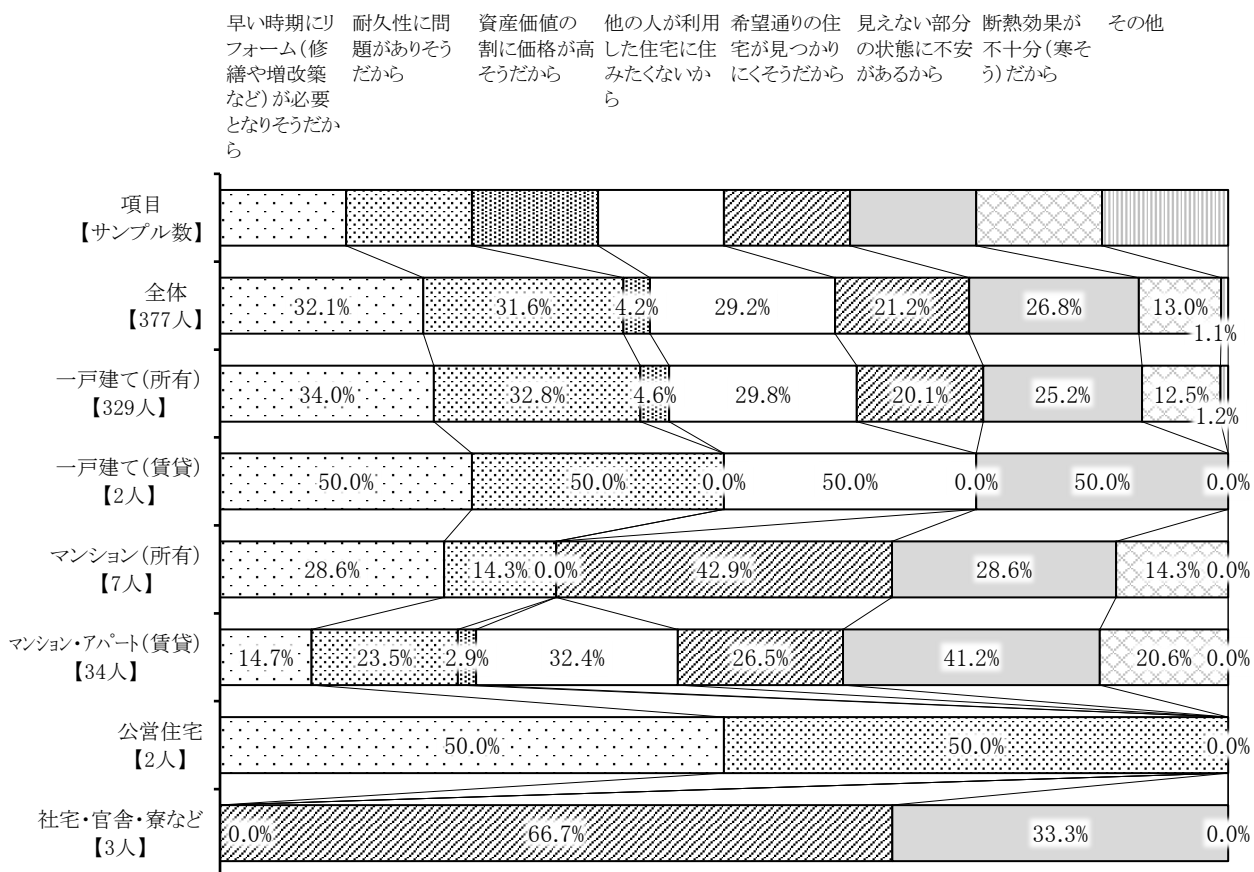
早い時期にリフォーム(修繕や増改築など)が必要となりそうだから  
 耐久性に問題がありそうだから  
 資産価値の割に価格が高そうだから  
 他の人が利用した住宅に住みたくないから  
 希望通りの住宅が見つかりにくそうだから  
 見えない部分の状態に不安があるから  
 断熱効果がいっぱい(寒そう)だから  
 その他



## 【世帯構成別】



## 【住宅形態別】



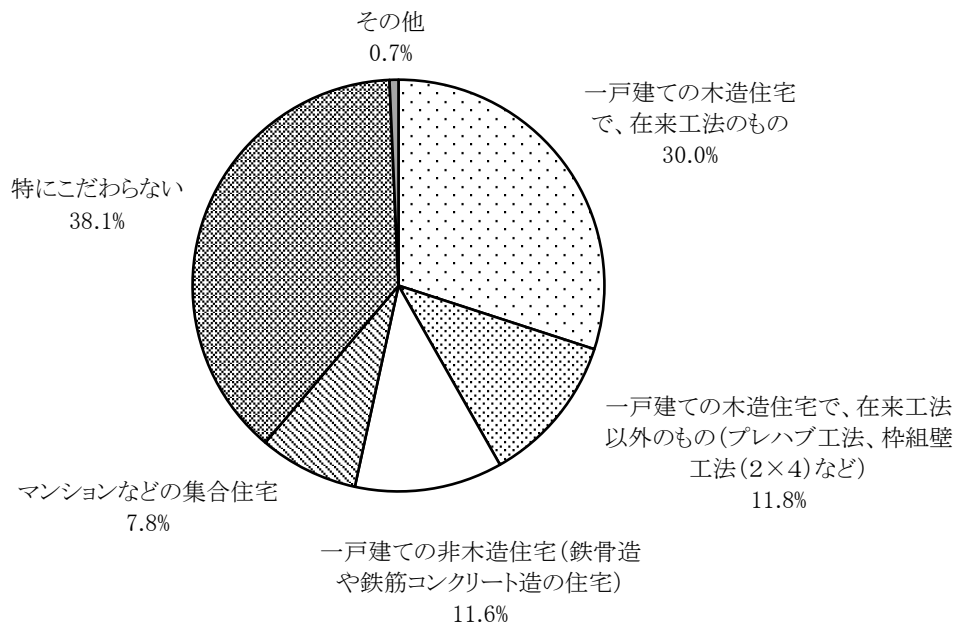
## 問12 新築・購入時に希望する住宅の構造

### ◆ 新築・購入したい住宅「一戸建ての木造住宅で在来工法」が3割

- 新築・購入したい住宅について、「一戸建ての木造住宅で在来工法のもの」が30.0%と最も多く、「在来工法以外」(11.8%)と「非木造住宅」(11.6%)をあわせた『一戸建て』意向は、53.4%と半数を超える。一方で「特にこだわらない」が38.1%となった。
- 年代別では、65歳以上で『一戸建て』意向が74.4%(在来工法:43.3%、在来工法以外:16.5%、非木造住宅:14.6%)と、他の年代より多い。

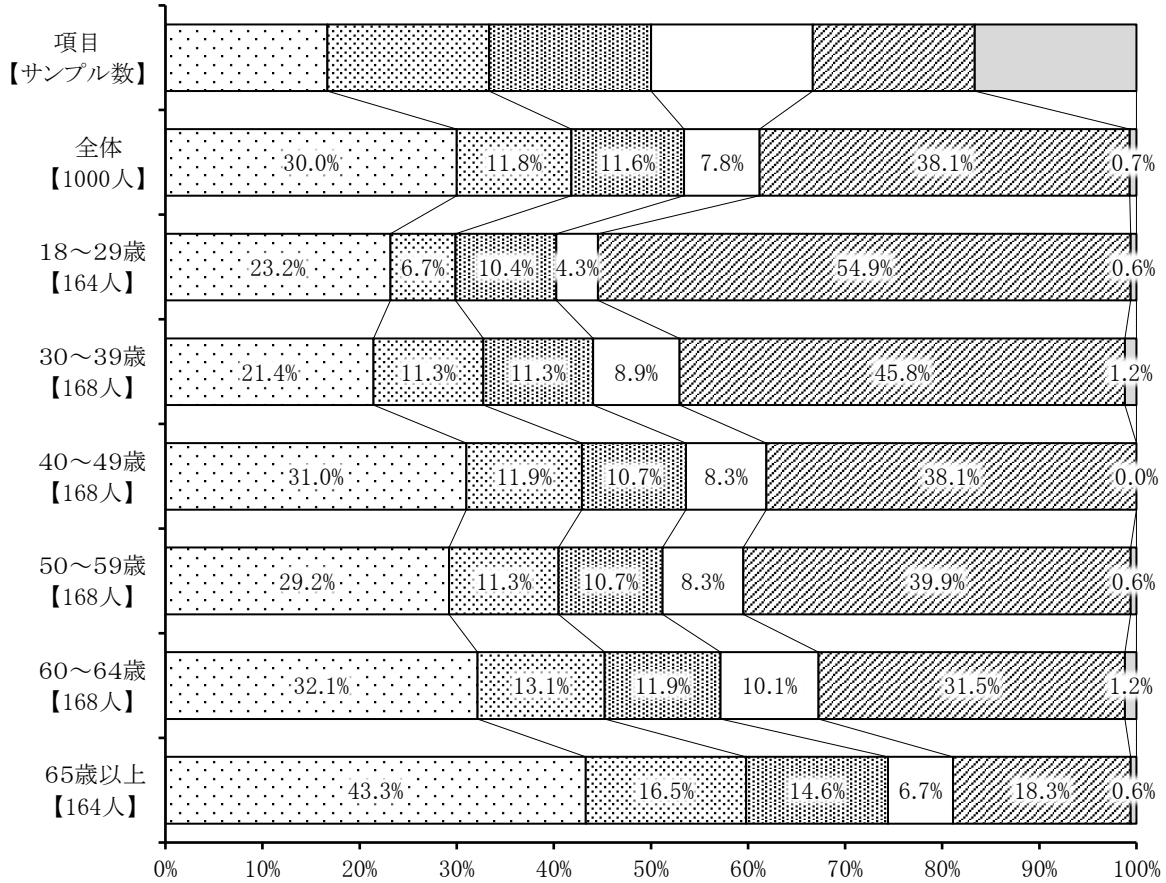
問12 住宅を新築・購入するとしたら、どのような構造の住宅を選びますか。

	回答者数	割合
1 一戸建ての木造住宅で、在来工法のもの	300人	30.0%
2 一戸建ての木造住宅で、在来工法以外のもの (プレハブ工法、枠組壁工法(2×4)など)	118人	11.8%
3 一戸建ての非木造住宅(鉄骨造や鉄筋コンクリート造の住宅)	116人	11.6%
4 マンションなどの集合住宅	78人	7.8%
5 特にこだわらない	381人	38.1%
6 その他	7人	0.7%
サンプル数	1,000人	100.0%

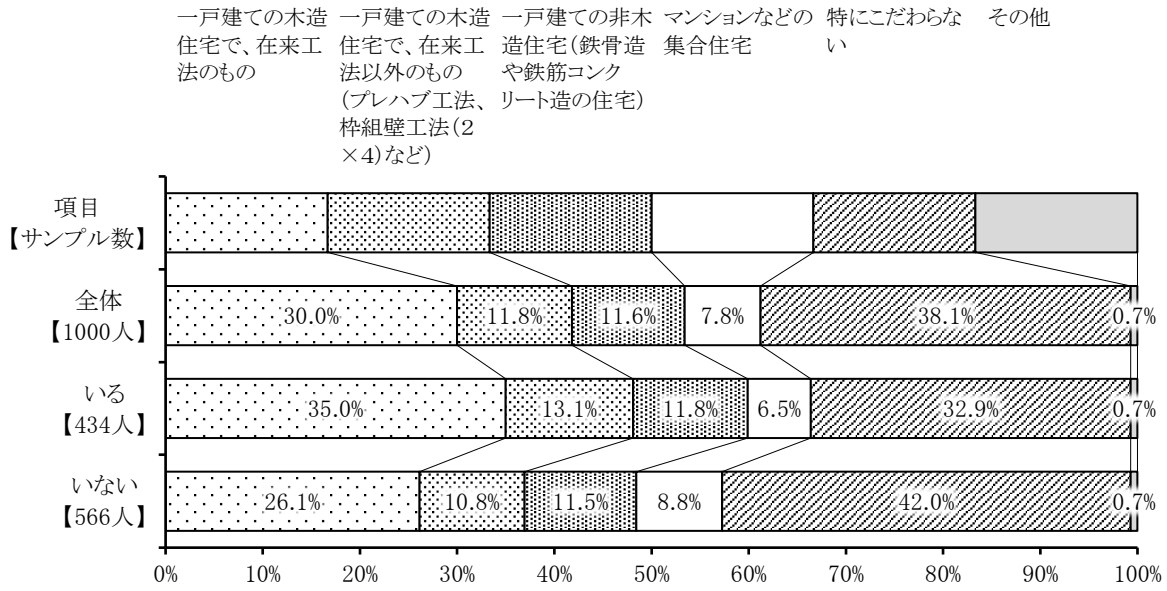


## 【年代別】

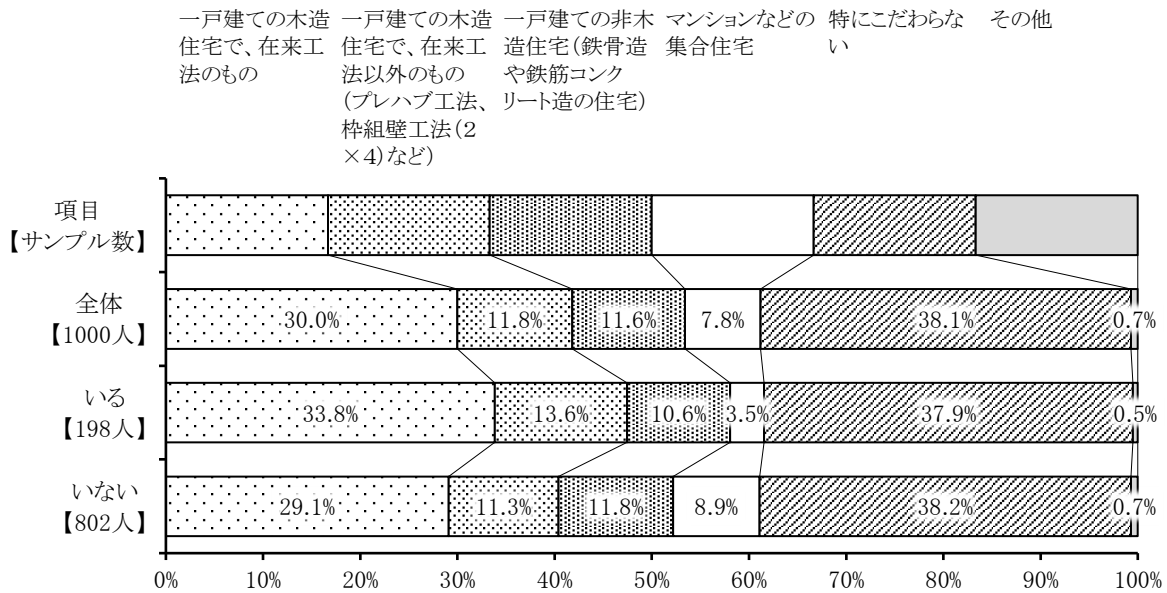
一戸建ての木造住宅で、在来工法のもの  
 一戸建ての木造住宅で、在来工法以外のもの  
 (プレハブ工法、枠組壁工法(2×4)など)  
 一戸建ての非木造住宅(鉄骨造や鉄筋コンク  
 Mansionなどの集合住宅  
 特にこだわらない  
 その他



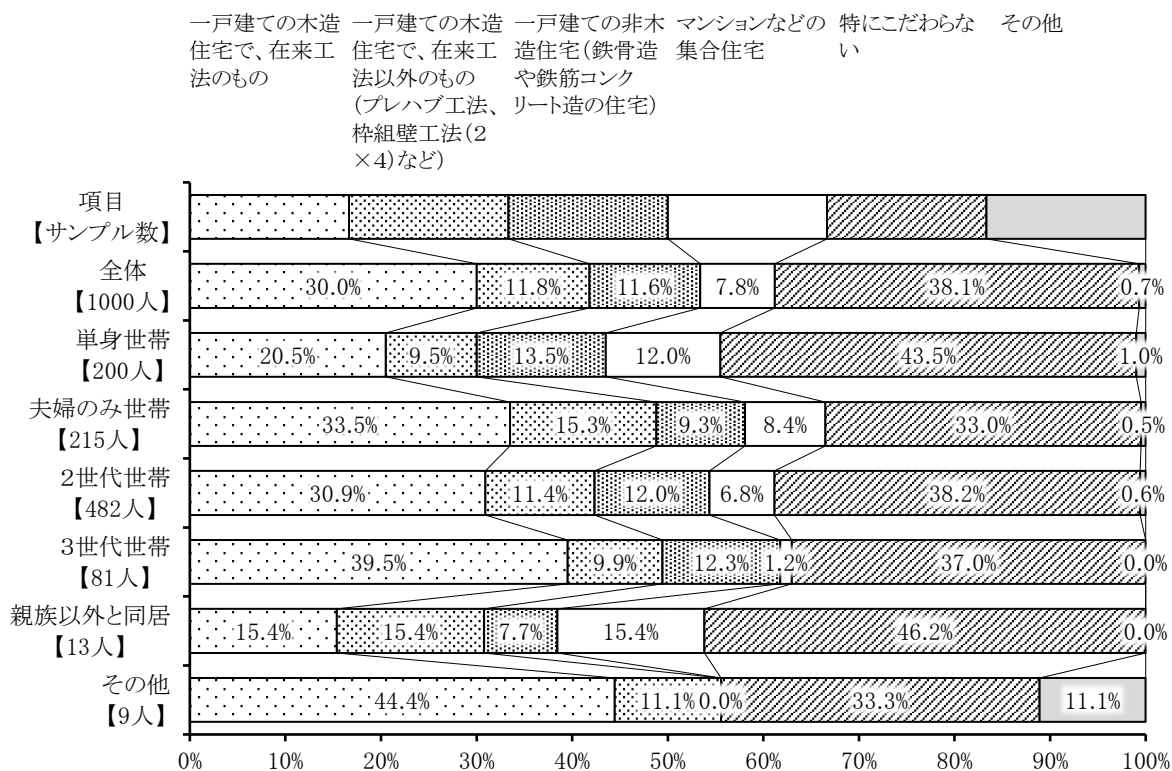
【65歳以上の同居の有無】



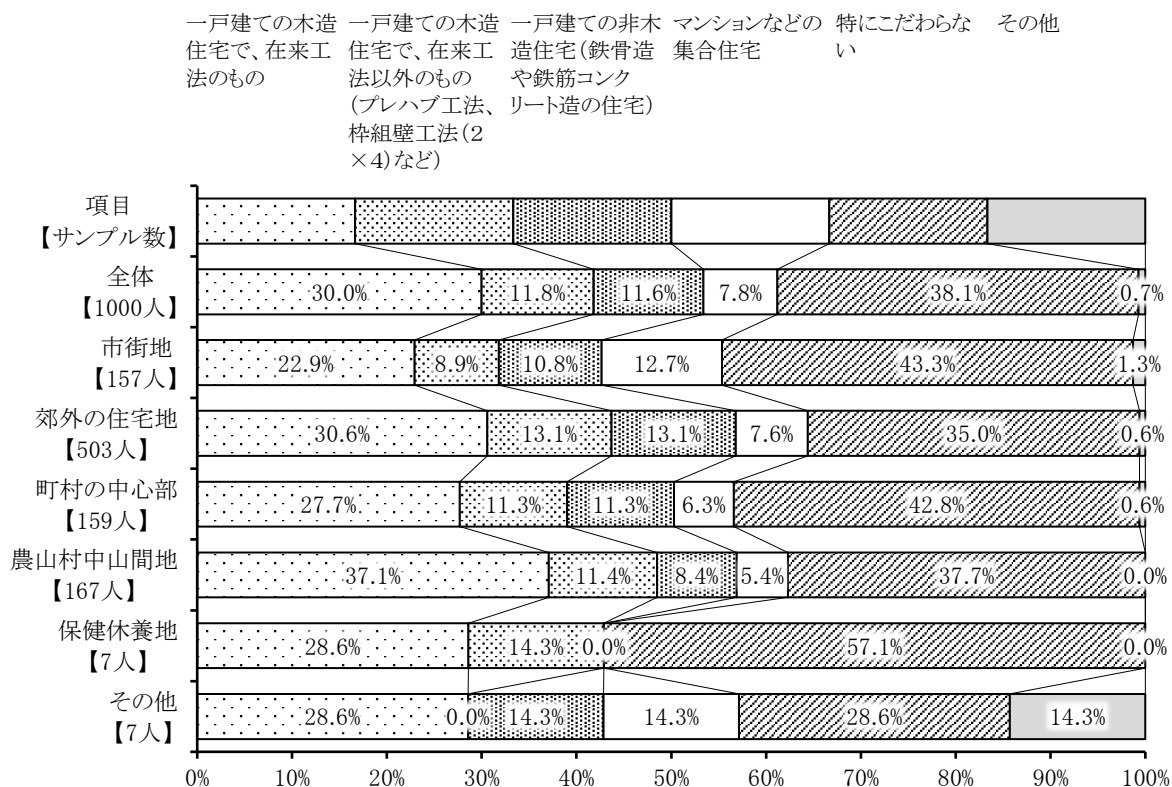
【18歳未満の同居の有無】



### 【世帯構成別】



### 【立地別】



## 問13 新築・リフォーム時の依頼先

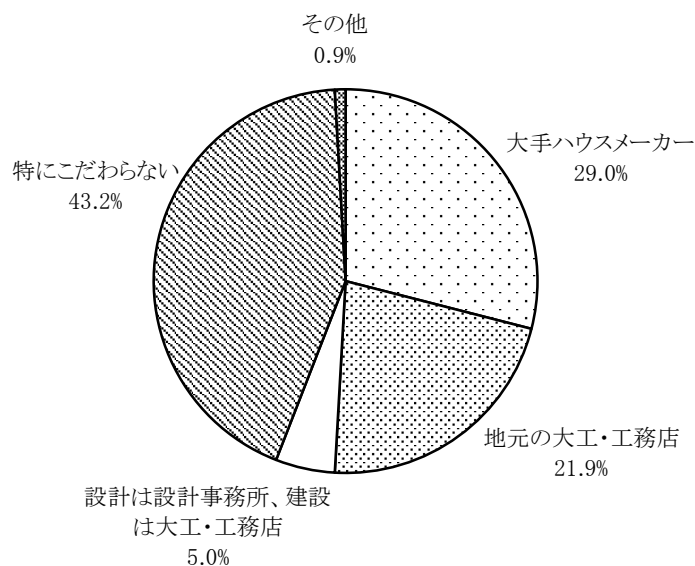
### ◆ 新改築の依頼

「大手ハウスメーカー」3割弱、「地元の大工・工務店」2割強

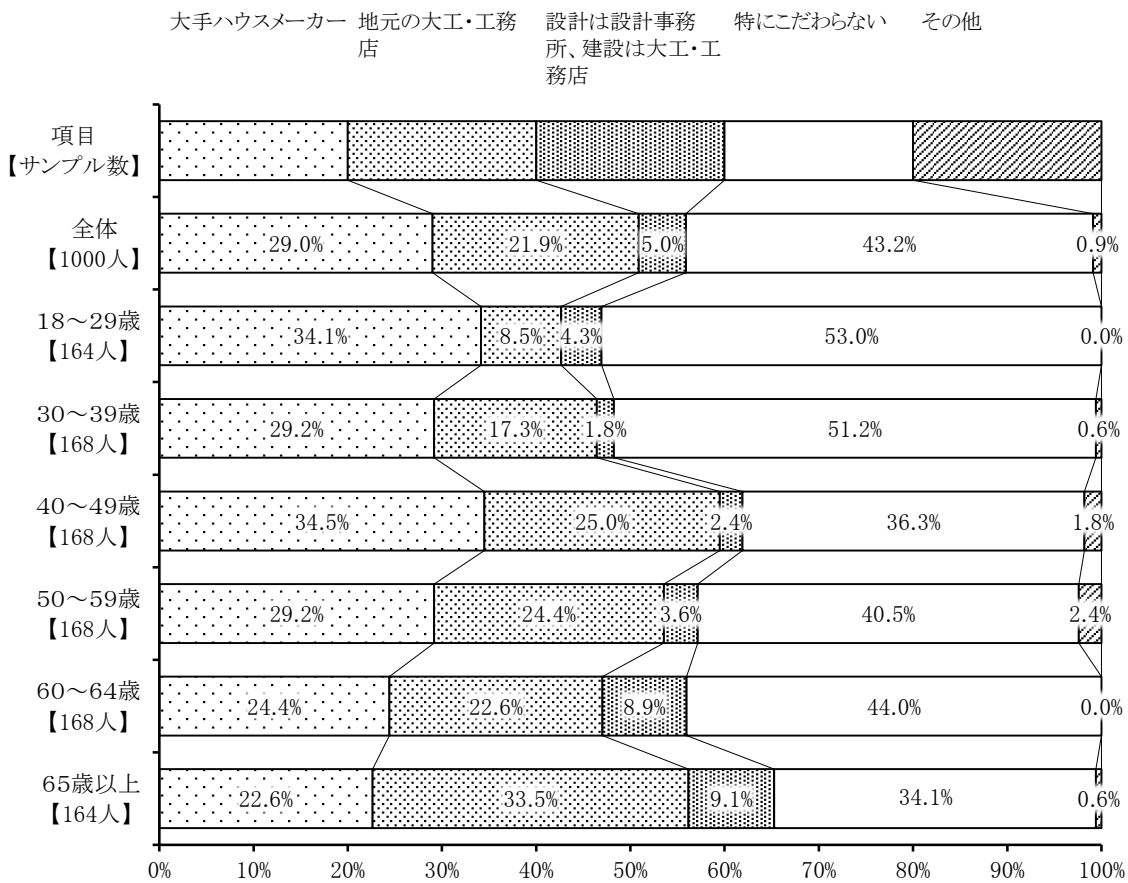
- 住宅の新築やリフォームにあたり、依頼希望先を尋ねたところ、「大手ハウスメーカー」が29.0%と最も多く、次いで「地元の大工・工務店」が21.9%となった。一方で「特にこだわらない」は43.2%となった。
- 年代別では、40～49歳で「大手ハウスメーカー」が34.5%と、他の年代より多い。年代が上がるほど「地元の大工・工務店」が増加傾向にあり、65歳以上では「地元の大工・工務店」(33.5%)が「大手ハウスメーカー」(22.6%)より多い。
- 築年数別では、平成25年以降で「大手ハウスメーカー」が42.2%と最も多く、築年数が新しいほど「大手ハウスメーカー」が多い傾向にある。

問13 住宅を新築したりリフォームするとしたら、どこに依頼しようと思いますか。

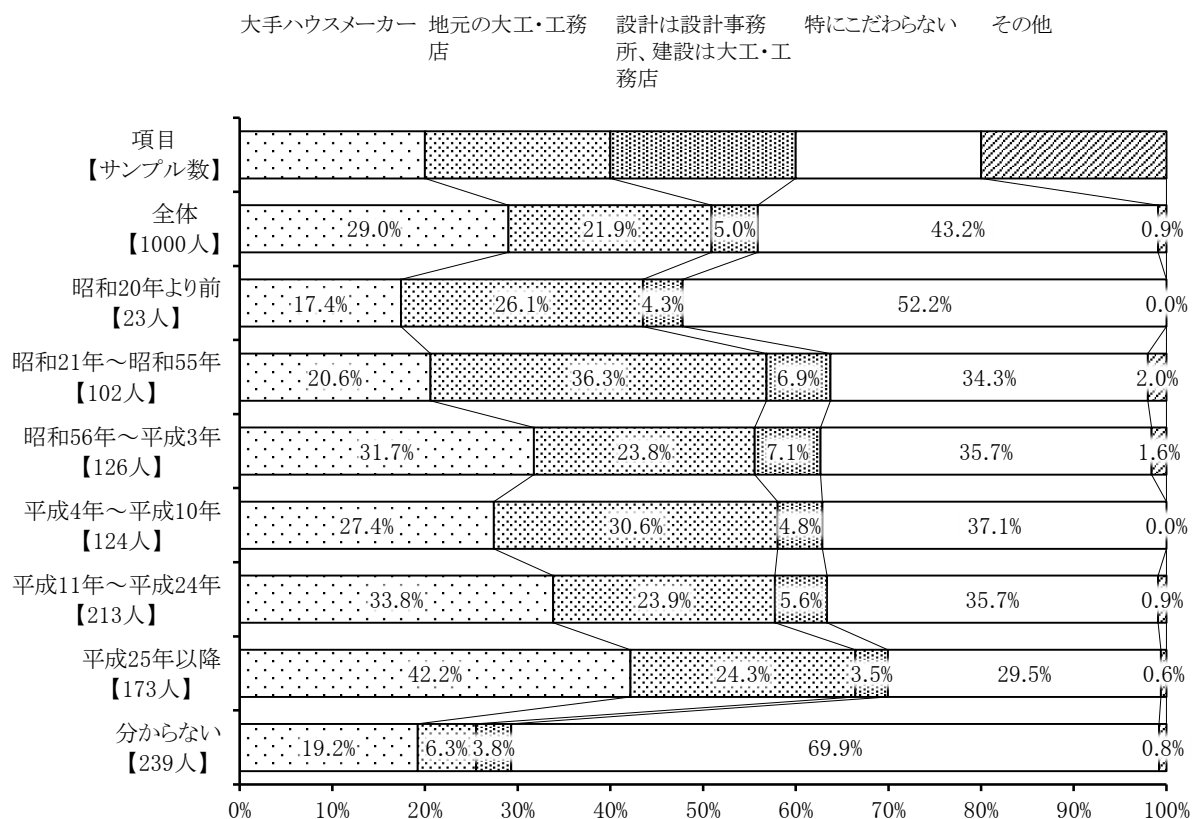
	回答者数	割合
1 大手ハウスメーカー	290人	29.0%
2 地元の大工・工務店	219人	21.9%
3 設計は設計事務所、建設は大工・工務店	50人	5.0%
4 特にこだわらない	432人	43.2%
5 その他	9人	0.9%
サンプル数	1,000人	100.0%



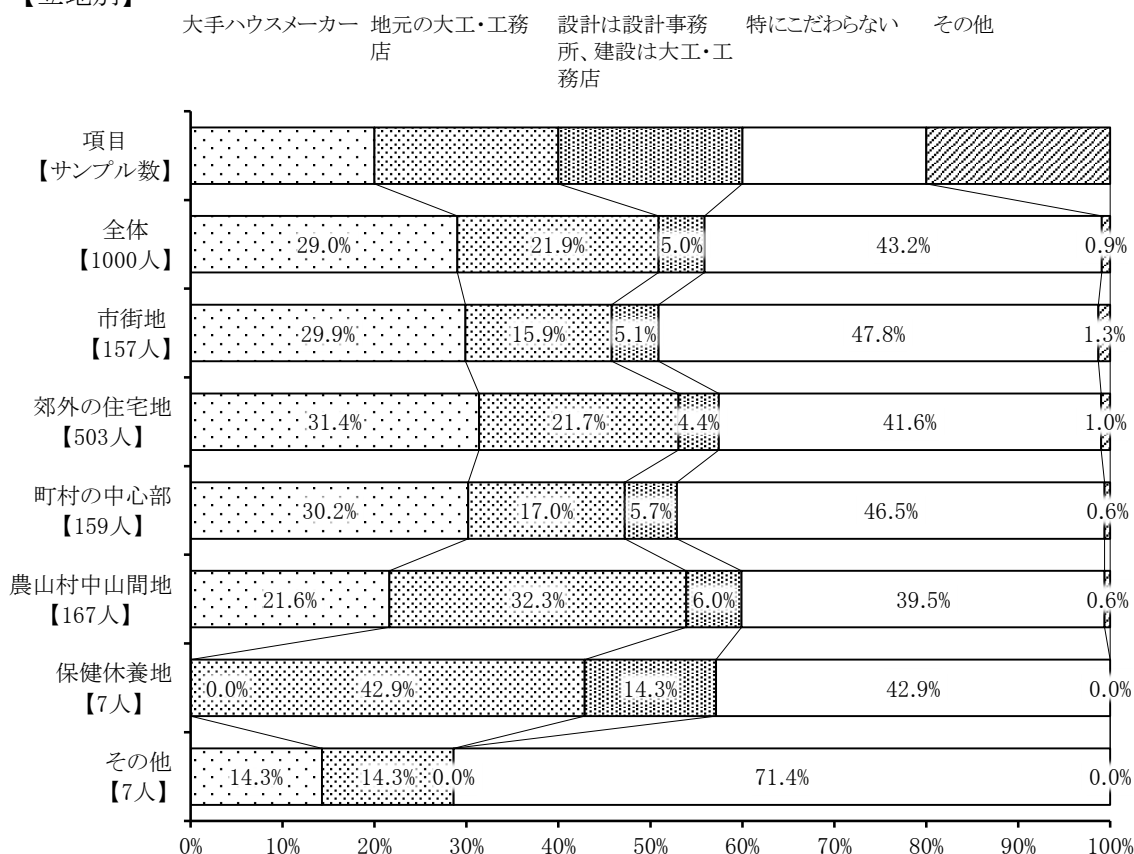
【年代別】



【築年数別】

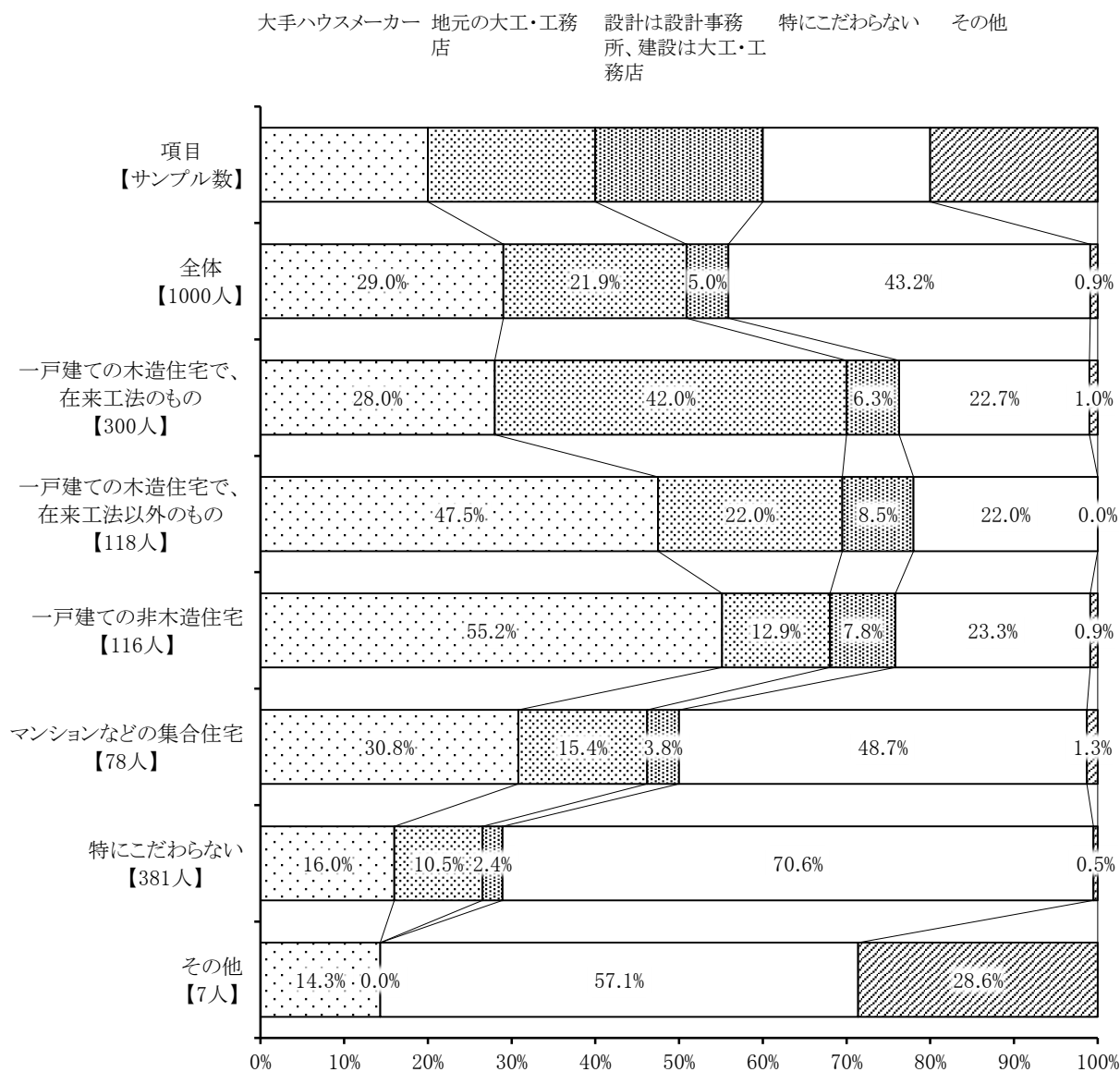


【立地別】



【設問クロス集計（問12）】

\*問12住宅を新築・購入するとしたら、どのような構造の住宅を選びますか。



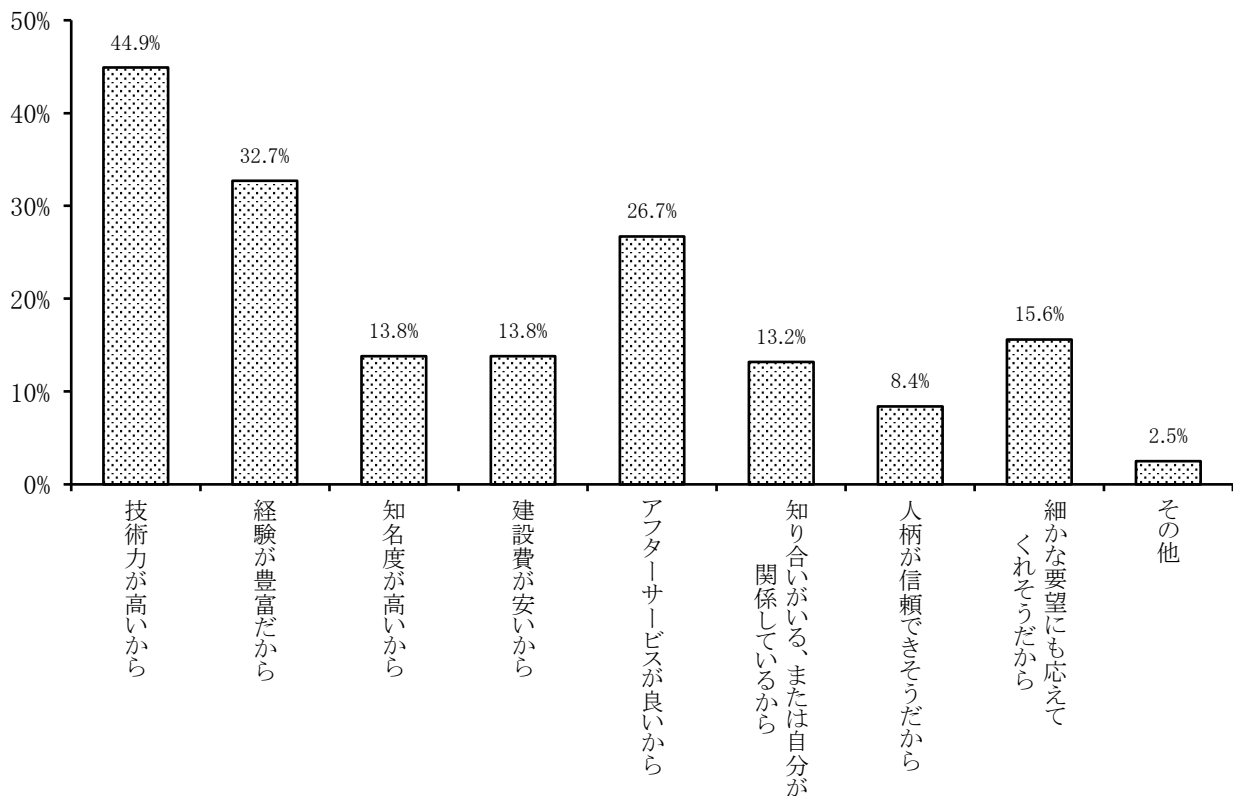
## 問14 依頼先の選定理由

### ◆ 新改築の依頼先理由「技術力が高いから」が4割半ば

- 問13で新改築は専門業者に依頼したいと答えた方に理由を尋ねたところ、「技術力が高いから」が44.9%と最も多く、次いで「経験が豊富だから」が32.7%となった。
- 世帯構成別では、単身世帯で「技術力が高いから」が多く、ちょうど5割。
- 「大手ハウスメーカー」を選んだ方は「技術力が高いから」が62.4%と多い。「地元の大工・工務店」や「設計は設計事務所、建設は大工・工務店」を選んだ方は「細かな要望にも応えてくれそうだから」が共に3割弱となった。

問14【問13で1から3を選んだ方におたずねします】その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。

	回答者数	割合
1 技術力が高いから	251人	44.9%
2 経験が豊富だから	183人	32.7%
3 知名度が高いから	77人	13.8%
4 建設費が安いから	77人	13.8%
5 アフターサービスが良いから	149人	26.7%
6 知り合いがいる、または自分が関係しているから	74人	13.2%
7 人柄が信頼できそうだから	47人	8.4%
8 細かな要望にも応えてくれそうだから	87人	15.6%
9 その他	14人	2.5%
サンプル数	559人	100.0%



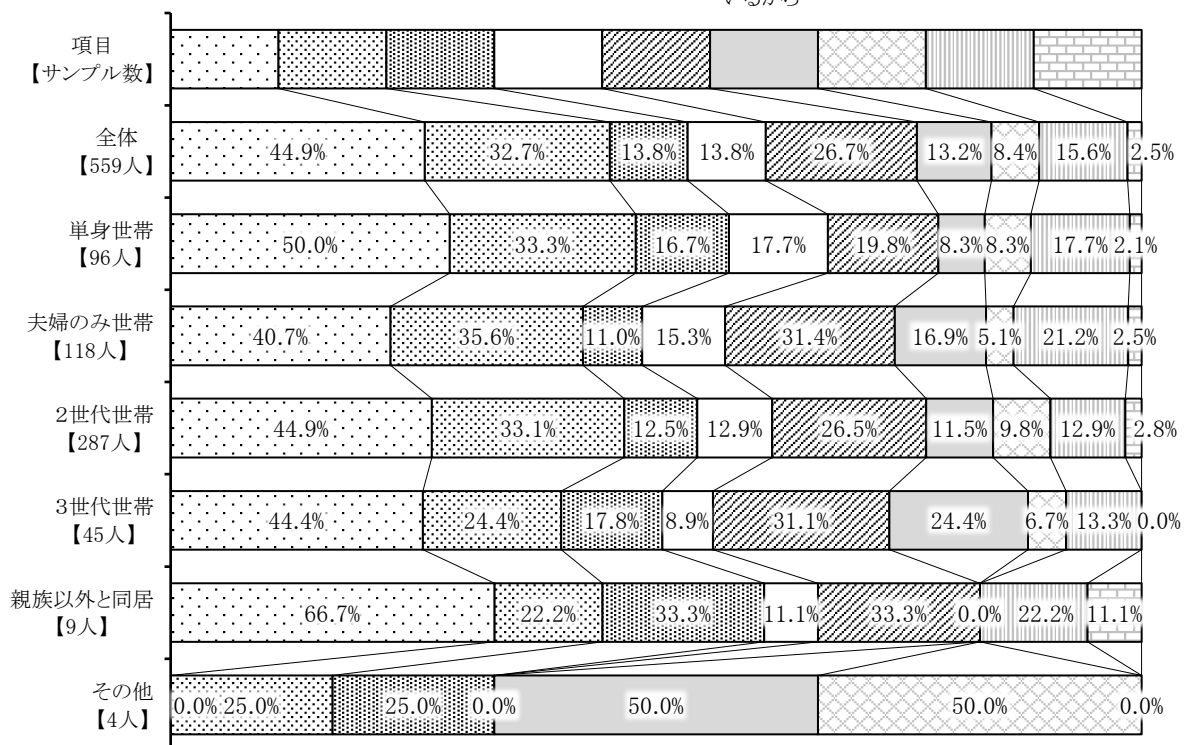
【年代別】

技術力が 経験が豊 知名度が 建設費が アフター 知り合いが 人柄が信 細かな要 その他  
 高いから 富だから 高いから 安いから サービスが いる、また 頼できそう 望にも応  
 良いから は自分が だから えてくれそ うだから  
 関係して いるから



【世帯構成別】

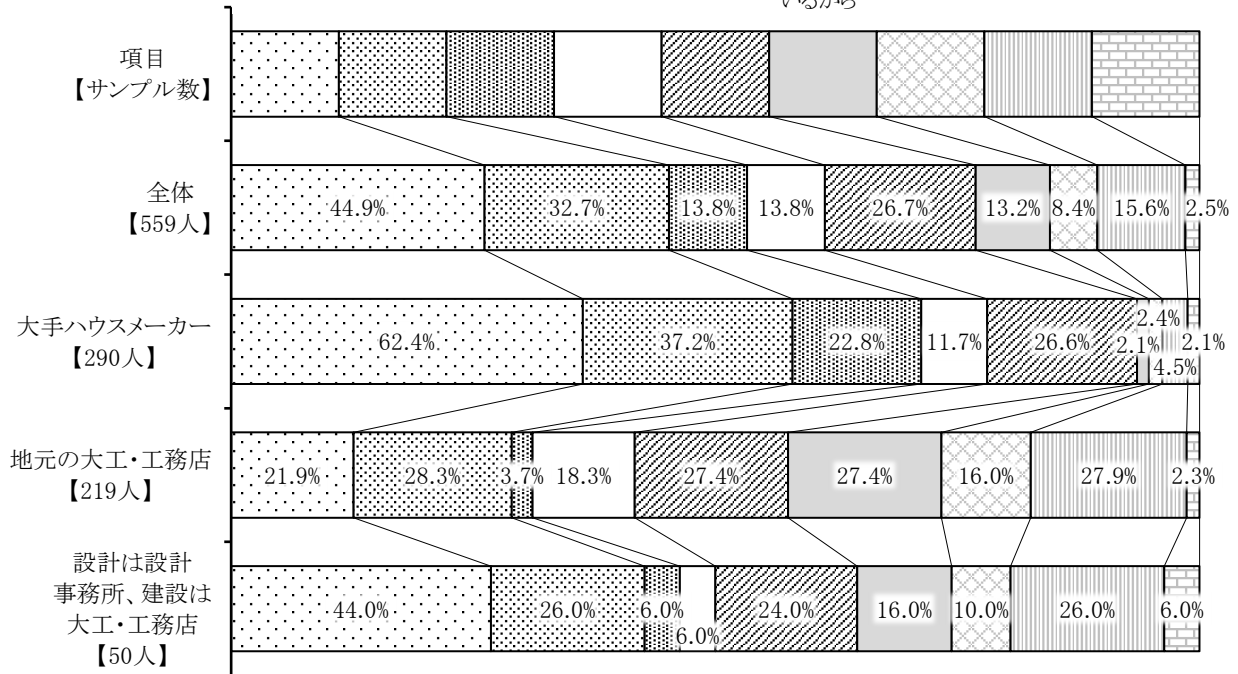
技術力が 経験が豊 知名度が 建設費が アフター 知り合いが 人柄が信 細かな要 その他  
 高いから 富だから 高いから 安いから サービスが いる、また 頼できそう 望にも応  
 良いから は自分が だから えてくれそ うだから  
 関係して いるから



【設問クロス集計（問13）】

\* 問13住宅を新築したりリフォームするとしたら、どこに依頼しようと思いますか。

技術力が 経験が豊 知名度が 建設費が アフター 知り合いが 人柄が信 細かな要 その他  
 高いから 富だから 高いから 安いから サービスが いる、また 頼できそう 望にも応  
 良いから は自分が だから えてくれそ  
 関係して うだから  
 いるから



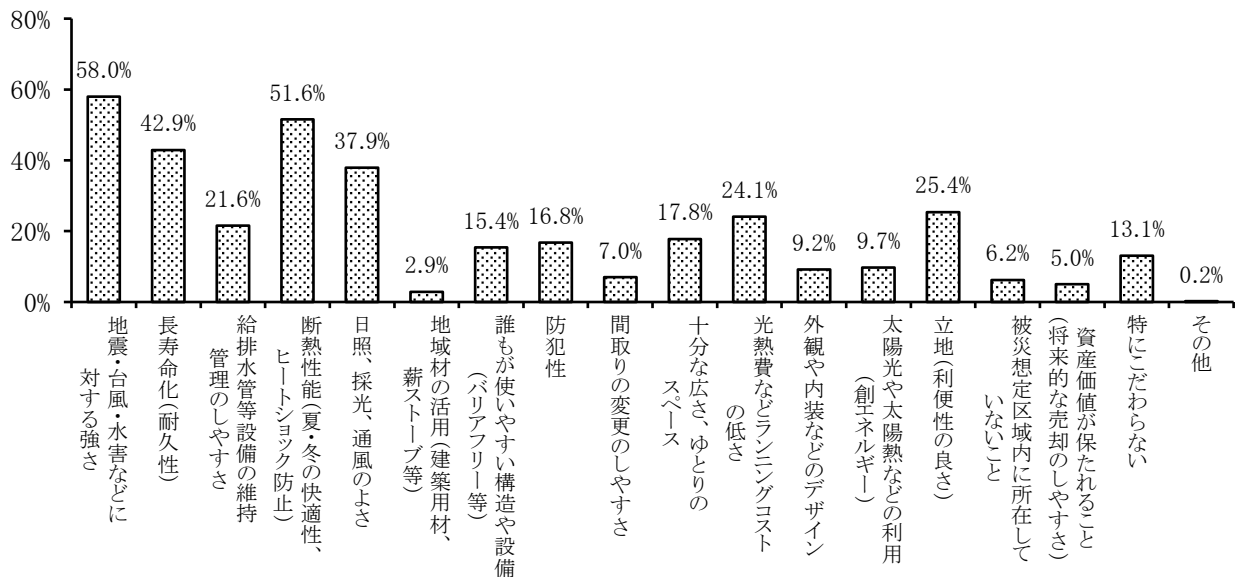
## 問15 新築・購入時に重視する点

### ◆ 新築・購入時の重視点「地震・台風・水害などに対する強さ」6割弱

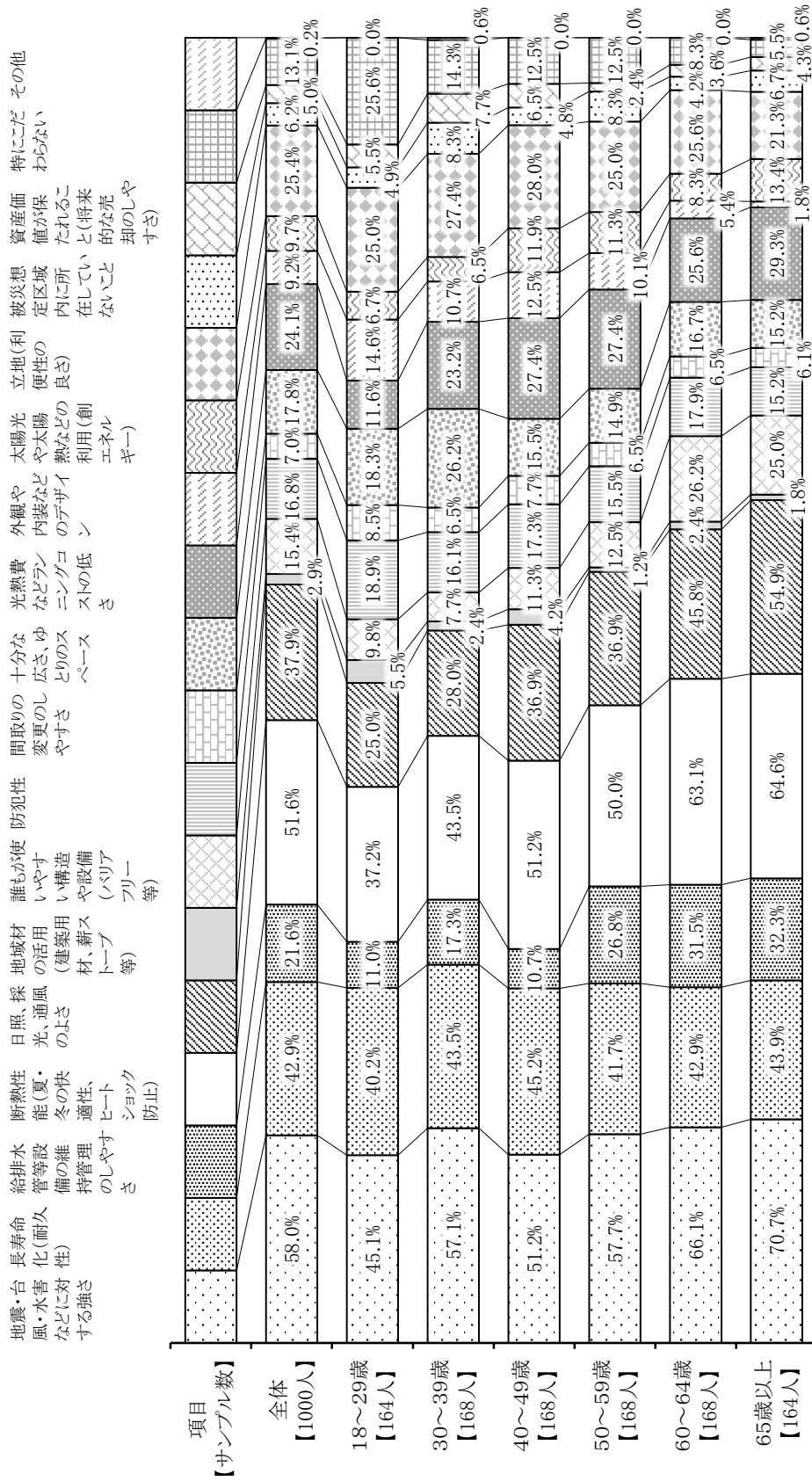
- 住宅を新築・購入する際の重視点を尋ねたところ、「地震・台風・水害などに対する強さ」が58.0%と最も多い。次いで「断熱性能」が51.6%、「長寿命化」が42.9%、「日照、採光、通風のよさ」が37.9%となった。
- 年代別では、60代以上で「地震・台風・水害などに対する強さ」「断熱性能」が6割以上と多い。30～39歳で「十分な広さ、ゆとりのスペース」が26.2%と、他の年代より多い。
- 希望する住宅の構造に「一戸建ての非木造住宅」を選んだ方は、「地震・台風・水害などに対する強さ」(75.9%)と「断熱性能」(67.2%)が多い。

問15 住宅を新築・購入するとしたら、どのような点を特に重視しますか。次の中から5つ以内で選んでください。

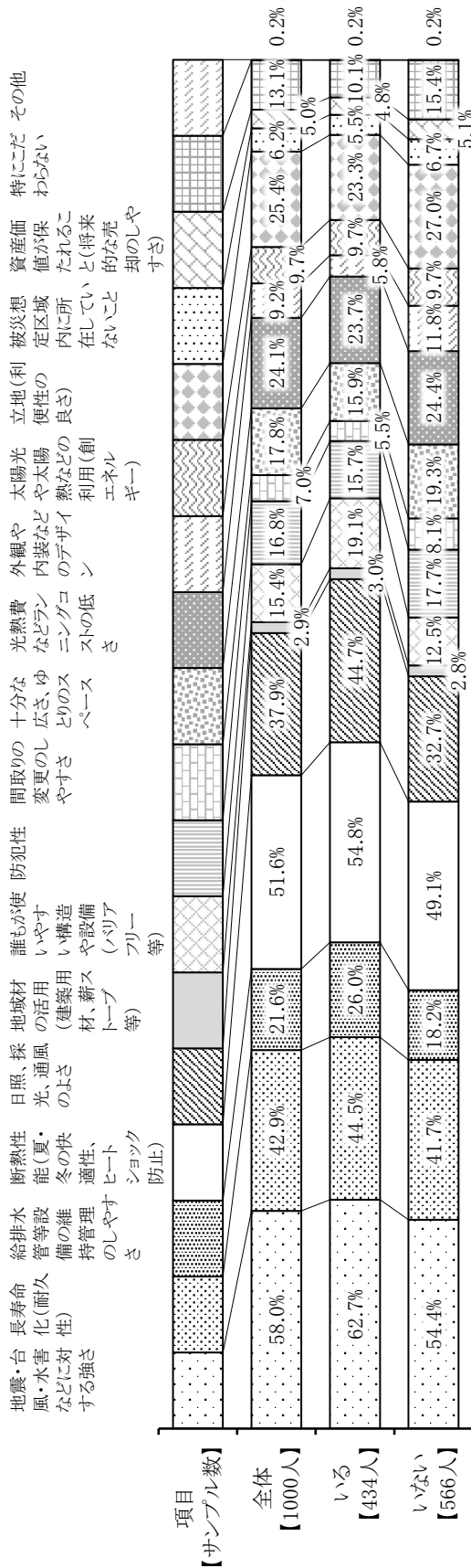
	回答者数	割合
1 地震・台風・水害などに対する強さ	580人	58.0%
2 長寿命化(耐久性)	429人	42.9%
3 給排水管等設備の維持管理のしやすさ	216人	21.6%
4 断熱性能(夏・冬の快適性、ヒートショック防止)	516人	51.6%
5 日照、採光、通風のよさ	379人	37.9%
6 地域材の活用(建築用材、薪ストーブ等)	29人	2.9%
7 誰もが使いやすい構造や設備(バリアフリー等)	154人	15.4%
8 防犯性	168人	16.8%
9 間取りの変更のしやすさ	70人	7.0%
10 十分な広さ、ゆとりのスペース	178人	17.8%
11 光熱費などランニングコストの低さ	241人	24.1%
12 外観や内装などのデザイン	92人	9.2%
13 太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー)	97人	9.7%
14 立地(利便性の良さ)	254人	25.4%
15 被災想定区域内に所在していないこと	62人	6.2%
16 資産価値が保たれること(将来的な売却のしやすさ)	50人	5.0%
17 特にこだわらない	131人	13.1%
18 その他	2人	0.2%
サンプル数	1,000人	100.0%



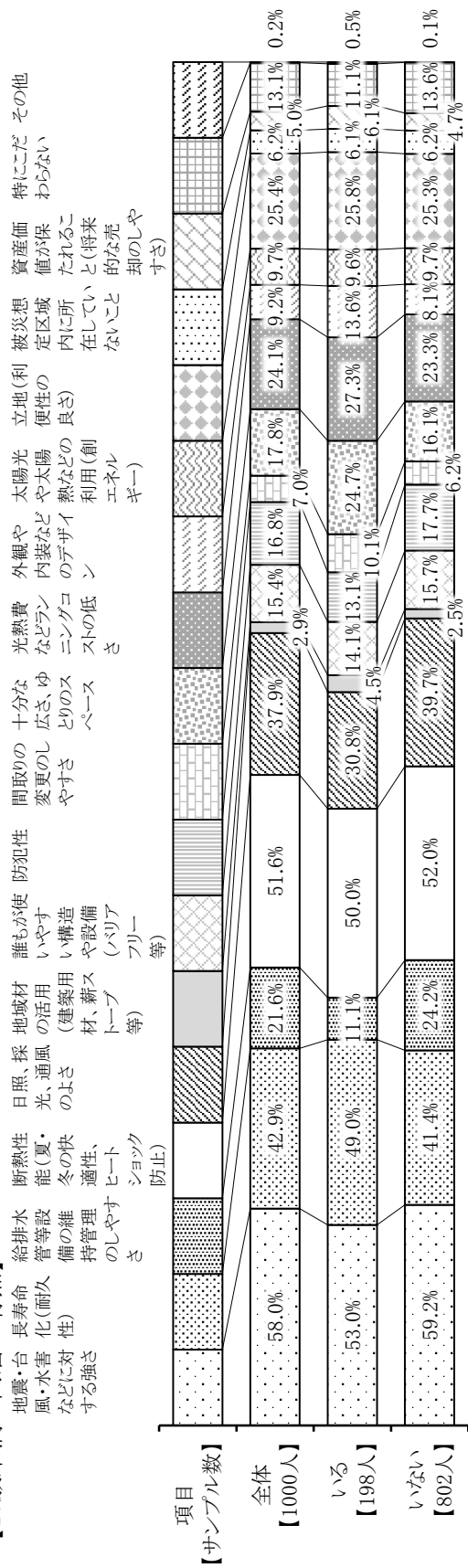
【年代別】



【65歳以上の同居の有無】

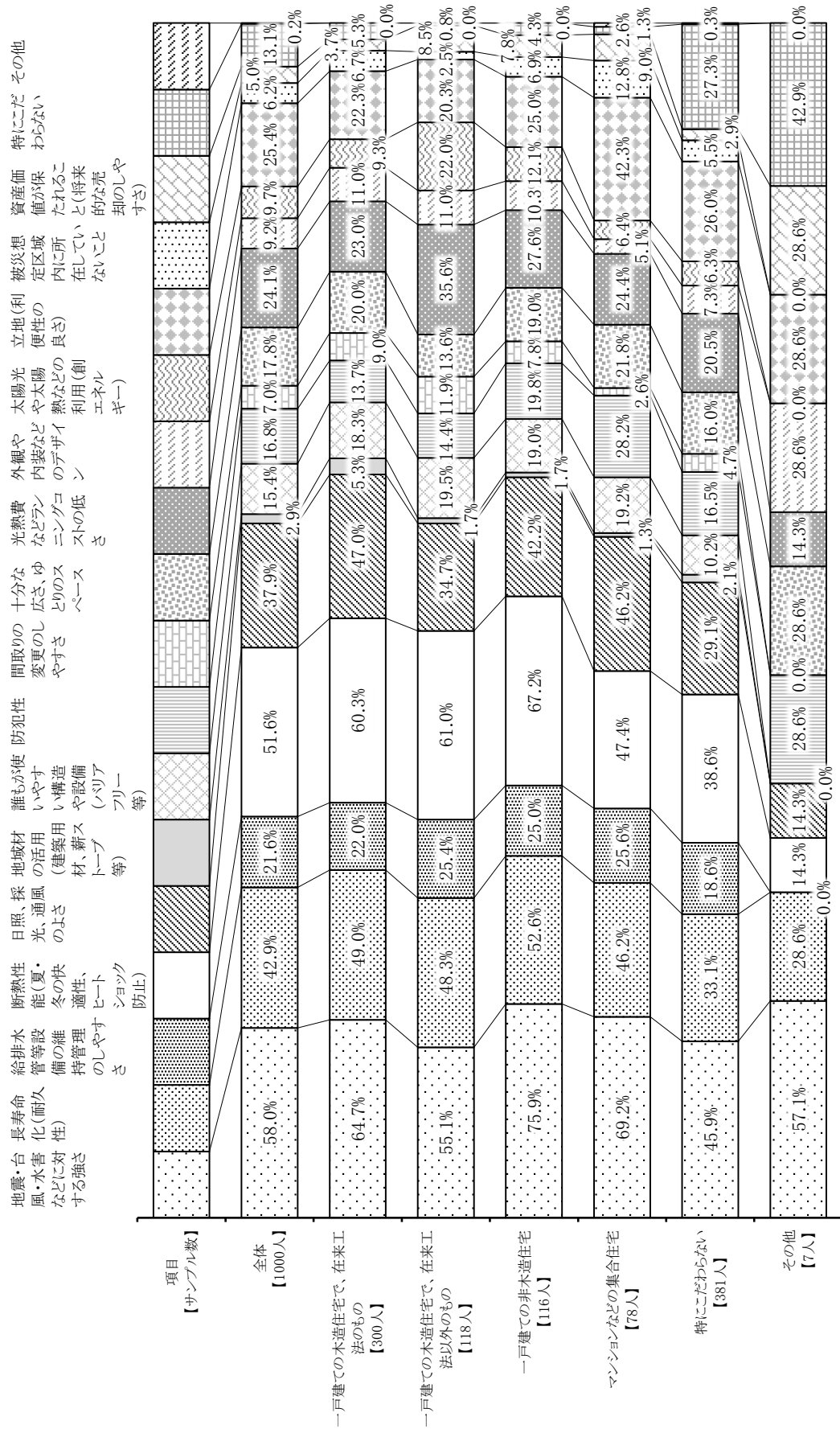


【18歳未満の同居の有無】



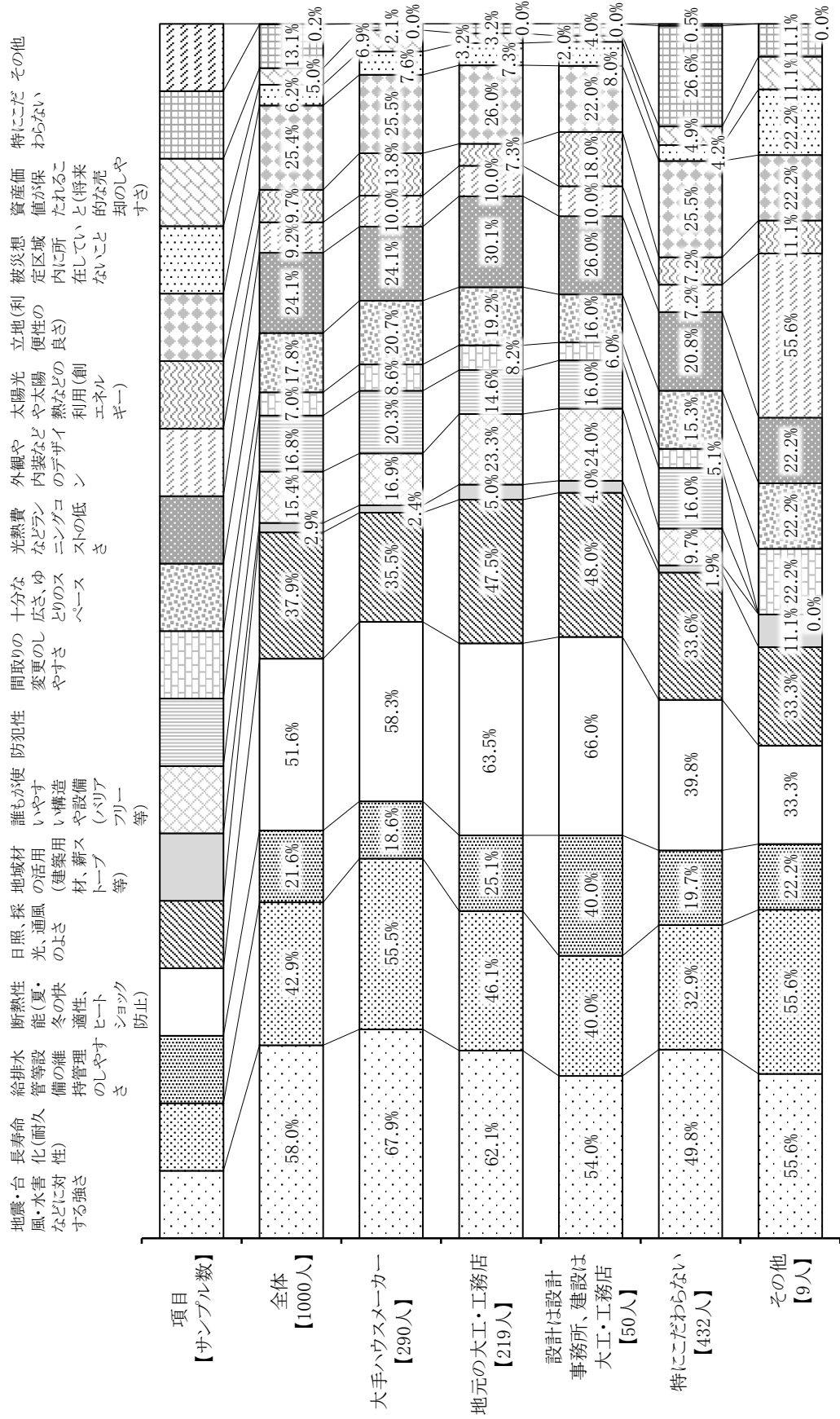
【設問クロス集計 (問12)】

\*問12住宅を新築・購入するとしたら、どのような構造の住宅を選びますか。



【設問クロス集計 (問13)】

\*問13住宅を新築したりリフォームするとしたら、どこに依頼しようと思えますか。



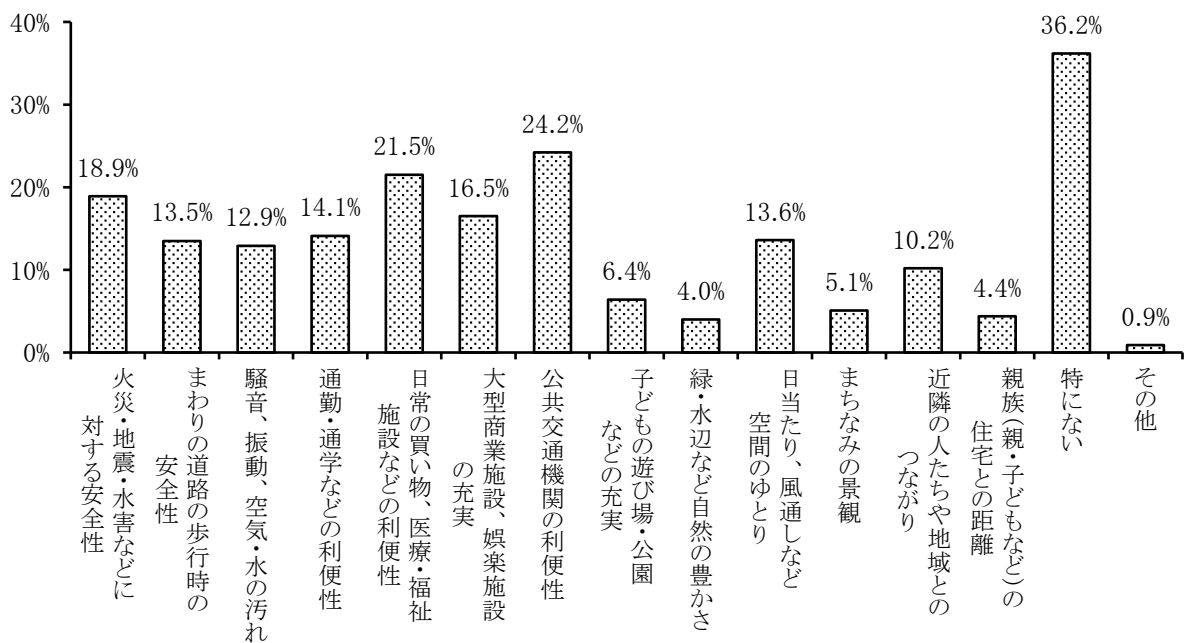
## 問16 自宅周辺環境の不満点

### ◆ 周辺環境の不満は「公共交通機関の利便性」が2割半ば

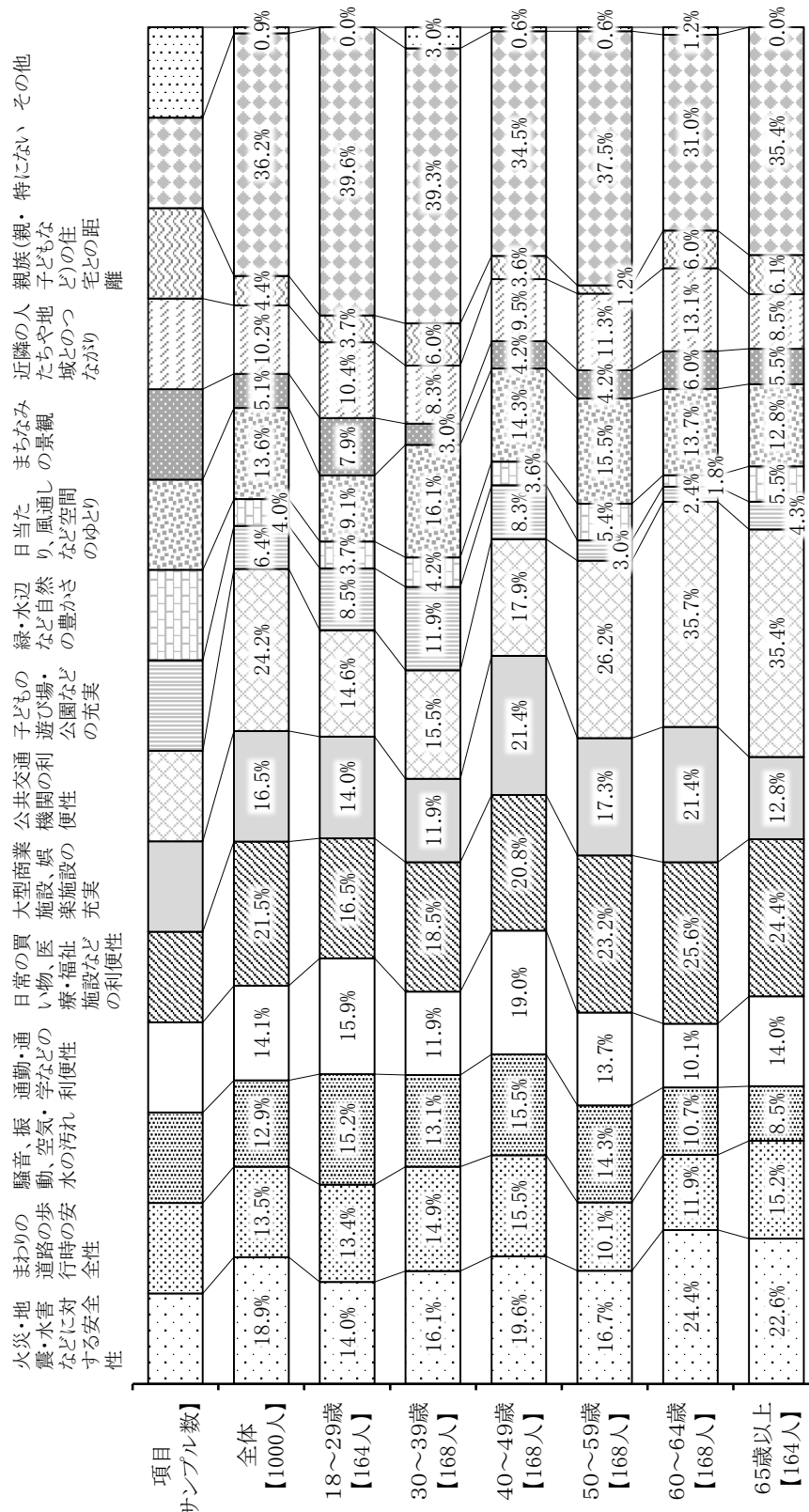
- 自宅の周辺環境で不満に感じていることについて、「公共交通機関の利便性」が24.2%、「日常の買い物、医療・福祉施設などの利便性」が21.5%、「火災・地震・水害などに対する安全性」が18.9%となった。
- 年代別では、「公共交通機関の利便性」が、60～64歳（35.7%）と65歳以上（35.4%）で、他の年代より多い。
- 65歳以上がいる世帯では、「公共交通機関の利便性」「日常の買い物、医療・福祉施設などの利便性」で、いない世帯との差異がみられる。

問16 自宅の周辺環境について、不満に感じていることはありますか。  
該当するものを次の中から5つ以内で選んでください。

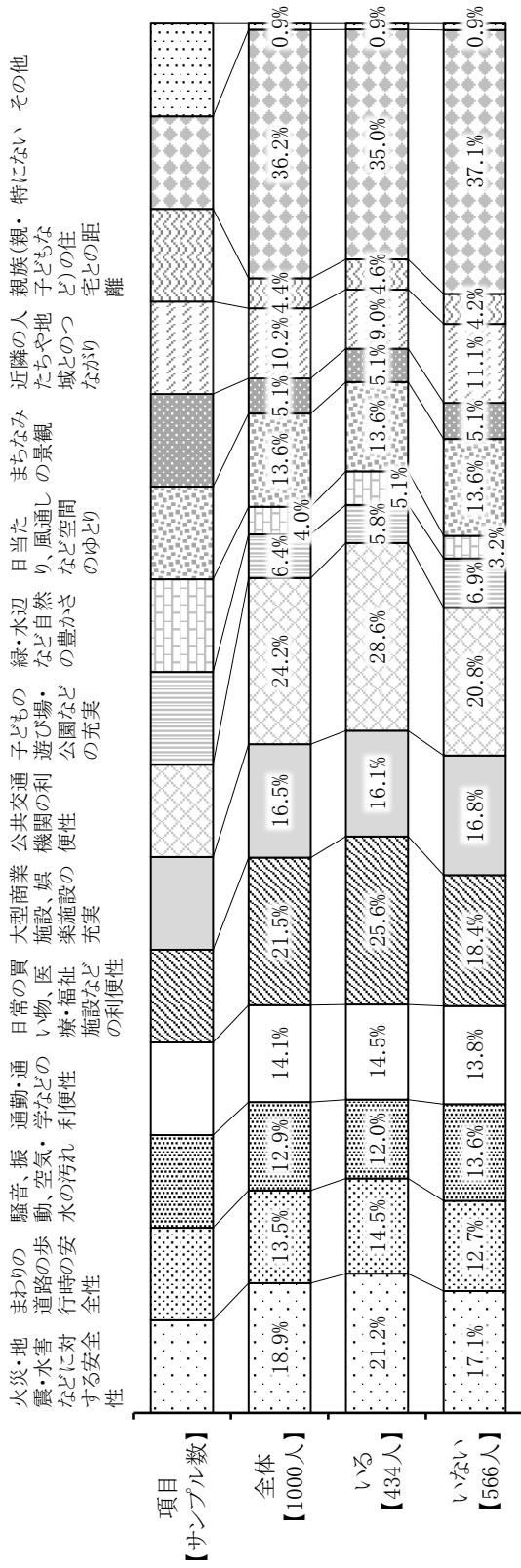
	回答者数	割合
1 火災・地震・水害などに対する安全性	189人	18.9%
2 まわりの道路の歩行時の安全性	135人	13.5%
3 騒音、振動、空気・水の汚れ	129人	12.9%
4 通勤・通学などの利便性	141人	14.1%
5 日常の買い物、医療・福祉施設などの利便性	215人	21.5%
6 大型商業施設、娯楽施設の充実	165人	16.5%
7 公共交通機関の利便性	242人	24.2%
8 子どもの遊び場・公園などの充実	64人	6.4%
9 緑・水辺など自然の豊かさ	40人	4.0%
10 日当たり、風通しなど空間のゆとり	136人	13.6%
11 まちなみの景観	51人	5.1%
12 近隣の人たちや地域とのつながり	102人	10.2%
13 親族（親・子どもなど）の住宅との距離	44人	4.4%
14 特にない	362人	36.2%
15 その他	9人	0.9%
サンプル数	1,000人	100.0%



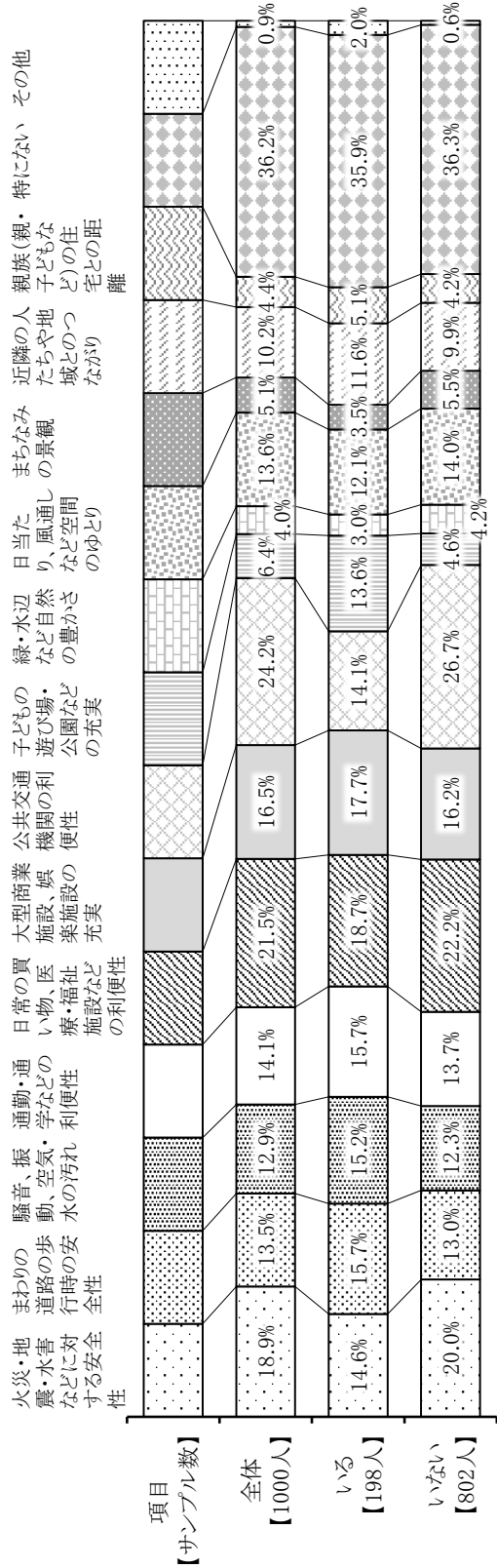
【年代別】



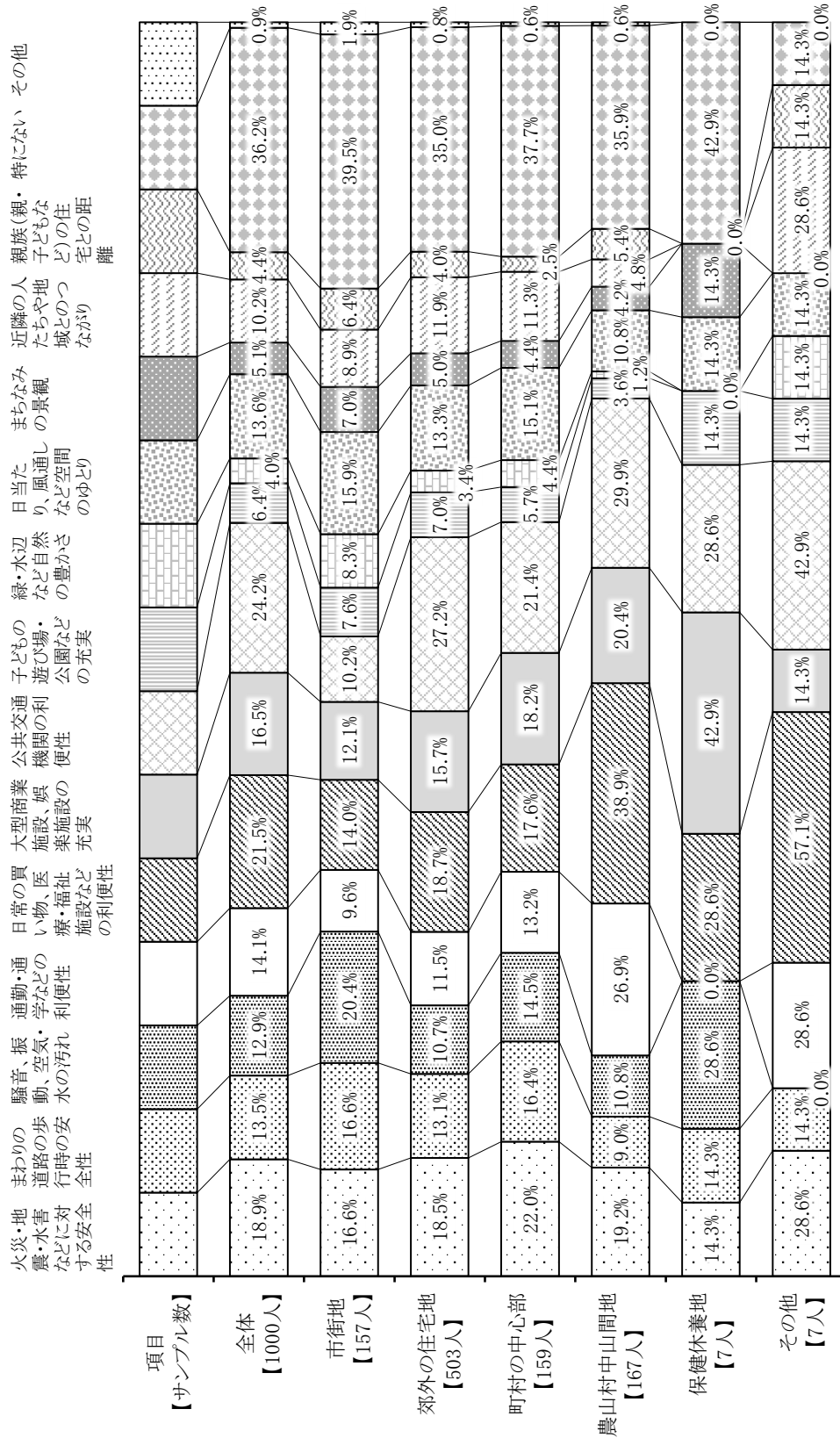
【65歳以上の同居人の有無】



【18歳未満の同居人の有無】



【地域別】



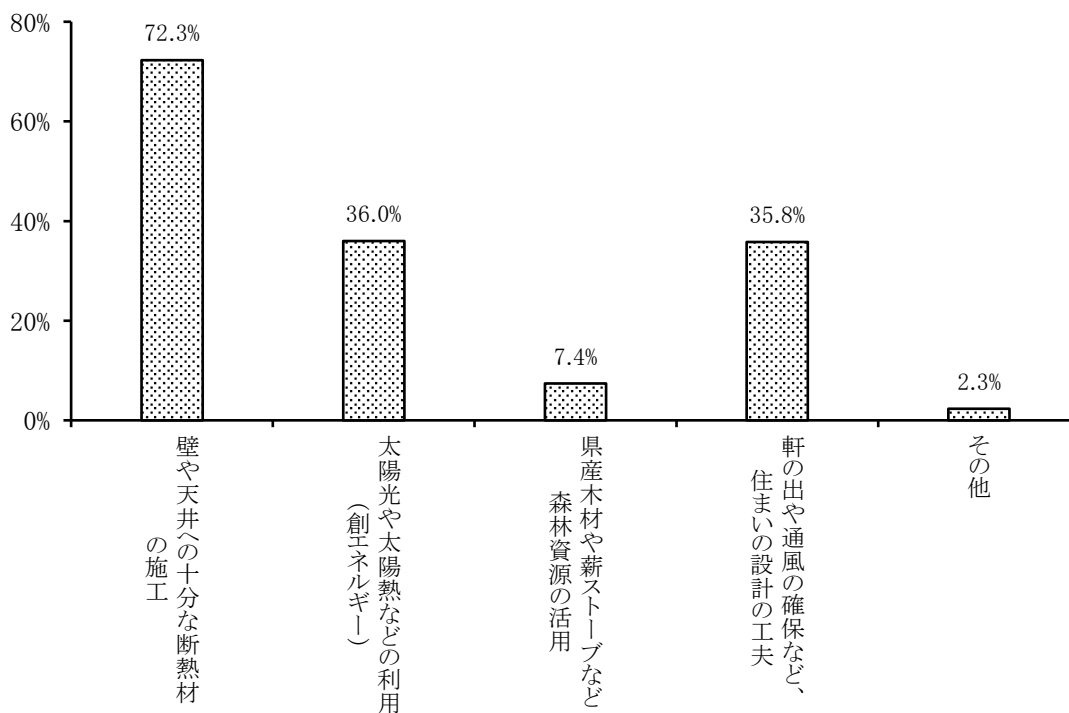
## 問17 住宅の環境対策として重視すること

### ◆ 住宅の環境対策として「壁や天井への十分な断熱材の施工」が7割強

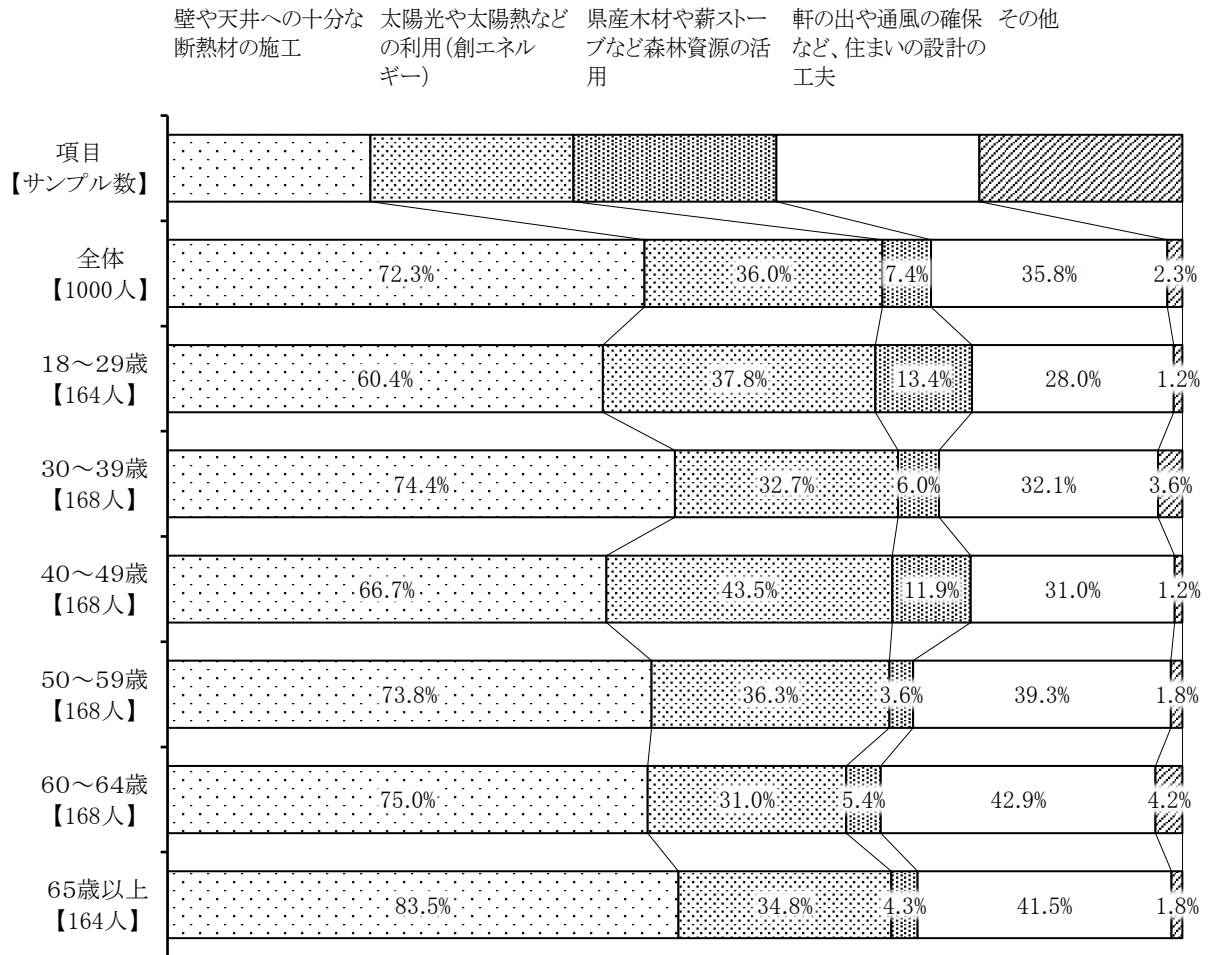
- 住宅の環境対策の重視点について、「壁や天井への十分な断熱材の施工」が72.3%と最も多い。「太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー)」(36.0%)と「軒の出や通風の確保など、住まいの設計の工夫」(35.8%)が3割半ばで続く。
- 年代別では、65歳以上で「壁や天井への十分な断熱材の施工」が83.5%と、他の年代より多い。
- 世帯構成別では、3世代世帯で「太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー)」が49.4%と、他の世帯より多い。

問17 住宅の環境対策として、何を重視しますか。次の中から2つ以内で選んでください。

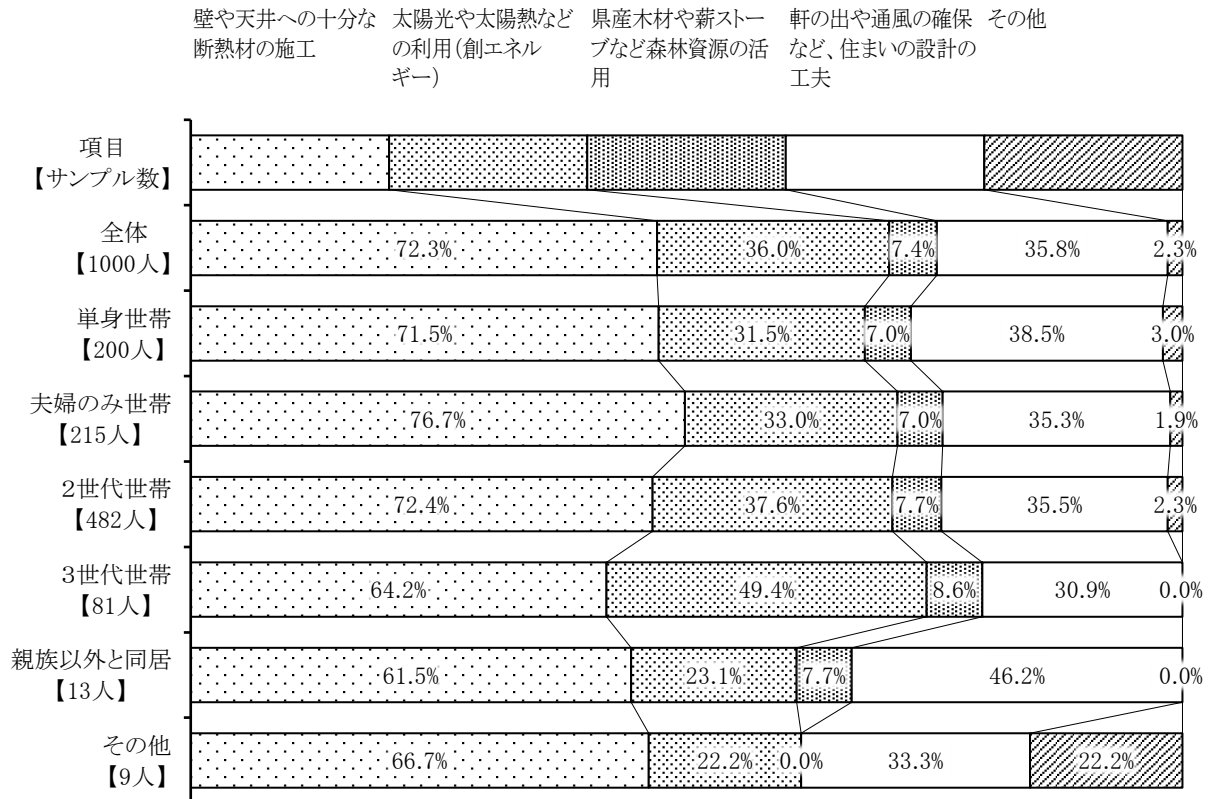
	回答者数	割合
1 壁や天井への十分な断熱材の施工	723人	72.3%
2 太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー)	360人	36.0%
3 県産木材や薪ストーブなど森林資源の活用	74人	7.4%
4 軒の出や通風の確保など、住まいの設計の工夫	358人	35.8%
5 その他	23人	2.3%
サンプル数	1,000人	100.0%



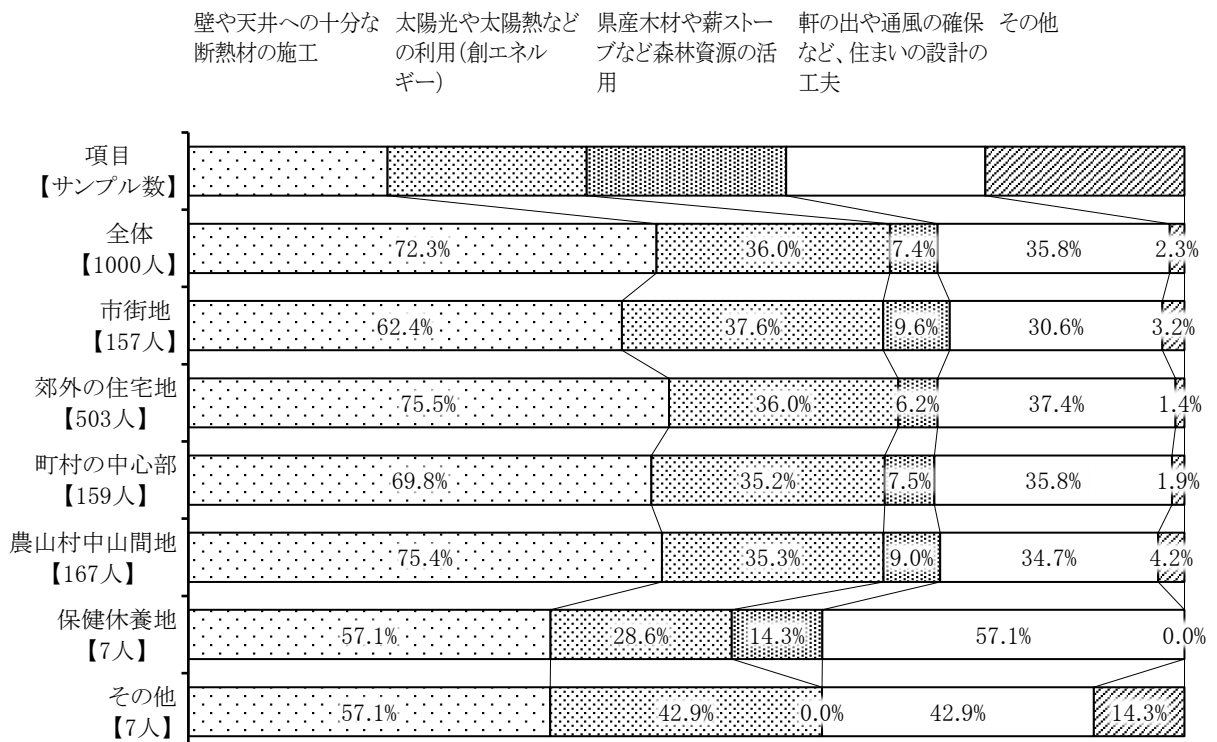
【年代別】



【世帯構成別】



【立地別】



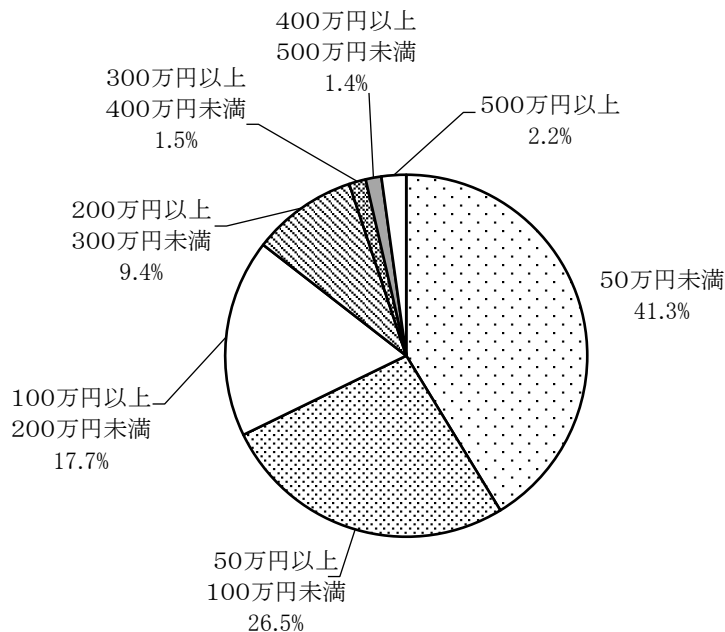
## 問18 省エネルギー住宅建設費の上乗せ限度額

### ◆ 省エネルギー住宅の上乗せ上限額「100万円未満」が7割弱

- 省エネルギー住宅を建築する際の建設費の上乗せ限度額は、「50万円未満」が41.3%と最も多い。これに「50万円以上100万円未満」(26.5%)が続き、『100万円未満』では67.8%となった。これに「100万円以上200万円未満」(17.7%)を含めた『200万円未満』では85.5%となった。
- 年代別では、40～49歳で「50万円未満」が52.4%と、半数を超える。
- 世帯構成別では、単身世帯で「50万円未満」が48.0%と、半数程度。夫婦のみ世帯は「50万円未満」(32.1%)と「50万円以上100万円未満」(32.6%)がそれぞれ3割強となった。

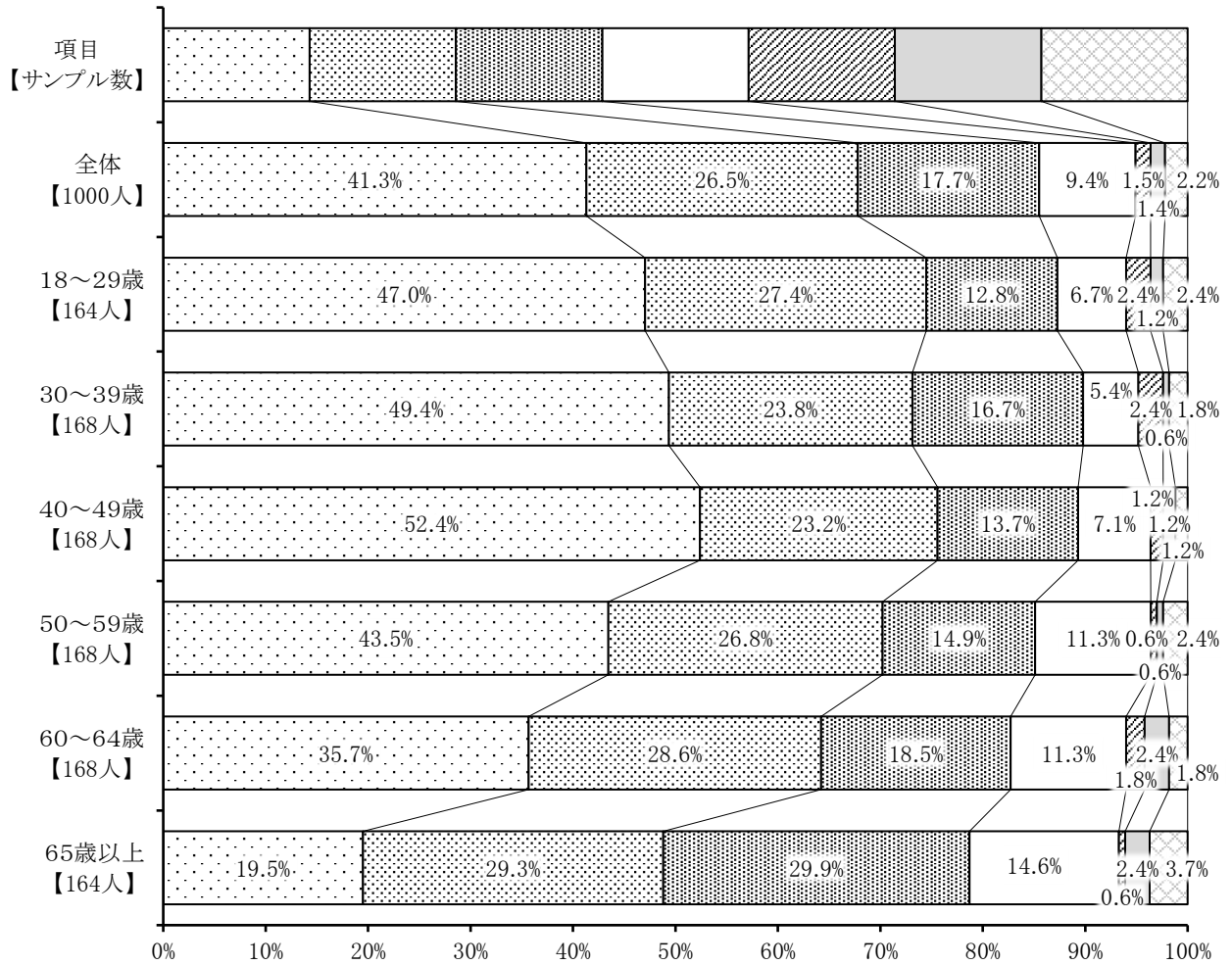
問18 住宅の脱炭素化に向け、省エネルギー住宅を建築する際、光熱費等の削減を見越し、いくらまでなら建設費を上乗せできますか。

	回答者数	割合
1 50万円未満	413人	41.3%
2 50万円以上100万円未満	265人	26.5%
3 100万円以上200万円未満	177人	17.7%
4 200万円以上300万円未満	94人	9.4%
5 300万円以上400万円未満	15人	1.5%
6 400万円以上500万円未満	14人	1.4%
7 500万円以上	22人	2.2%
サンプル数	1,000人	100.0%

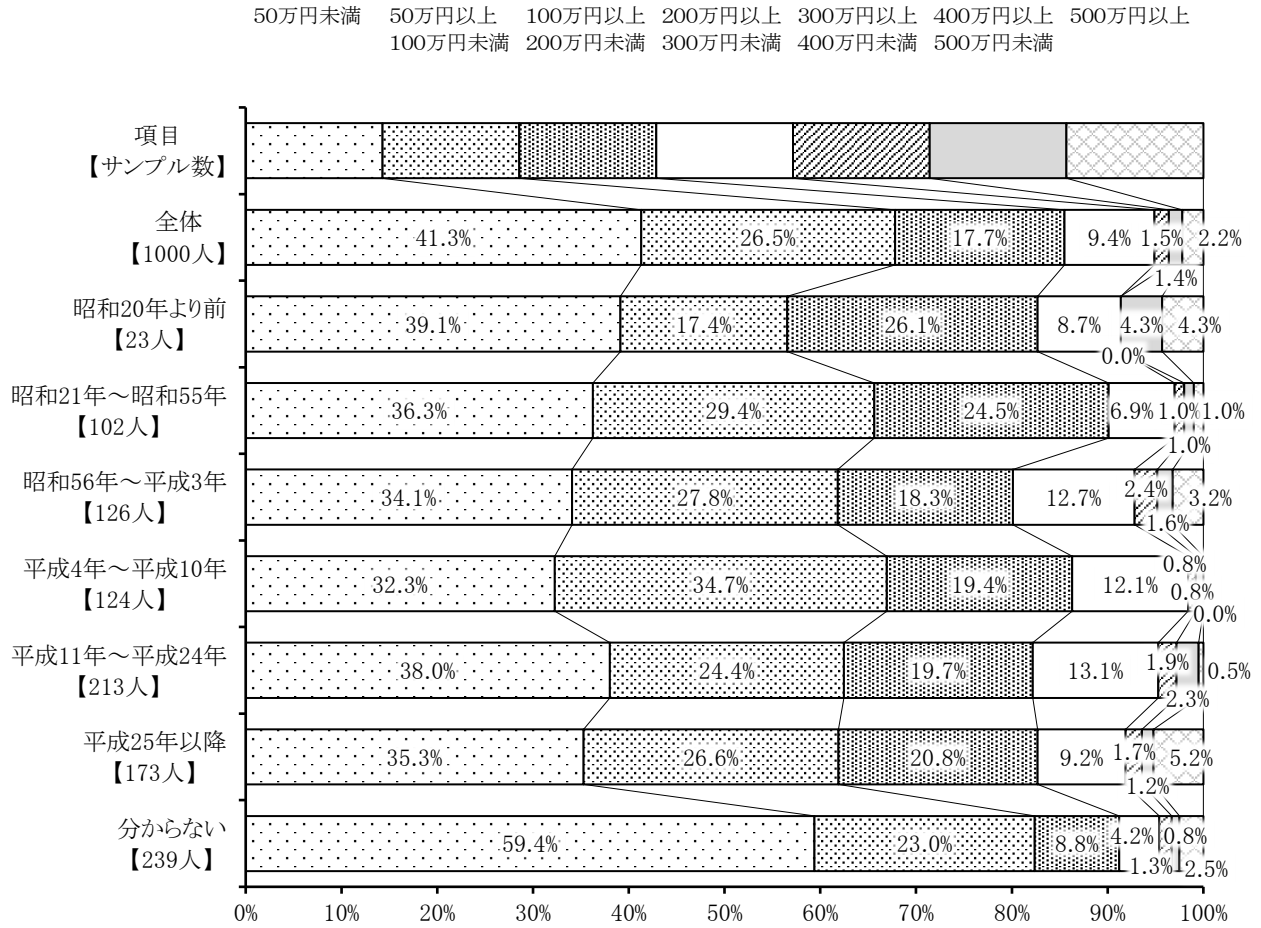


【年代別】

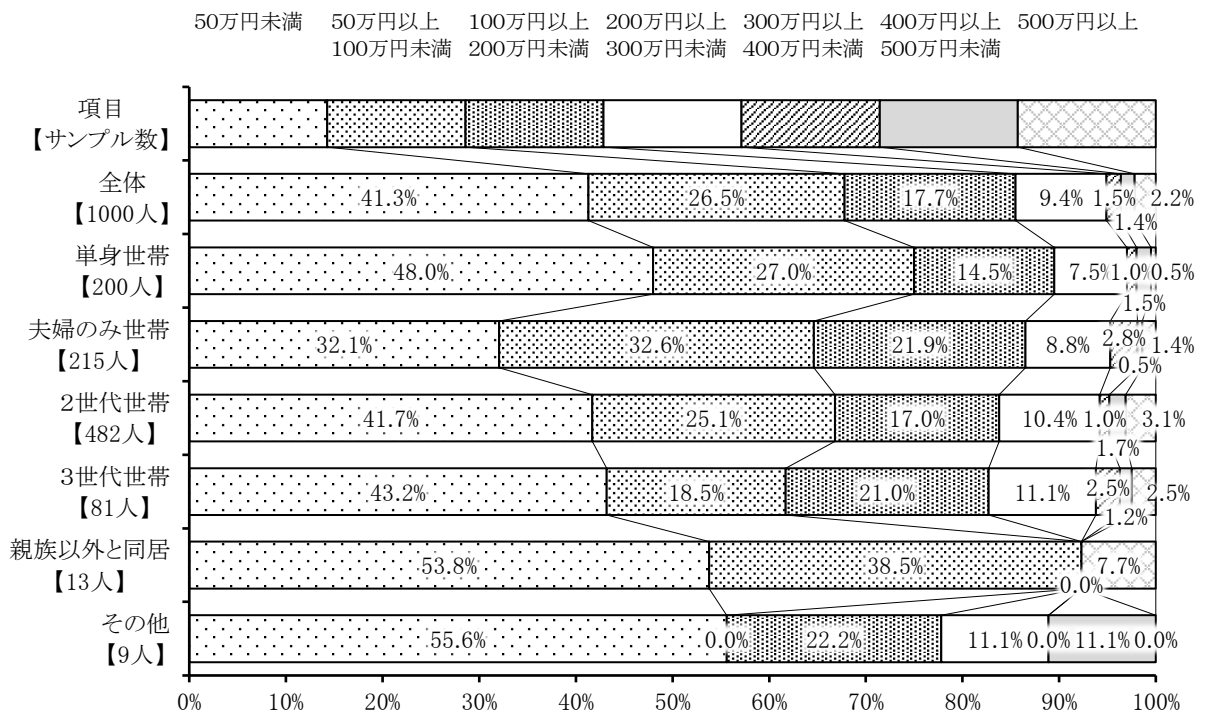
50万円未満 50万円以上 100万円以上 200万円以上 300万円以上 400万円以上 500万円以上  
 100万円未満 200万円未満 300万円未満 400万円未満 500万円未満



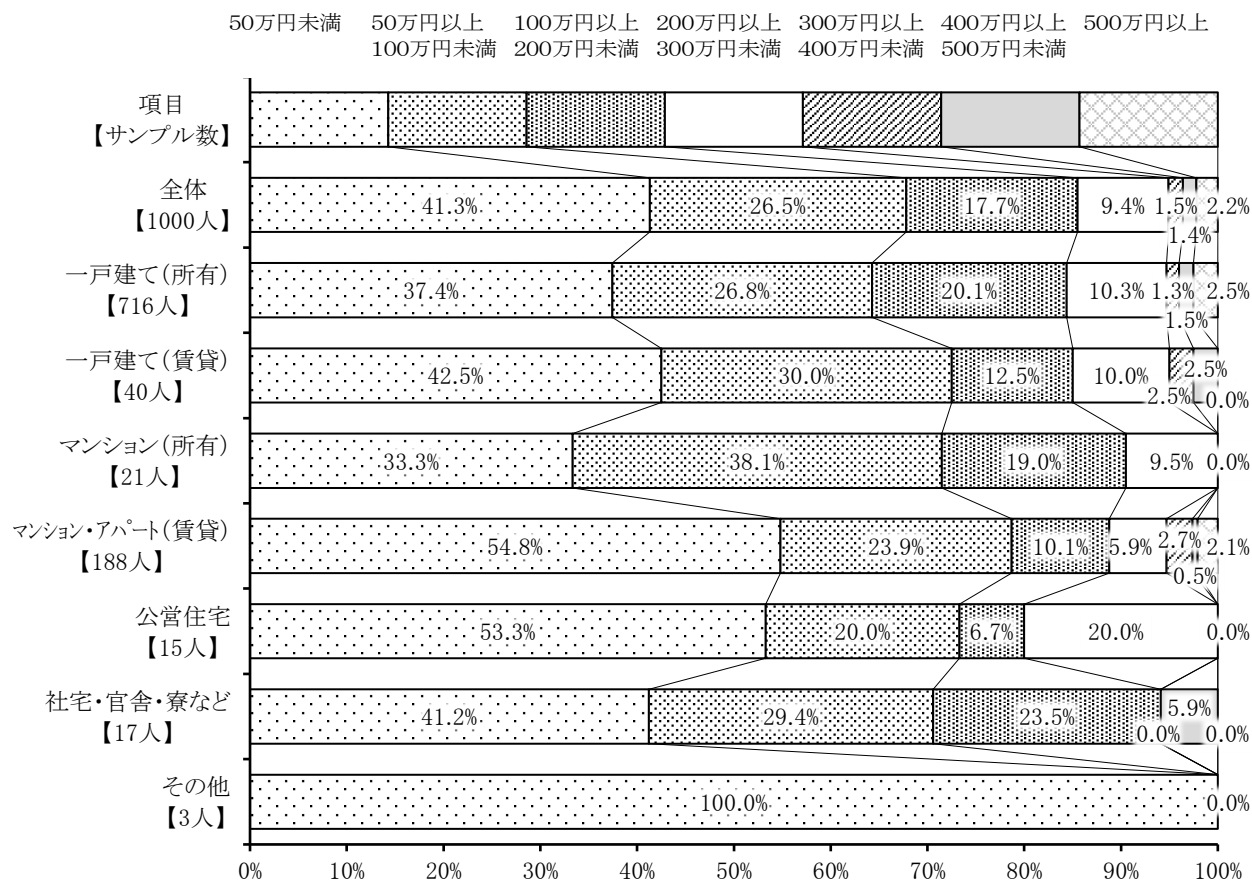
【築年数別】



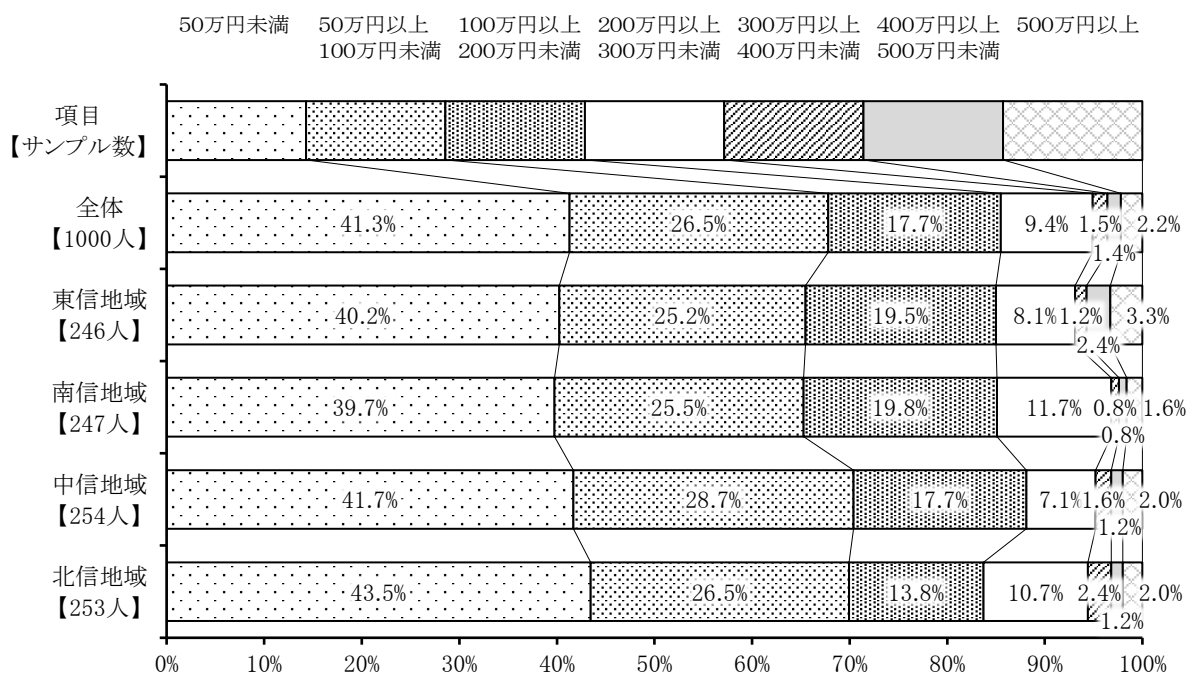
【世帯構成別】



## 【住宅形態別】



## 【居住地域別】



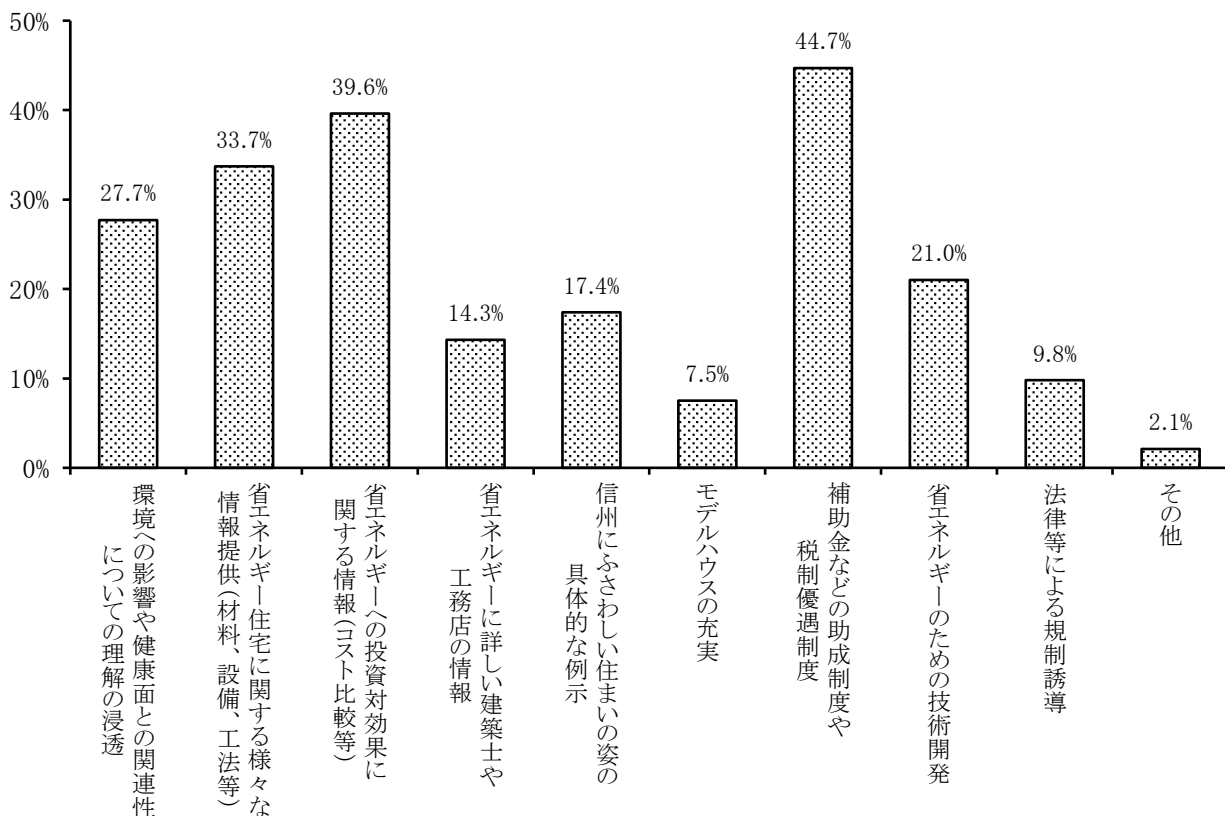
## 問19 省エネルギー住宅普及に必要なこと

### ◆ 省エネルギー住宅普及に必要なこと 「補助金などの助成制度や税制優遇制度」が4割半ば

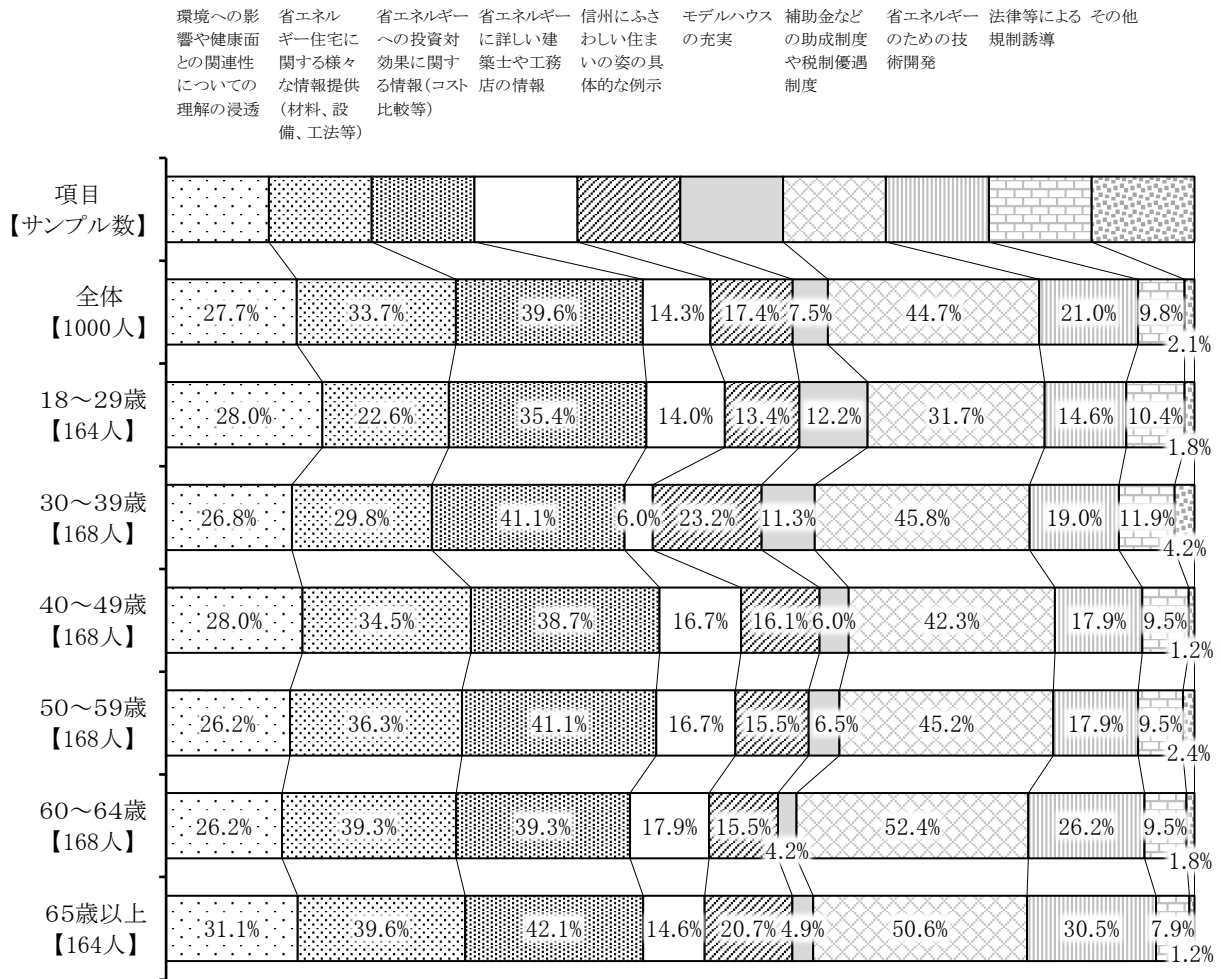
- 省エネルギー住宅を普及させるために必要なことを尋ねたところ、「補助金などの助成制度や税制優遇制度」が44.7%と最も多い。「省エネルギー住宅に関する様々な情報提供」(33.7%)や「省エネルギーへの投資対効果に関する情報」(39.6%)も3割以上と多い。
- 年代別では、18～29歳で「補助金などの助成制度や税制優遇制度」が31.7%と、他の世代より少ない。

問19 省エネルギー住宅を普及させるためには何が必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

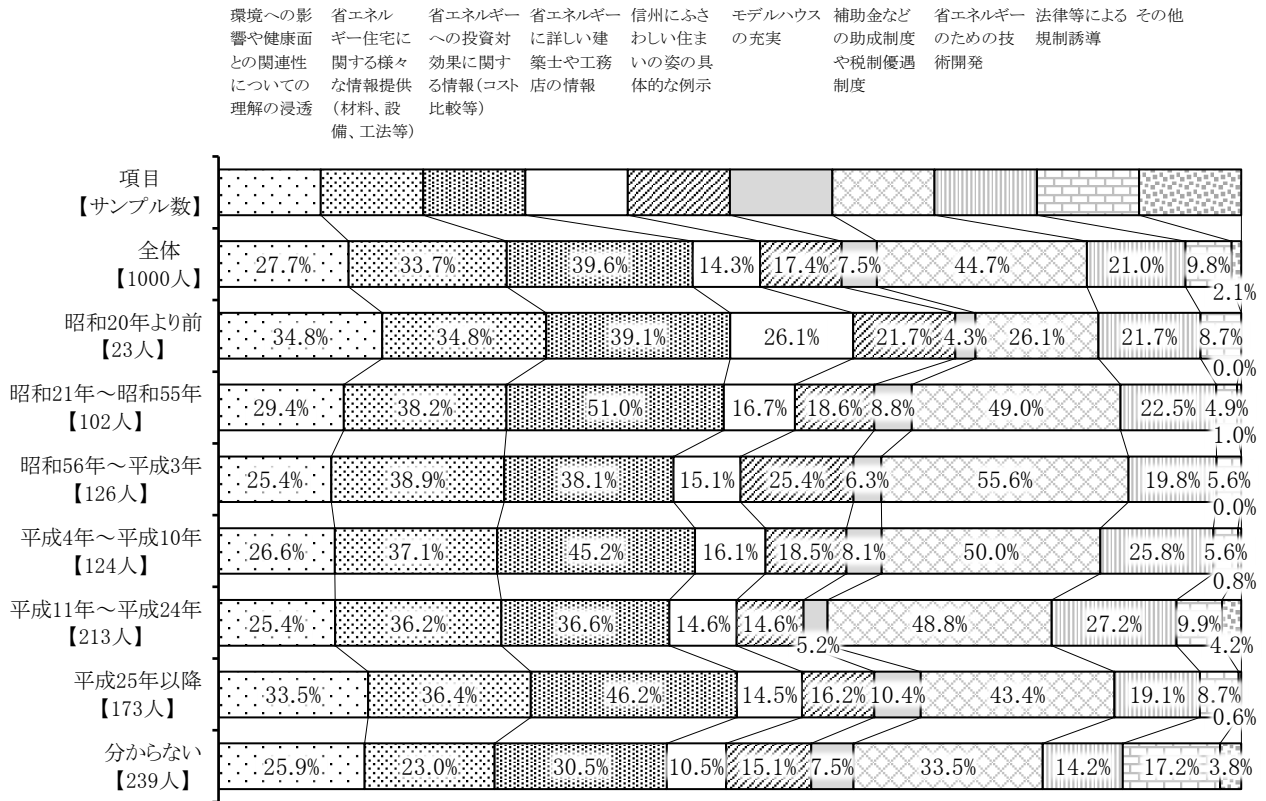
	回答者数	割合
1 環境への影響や健康面との関連性についての理解の浸透	277人	27.7%
2 省エネルギー住宅に関する様々な情報提供(材料、設備、工法等)	337人	33.7%
3 省エネルギーへの投資対効果に関する情報(コスト比較等)	396人	39.6%
4 省エネルギーに詳しい建築士や工務店の情報	143人	14.3%
5 信州にふさわしい住まいの姿の具体的な例示	174人	17.4%
6 モデルハウスの充実	75人	7.5%
7 補助金などの助成制度や税制優遇制度	447人	44.7%
8 省エネルギーのための技術開発	210人	21.0%
9 法律等による規制誘導	98人	9.8%
10 その他	21人	2.1%
サンプル数	1,000人	100.0%



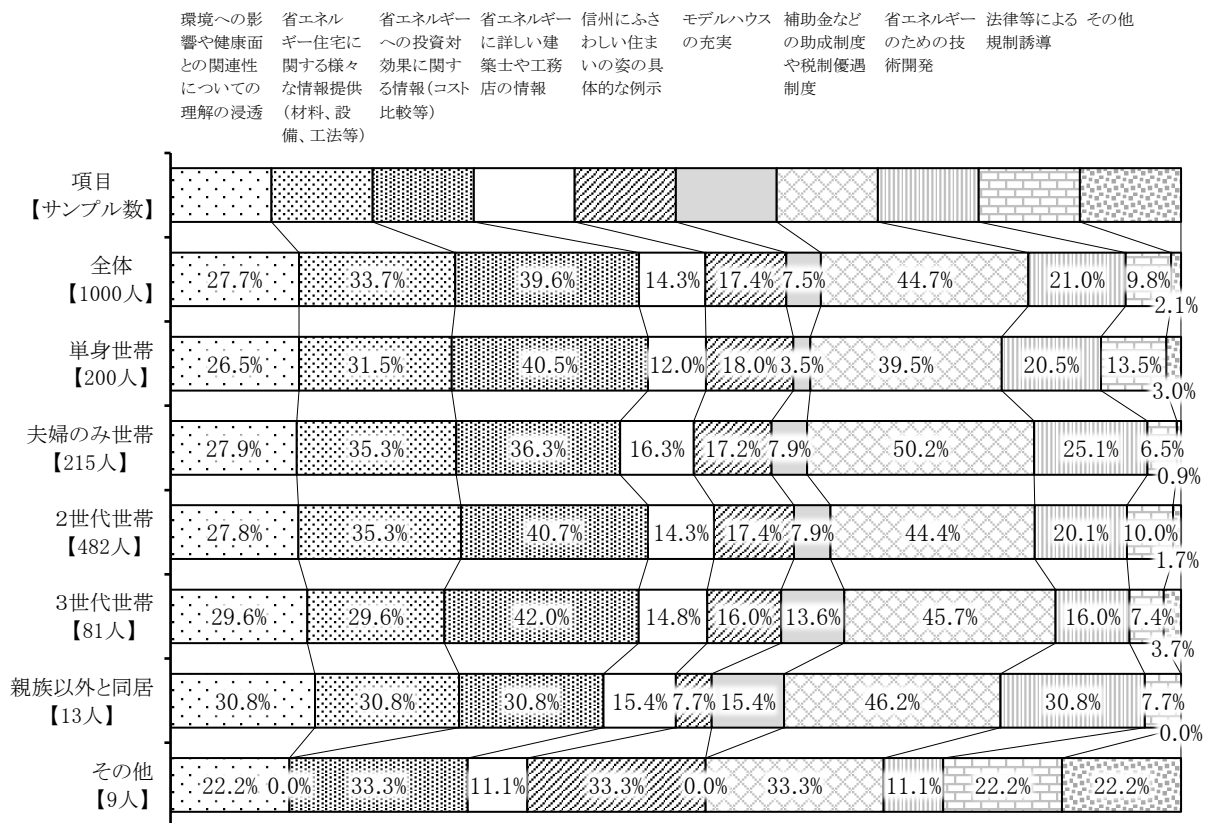
【年代別】



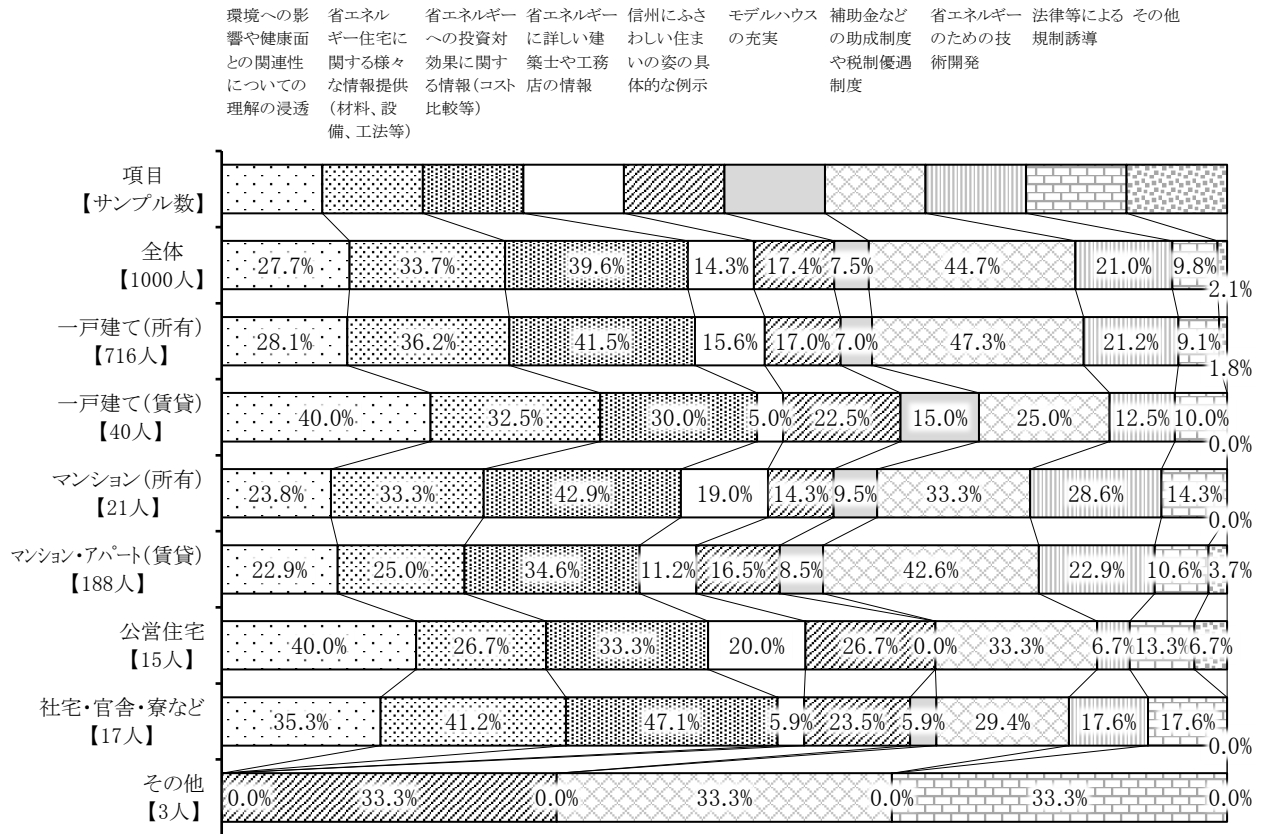
### 【築年数別】



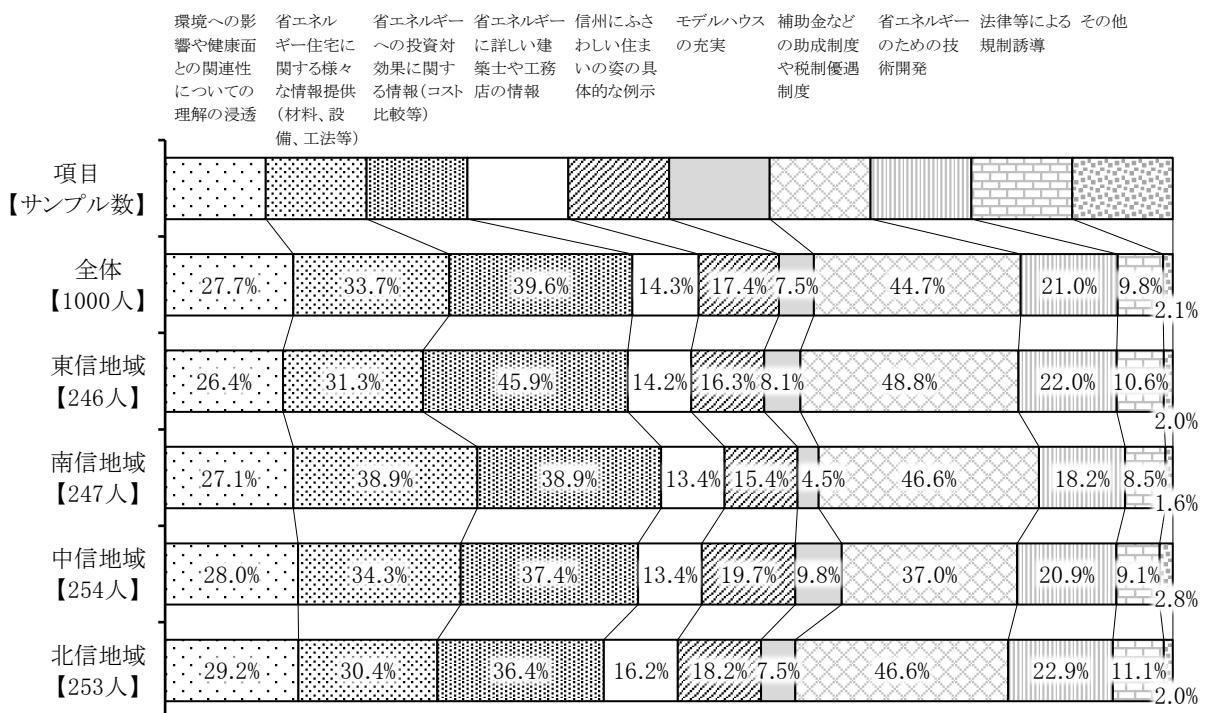
### 【世帯構成別】



## 【住宅形態別】

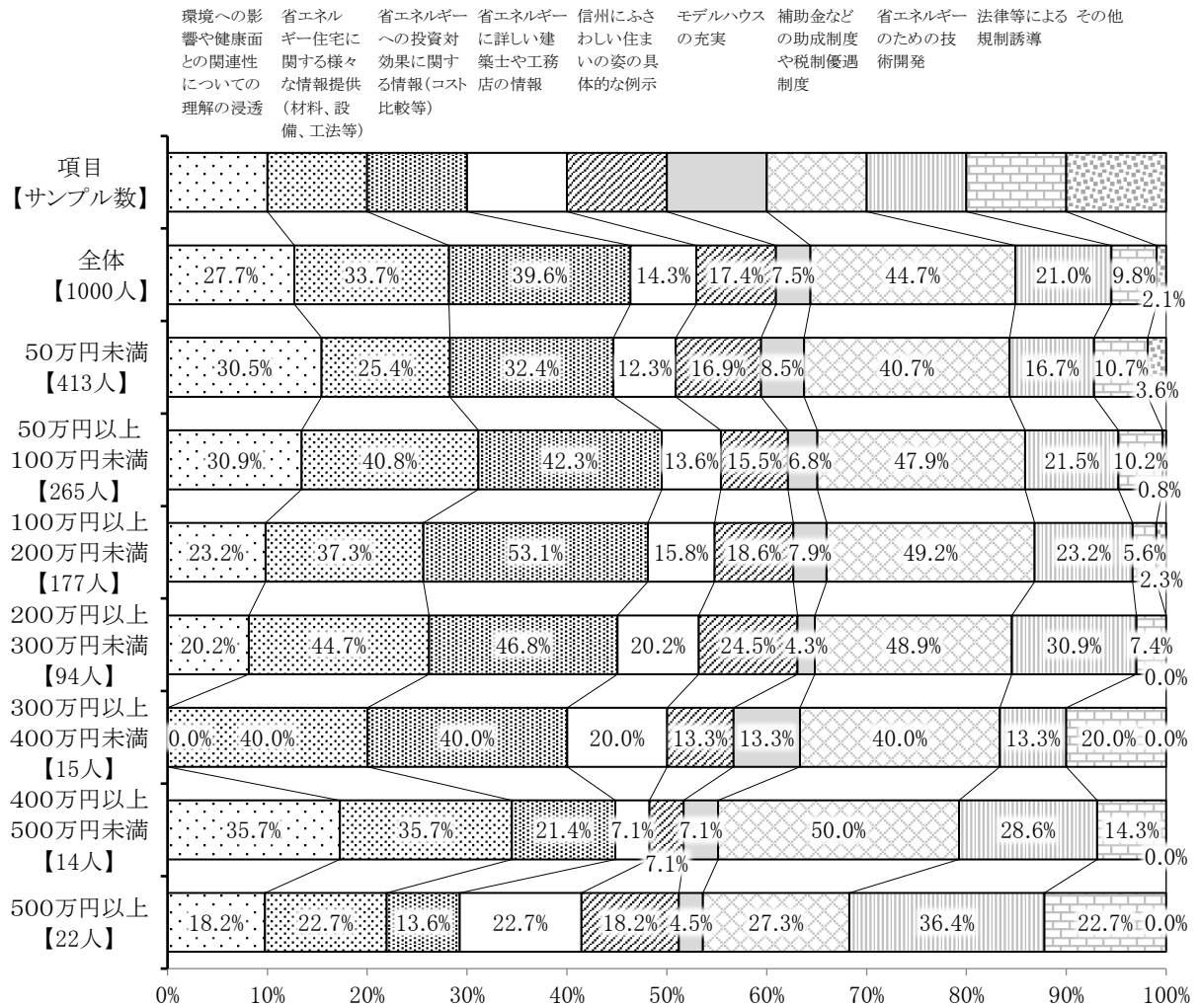


## 【居住地域別】



【設問クロス集計（問18）】

\*問18 住宅の脱炭素化に向け、省エネルギー住宅を建築する際、光熱費等の削減を見越し、いくらまでなら建設費を上乗せできますか。



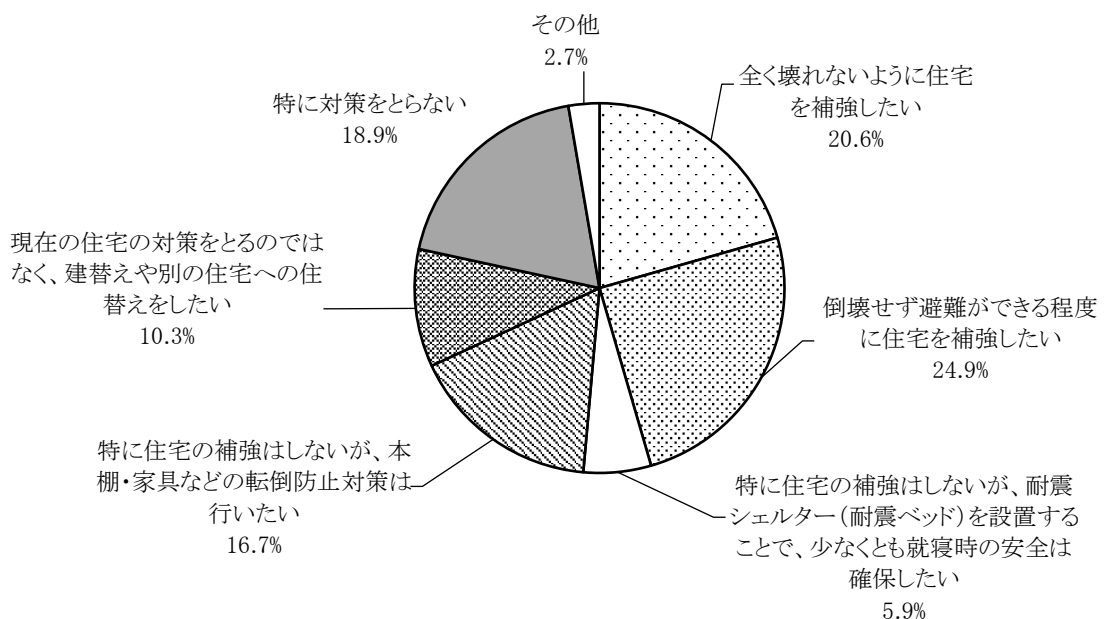
## 問20 住宅の耐震性が不足した場合の対策

### ◆ 耐震性対策「倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強」が2割半ば

- 住宅の耐震性が不足した場合の対策について、「倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい」が24.9%と最も多い。次いで「全く壊れないように住宅を補強したい」が20.6%となった。
- 年代別では、65歳以上で「倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい」が31.1%と、他の年代より多い。
- 築年数別では、昭和21年～昭和55年で「倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい」が37.3%となった。

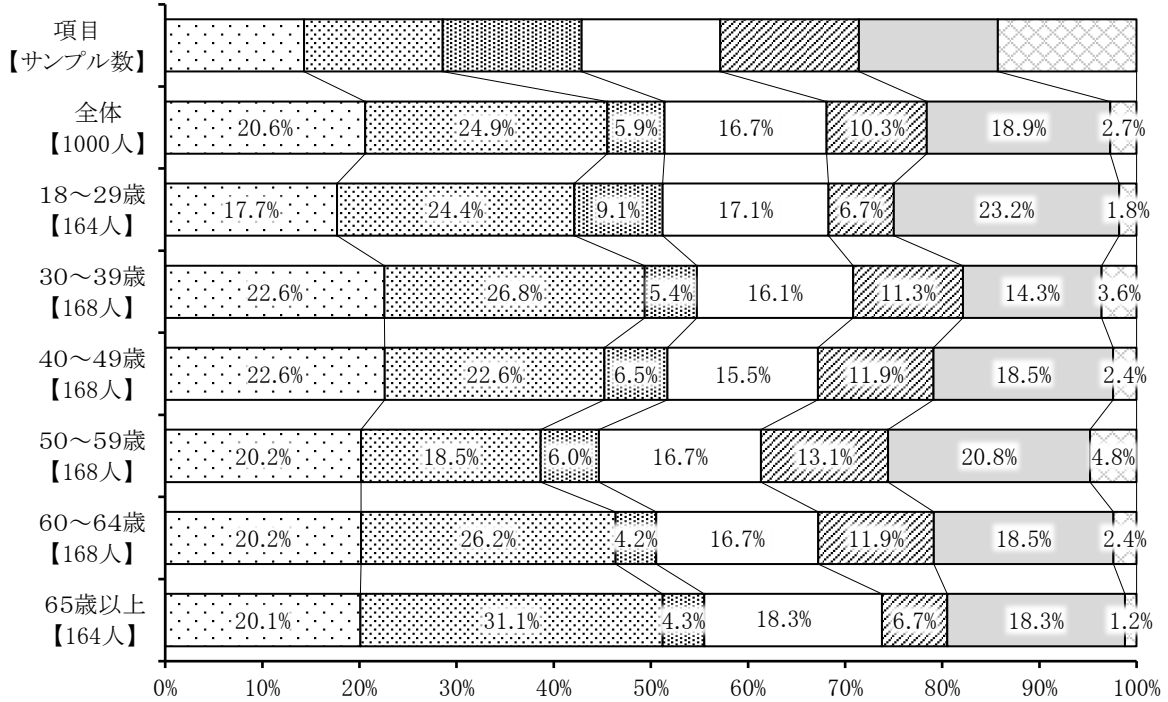
問20 仮に現在住んでいる住宅の耐震性が不足した場合、どのような対策をとろうと思いますか。

	回答者数	割合
1 全く壊れないように住宅を補強したい	206人	20.6%
2 倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい	249人	24.9%
3 特に住宅の補強はしないが、耐震シェルター(耐震ベッド)を設置することで、少なくとも就寝時の安全は確保したい	59人	5.9%
4 特に住宅の補強はしないが、本棚などの家具の転倒防止対策は行いたい	167人	16.7%
5 現在の住宅の対策をとるのではなく、建て替えや別の住宅への住み替えをしたい	103人	10.3%
6 特に対策をとらない	189人	18.9%
7 その他	27人	2.7%
サンプル数	1,000人	100.0%



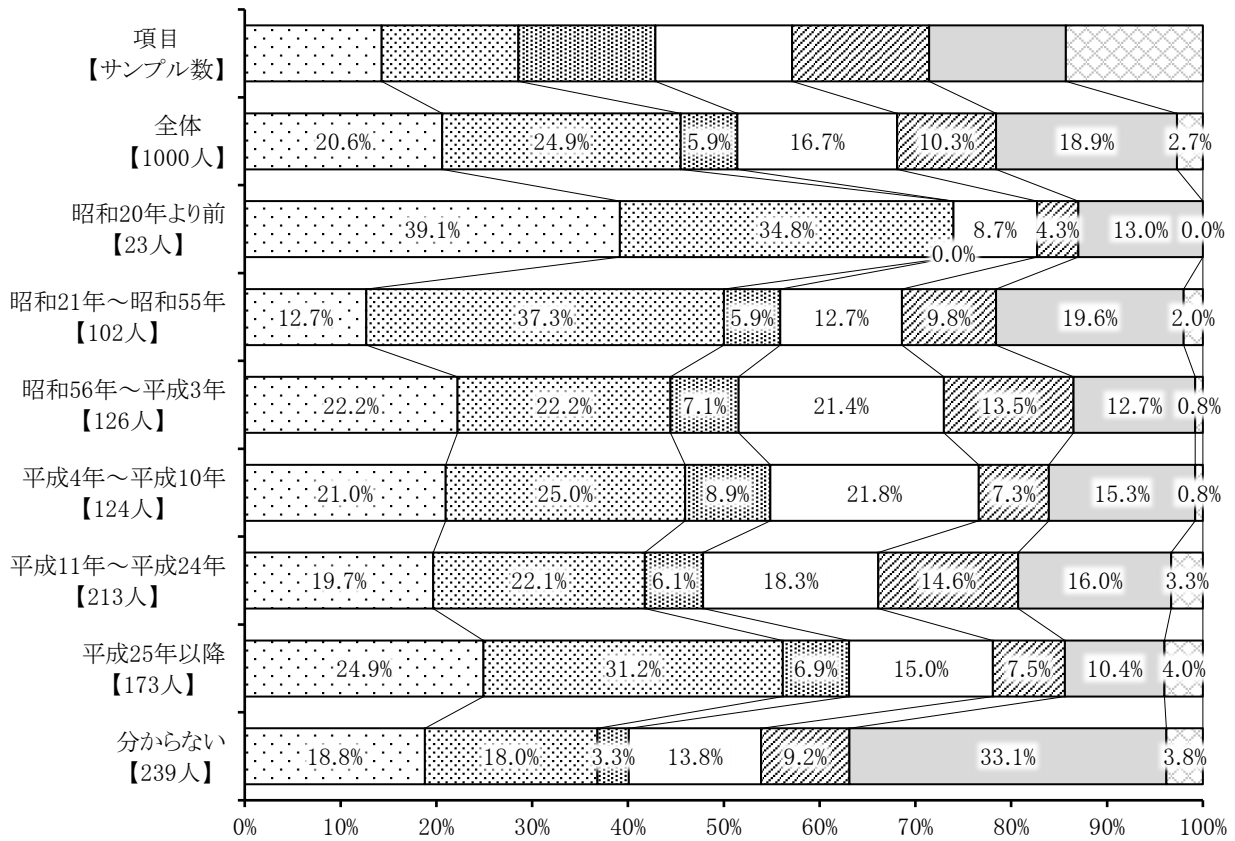
【年代別】

全く壊れないように住宅を補強したい  
 倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい  
 特に住宅の補強はしないが、耐震シェルター(耐震ベッド)を設置することで、少なくとも就寝時の安全は確保したい  
 特に住宅の補強はしないが、本棚などの家具の転倒防止対策は行いたい  
 現在の住宅の対策をとるのではなく、建て替えや別の住宅への住み替えをしたい  
 特に対策をとらない  
 その他

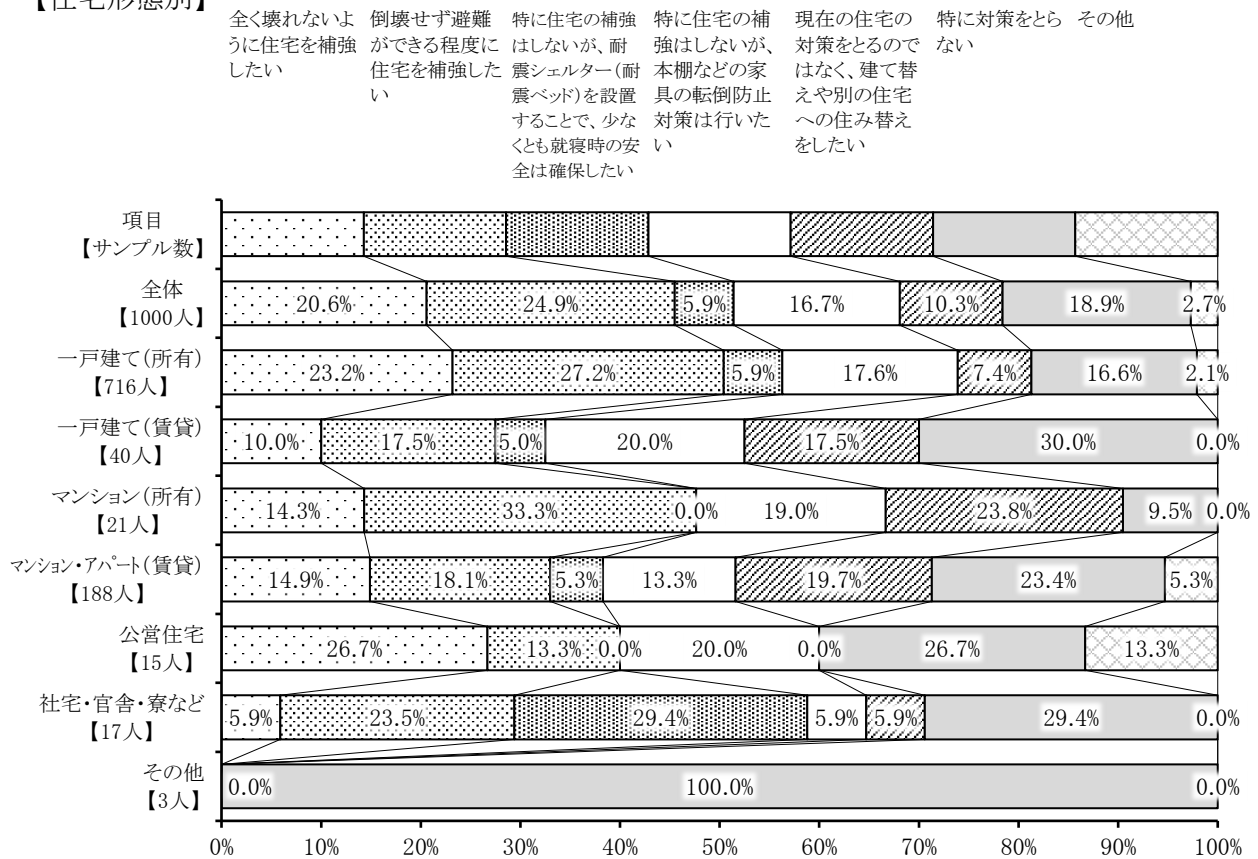


【築年数別】

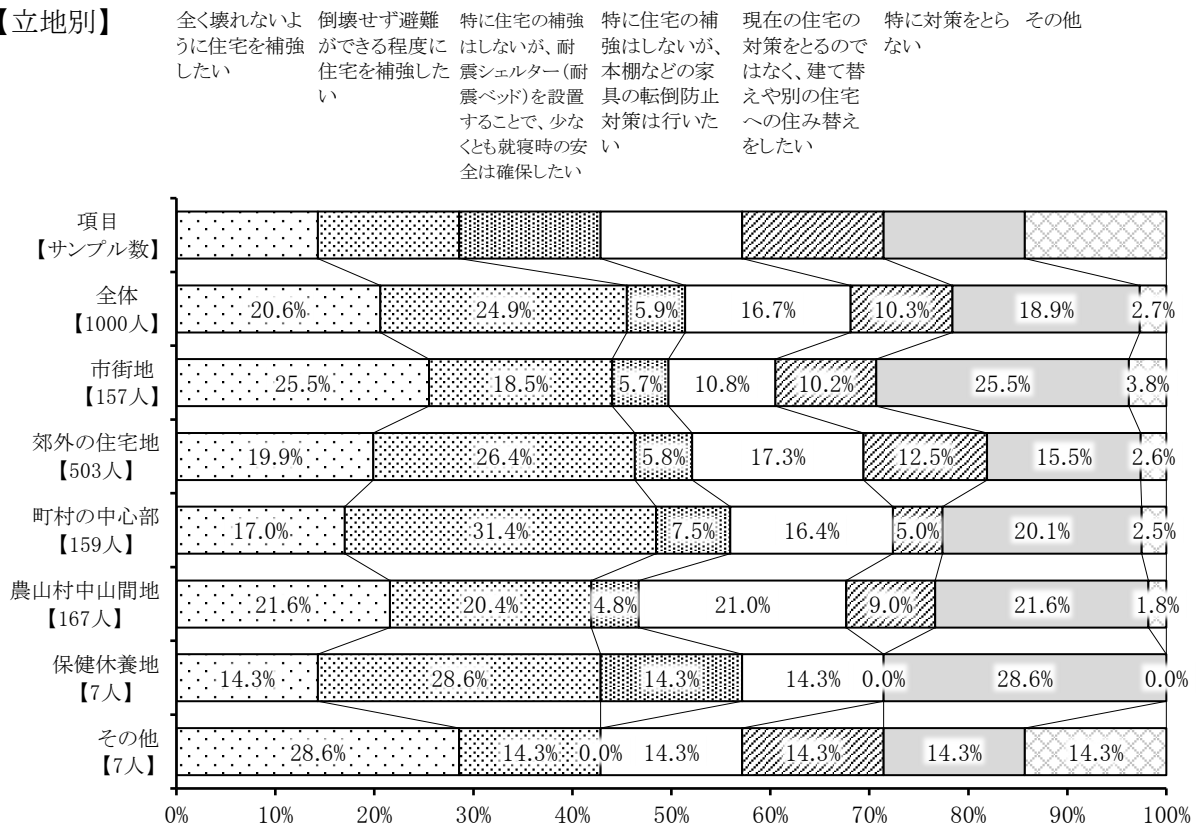
全く壊れないように住宅を補強したい  
 倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい  
 特に住宅の補強はしないが、耐震シェルター(耐震ベッド)を設置することで、少なくとも就寝時の安全は確保したい  
 特に住宅の補強はしないが、本棚などの家具の転倒防止対策は行いたい  
 現在の住宅の対策をとるのではなく、建て替えや別の住宅への住み替えをしたい  
 特に対策をとらない  
 その他



### 【住宅形態別】



### 【立地別】



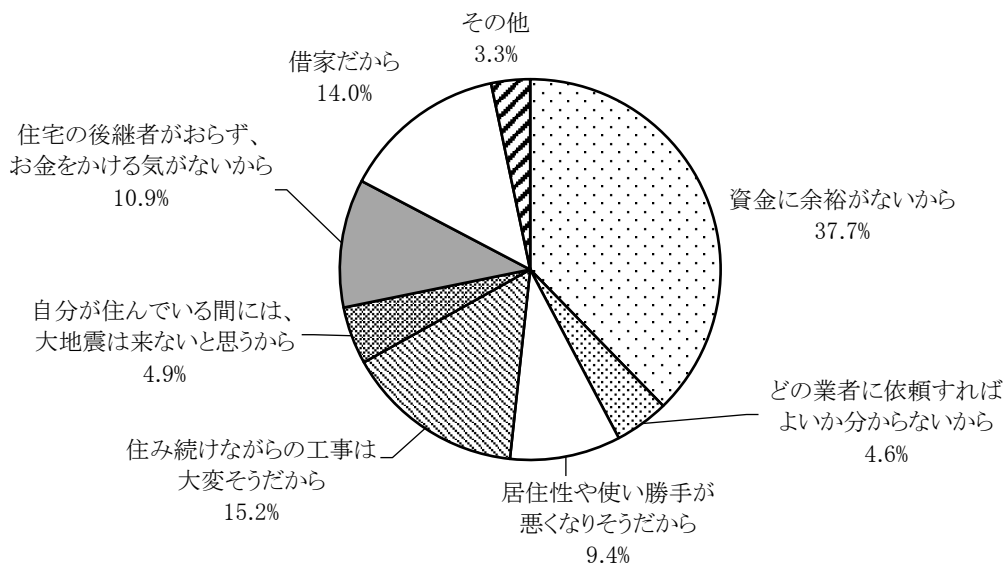
## 問21 耐震性向上で住宅の補強を考えない理由

### ◆ 住宅補強を考えない理由「資金に余裕がない」が4割弱

- 住まいの耐震性が不足した場合に住宅自体の補強は行わないとした方の主な理由は、「資金に余裕がない」が37.7%と、最も多い。
- 年代別では、30代で「借家だから」が25.5%と、他の年代より多い。65歳以上で「住宅の後継者がおらず、お金をかける気がないから」が18.8%と、他の年代より多い。

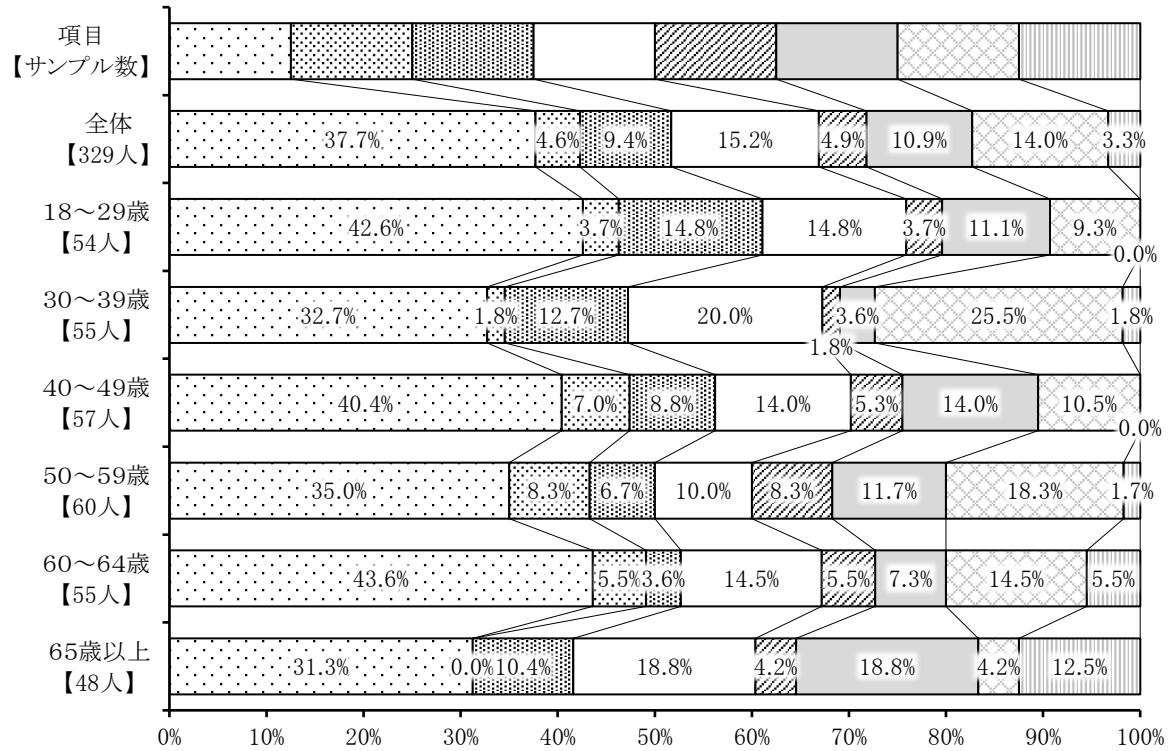
問21【問20で3から5を選んだ方におたずねします】その主な理由を次の中から1つ選んでください。

	回答者数	割合
1 資金に余裕がないから	124人	37.7%
2 どの業者に依頼すればよいか分からないから	15人	4.6%
3 居住性や使い勝手が悪くなりそうだから	31人	9.4%
4 住み続けながらの工事は大変そうだから	50人	15.2%
5 自分が住んでいる間には、大地震は来ないと思うから	16人	4.9%
6 住宅の後継者がおらず、お金をかける気がないから	36人	10.9%
7 借家だから	46人	14.0%
8 その他	11人	3.3%
サンプル数	329人	100.0%



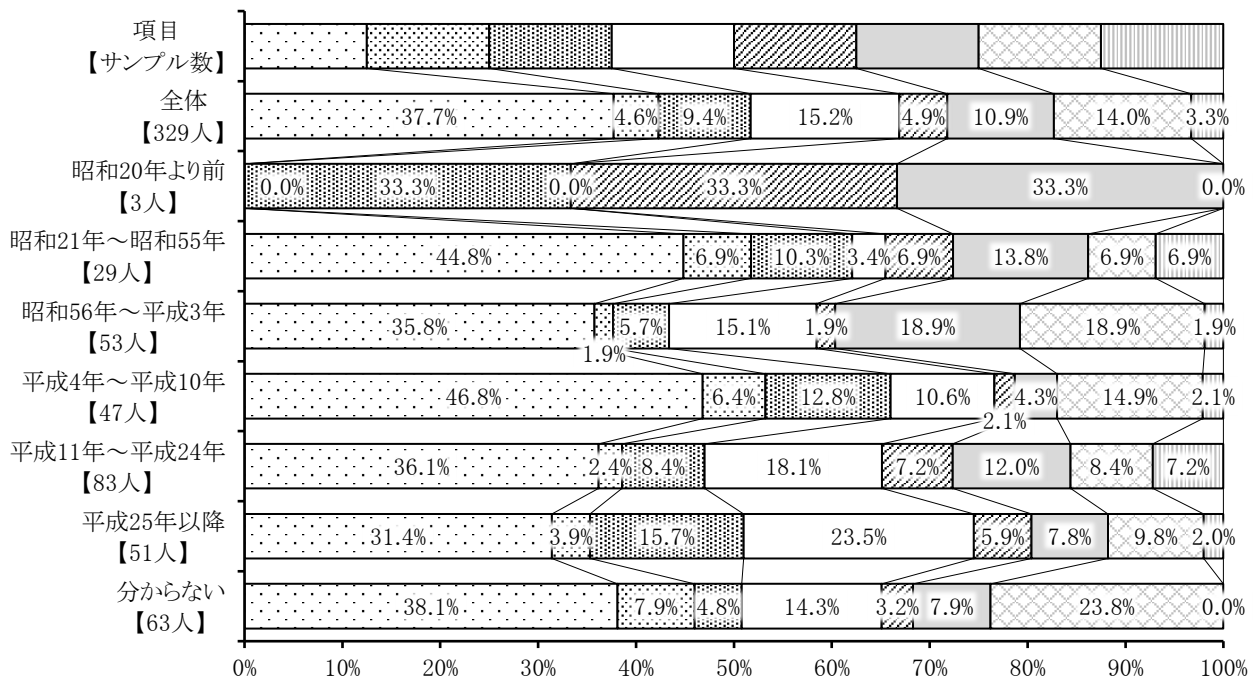
【年代別】

資金に余裕がないから    どの業者に依頼すればよいか分からないから    居住性や使い勝手が悪くなりそうだから    住み続けながらの工事は大変そうだから    自分が住んでいる間には、大地震は来ないと思うから    住宅の後継者がおらず、お金をかける気がないから    借家だから    その他



【築年数別】

資金に余裕がないから    どの業者に依頼すればよいか分からないから    居住性や使い勝手が悪くなりそうだから    住み続けながらの工事は大変そうだから    自分が住んでいる間には、大地震は来ないと思うから    住宅の後継者がおらず、お金をかける気がないから    借家だから    その他



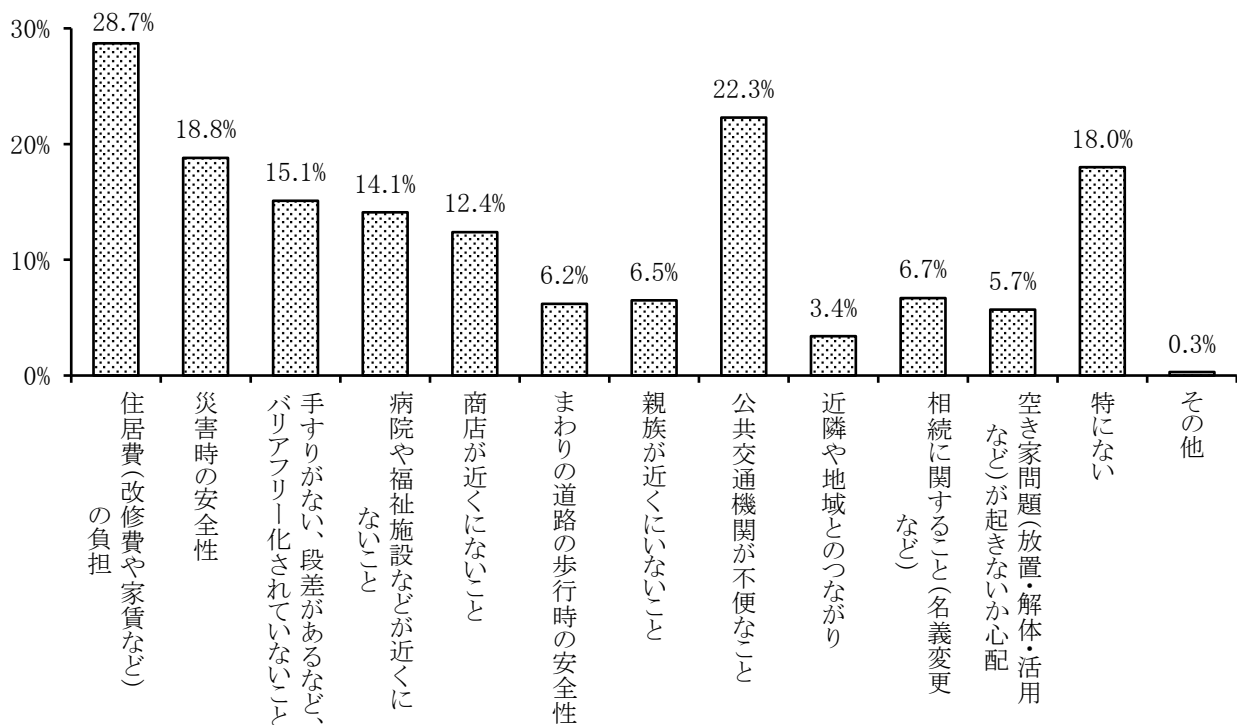
## 問22 高齢者になってから住居や地域に不安を感じること

### ◆ 高齢の不安「住居費」3割弱、「公共交通機関」2割強

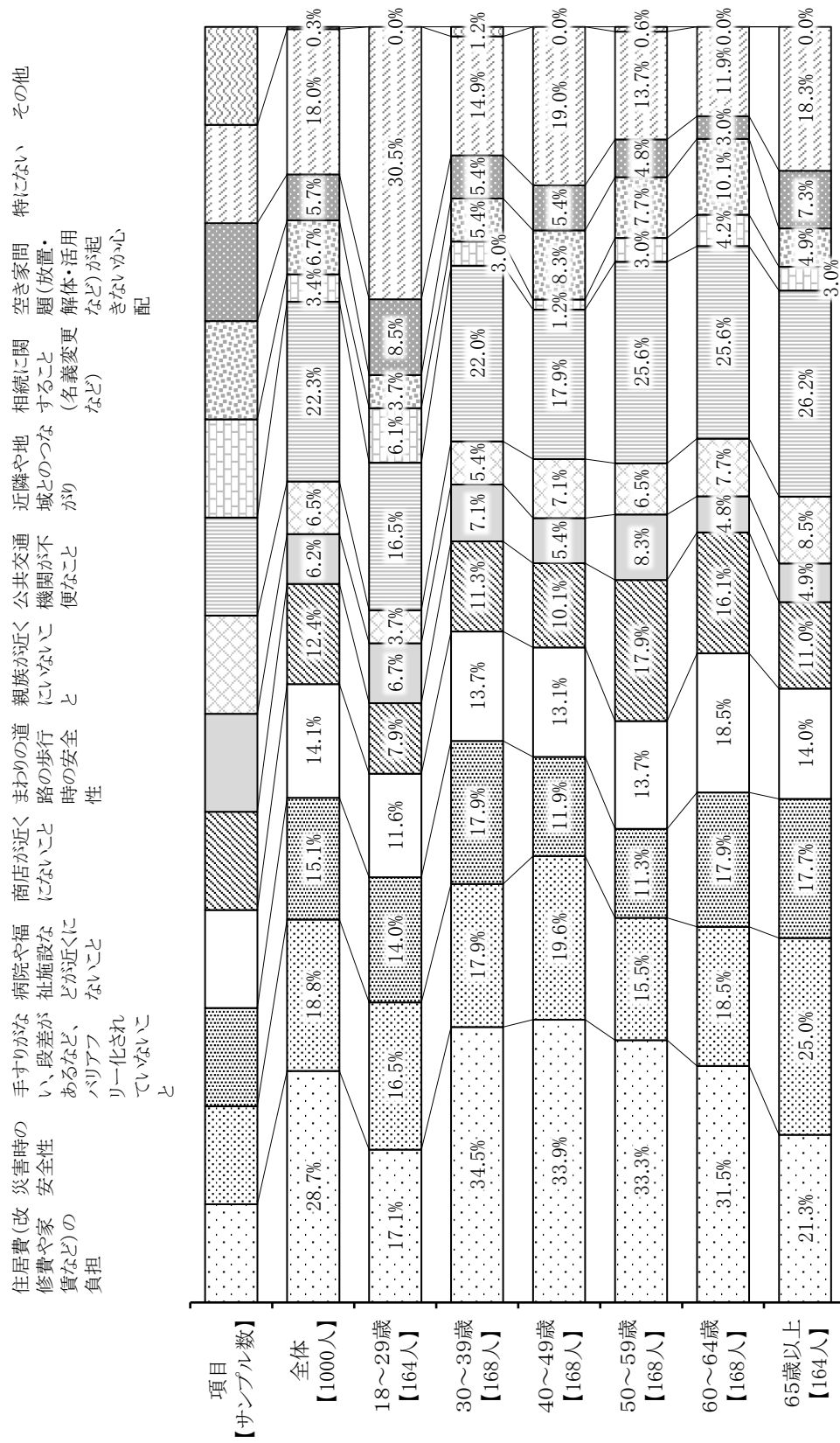
- 高齢となった時の住宅及びその地域についての不安では、「住居費(改修費や家賃など)の負担」が28.7%と最も多く、次いで「公共交通機関が不便なこと」が22.3%となった。
- 住宅形態別では、一戸建て(賃貸)で「住居費(改修費や家賃など)の負担」が42.5%と多い。
- 立地別では、農山村中山間地で「病院や福祉施設などが近くにないこと」(28.7%)、「公共交通機関が不便なこと」(29.9%)がそれぞれ3割弱と、他の立地より多い。

問22 高齢者になったとき(現在高齢者の方も含みます。)のことを考えて、現在住んでいる住宅及びその地域について不安を感じることはありますか。次の中から2つ以内で選んでください。

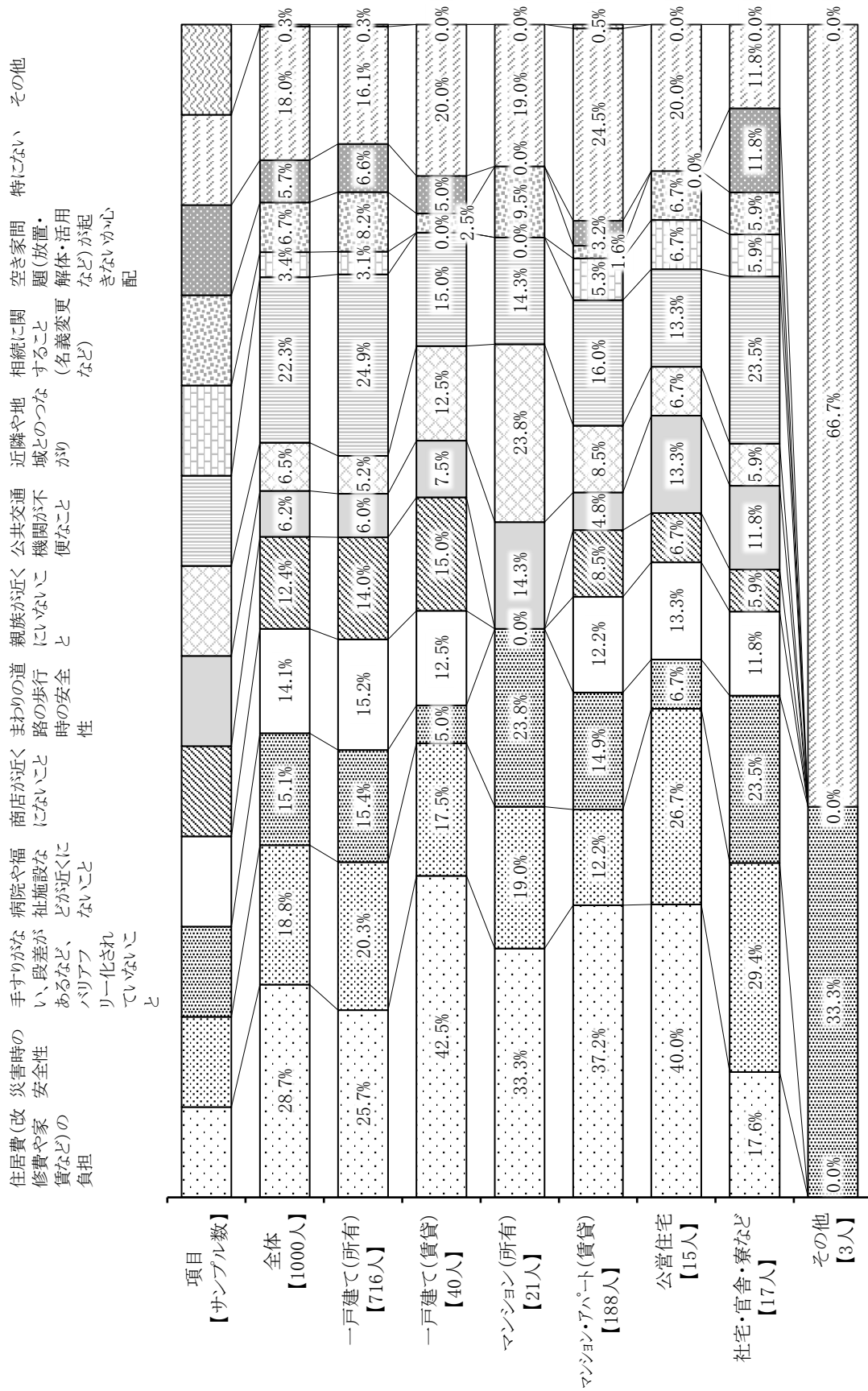
	回答者数	割合
1 住居費(改修費や家賃など)の負担	287人	28.7%
2 災害時の安全性	188人	18.8%
3 手すりがない、段差があるなど、バリアフリー化されていないこと	151人	15.1%
4 病院や福祉施設などが近くにないこと	141人	14.1%
5 商店が近くにないこと	124人	12.4%
6 まわりの道路の歩行時の安全性	62人	6.2%
7 親族が近くにないこと	65人	6.5%
8 公共交通機関が不便なこと	223人	22.3%
9 近隣や地域とのつながり	34人	3.4%
10 相続に関すること(名義変更など)	67人	6.7%
11 空き家問題(放置・解体・活用など)が起きないか心配	57人	5.7%
12 特にない	180人	18.0%
13 その他	3人	0.3%
サンプル数	1,000人	100.0%



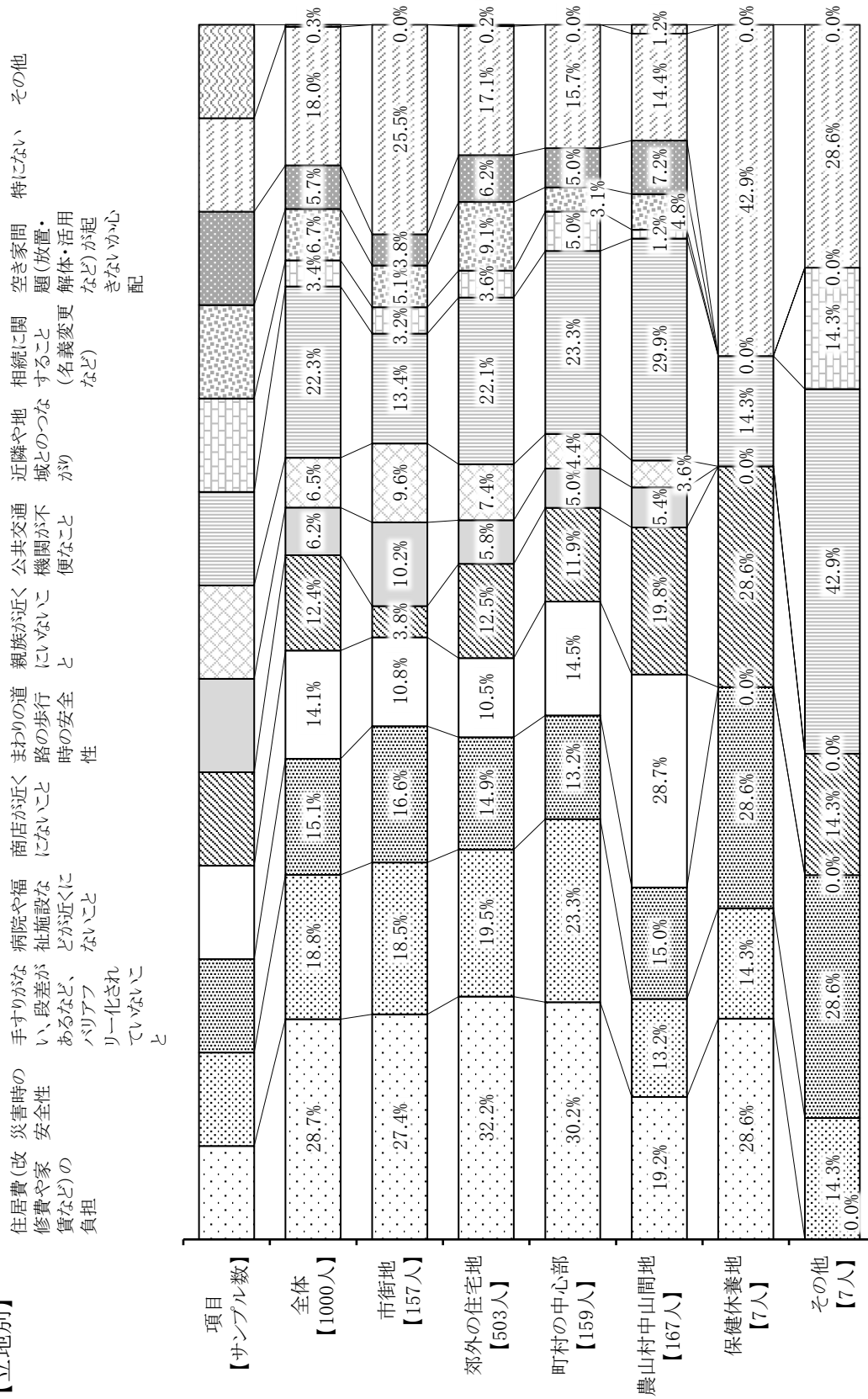
【年代別】



【住宅形態別】



【立地別】



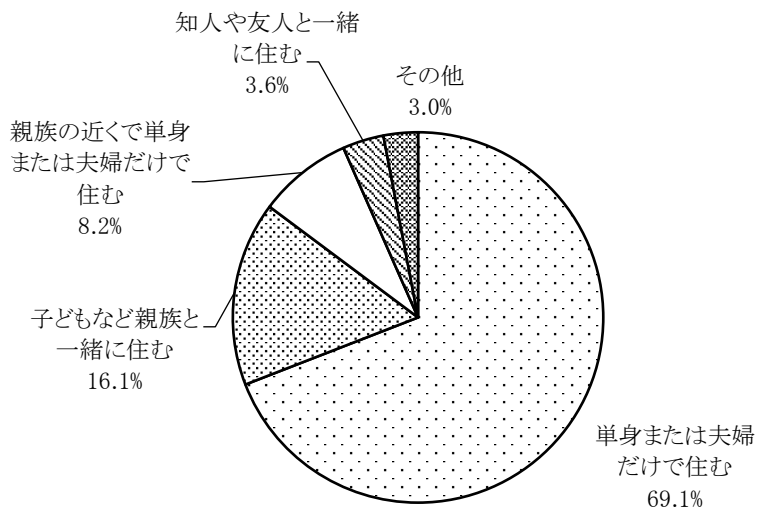
## 問23 高齢者になったときの想定同居者

### ◆ 高齢になったときの想定同居者「単身または夫婦だけ」7割弱

- 高齢者になったときの同居予定者について、「単身または夫婦だけで住む」が69.1%と最も多く、次いで「子どもなど親族と一緒に住む」が16.1%となった。
- 年代別では、60～64歳で「単身または夫婦だけで住む」が79.2%と、最も多い。

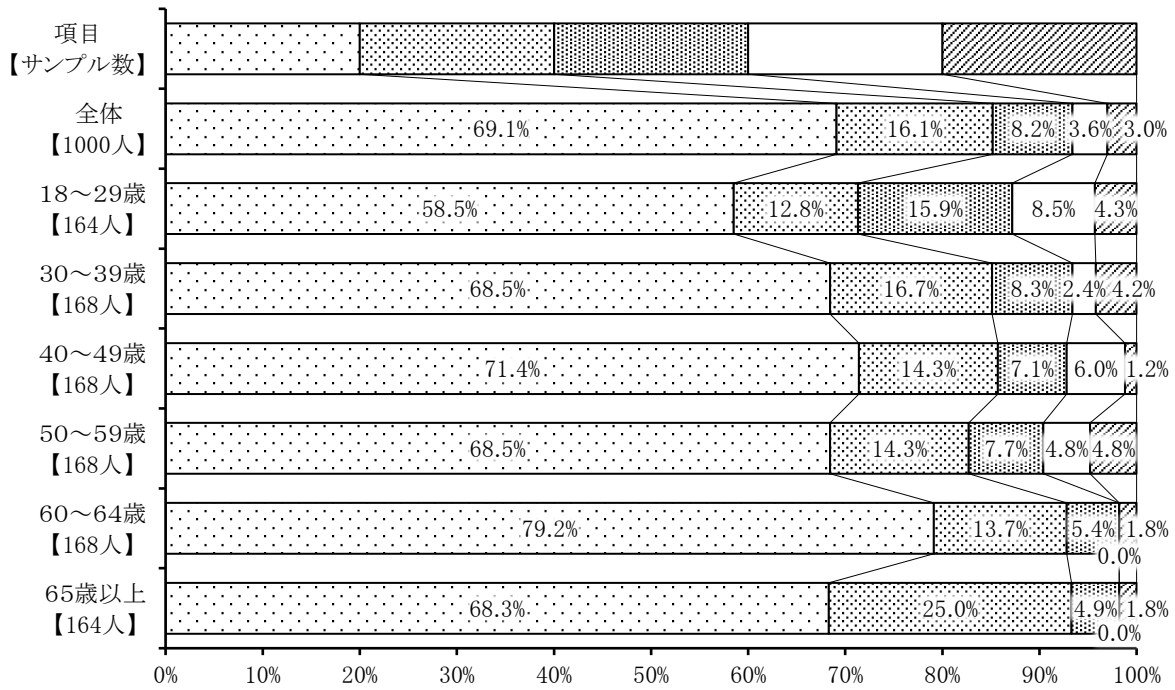
問23 高齢者になったとき(現在高齢者の方も含まます。)、誰と一緒に住む予定ですか。

	回答者数	割合
1 単身または夫婦だけで住む	691人	69.1%
2 子どもなど親族と一緒に住む	161人	16.1%
3 親族の近くで単身または夫婦だけで住む	82人	8.2%
4 知人や友人と一緒に住む	36人	3.6%
5 その他	30人	3.0%
サンプル数	1,000人	100.0%



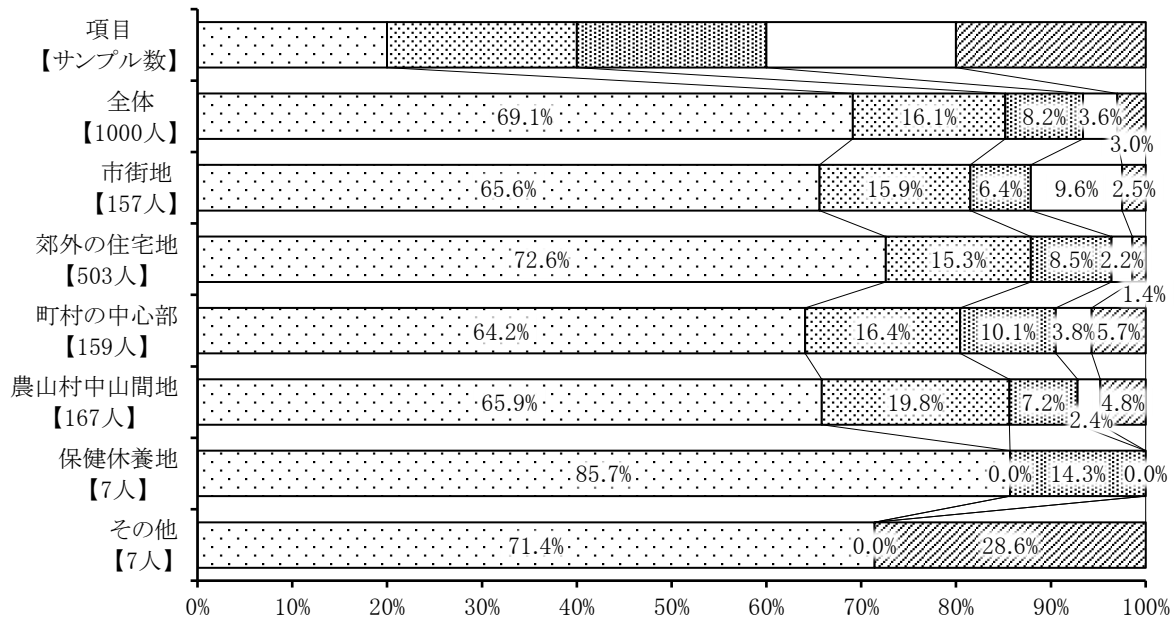
【年代別】

単身または夫婦だけで住む    子どもなど親族と一緒に住む    親族の近くで単身または夫婦だけで住む    知人や友人と一緒に住む    その他



【立地別】

単身または夫婦だけで住む    子どもなど親族と一緒に住む    親族の近くで単身または夫婦だけで住む    知人や友人と一緒に住む    その他



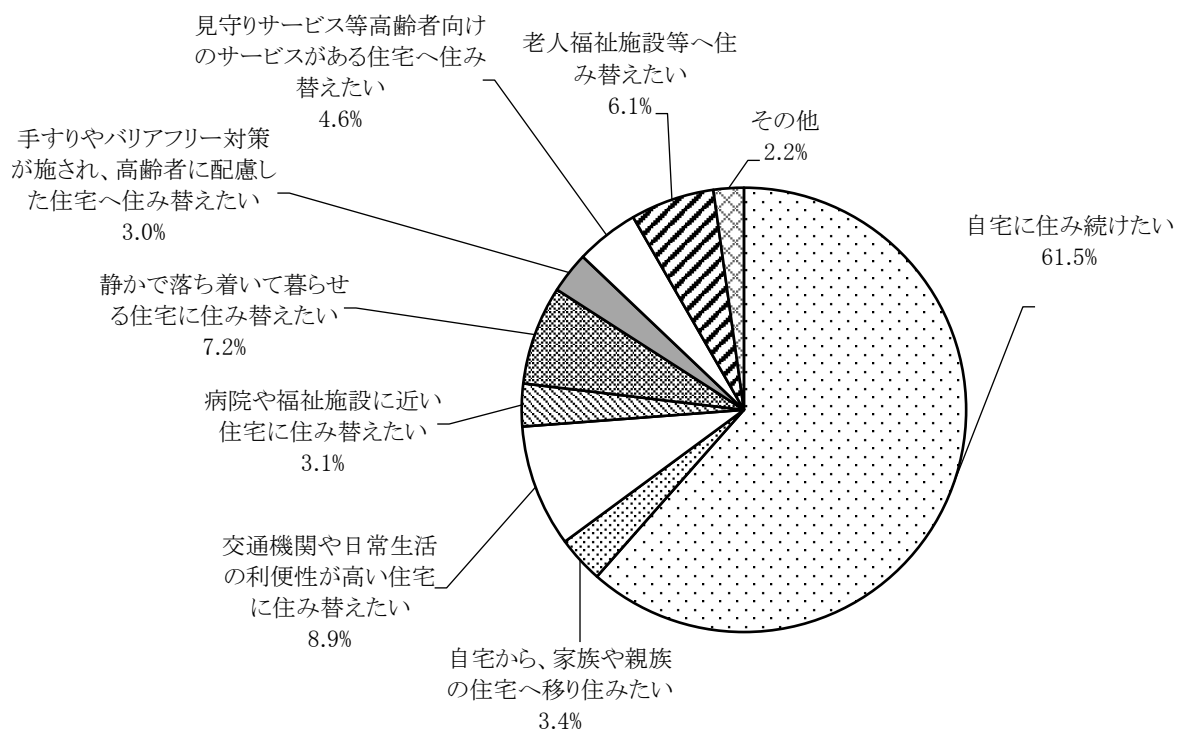
## 問24 高齢者になったときの住み替え意向

### ◆ 高齢者になったときの住み替え意向「自宅に住み続けたい」が6割強

- 高齢者になったときの住み替え意向では、「自宅に住み続けたい」が61.5%で最も多い。
- 年代別では、65歳以上で「自宅に住み続けたい」が75.6%と、他の年代より多い。
- 世帯構成別では、3世代同居で「自宅に住み続けたい」が71.6%と、他の世帯より多い。

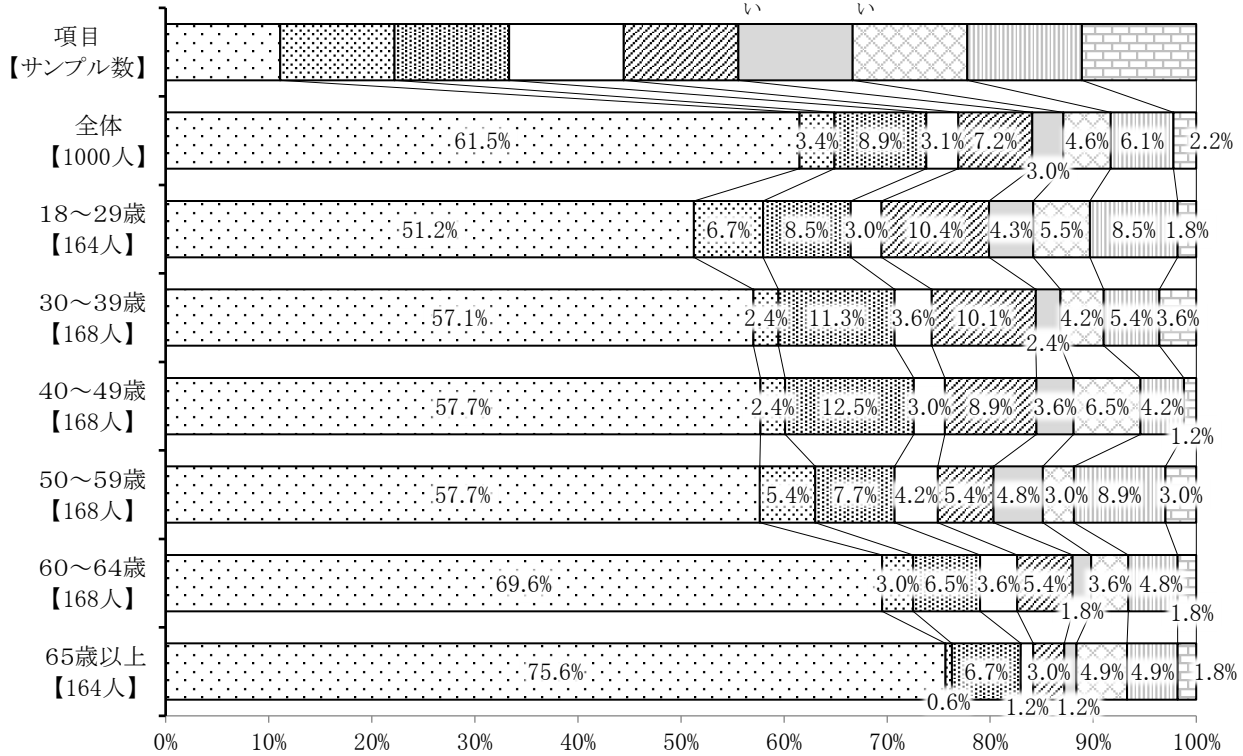
問24 高齢者になったとき(現在高齢者の方も含まず。)、住み替えたいと思いますか。

	回答者数	割合
1 自宅に住み続けたい	615人	61.5%
2 自宅から、家族や親族の住宅へ移り住みたい	34人	3.4%
3 交通機関や日常生活の利便性が高い住宅に住み替えたい	89人	8.9%
4 病院や福祉施設に近い住宅に住み替えたい	31人	3.1%
5 静かで落ち着いて暮らせる住宅に住み替えたい	72人	7.2%
6 手すりやバリアフリー対策が施され、高齢者に配慮した住宅へ住み替えたい	30人	3.0%
7 見守りサービス等高齢者向けのサービスがある住宅へ住み替えたい	46人	4.6%
8 老人福祉施設等へ住み替えたい	61人	6.1%
9 その他	22人	2.2%
サンプル数	1,000人	100.0%



【年代別】

自宅に住み続けたい  
 自宅から、家族や親族の住宅へ移り住みたい  
 交通機関や日常生活の利便性が高い住宅に住み替えたい  
 病院や福祉施設に近い住宅に住み替えたい  
 静かで落ち着いた住宅に住み替えたい  
 手すりやバリアフリー対策が施され、高齢者に配慮した住宅に住み替えたい  
 見守りサービス等高齢者向けのサービスがある住宅に住み替えたい  
 老人福祉施設等へ住み替えたい  
 その他

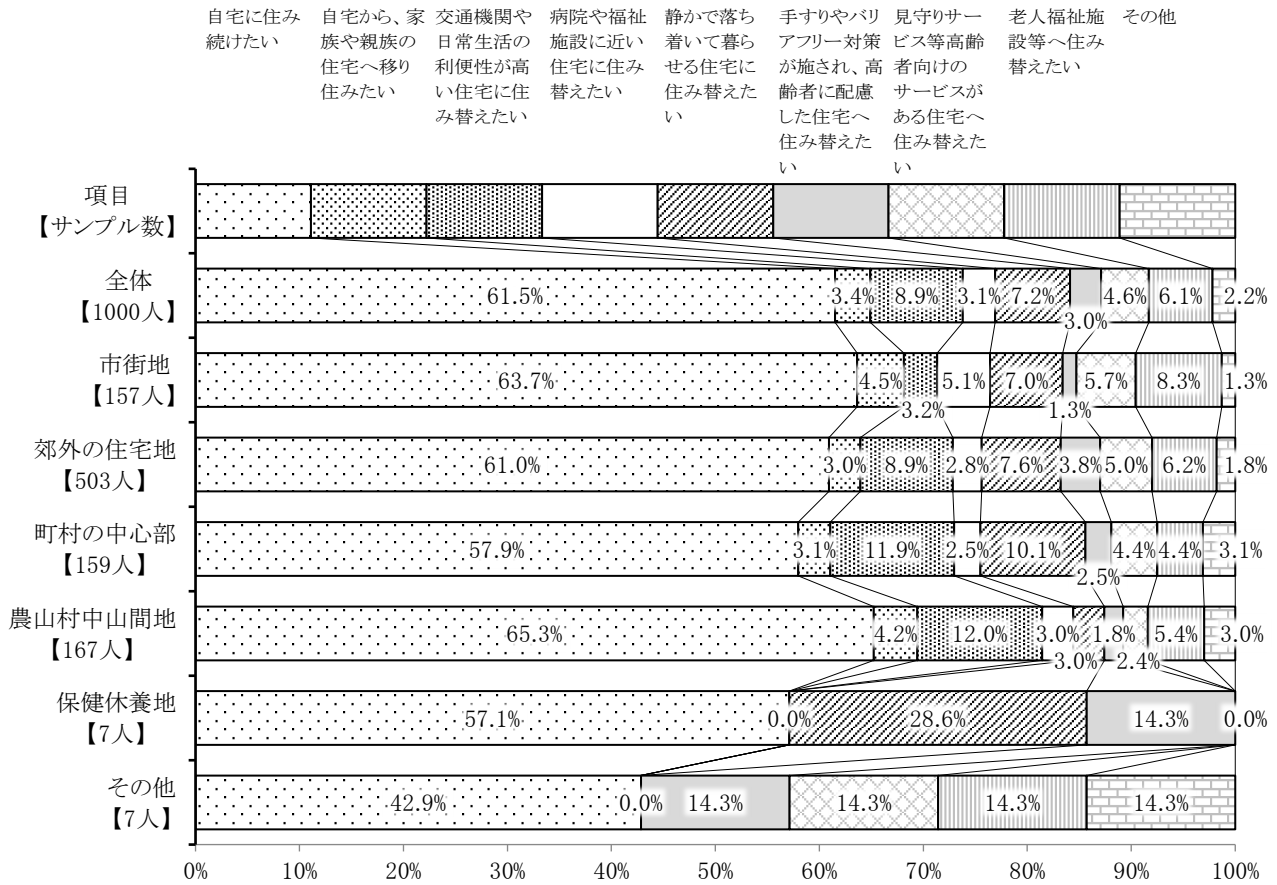


【世帯構成別】

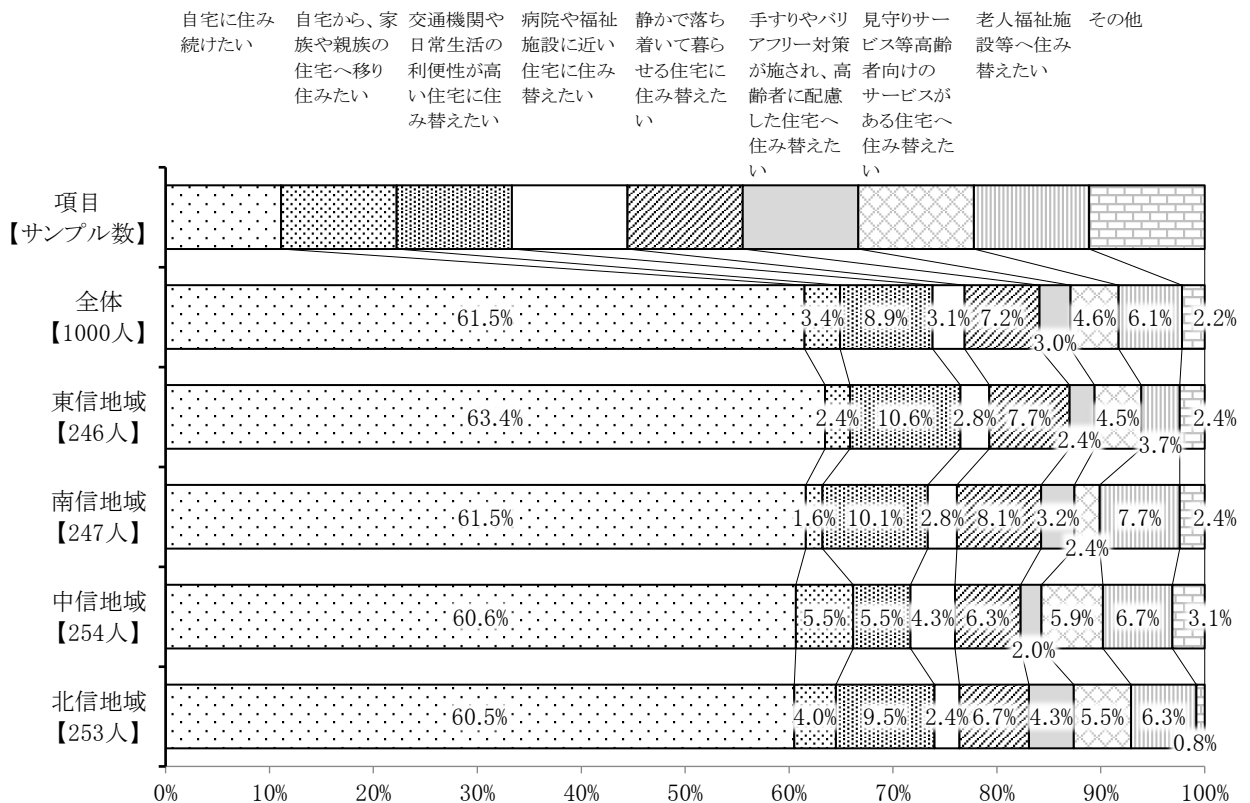
自宅に住み続けたい  
 自宅から、家族や親族の住宅へ移り住みたい  
 交通機関や日常生活の利便性が高い住宅に住み替えたい  
 病院や福祉施設に近い住宅に住み替えたい  
 静かで落ち着いた住宅に住み替えたい  
 手すりやバリアフリー対策が施され、高齢者に配慮した住宅に住み替えたい  
 見守りサービス等高齢者向けのサービスがある住宅に住み替えたい  
 老人福祉施設等へ住み替えたい  
 その他



【立地別】



【居住地域別】

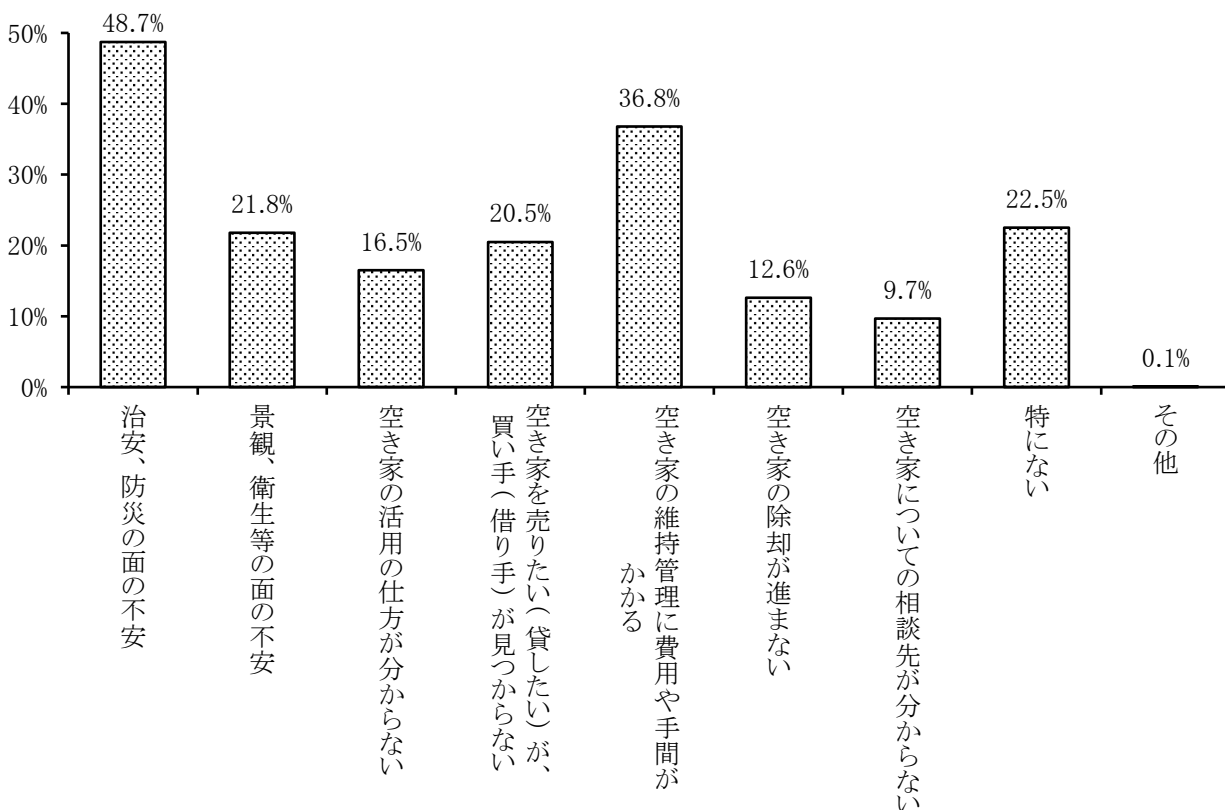


◆ 空き家に対する不安「治安、防災」5割弱

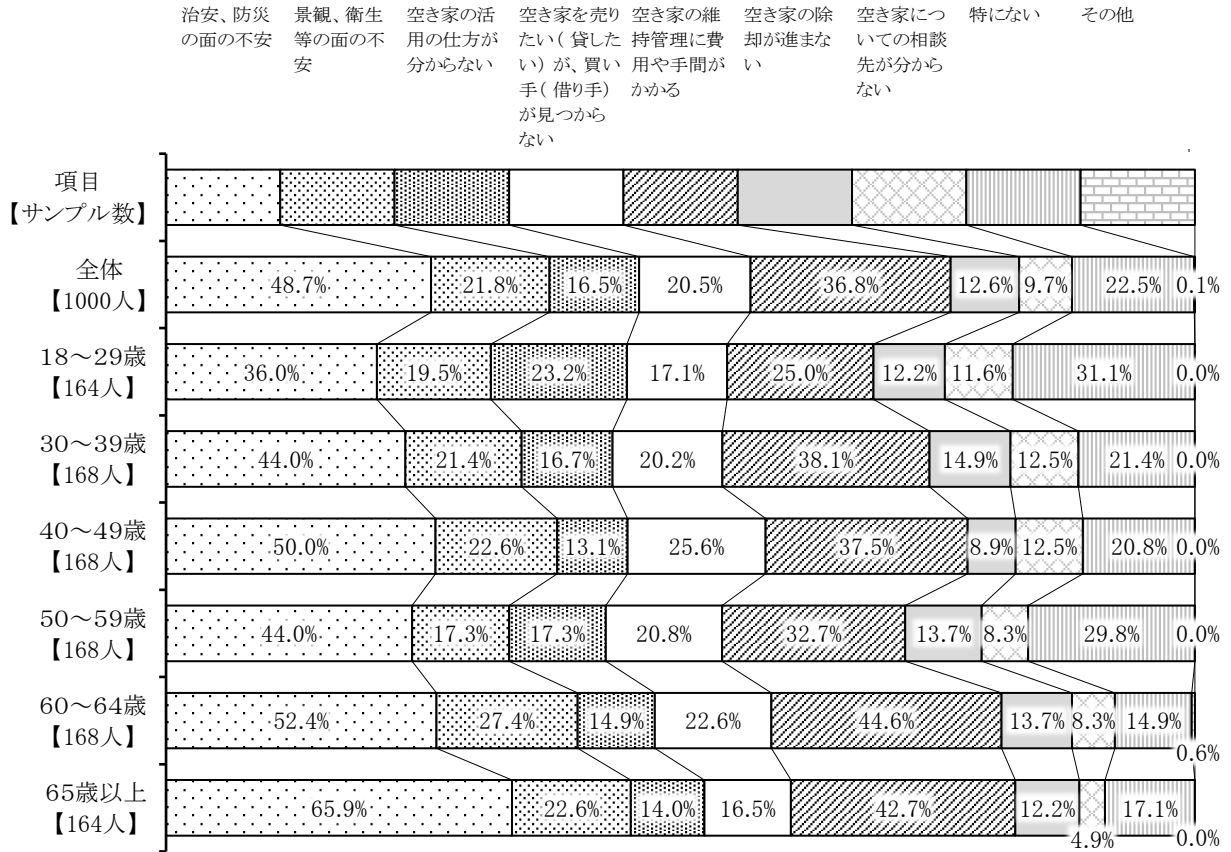
- 空き家がある場合に生じる不安や問題について、「治安、防災の面の不安」が48.7%で最も多い。次いで、「空き家の維持管理に費用や手間がかかる」が36.8%となった。
- 年代別では、65歳以上で「治安、防災面の不安」が65.9%と、他の年代より多い。
- 立地別では、市街地で「空き家の維持管理に費用や手間がかかる」が24.2%と、他の立地より少ない。

問25 空き家がある場合に生じる不安や問題等は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。  
(空き家を所有していない方は空き家を所有していると仮定して回答ください。)

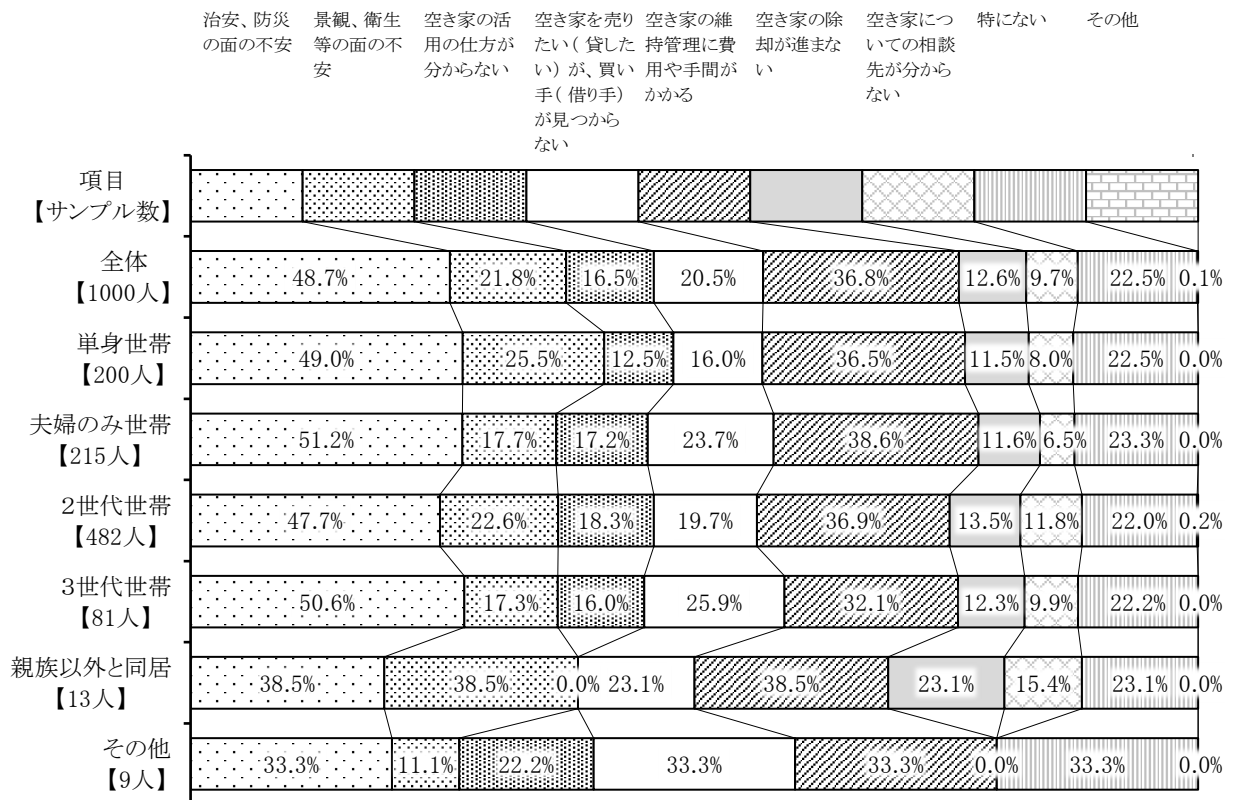
	回答者数	割合
1 治安、防災の面の不安	487人	48.7%
2 景観、衛生等の面の不安	218人	21.8%
3 空き家の活用の仕方が分からない	165人	16.5%
4 空き家を売りたい(貸したい)が、 買い手(借り手)が見つからない	205人	20.5%
5 空き家の維持管理に費用や手間がかかる	368人	36.8%
6 空き家の除却が進まない	126人	12.6%
7 空き家についての相談先が分からない	97人	9.7%
8 特にない	225人	22.5%
9 その他	1人	0.1%
サンプル数	1,000人	100.0%



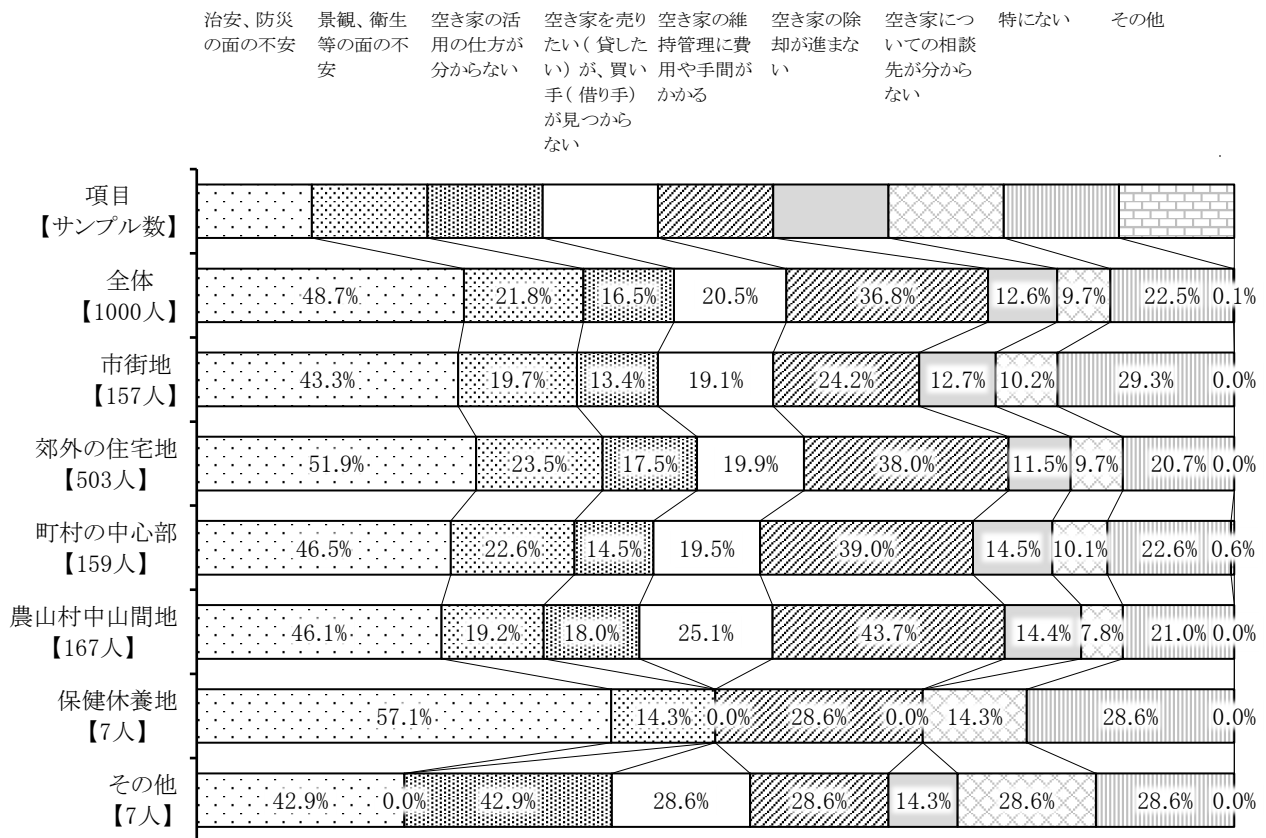
【年代別】



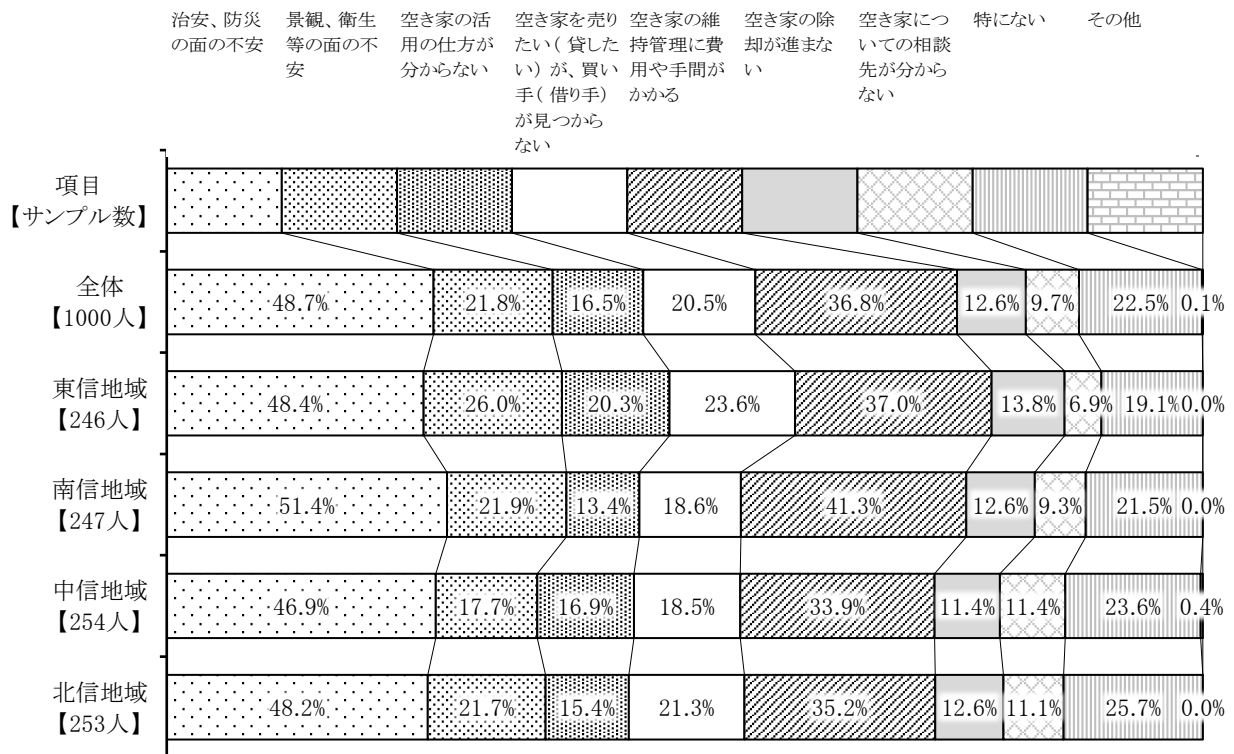
【世帯構成別】



### 【立地別】



### 【居住地域別】



## 問26 空き家利活用の意向

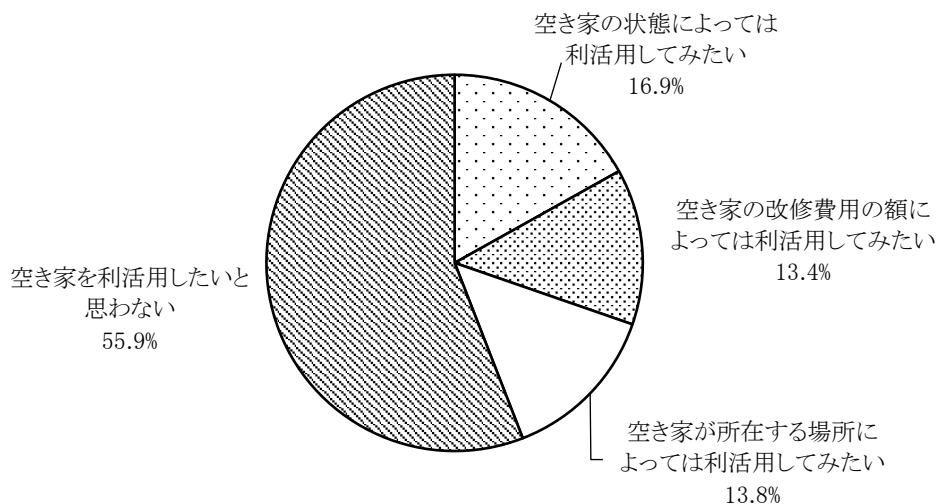
(R2調査 問25)

### ◆ 空き家を『利活用してみたい』は4割半ば

- 空き家の利活用意向では、「空き家の状態によっては利活用してみたい」(16.9%)と「空き家の改修費用の額によっては利活用してみたい」(13.4%)と「空き家が所在する場所によっては利活用してみたい」(13.8%)をあわせた『利活用してみたい』は44.1%となった。一方、「空き家を利活用したいと思わない」は55.9%となった。
- 年代別では、30代から40代で『利活用してみたい』が半数を超える。
- 住宅形態別では、『利活用してみたい』が一戸建て(賃貸)で57.5%と半数を超えるのに対し、一戸建て(所有)では41.3%となった。

問26 あなたは空き家を利活用してみたいと思いますか。

	回答者数	割合
1 空き家の状態によっては利活用してみたい	169人	16.9%
2 空き家の改修費用の額によっては利活用してみたい	134人	13.4%
3 空き家が所在する場所によっては利活用してみたい	138人	13.8%
4 空き家を利活用したいと思わない	559人	55.9%
サンプル数	1,000人	100.0%



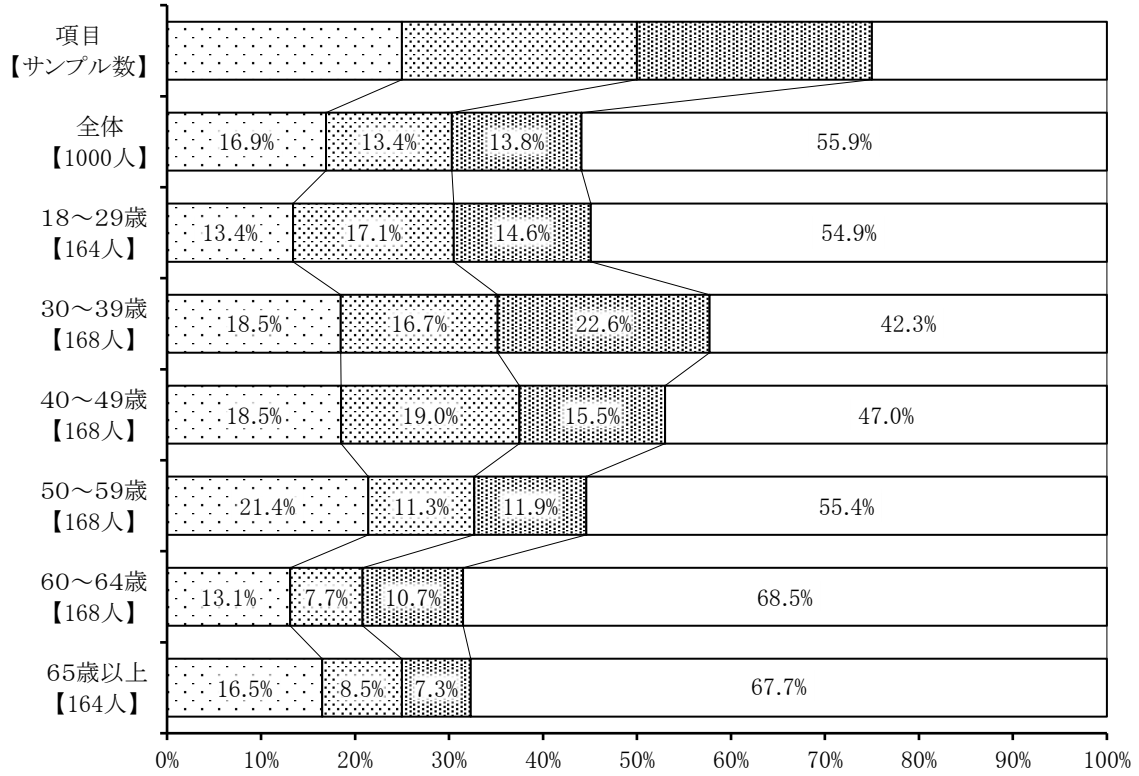
【年代別】

空き家の状態によって  
は利活用してみたい

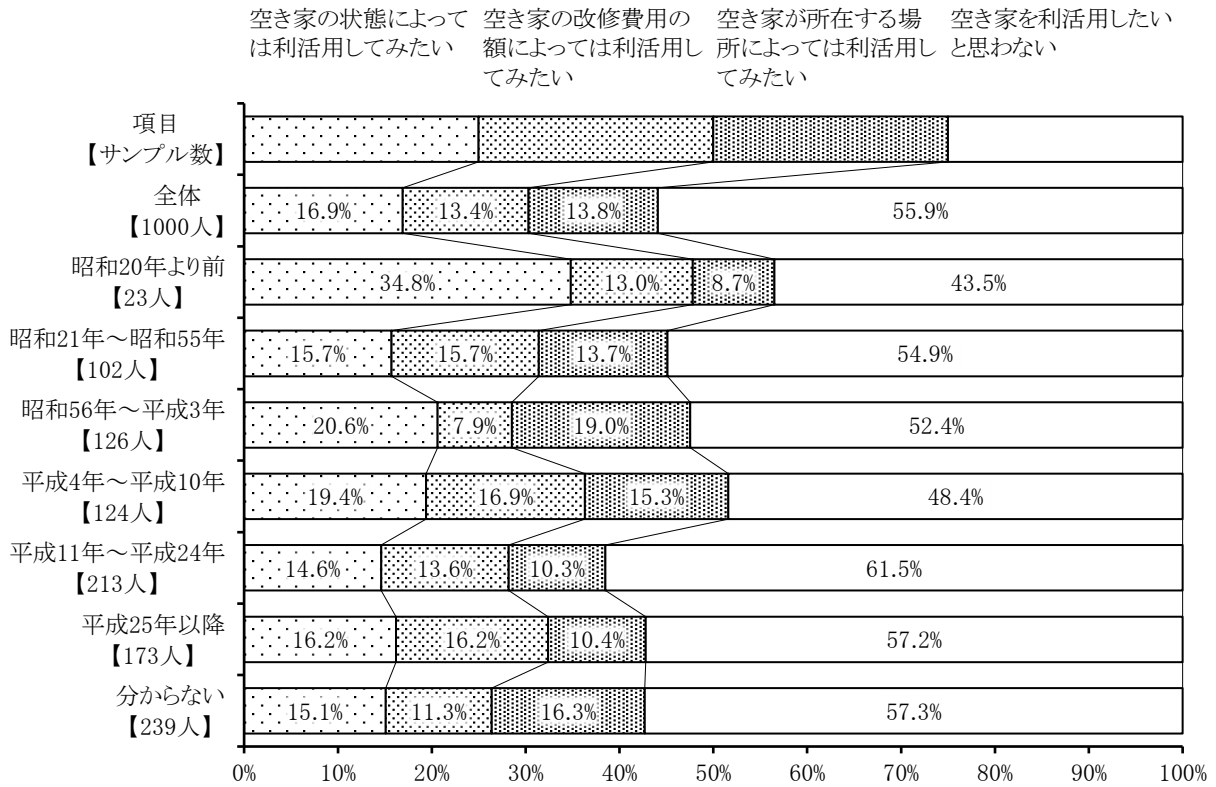
空き家の改修費用の  
額によっては利活用し  
てみたい

空き家が所在する場  
所によっては利活用し  
てみたい

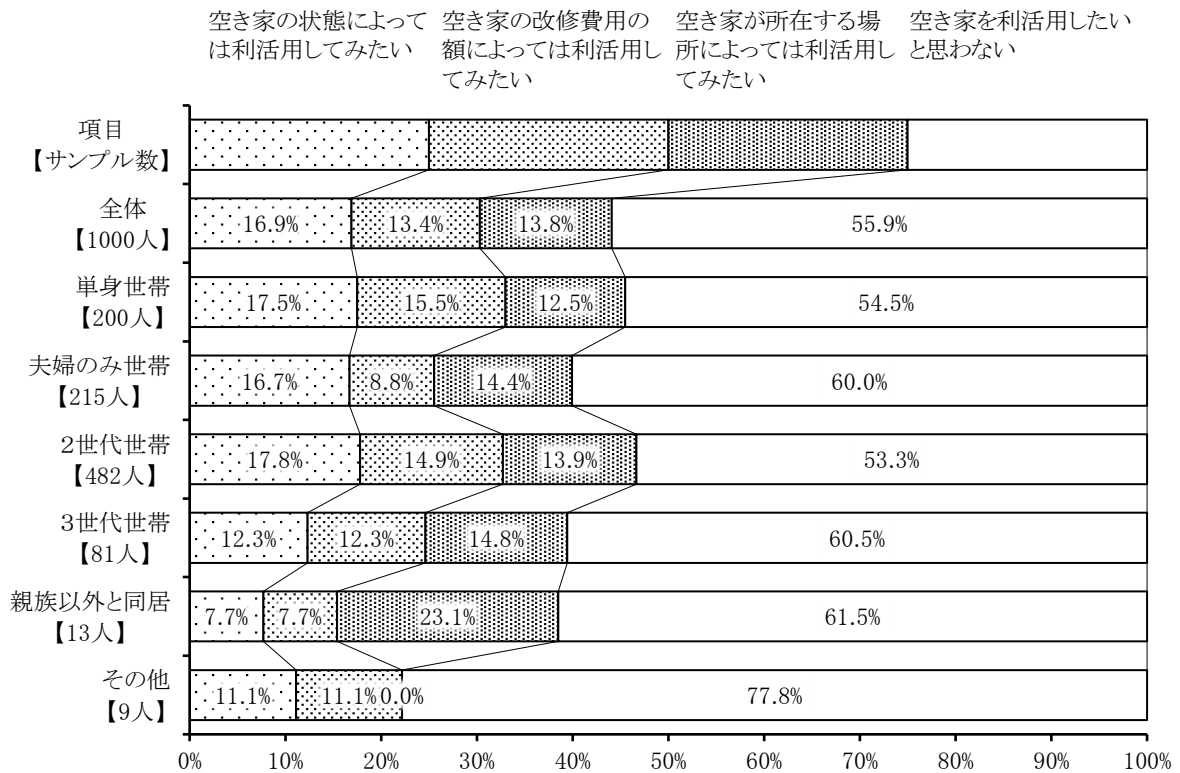
空き家を利活用したい  
と思わない



【築年数別】



【世帯構成別】



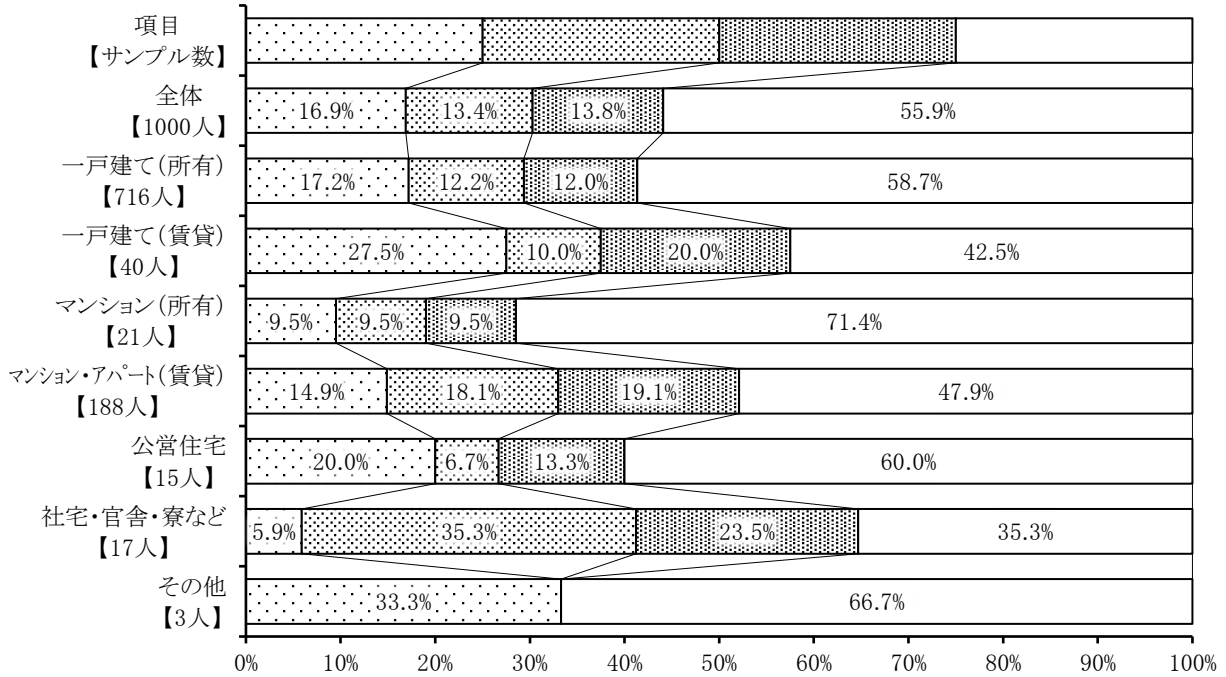
## 【住宅形態別】

空き家の状態によって  
は利活用してみたい

空き家の改修費用の  
額によっては利活用し  
てみたい

空き家が所在する場  
所によっては利活用し  
てみたい

空き家を利活用したい  
と思わない



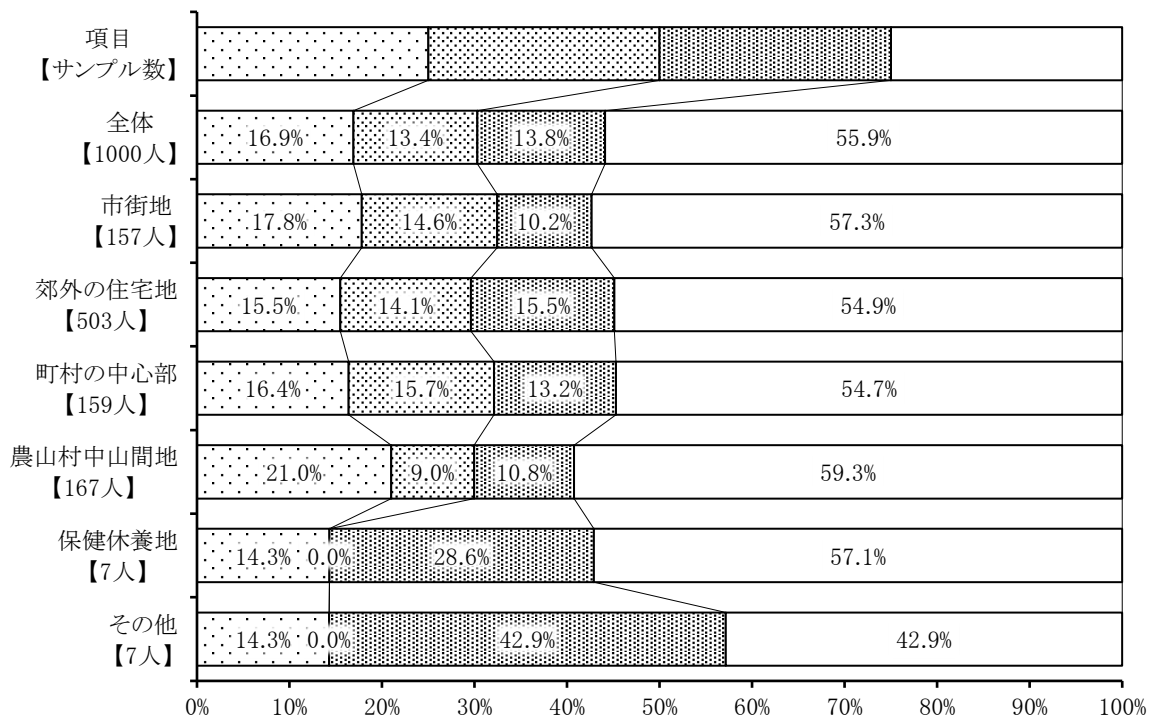
## 【立地別】

空き家の状態によって  
は利活用してみたい

空き家の改修費用の  
額によっては利活用し  
てみたい

空き家が所在する場  
所によっては利活用し  
てみたい

空き家を利活用したい  
と思わない



## 問27 空き家の利活用・除却が停滞する理由

(R2調査 問26)

### ◆ 空き家の利活用・除却が停滞する理由

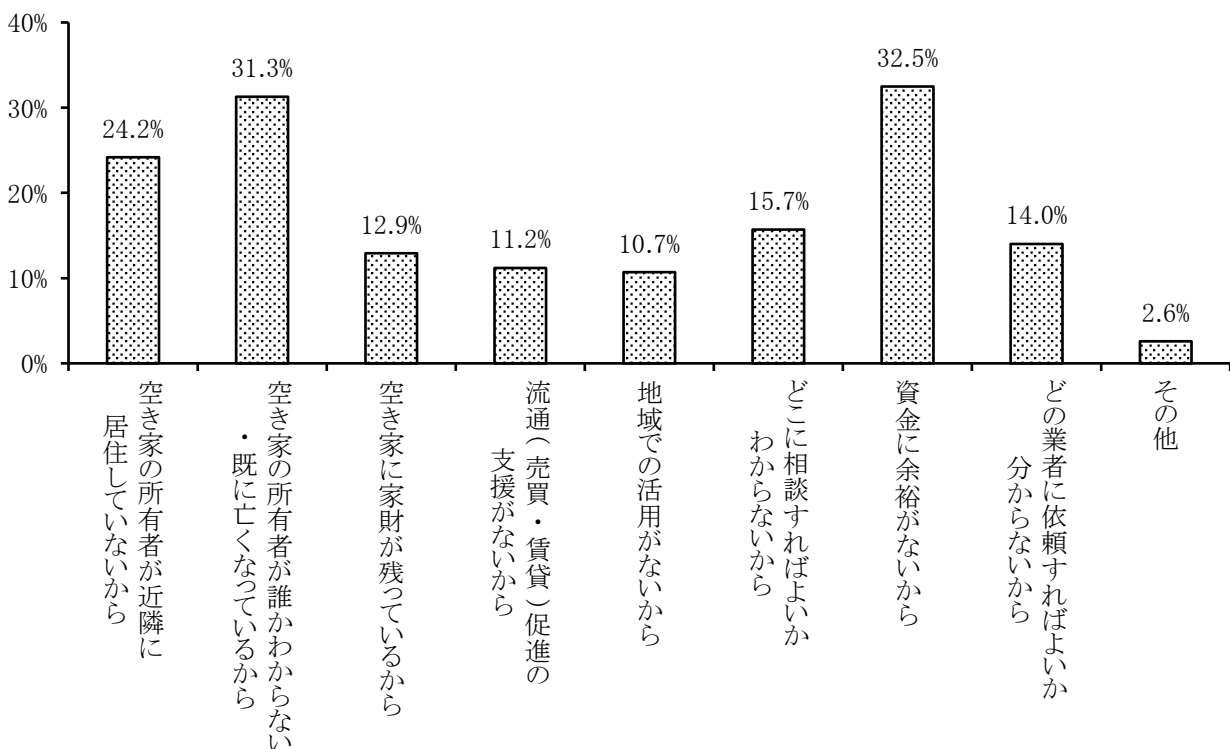
「資金に余裕がないから」

「所有者が誰かわからない・亡くなっている」が3割強

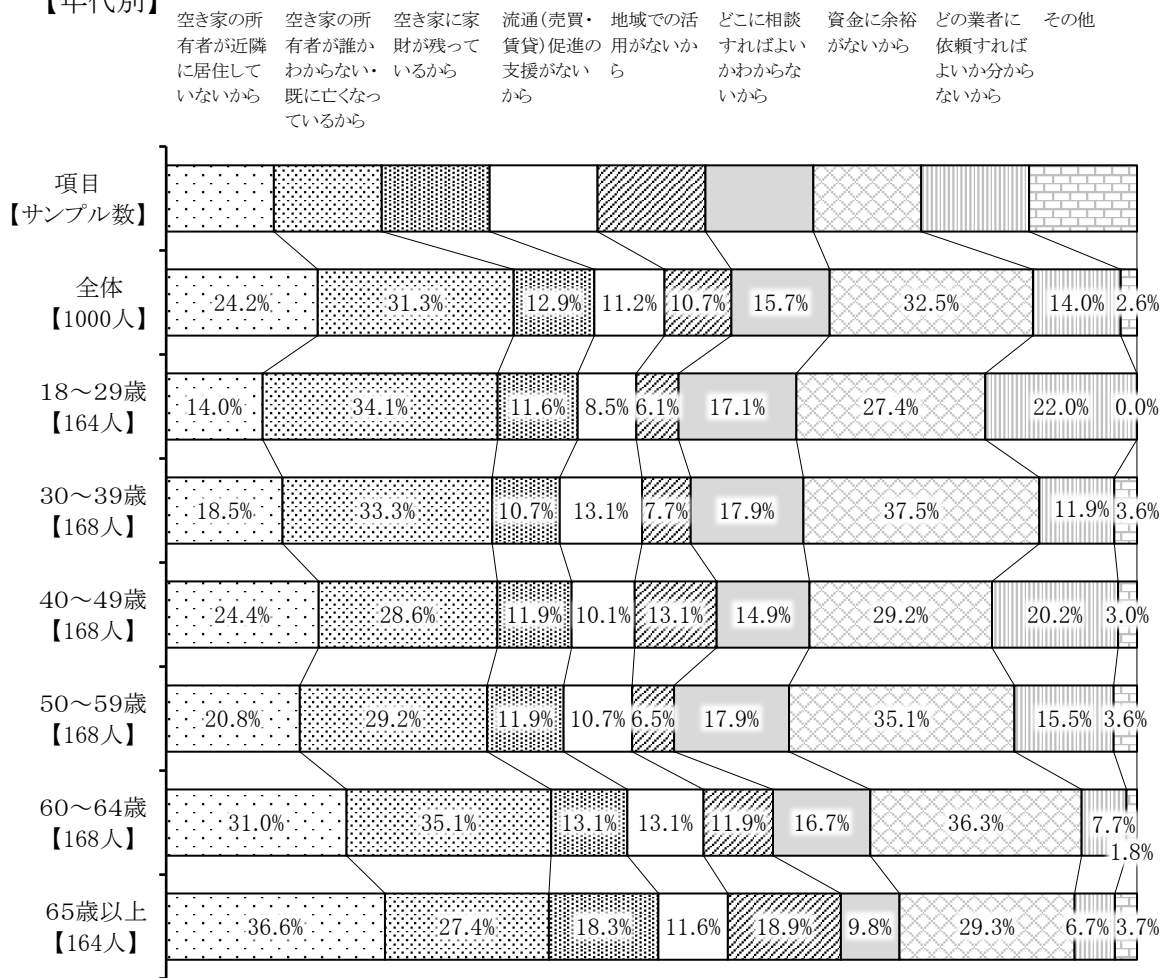
- 空き家の利活用や除却が進まない理由はどこにあると考えるかについて、「資金に余裕がないから」が32.5%と最も多く、「空き家の所有者が誰かわからない・既に亡くなっているから」が31.3%と続く。
- 年代別では、65歳以上で「空き家の所有者が近隣に居住していないから」が36.6%と、他の年代より多い。
- 住宅形態別では、一戸建て(賃貸)で「資金に余裕がないから」が52.5%と、他の住宅形態より2割程度多い。

問27 空き家の利活用や除却が進まない理由はどこにあると考えますか。次の中から2つ以内で選んでください。

	回答者数	割合
1 空き家の所有者が近隣に居住していないから	242人	24.2%
2 空き家の所有者が誰かわからない・既に亡くなっているから	313人	31.3%
3 空き家に家財が残っているから	129人	12.9%
4 流通(売買・賃貸)促進の支援がないから	112人	11.2%
5 地域での活用がないから	107人	10.7%
6 どこに相談すればよいかわからないから	157人	15.7%
7 資金に余裕がないから	325人	32.5%
8 どの業者に依頼すればよいか分からないから	140人	14.0%
9 その他	26人	2.6%
サンプル数	1,000人	100.0%

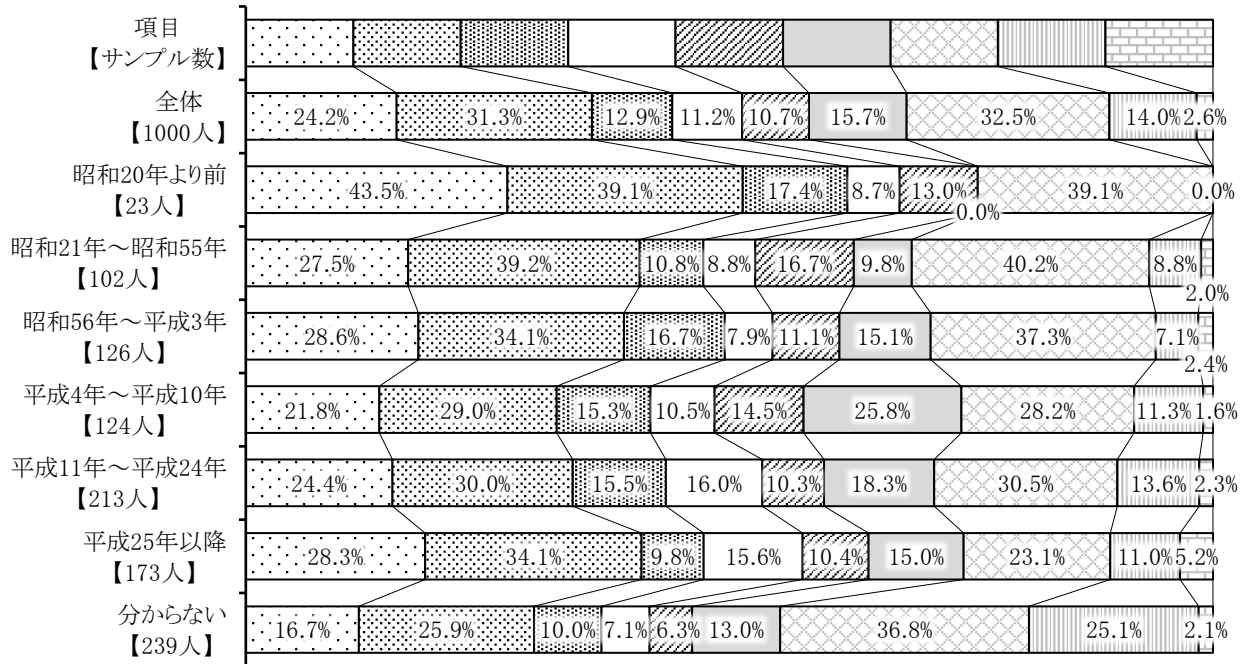


【年代別】



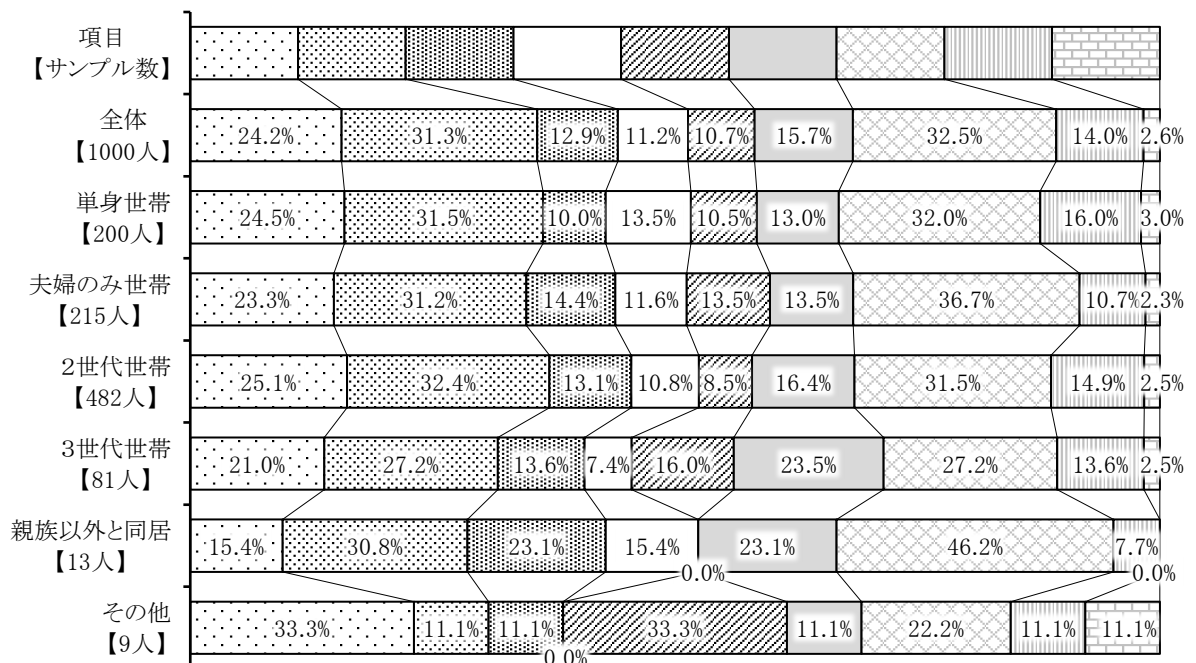
### 【築年数別】

空き家の所有者が近隣に居住していないから  
 空き家の所有者が誰かわからない・既に亡くなっているから  
 空き家に家財が残っているから  
 流通(売買・賃貸)促進の支援がないから  
 地域での活用がないから  
 どこに相談すればよいかかわからないから  
 資金に余裕がないから  
 どの業者に依頼すればよいか分からないから  
 その他



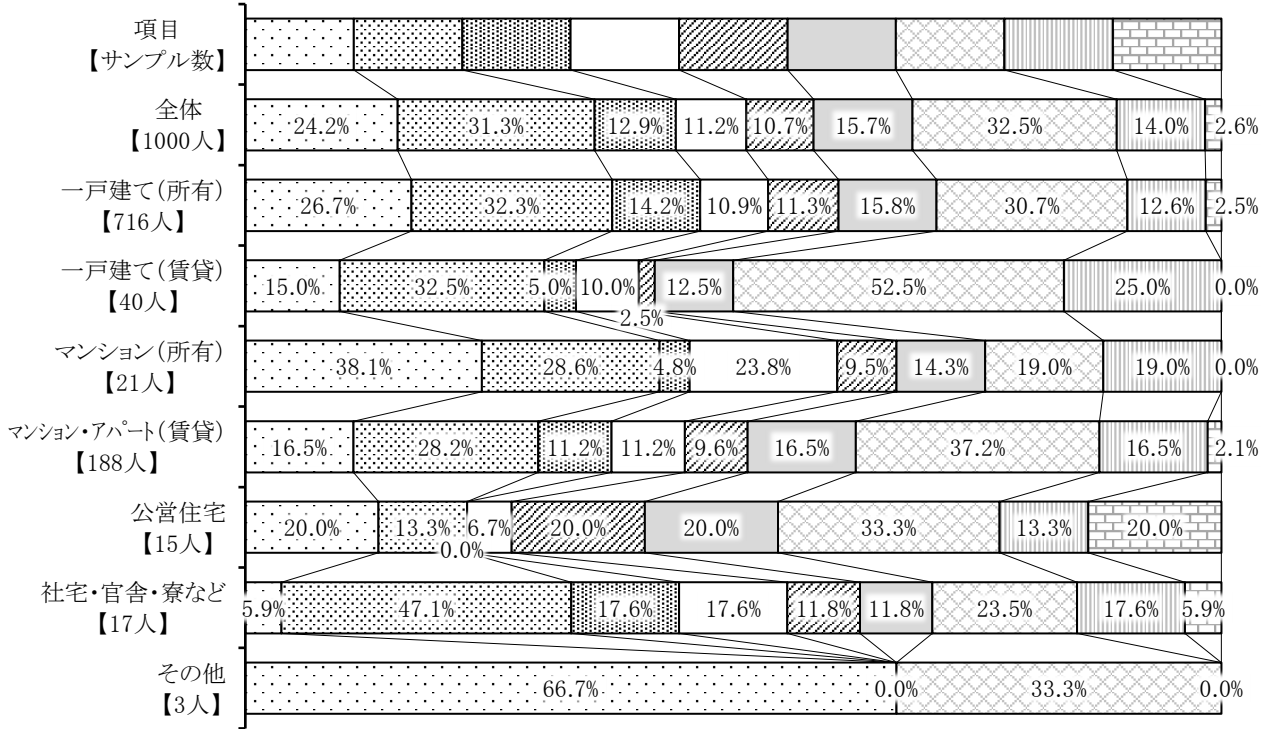
### 【世帯構成別】

空き家の所有者が近隣に居住していないから  
 空き家の所有者が誰かわからない・既に亡くなっているから  
 空き家に家財が残っているから  
 流通(売買・賃貸)促進の支援がないから  
 地域での活用がないから  
 どこに相談すればよいかかわからないから  
 資金に余裕がないから  
 どの業者に依頼すればよいか分からないから  
 その他



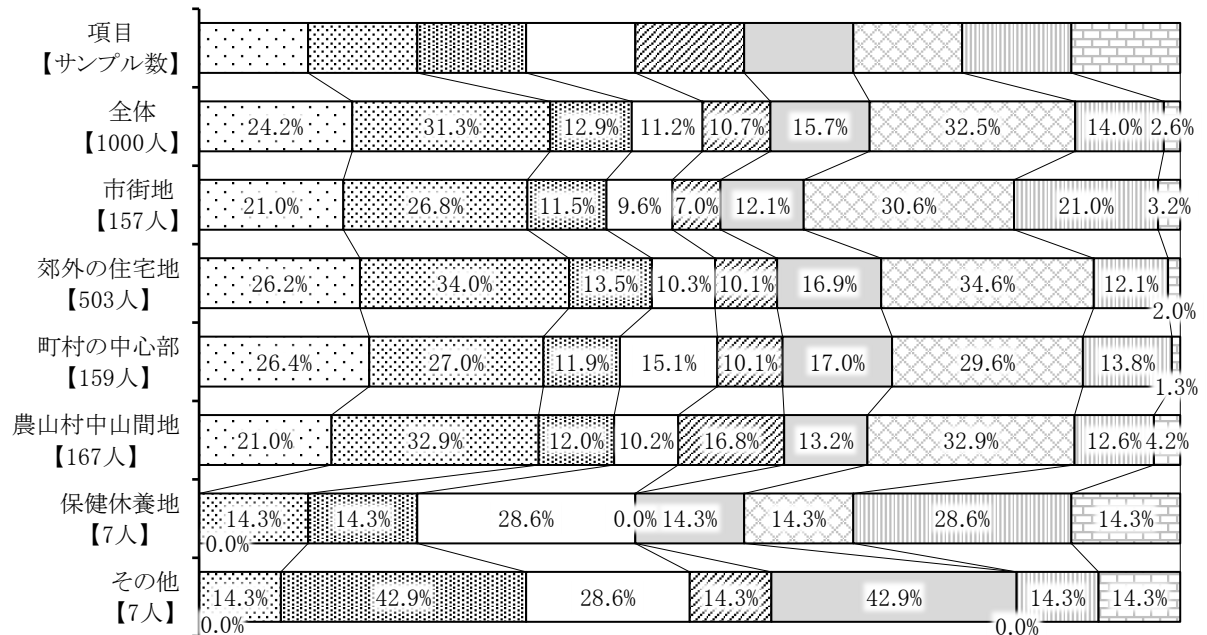
### 【住宅形態別】

空き家の所  
所有者が近隣  
に居住して  
いないから  
 空き家の所  
所有者が誰か  
わからない・  
既に亡くなっ  
ているから  
 空き家に家  
財が残って  
いるから  
 流通(売買・  
賃貸)促進の  
支援がない  
から  
 地域での活  
用がないか  
ら  
 どこに相談  
すればよい  
かわからな  
いから  
 資金に余裕  
がないから  
 どの業者に  
依頼すれば  
よいかわから  
ないから  
 その他



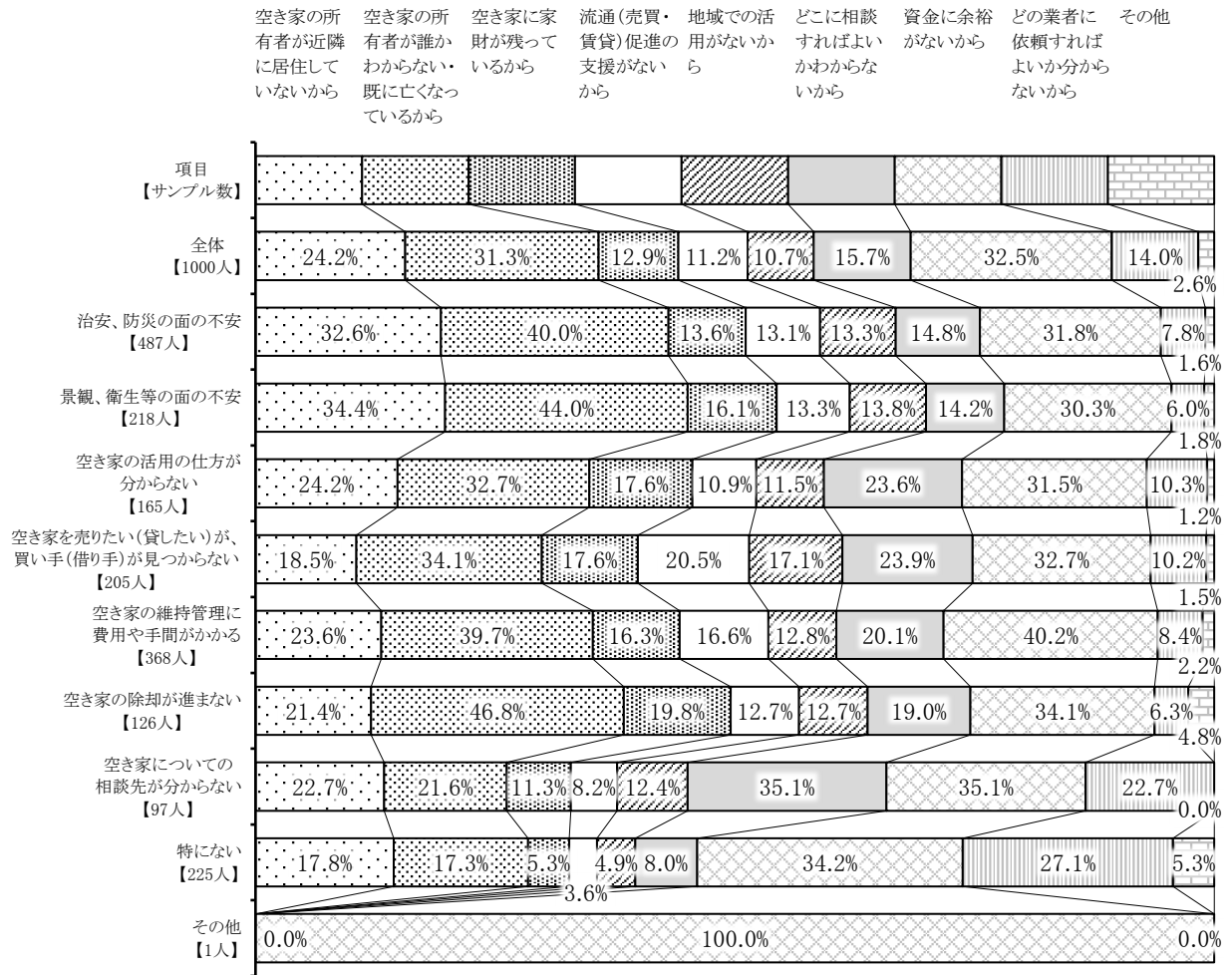
### 【立地別】

空き家の所  
所有者が近隣  
に居住して  
いないから  
 空き家の所  
所有者が誰か  
わからない・  
既に亡くなっ  
ているから  
 空き家に家  
財が残って  
いるから  
 流通(売買・  
賃貸)促進の  
支援がない  
から  
 地域での活  
用がないか  
ら  
 どこに相談  
すればよい  
かわからな  
いから  
 資金に余裕  
がないから  
 どの業者に  
依頼すれば  
よいかわから  
ないから  
 その他



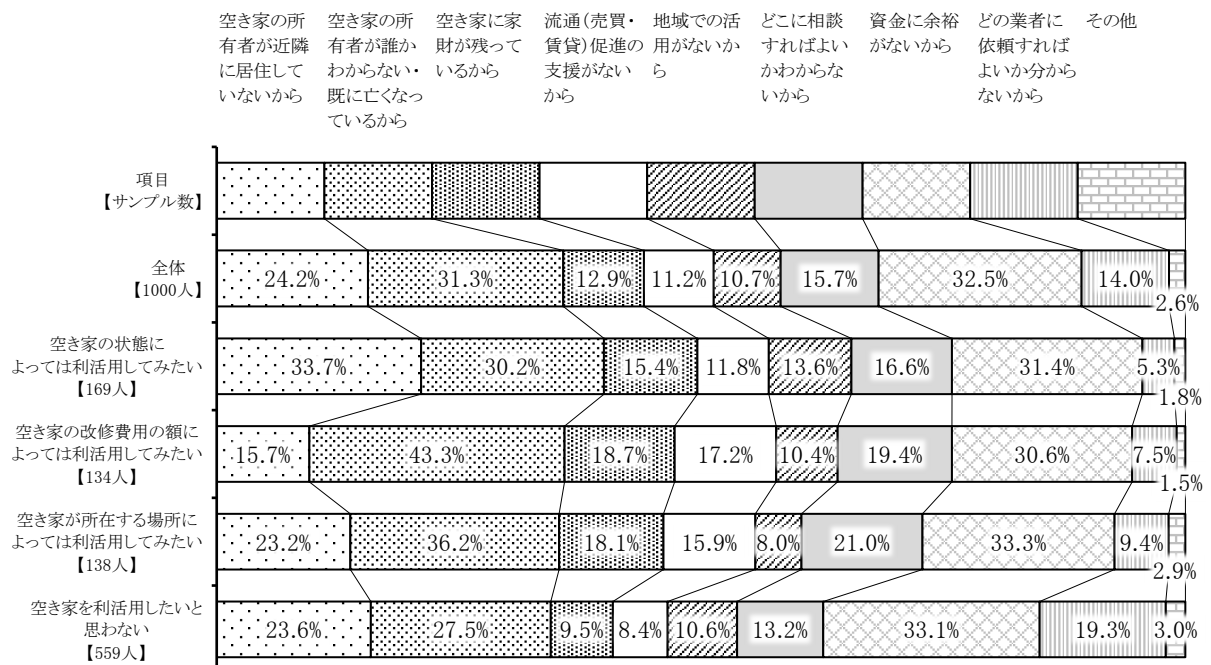
【設問クロス集計 (問25)】

\* 問25 空き家がある場合に生じる不安や問題等は何ですか。



【設問間クロス (問26)】

\* 問26 あなたは空き家を利活用してみたいと思いますか。



## 問28 公営住宅供給量への意見

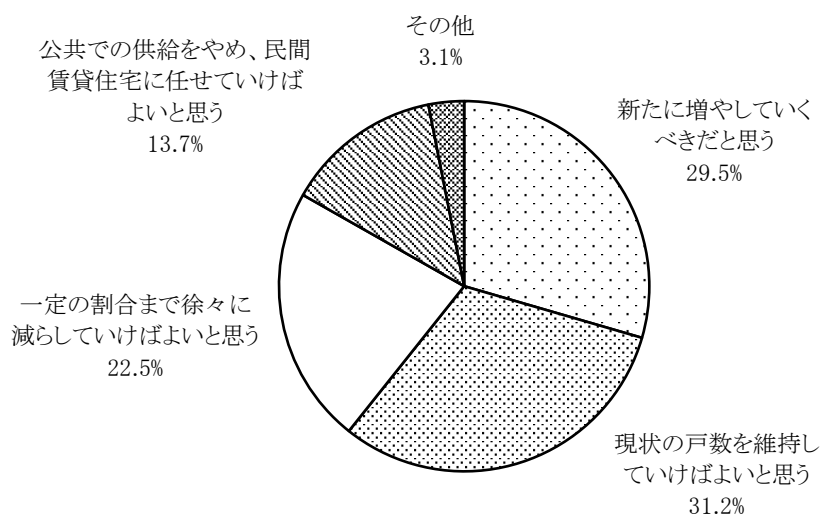
(R2調査 問27)

### ◆ 公営住宅の供給量「現状維持」、「増やしていくべき」3割前後

- 公営住宅全体の供給量への意見では、「現状の戸数を維持していけばよいと思う」が31.2%、僅差で「新たに増やしていくべきだと思う」が29.5%となった。
- 年代別では、65歳以上で「一定の割合まで徐々に減らしていけばよいと思う」が29.9%と、他の年代より多い。
- 立地別では、町村の中心部で「一定の割合まで徐々に減らしていけばよいと思う」が30.8%と、他の立地より多い。

問28 公営住宅は、住宅にお困りで一定の収入以下の方に、低廉な家賃で住宅を賃貸することを目的としており、住宅のセーフティネットの役割を大きく担っているところです。あなたは、このような現状の中、今後の公営住宅の供給量(戸数)をどのようにしたらよいと思いますか。

	回答者数	割合
1 新たに増やしていくべきだと思う	295人	29.5%
2 現状の戸数を維持していけばよいと思う	312人	31.2%
3 一定の割合まで徐々に減らしていけばよいと思う	225人	22.5%
4 公共での供給をやめ、民間賃貸住宅に任せたいと思う	137人	13.7%
5 その他	31人	3.1%
サンプル数	1,000人	100.0%



【年代別】

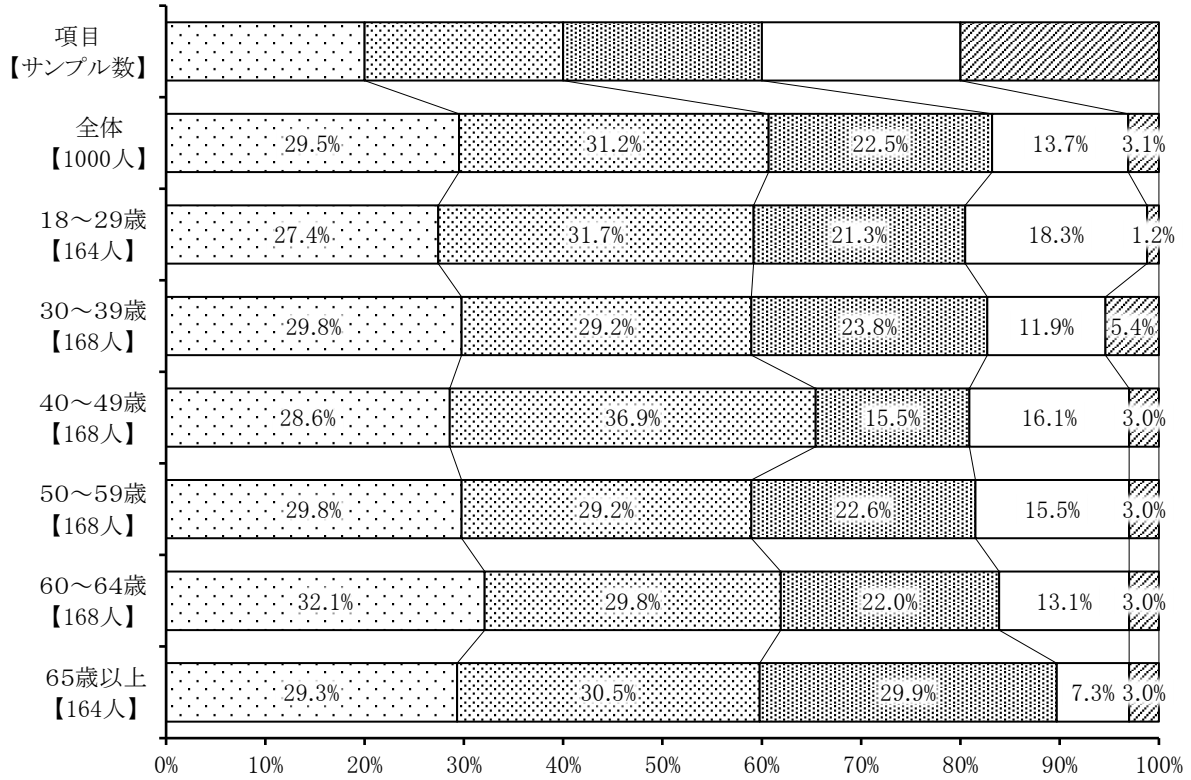
新たに増やしてい  
くべきだと思う

現状の戸数を維持  
していけばよいと思  
う

一定の割合まで  
徐々に減らしてい  
けばよいと思う

公共での供給をや  
め、民間賃貸住宅  
に任せていけばよ  
いと思う

その他



【立地別】

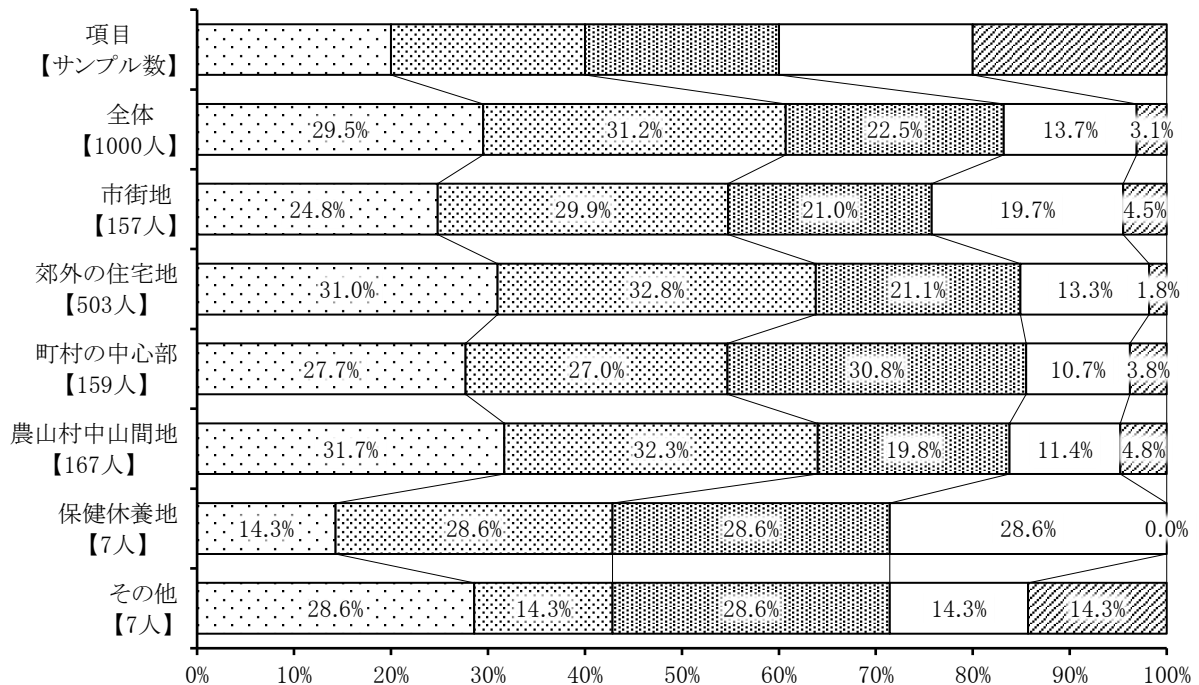
新たに増やしてい  
くべきだと思う

現状の戸数を維持  
していけばよいと思  
う

一定の割合まで  
徐々に減らしてい  
けばよいと思う

公共での供給をや  
め、民間賃貸住宅  
に任せていけばよ  
いと思う

その他

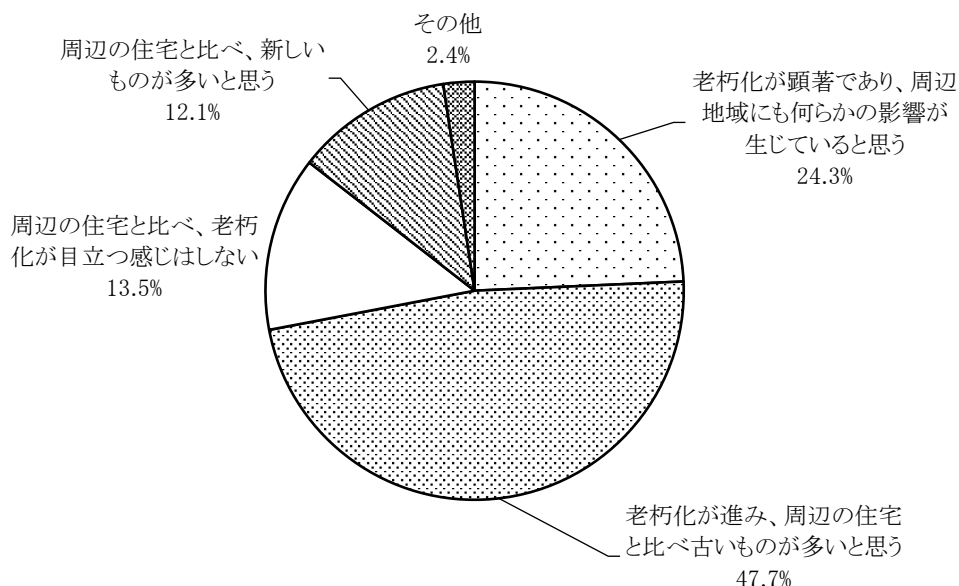


◆ 公営住宅について「周辺の住宅と比べ古いものが多い」5割弱

- 昭和30年～昭和40年代に建設された住宅が数多くある公営住宅について、「老朽化が進み、周辺の住宅と比べ古いものが多いと思う」が47.7%、「老朽化が顕著であり、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う」が24.3%と約7割が老朽化を感じている。
- 年代別では、年代が上がるにつれて、「老朽化が顕著であり、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う」が多くなる。

問29 公営住宅の現状は、昭和30年～昭和40年代に建設された住宅が数多くあるところです。あなたは、現在の公営住宅の状態をどのように感じていますか。

	回答者数	割合
1 老朽化が顕著であり、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う	243人	24.3%
2 老朽化が進み、周辺の住宅と比べ古いものが多いと思う	477人	47.7%
3 周辺の住宅と比べ、老朽化が目立つ感じはしない	135人	13.5%
4 周辺の住宅と比べ、新しいものが多いと思う	121人	12.1%
5 その他	24人	2.4%
サンプル数	1,000人	100.0%



### 【年代別】

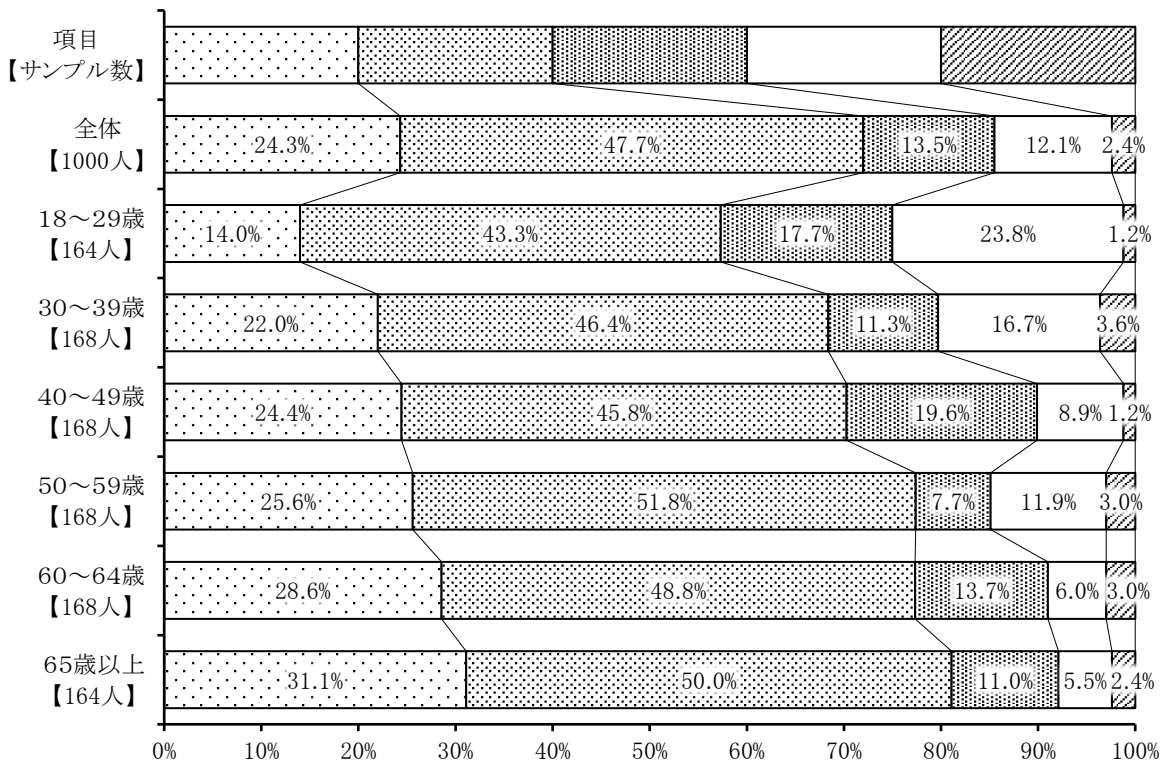
老朽化が顕著で  
あり、周辺地域に  
も何らかの影響が  
生じていると思う

老朽化が進み、周  
辺の住宅と比べ古  
いものが多いと思う

周辺の住宅と比  
べ、老朽化が目立  
つ感じはしない

周辺の住宅と比  
べ、新しいものが  
多いと思う

その他



### 【世帯構成別】

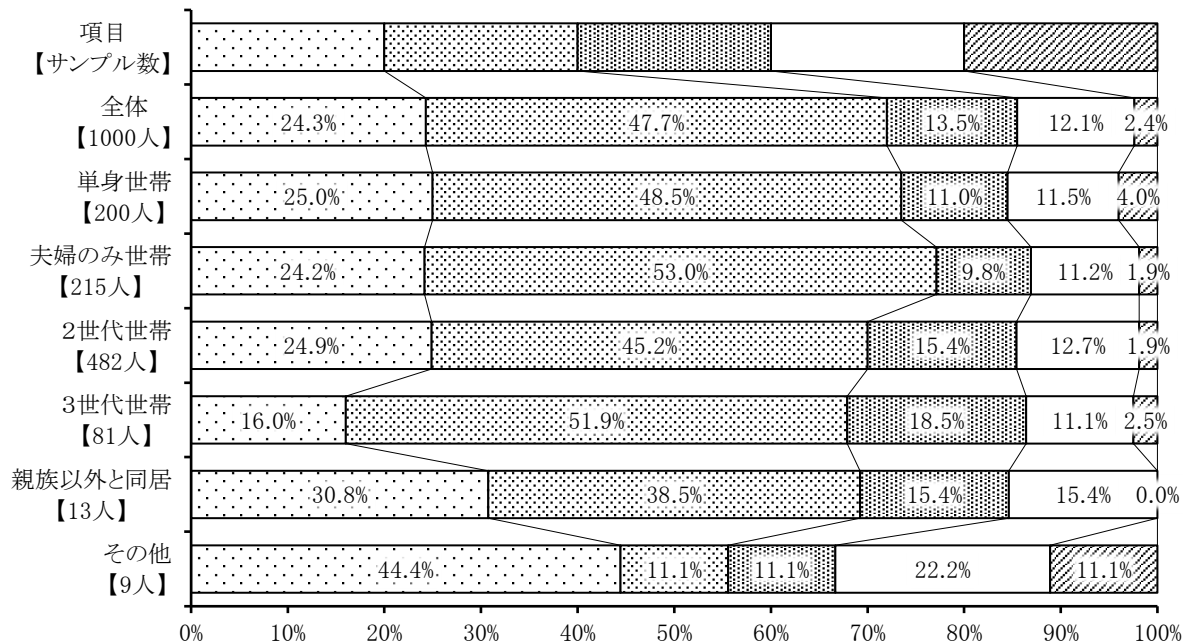
老朽化が顕著で  
あり、周辺地域に  
も何らかの影響が  
生じていると思う

老朽化が進み、周  
辺の住宅と比べ古  
いものが多いと思う

周辺の住宅と比  
べ、老朽化が目立  
つ感じはしない

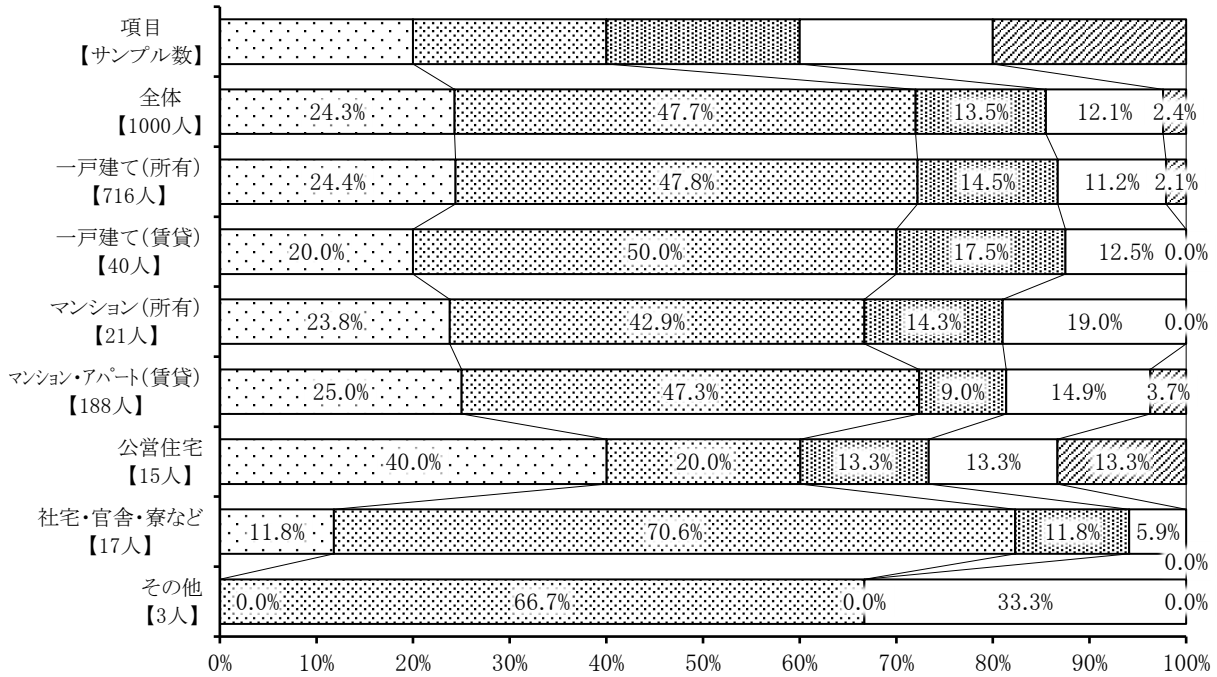
周辺の住宅と比  
べ、新しいものが  
多いと思う

その他



【住宅形態別】

老朽化が顕著で、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う  
 老朽化が進み、周辺の住宅と比べ、老朽化が目立つ感じはしないと思う  
 周辺の住宅と比べ、新しいものが多いと思う  
 その他



## 問30 賃貸住宅契約時に重視すること

(R2調査 問29)

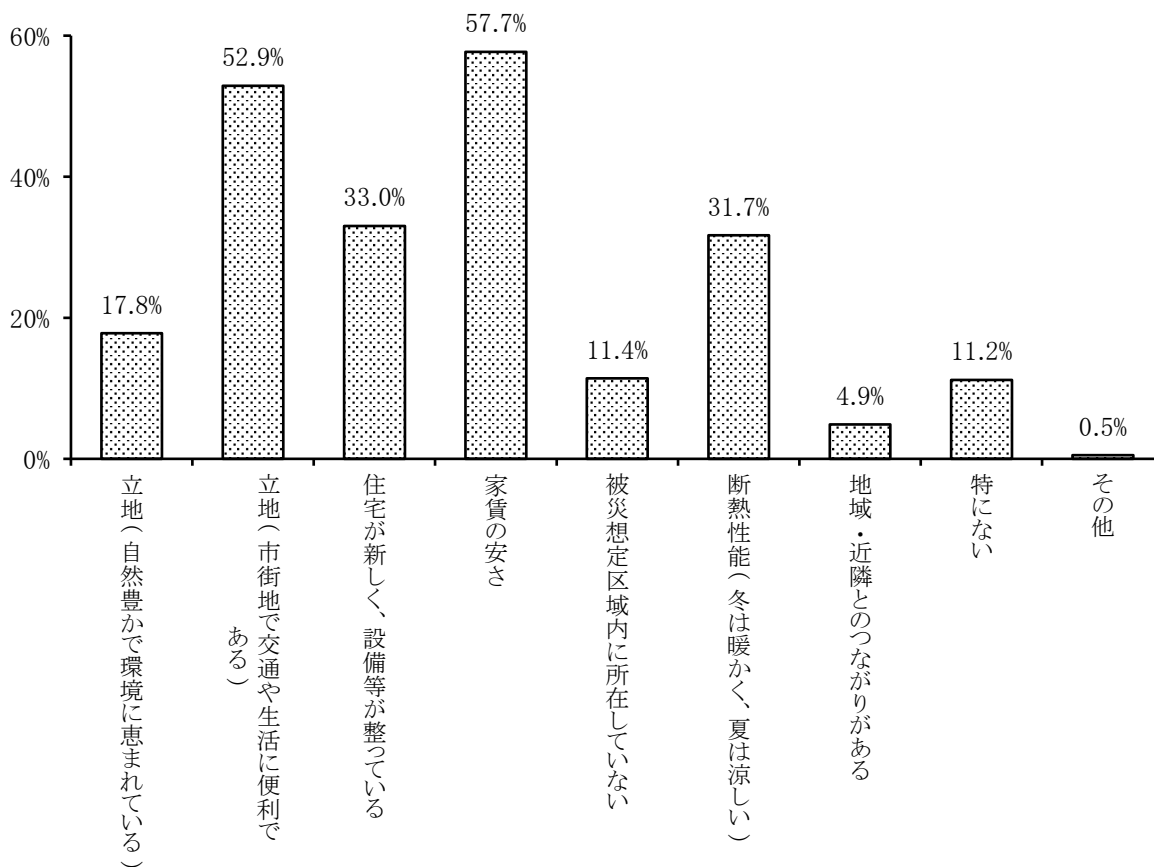
### ◆ 賃貸住宅の重視点

「家賃の安さ」、「立地(交通や生活に便利)」が半数以上

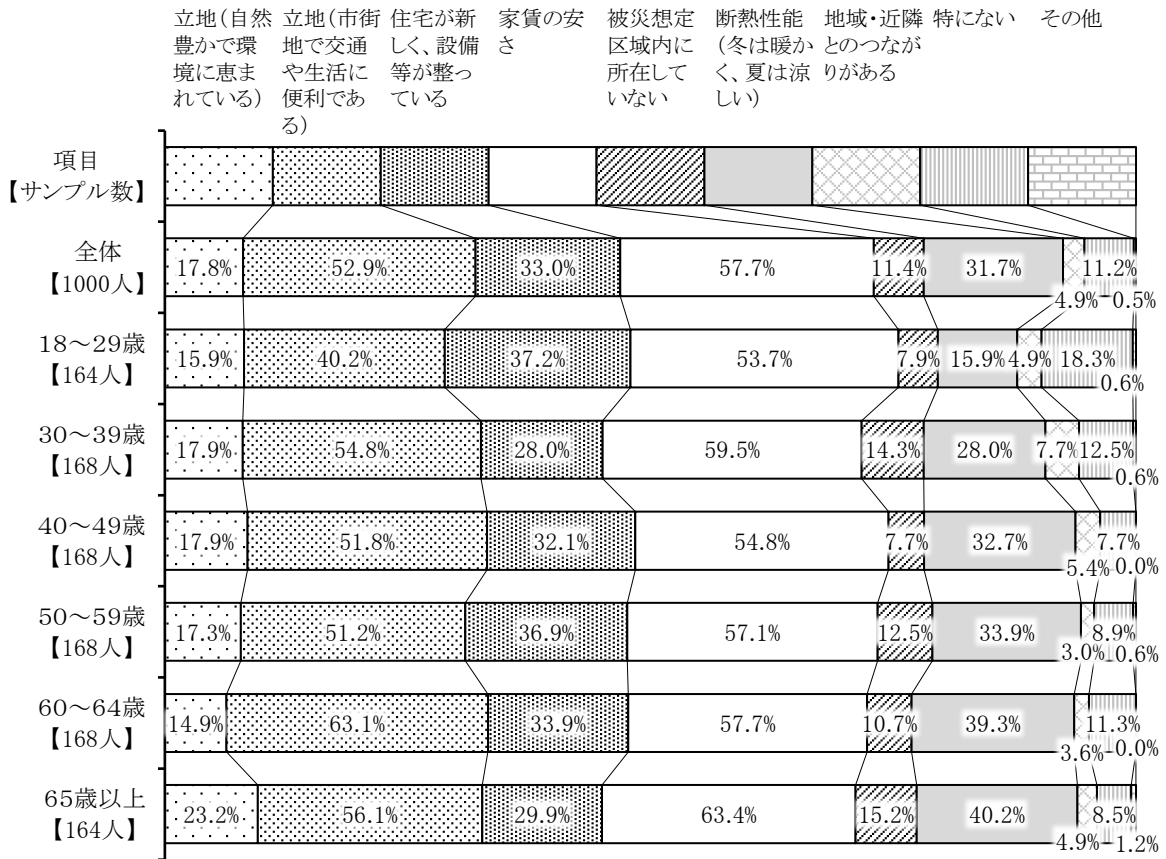
- 賃貸住宅を借りる場合の重視点は、「家賃の安さ」が57.7%と最も多く、次いで「立地(市街地で交通や生活に便利である)」が52.9%となった。
- 年代別では、18～29歳で「立地(交通や生活に便利)」(40.2%)と「断熱性能」(15.9%)が、他の年代より少ない。

問30 賃貸住宅を借りる場合に、何を重視しますか。次の中から3つ以内で選んでください。

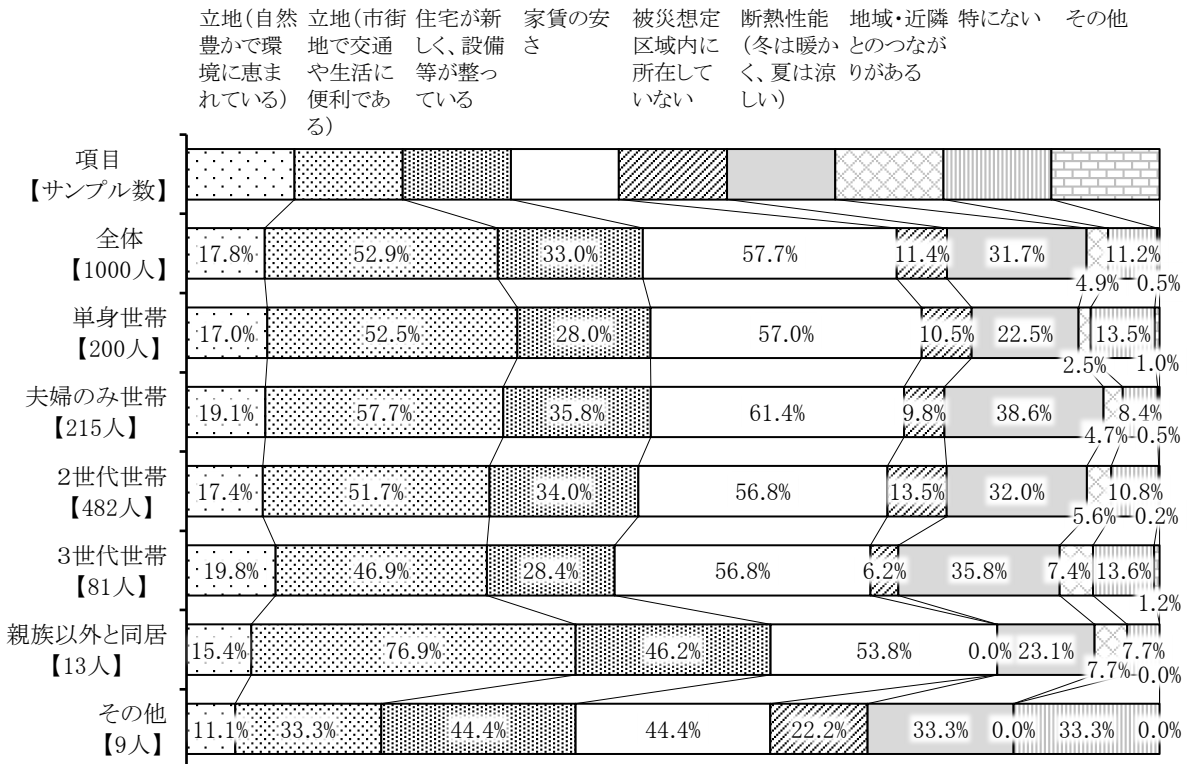
	回答者数	割合
1 立地(自然豊かで環境に恵まれている)	178人	17.8%
2 立地(市街地で交通や生活に便利である)	529人	52.9%
3 住宅が新しく、設備等が整っている	330人	33.0%
4 家賃の安さ	577人	57.7%
5 被災想定区域内に所在していない	114人	11.4%
6 断熱性能(冬は暖かく、夏は涼しい)	317人	31.7%
7 地域・近隣とのつながりがある	49人	4.9%
8 特にない	112人	11.2%
9 その他	5人	0.5%
サンプル数	1,000人	100.0%



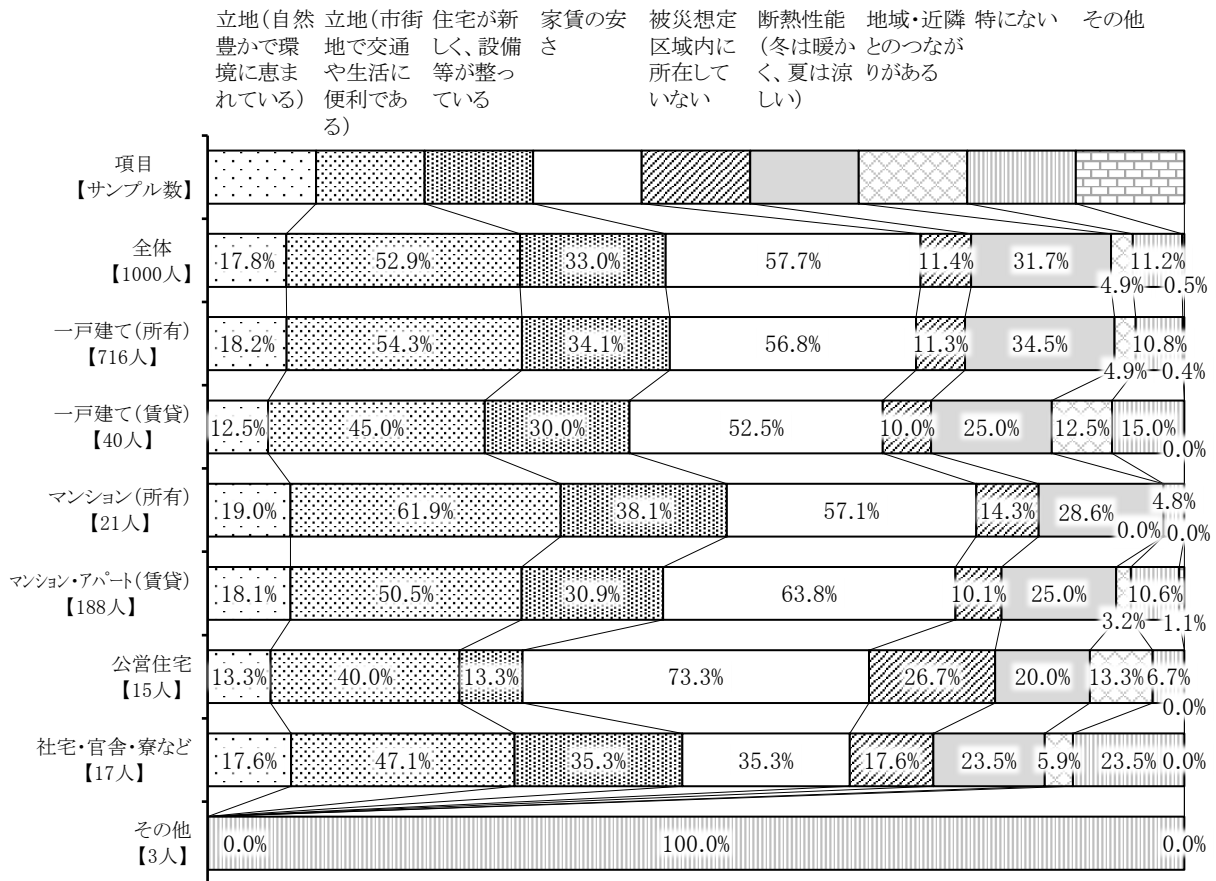
【年代別】



【世帯構成別】



【住宅形態別】



## 問31 賃貸住宅を借りる際に不満を感じること

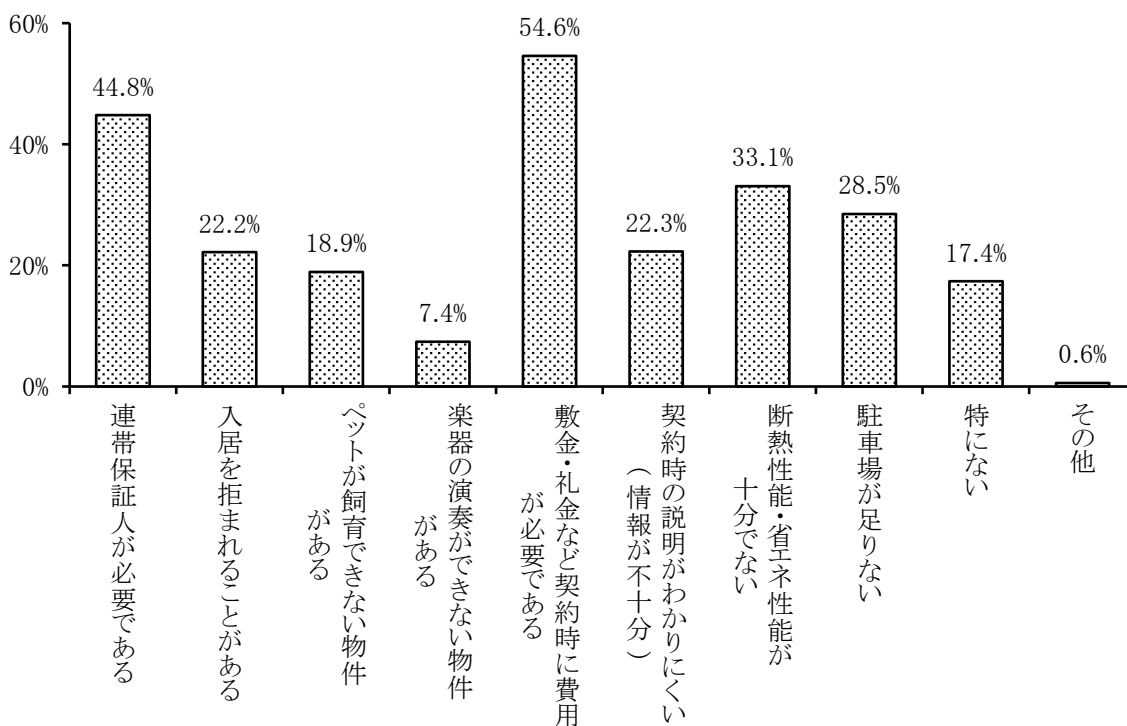
(R2調査 問30)

### ◆ 賃貸住宅の不満点「敷金・礼金などの費用」5割半ば

- 賃貸住宅を借りる際に感じる不満では、「敷金・礼金など契約時に費用が必要である」が54.6%と最も多く、「連帯保証人が必要である」が44.8%と、契約関連が上位2項目となった。それに「断熱性能・省エネ性能が十分でない」(33.1%)、「駐車場が足りない」(28.5%)の設備面に関するものが続く。
- 年代別では、65歳以上で「断熱性能・省エネ性能が十分でない」(50.0%)と「敷金・礼金など契約時に費用が必要である」(60.4%)が、他の年代より多い。
- 世帯構成別では、3世代世帯で「ペットが飼育できない物件がある」が30.9%と多い。夫婦のみ世帯では「断熱性能・省エネ性能が十分でない」が41.4%と、他の世帯より多い。

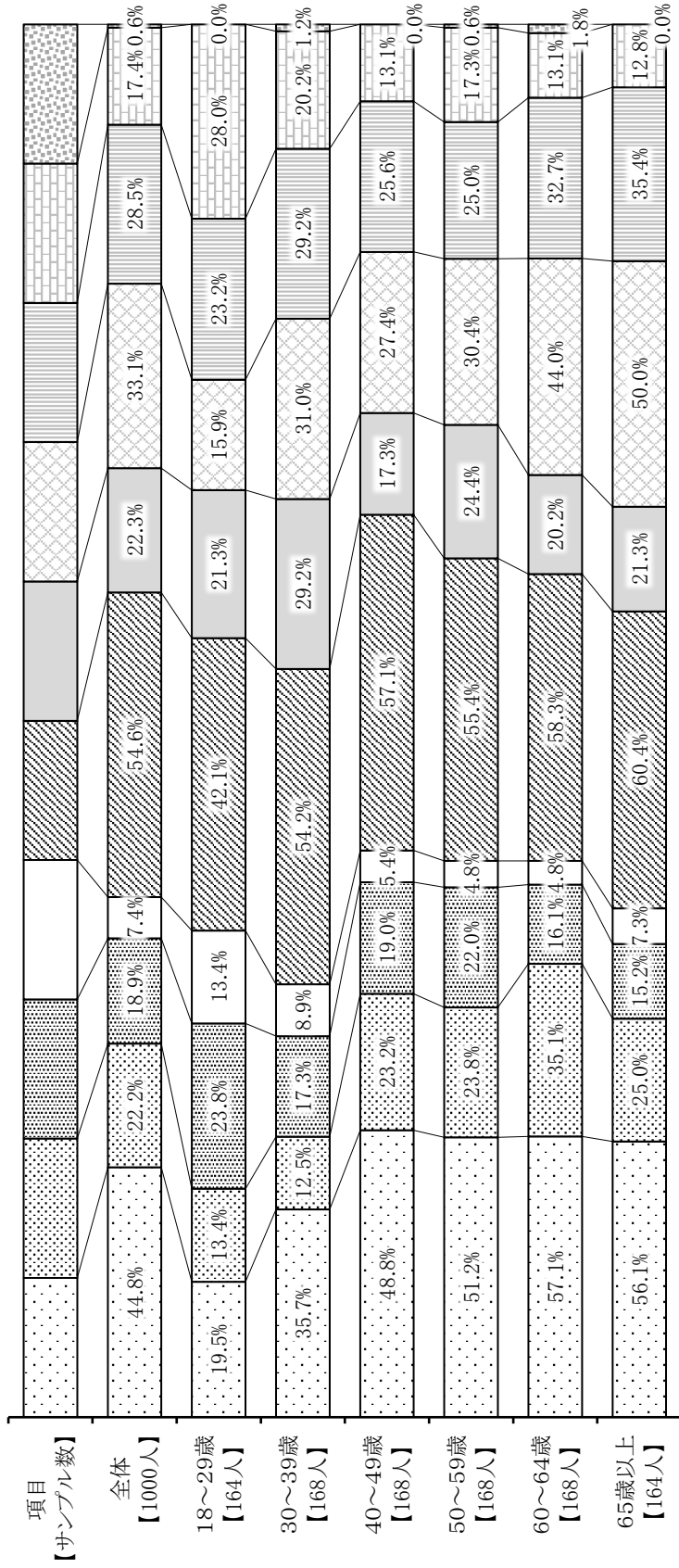
問31 賃貸住宅を借りる際に感じる不満は何ですか。次の中から5つ以内で選んでください。  
(住宅を借りた経験のない方は、想像できる範囲で回答ください。)

	回答者数	割合
1 連帯保証人が必要である	448人	44.8%
2 入居を拒まれることがある	222人	22.2%
3 ペットが飼育できない物件がある	189人	18.9%
4 楽器の演奏ができない物件がある	74人	7.4%
5 敷金・礼金など契約時に費用が必要である	546人	54.6%
6 契約時の説明がわかりにくい(情報が不十分)	223人	22.3%
7 断熱性能・省エネ性能が十分でない	331人	33.1%
8 駐車場が足りない	285人	28.5%
9 特にない	174人	17.4%
10 その他	6人	0.6%
サンプル数	1,000人	100.0%

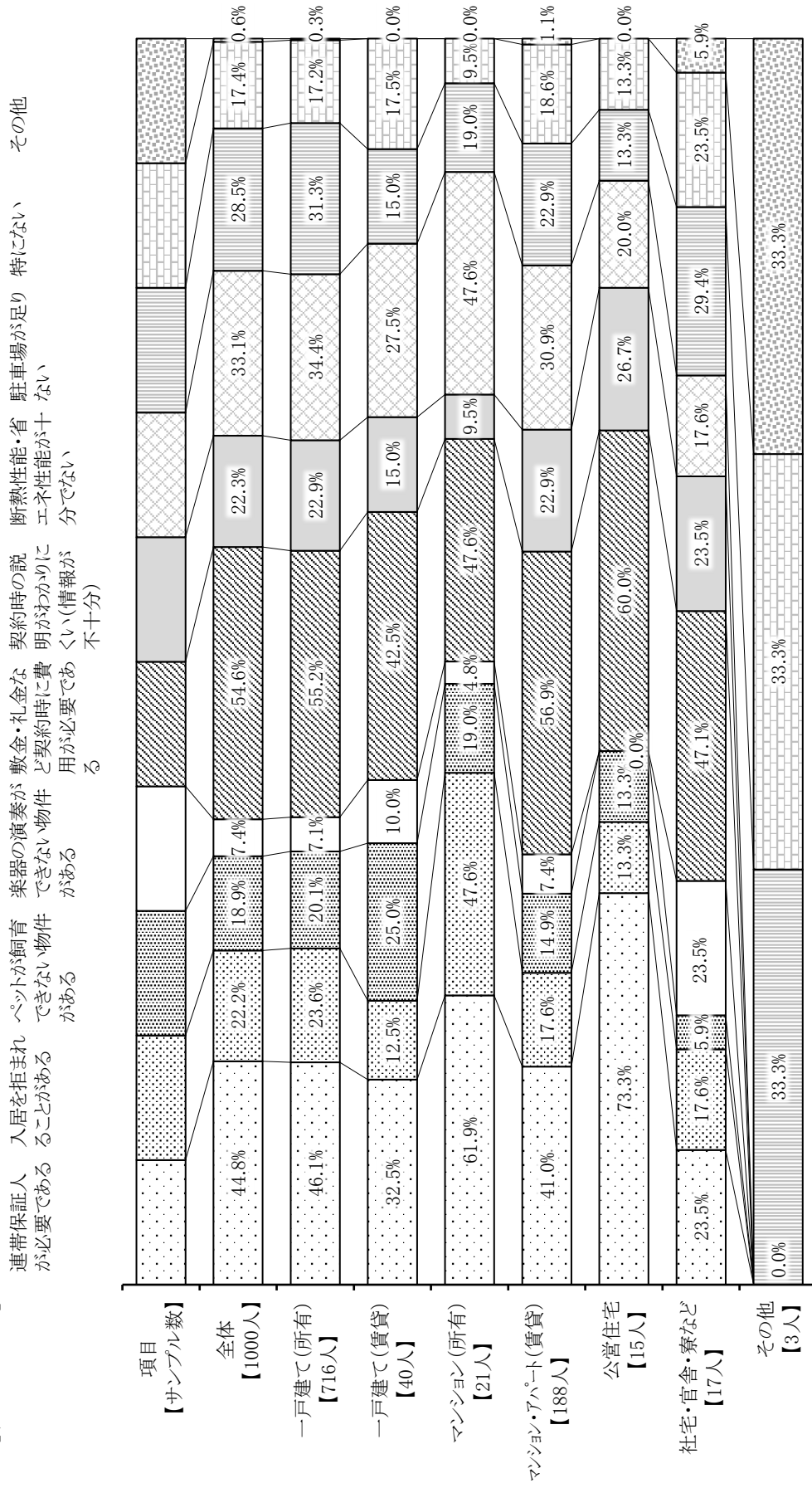


【年代別】

連帯保証人 入居を拒まれ ペットが飼育 楽器の演奏が 敷金・礼金な 契約時の説 断熱性能・省 駐車場が足り 特にない その他  
 が必要である ることがある できない物件 できる物件 と契約時に費 明がわかりに エネ性能が十 ない  
 用が必要であ くい(情報が 分でない  
 る 不十分)

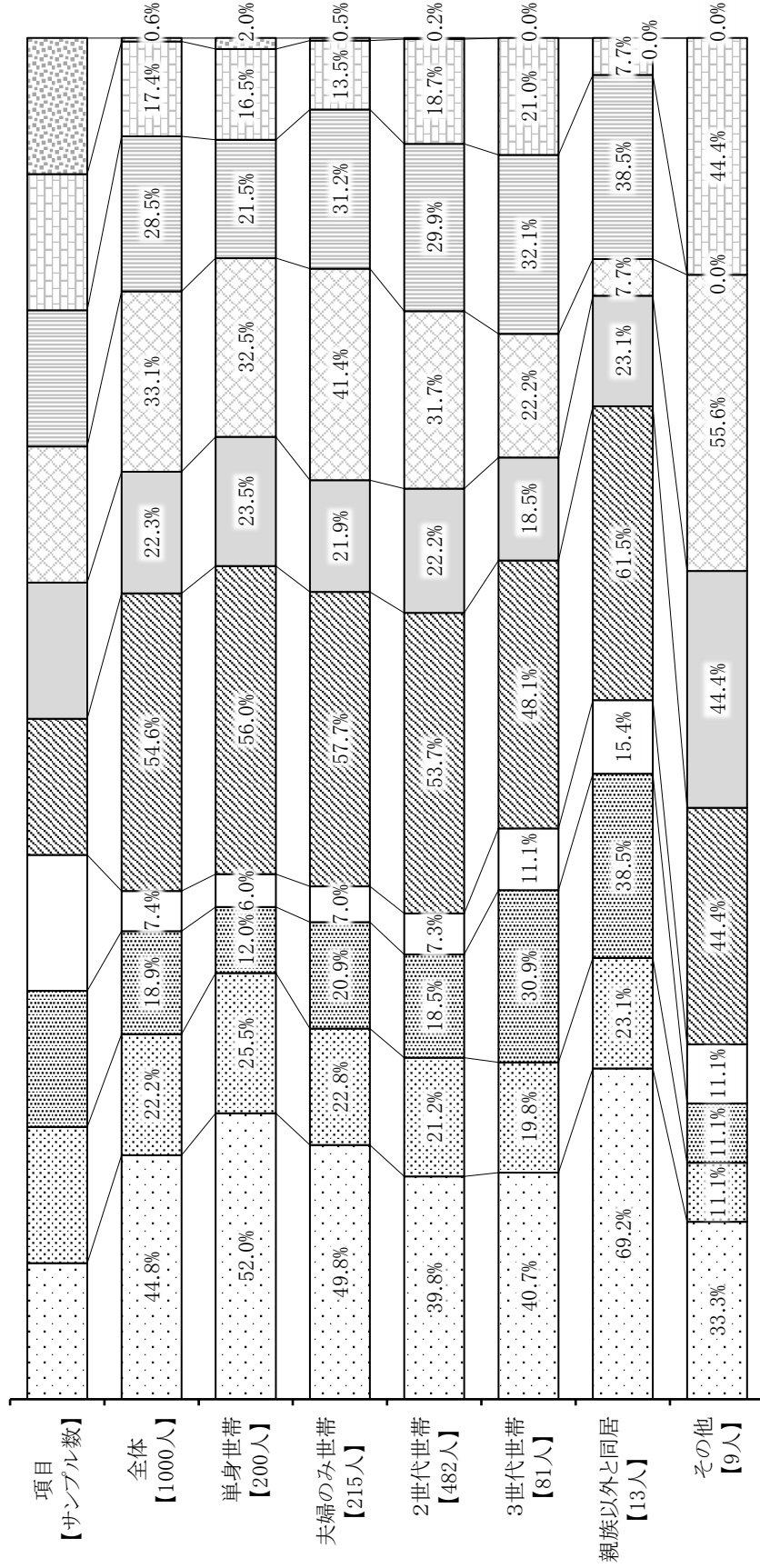


【住宅形態別】



【世帯構成別】

連帯保証人 入居を拒まれ ペットが飼育 楽器の演奏が 敷金・礼金な 契約時の説 断熱性能・省 駐車場が足り 特にない その他  
 が必要である ることがある できない物件 がある できない物件 費用が必要であ る 明がわからに エネルギーが十 分でない



## 問32 民間賃貸共同住宅に感じること

(R2調査 問31)

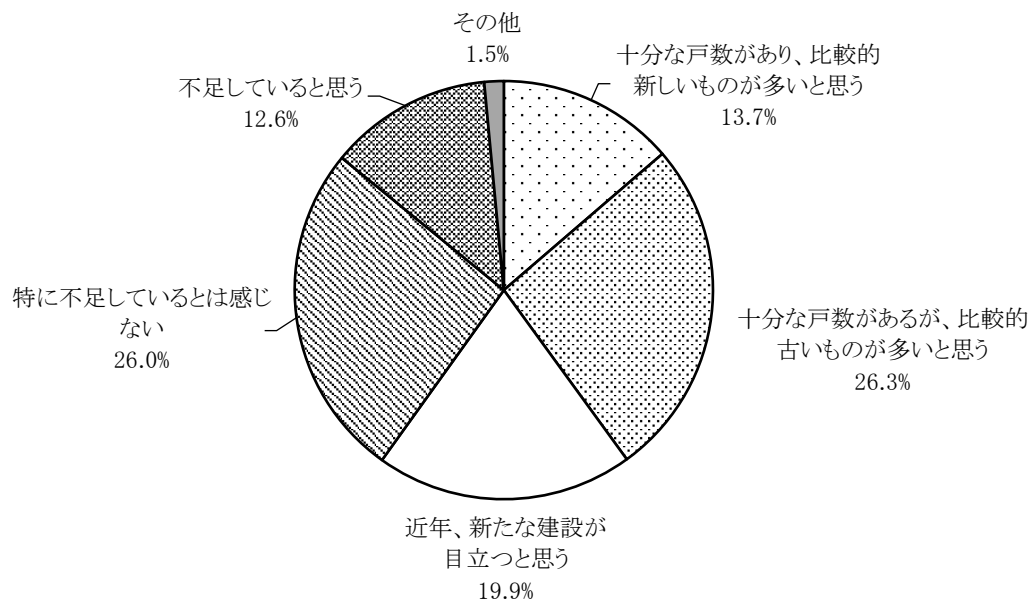
### ◆ 民間賃貸共同住宅

「十分な戸数があるが、比較的古いものが多いと思う」2割半ば

- 地域の民間賃貸共同住宅(アパート・マンション等)について、「特に不足しているとは感じない」(26.0%)が、「不足していると思う」(12.6%)を上回る。
- 古さについて、「十分な戸数があるが、比較的古いものが多いと思う」(26.3%)が、「十分な戸数があり、比較的新しいものが多いと思う」(13.7%)を上回る。
- 年代別では、18～29歳で「特に不足しているとは感じない」が17.7%と少なく、65歳以上では36.0%と、年代が上がるにつれ多くなる。

問32 地域の民間賃貸共同住宅(アパート・マンション等)について、どのように感じていますか。

	回答者数	割合
1 十分な戸数があり、比較的新しいものが多いと思う	137人	13.7%
2 十分な戸数があるが、比較的古いものが多いと思う	263人	26.3%
3 近年、新たな建設が目立つと思う	199人	19.9%
4 特に不足しているとは感じない	260人	26.0%
5 不足していると思う	126人	12.6%
6 その他	15人	1.5%
サンプル数	1,000人	100.0%



【年代別】

十分な戸数が  
あり、比較的  
新しいものが多い  
と思う

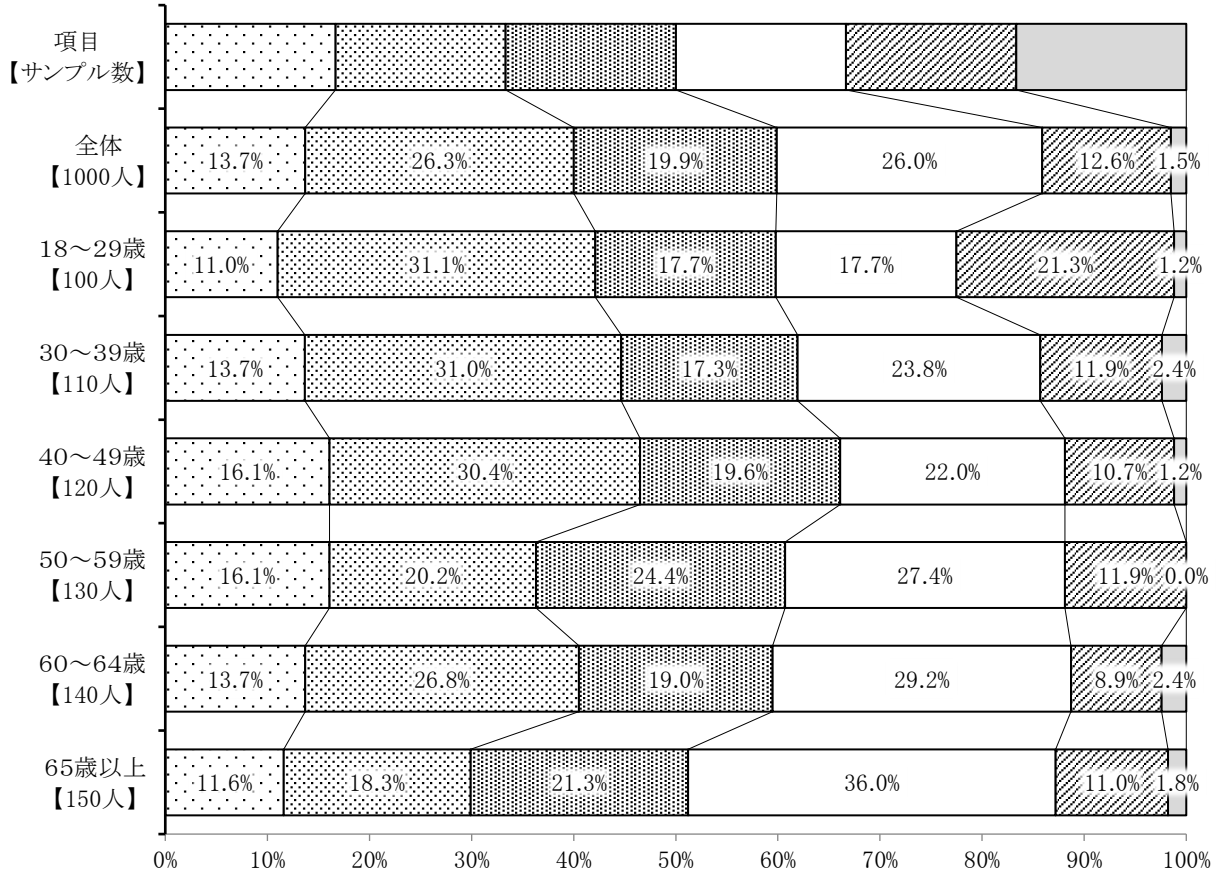
十分な戸数が  
あるが、比較的  
古いものが多い  
と思う

近年、新たな建  
設が目立つと思  
う

特に不足してい  
るとは感じない  
と思う

不足していると  
思う

その他



【立地別】

十分な戸数が  
あり、比較的  
新しいものが  
多いと思う

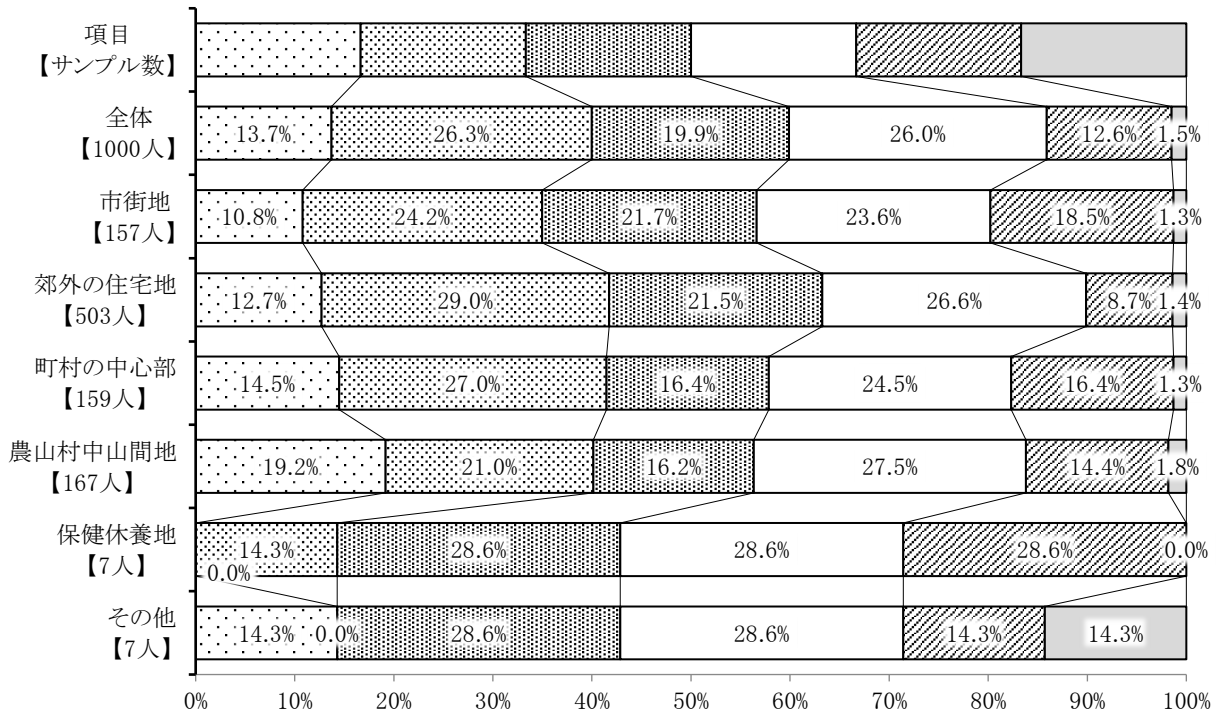
十分な戸数が  
あるが、比  
較的古いもの  
が多いと思う

近年、新  
たな建設が  
目立つと思  
う

特に不足  
していない  
と思う

不足して  
いると思  
う

その他



【居住地域別】

十分な戸数が  
あり、比較的  
新しいものが  
多いと思う

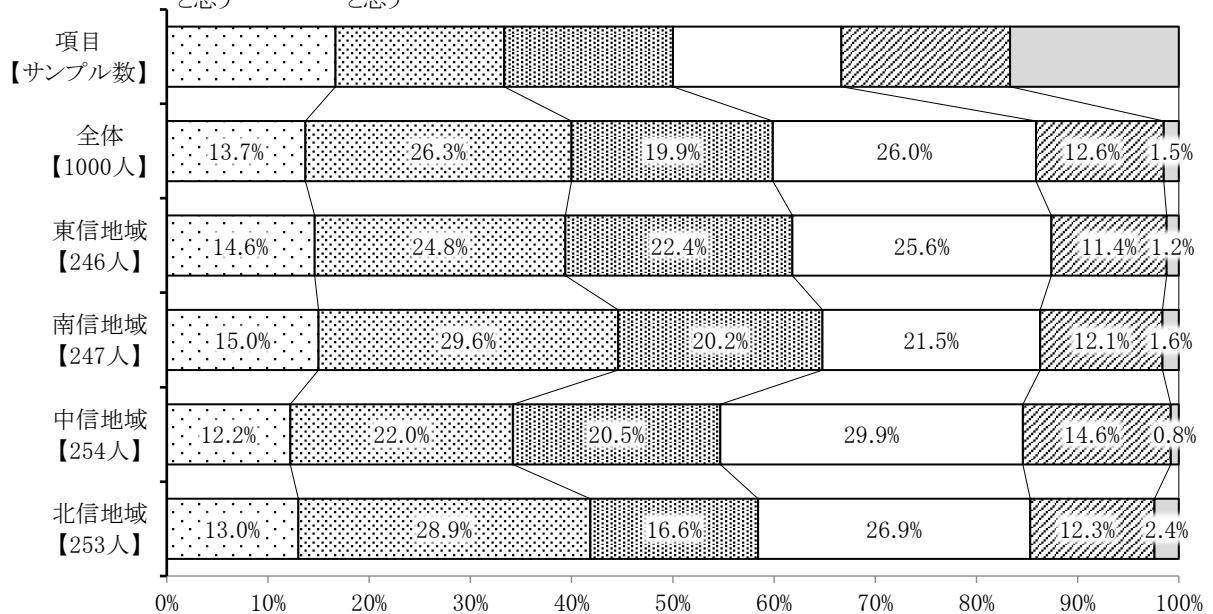
十分な戸数が  
あるが、比  
較的古いもの  
が多いと思う

近年、新  
たな建設が  
目立つと思  
う

特に不足  
していない  
と思う

不足して  
いると思  
う

その他



### 問33 居住地のまちなみ景観への印象

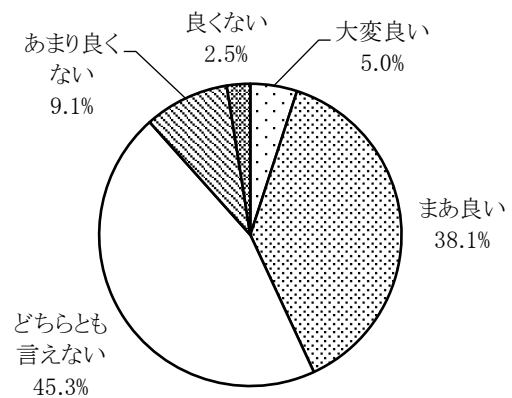
(R2調査 問32)

#### ◆ 地域の景観「良い」4割強、「良くない」1割強

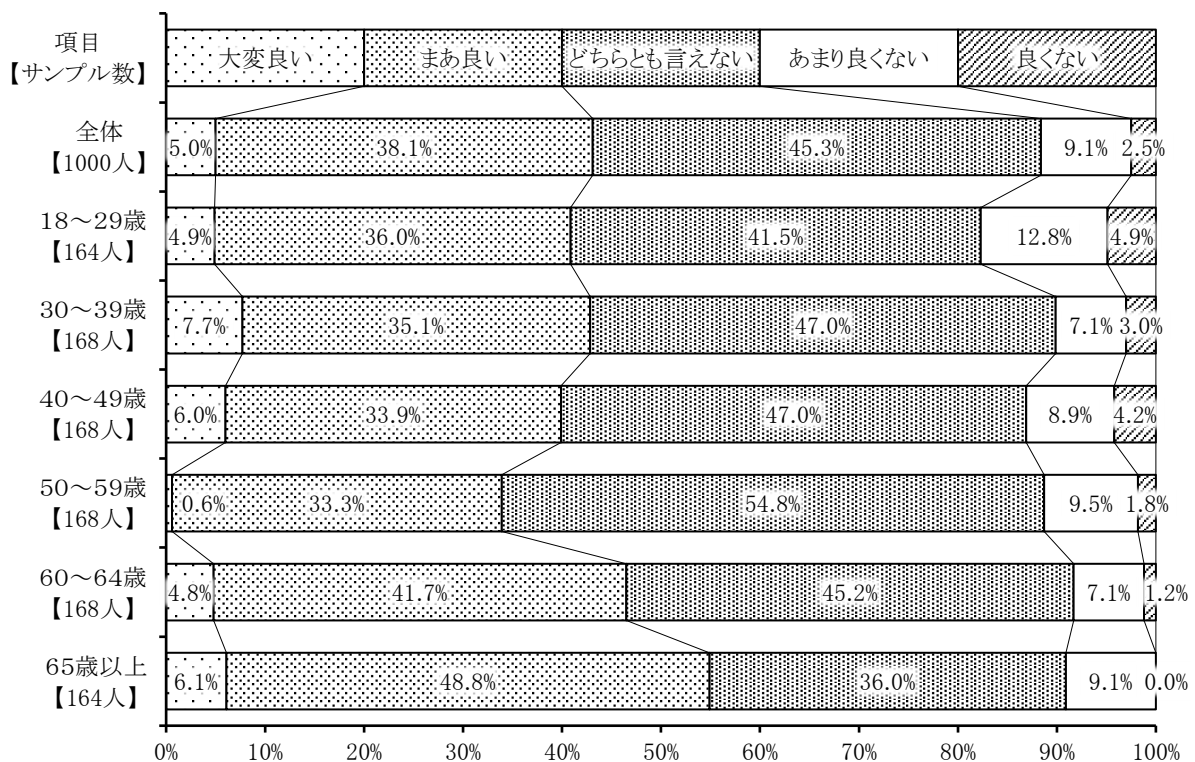
- 現在居住する地区の景観の印象については、「大変良い」が5.0%、「まあ良い」が38.1%で、全体の43.1%が『良い』となった。
- 年代別では、65歳以上で「大変良い」+「まあ良い」の『良い』が54.9%と、他の年代より多い。

問33 現在住んでいる地区のまちなみ景観について、どのような印象をお持ちですか。

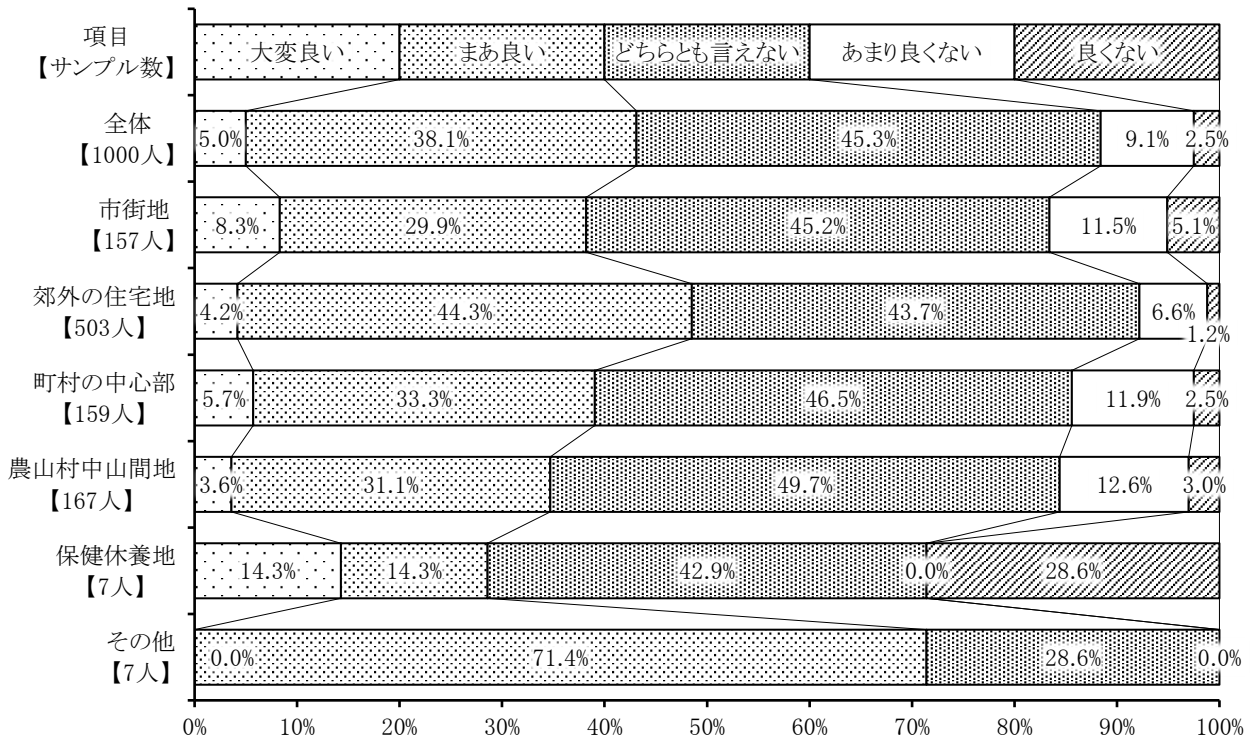
	回答者数	割合
1 大変良い	50人	5.0%
2 まあ良い	381人	38.1%
3 どちらとも言えない	453人	45.3%
4 あまり良くない	91人	9.1%
5 良くない	25人	2.5%
サンプル数	1,000人	100.0%



#### 【年代別】



【立地別】



## 問34 まちなみ景観への不満の理由

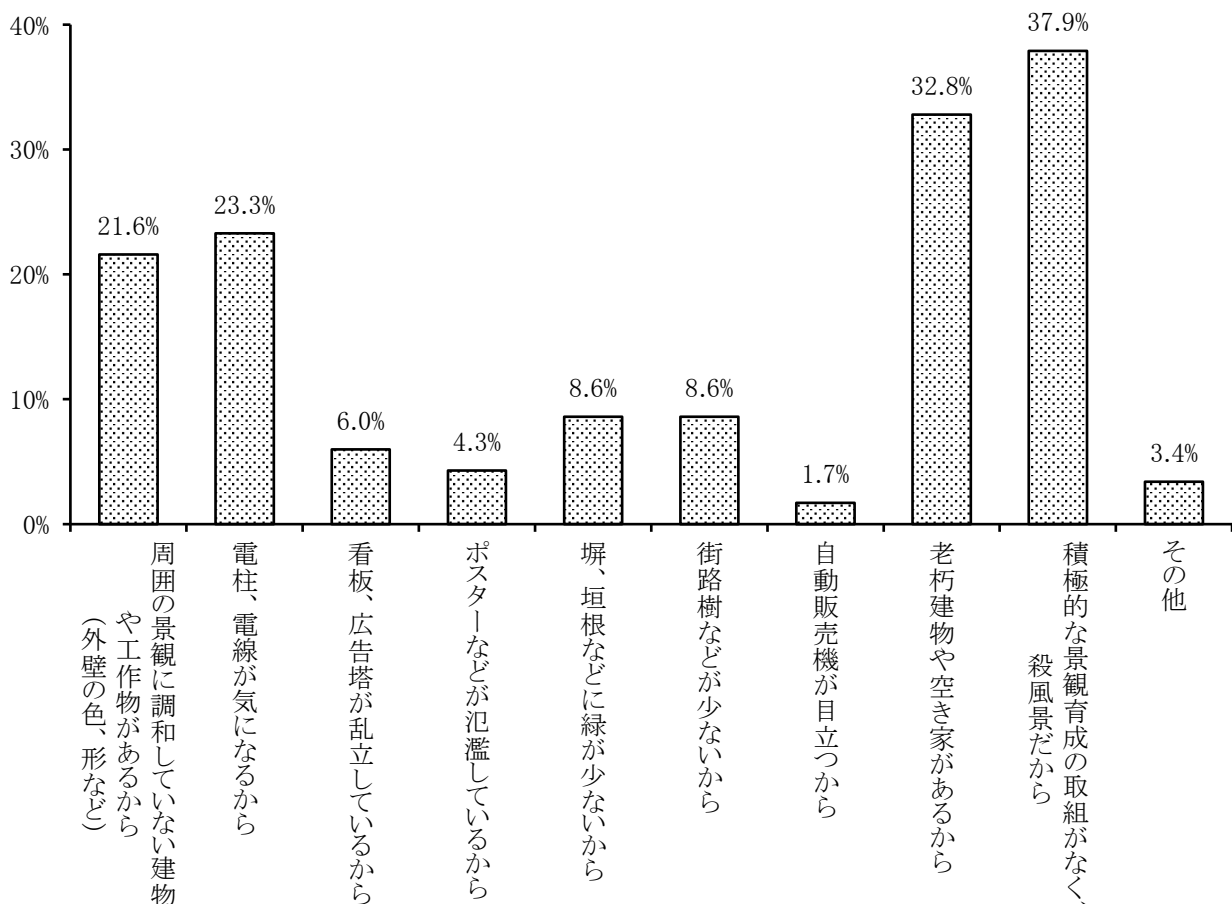
(R2調査 問33)

### ◆ 景観不満理由「取組なく殺風景」、「老朽建物や空き家」3割超える

- 問33の、現在居住する地区の景観の印象について「良くない」、「あまり良くない」とした方に理由を尋ねたところ、「積極的な景観育成の取組がなく、殺風景だから」(37.9%)、「老朽建物や空き家があるから」(32.8%)が3割台であった。「電柱、電線が気になるから」(23.3%)、「周囲の景観に調和していない建物や工作物があるから(外壁の色、形など)」(21.6%)が2割台で続く。

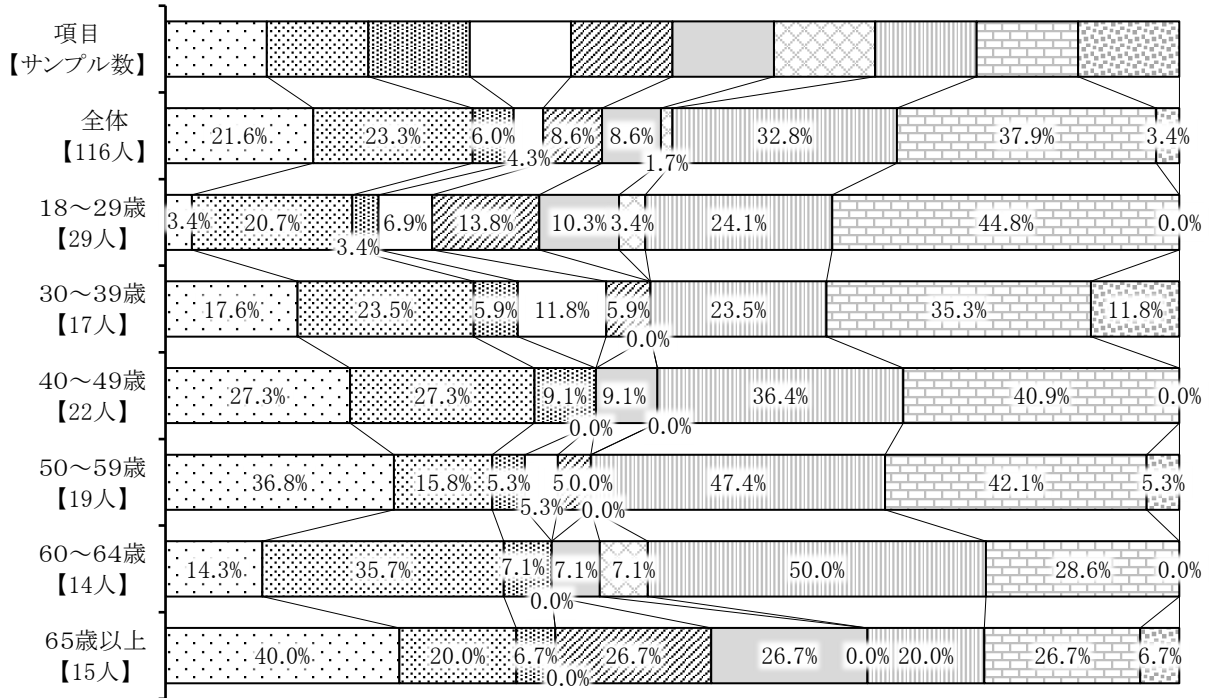
問34【問33で4または5を選んだ方におたずねします】その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。

	回答者数	割合
1 周囲の景観に調和していない建物や工作物があるから(外壁の色、形など)	25人	21.6%
2 電柱、電線が気になるから	27人	23.3%
3 看板、広告塔が乱立しているから	7人	6.0%
4 ポスターなどが氾濫しているから	5人	4.3%
5 塀、垣根などに緑が少ないから	10人	8.6%
6 街路樹などが少ないから	10人	8.6%
7 自動販売機が目立つから	2人	1.7%
8 老朽建物や空き家があるから	38人	32.8%
9 積極的な景観育成の取組がなく、殺風景だから	44人	37.9%
10 その他	4人	3.4%
サンプル数	116人	100.0%



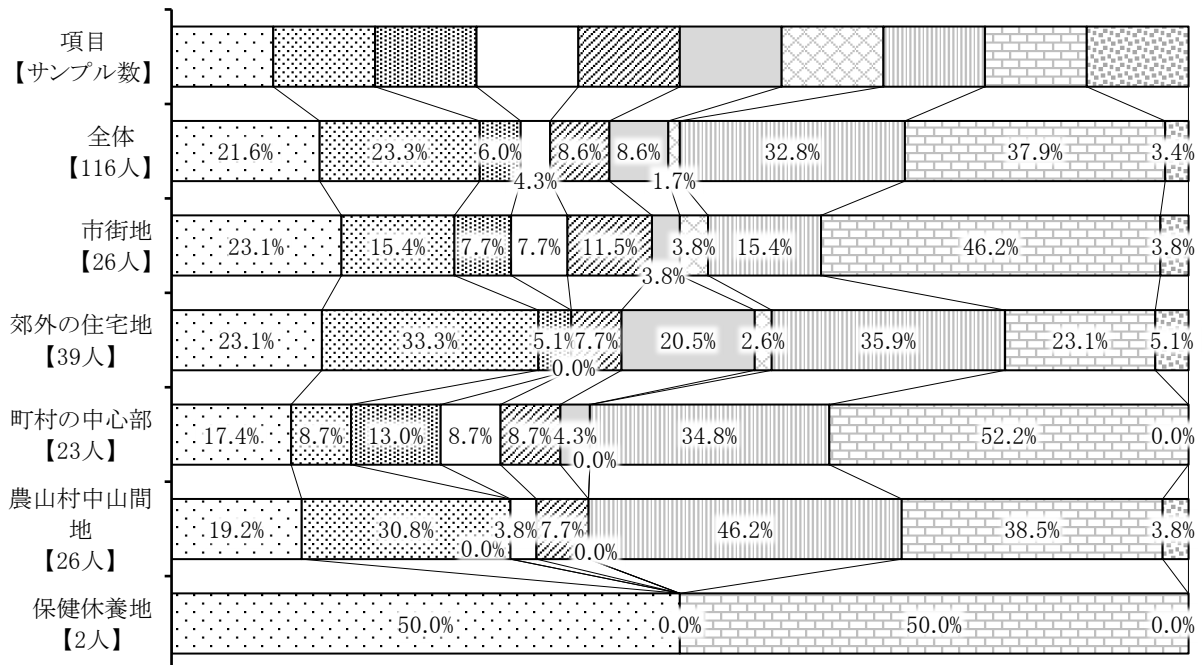
【年代別】

周囲の景観に調和していない建物や工  
作物があるから(外  
壁の色、  
形など) 電柱、電  
線が気にな  
るから 看板、広  
告塔が乱  
立している  
から ポスターな  
どが氾濫し  
ているから 塀、垣根な  
どに緑が  
少ないから 街路樹な  
どが少ない  
から 自動販売  
機が目立  
つから 老朽建物  
や空き家  
があるから 積極的な  
景観育成  
の取組が  
なく、殺風  
景だから その他



【立地別】

周囲の景観に調和していない建物や工  
作物があるから(外  
壁の色、  
形など) 電柱、電  
線が気にな  
るから 看板、広  
告塔が乱  
立している  
から ポスターな  
どが氾濫し  
ているから 塀、垣根な  
どに緑が  
少ないから 街路樹な  
どが少ない  
から 自動販売  
機が目立  
つから 老朽建物  
や空き家  
があるから 積極的な  
景観育成  
の取組が  
なく、殺風  
景だから その他



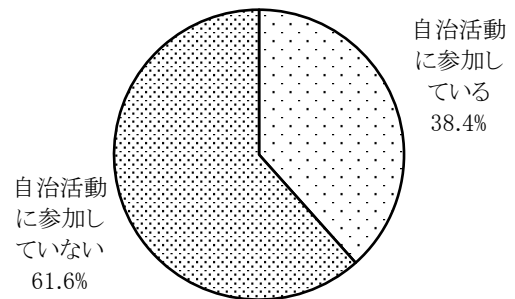
## 問35-1 自治活動への参加

### ◆ 自治活動「参加」は4割弱

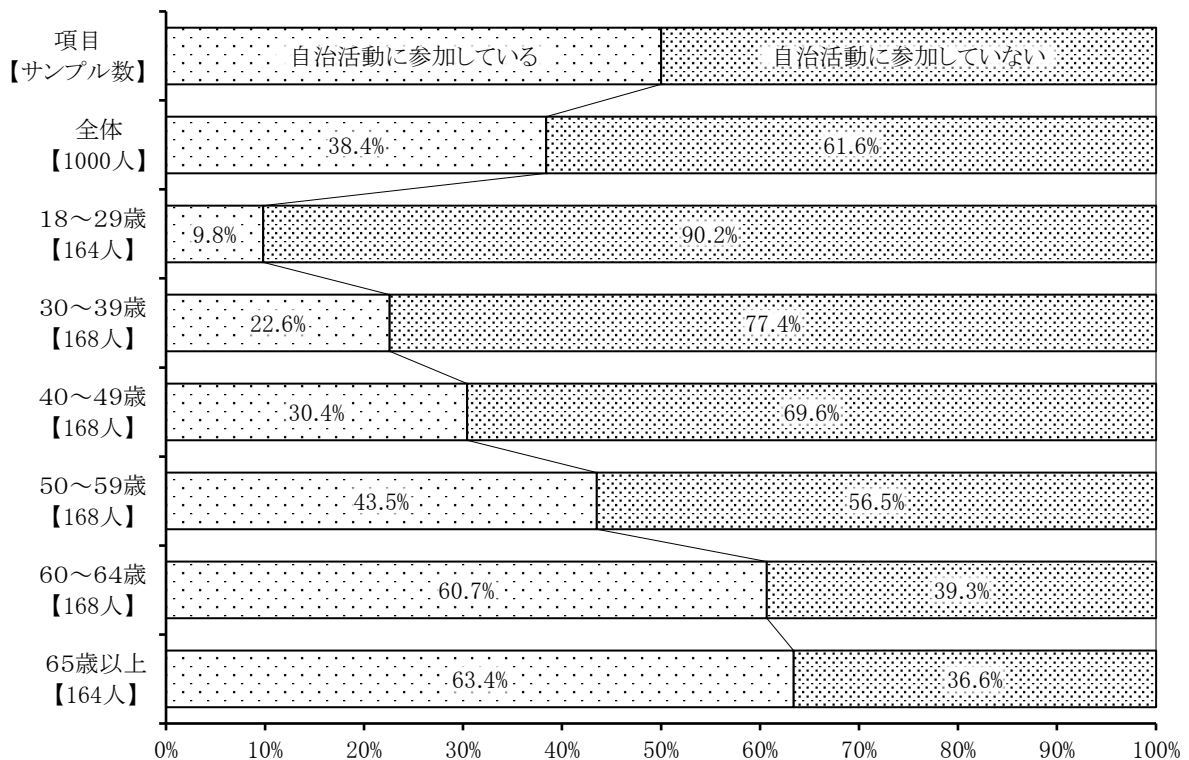
- 「自治活動に参加している」が38.4%、「自治活動に参加していない」が61.6%となった。
- 年代別では、「自治活動に参加している」は年代が上がるほど多い傾向にある。
- 世帯構成別では、「自治活動に参加している」が夫婦のみでは53.0%と多く、単身世帯では20.0%と少ない。
- 立地別では、農山村中山間地で「自治活動に参加している」が52.7%と多く、半数以上となった。

問35  
-1 地域の自治活動に参加していますか。

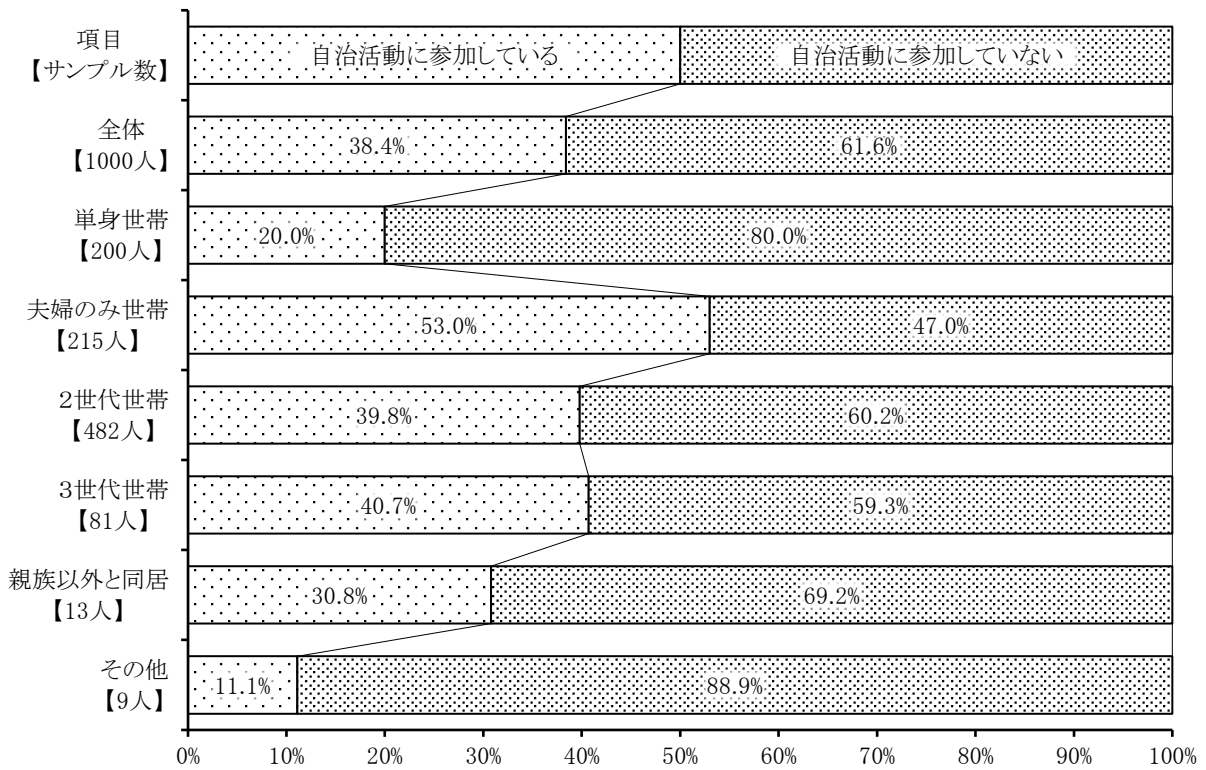
	回答者数	割合
1 自治活動に参加している	384人	38.4%
2 自治活動に参加していない	616人	61.6%
サンプル数	1,000人	100.0%



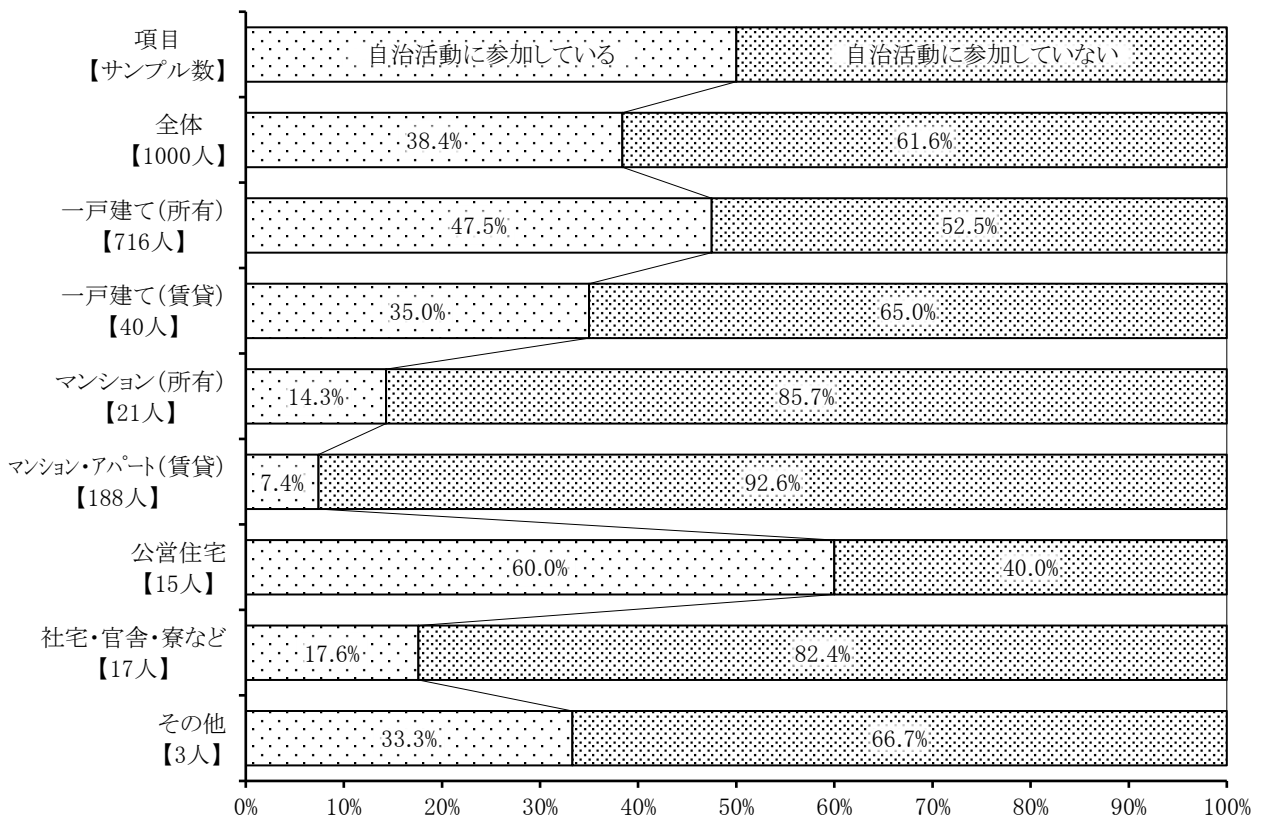
### 【年代別】



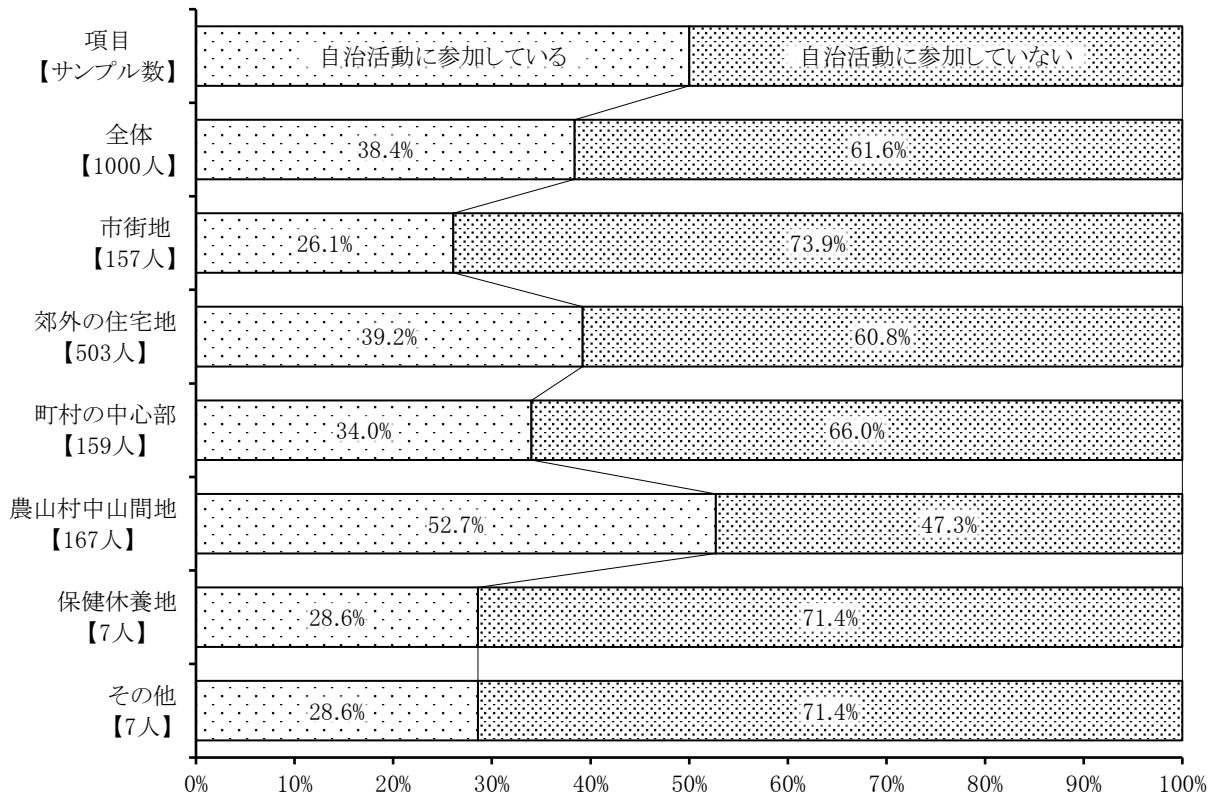
【世帯構成別】



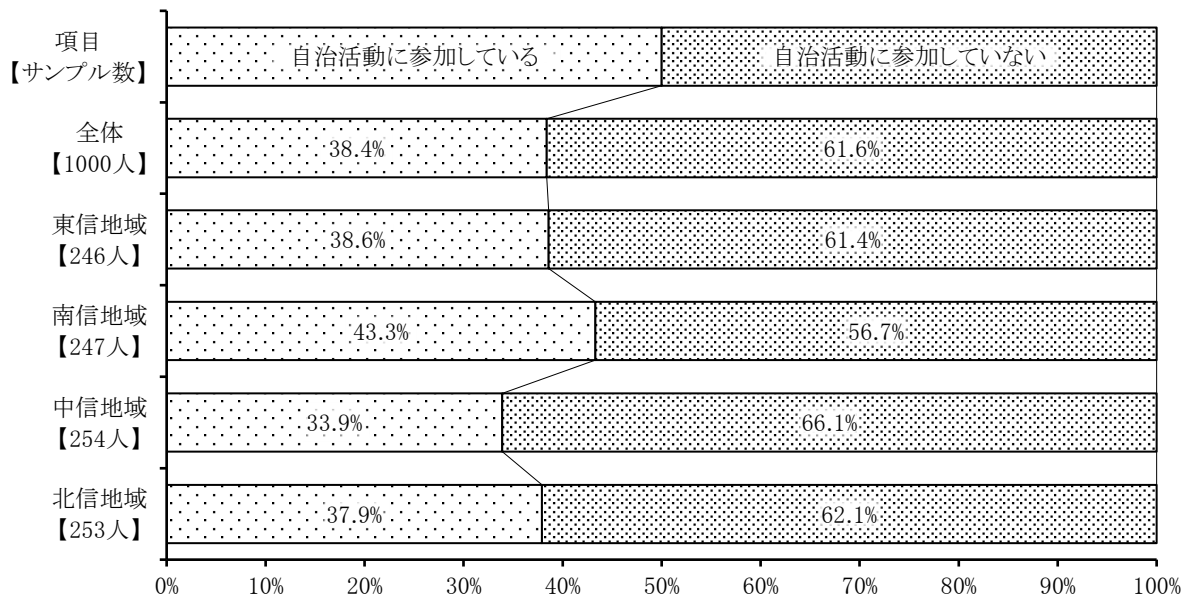
【住宅形態別】



【立地別】



【居住地域別】



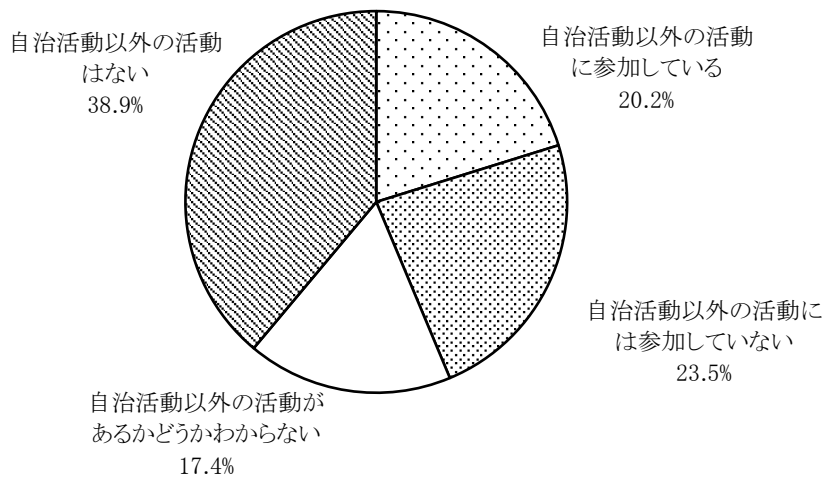
## 問35-2 自治活動以外への参加

### ◆ 自治活動以外「参加」は2割

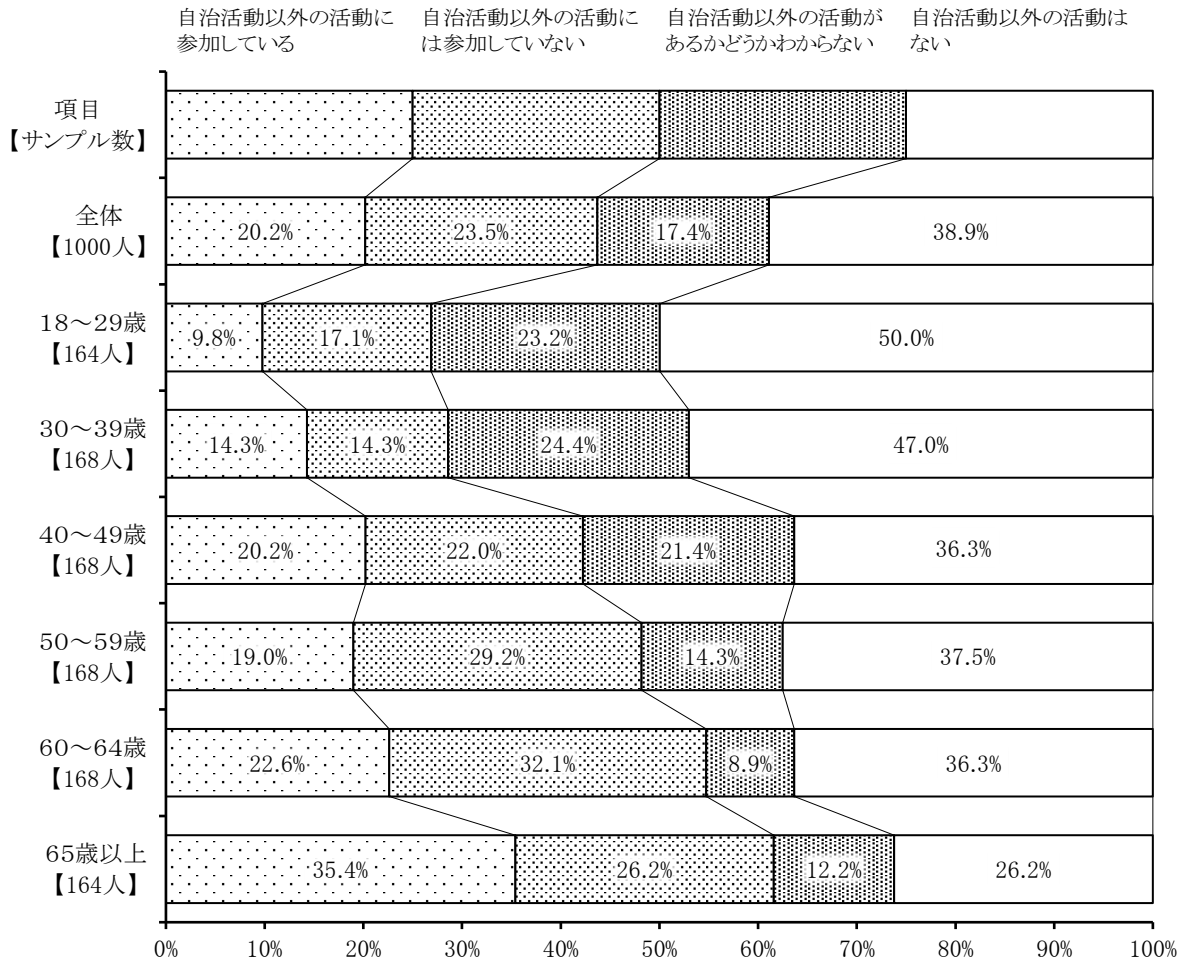
- 「自治活動以外の活動はない」が38.9%と多く、「自治活動以外の活動には参加していない」が23.5%となった。「自治活動以外の活動に参加している」が20.2%。
- 年代別では、65歳以上で「自治活動以外に参加している」が35.4%と、他の年代より多く、年代が上がるほど多い傾向にある。
- 立地別では、農山村中山間地で「自治活動以外に参加している」が29.9%と、他の立地より多い。

問35 地域の自治活動以外の活動(友人や近隣住民等、地域との交流・つながりを持つ活動)に参加していますか。  
-2 。

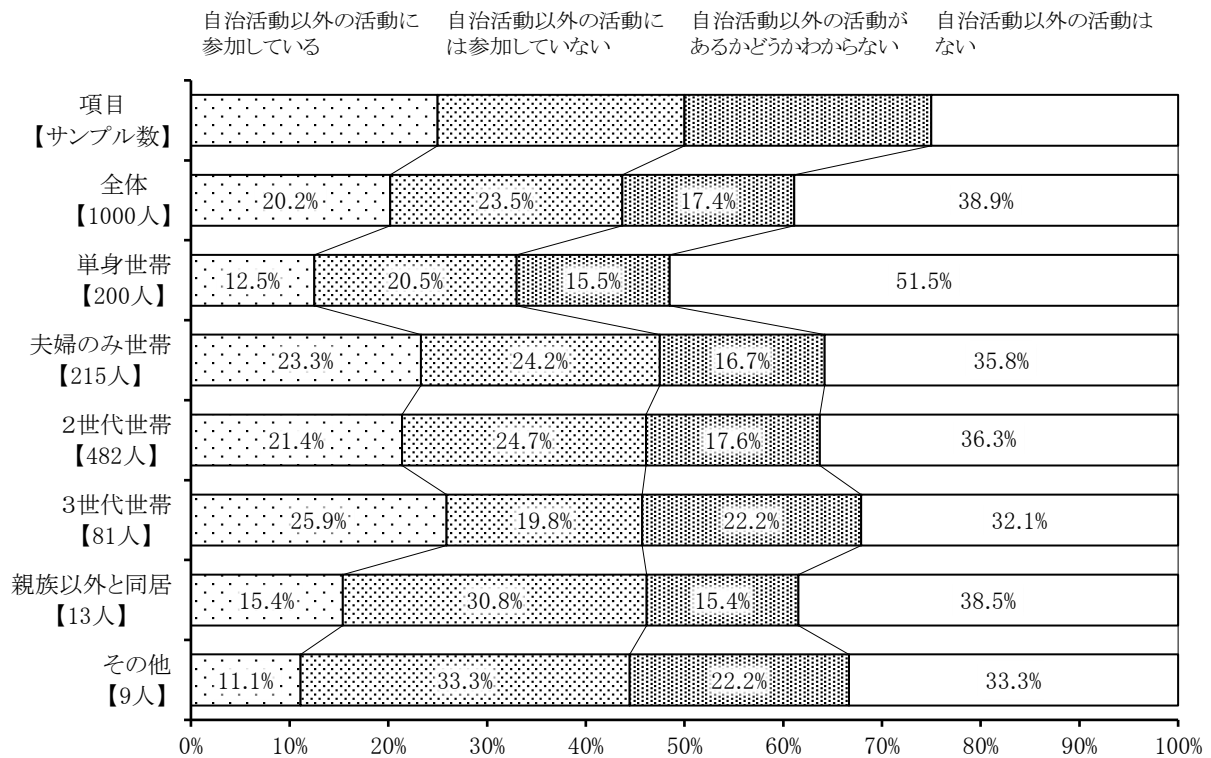
	回答者数	割合
1 自治活動以外の活動に参加している	202人	20.2%
2 自治活動以外の活動には参加していない	235人	23.5%
3 自治活動以外の活動があるかどうかわからない	174人	17.4%
4 自治活動以外の活動はない	389人	38.9%
サンプル数	1,000人	100.0%



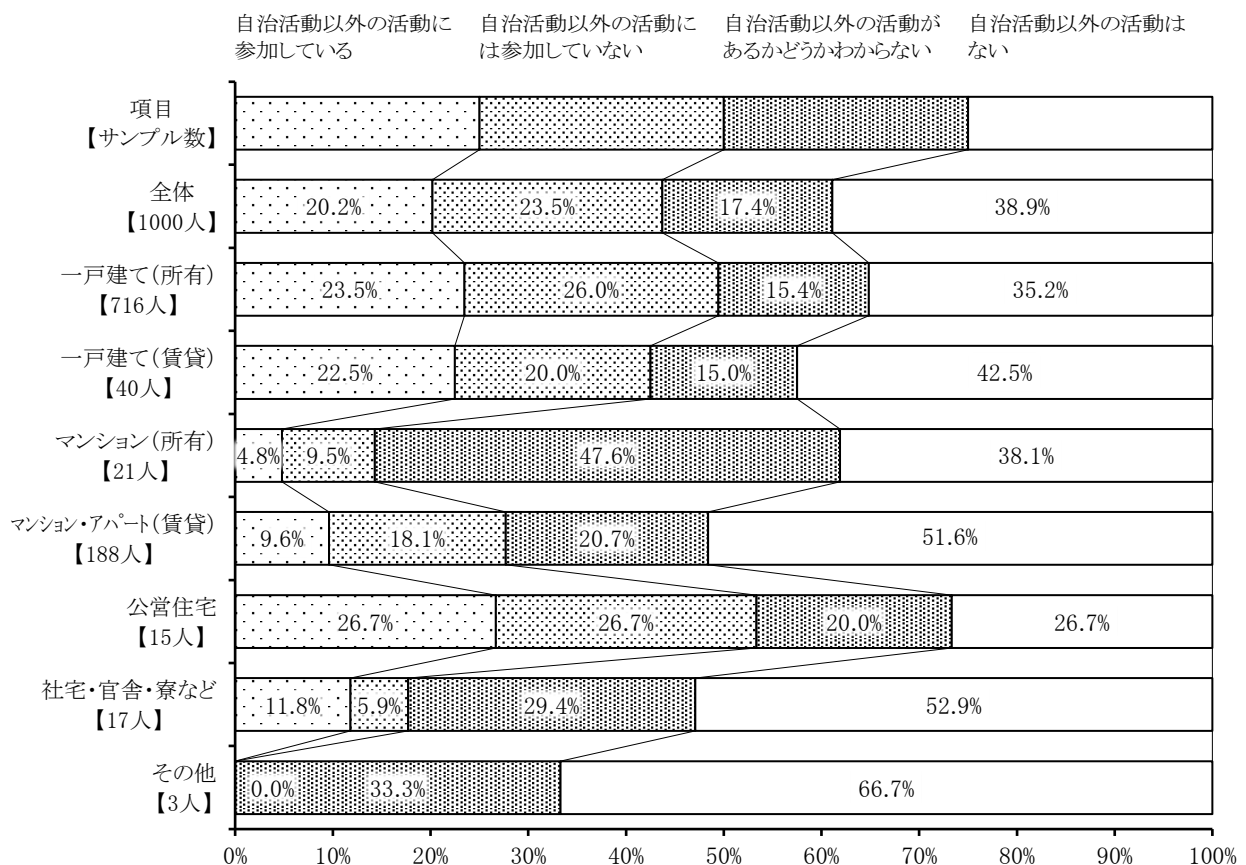
【年代別】



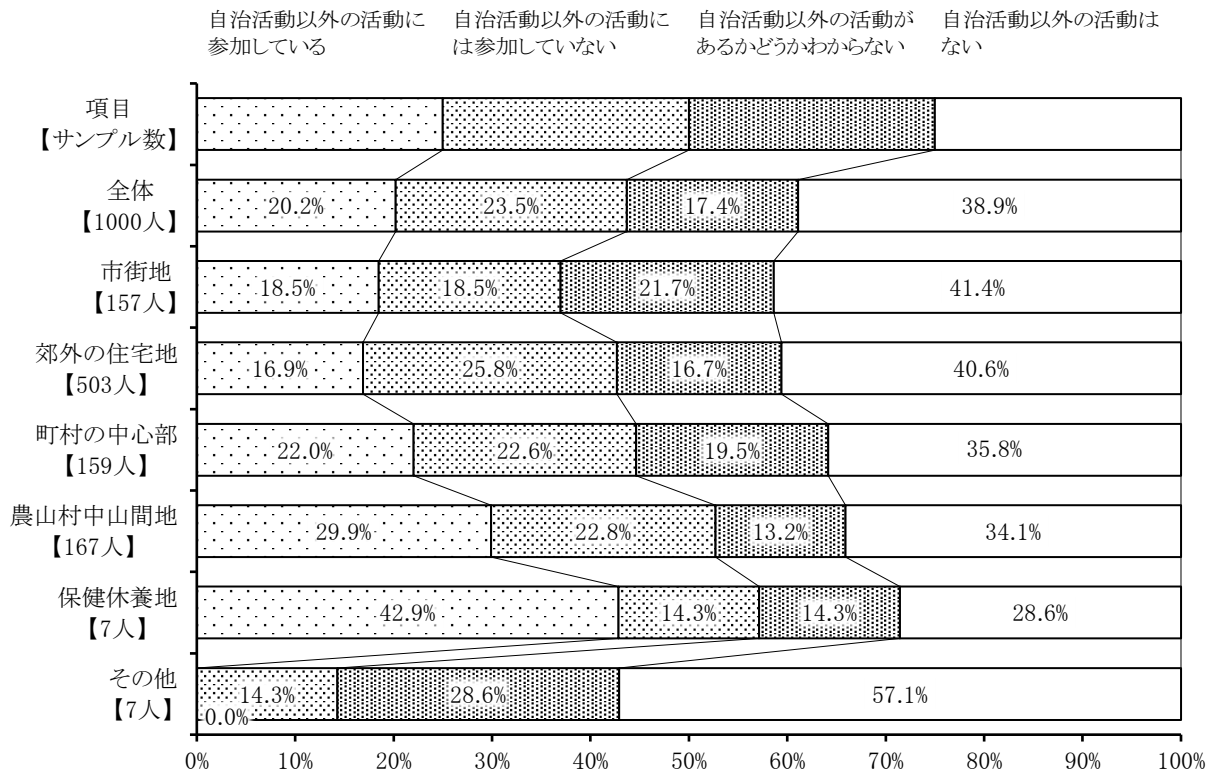
### 【世帯構成別】



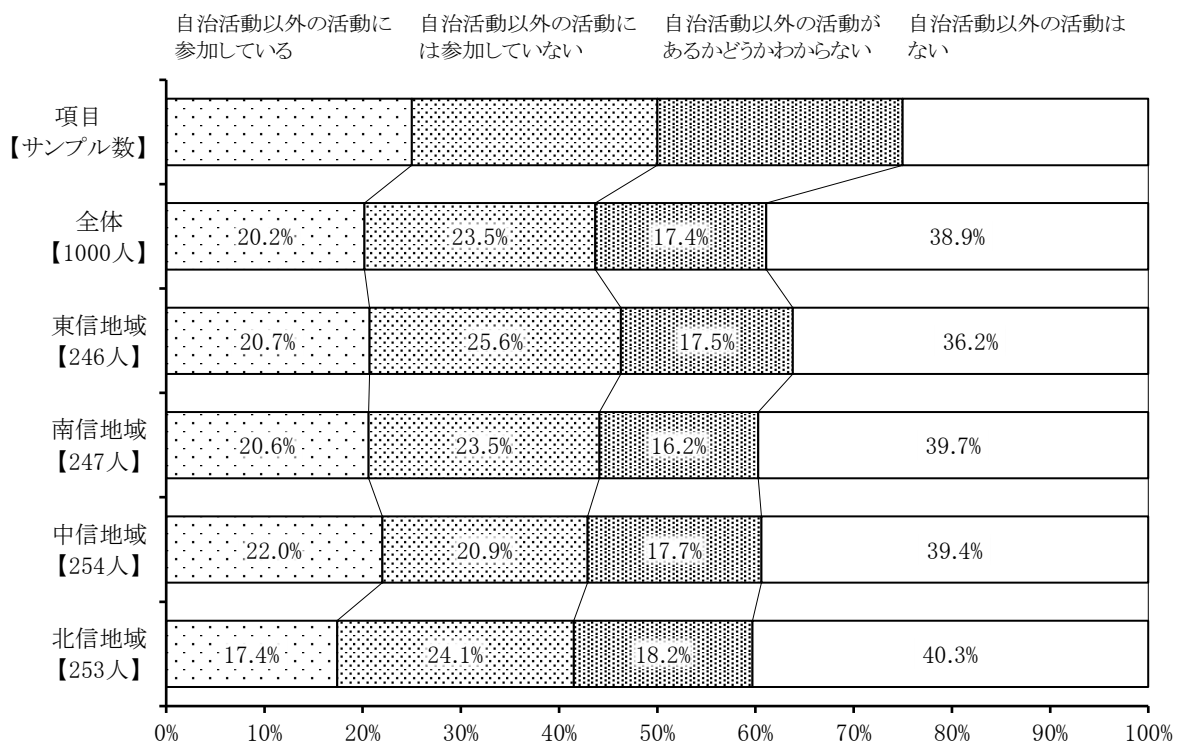
### 【住宅形態別】



【立地別】



【居住地域別】



## 問36 行っている/行いたい地域の交流活動

問36 地域との交流・つながりを持つ活動でしていること、または、したいことをお書きください。

- 自由記入方式で回答を求めたところ、次のようなキーワードが多く得られた。

### 1. イベント

地域の行事、お祭り、イベント情報の共有、町内会のイベント、花見 など

### 2. 子育て関連

育成会の行事、子育てサークル、子育て支援センター、児童館、PTA活動、情報交換 など

### 3. 地域での活動

町内会、自治会、避難訓練、防災活動 など

### 4. サークル活動

趣味のサークル、お茶飲み会、農業サークル など

### 5. 清掃活動

地域の清掃活動、草刈り、雪かき、除雪 など

### 6. スポーツ関連

スポーツ、運動、スポーツ大会、運動会 など

### 7. 高齢者関連

高齢者のつながり、情報交換・共有、高齢者への支援

- その他、次のような活動や意見がみられた。

- ・ 移住者で地域のわからない事などを話せる情報交換できる場
- ・ 農村文化を引き継いでいく共同作業の実施
- ・ カフェの運営

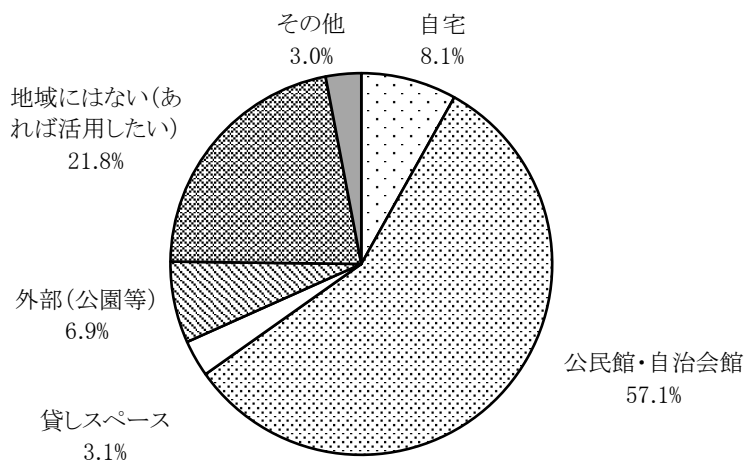
## 問37 地域の交流活動実施場所

### ◆ 地域の交流場所は「公民館・自治会館」が6割弱

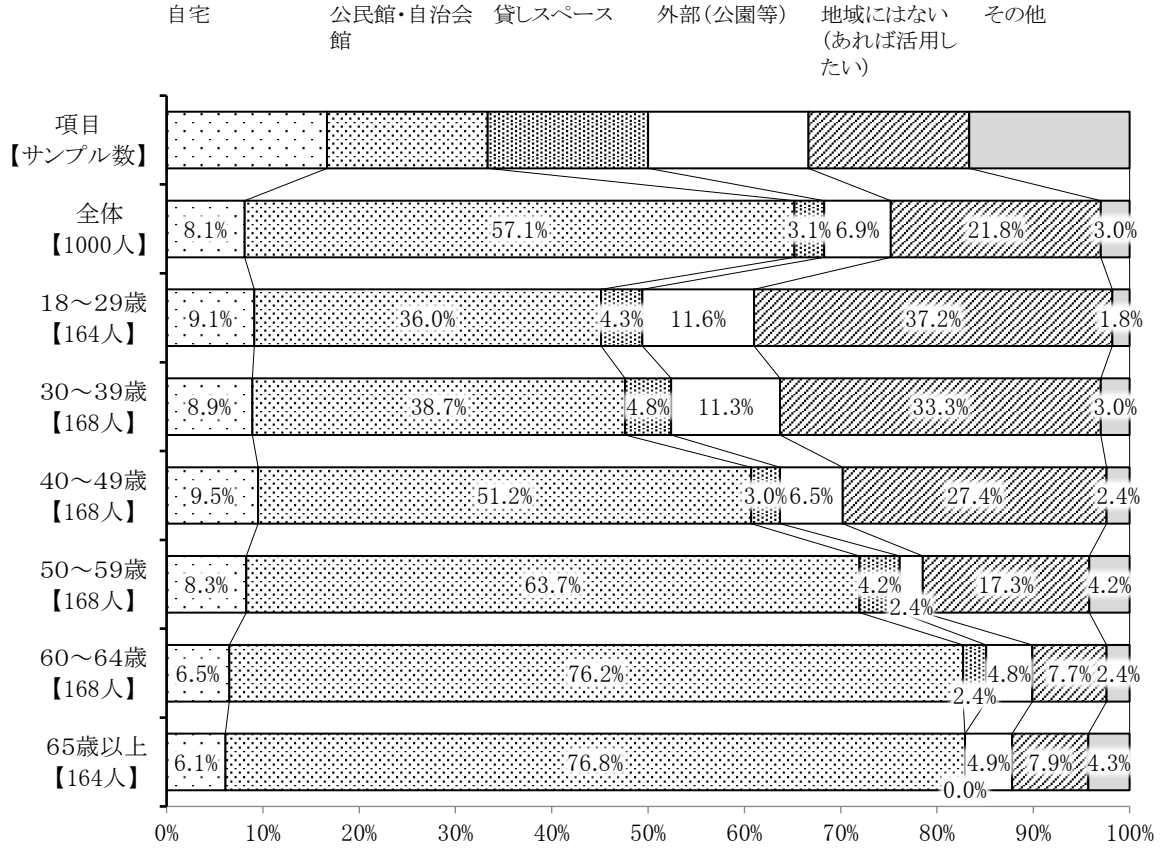
- 地域の交流活動をするための場所は、「公民館・自治会館」が57.1%と最も多く、次いで、「地域にはない(あれば活用したい)」が21.8%となった。
- 年代別では、65歳以上で「公民館・自治会館」が76.8%と最も多く、年代が上がるにつれ多くなる。18～29歳で「地域にはない(あれば活用したい)」が37.2%、と他の年代より多い。
- 立地別では、市街地で「公民館・自治会館」が42.0%と、他の立地より少なく、「貸しスペース」が7.0%と、他の立地よりやや多い。

問37 近隣住民や地域との交流・つながりを持つ活動をするための場所はどこですか。

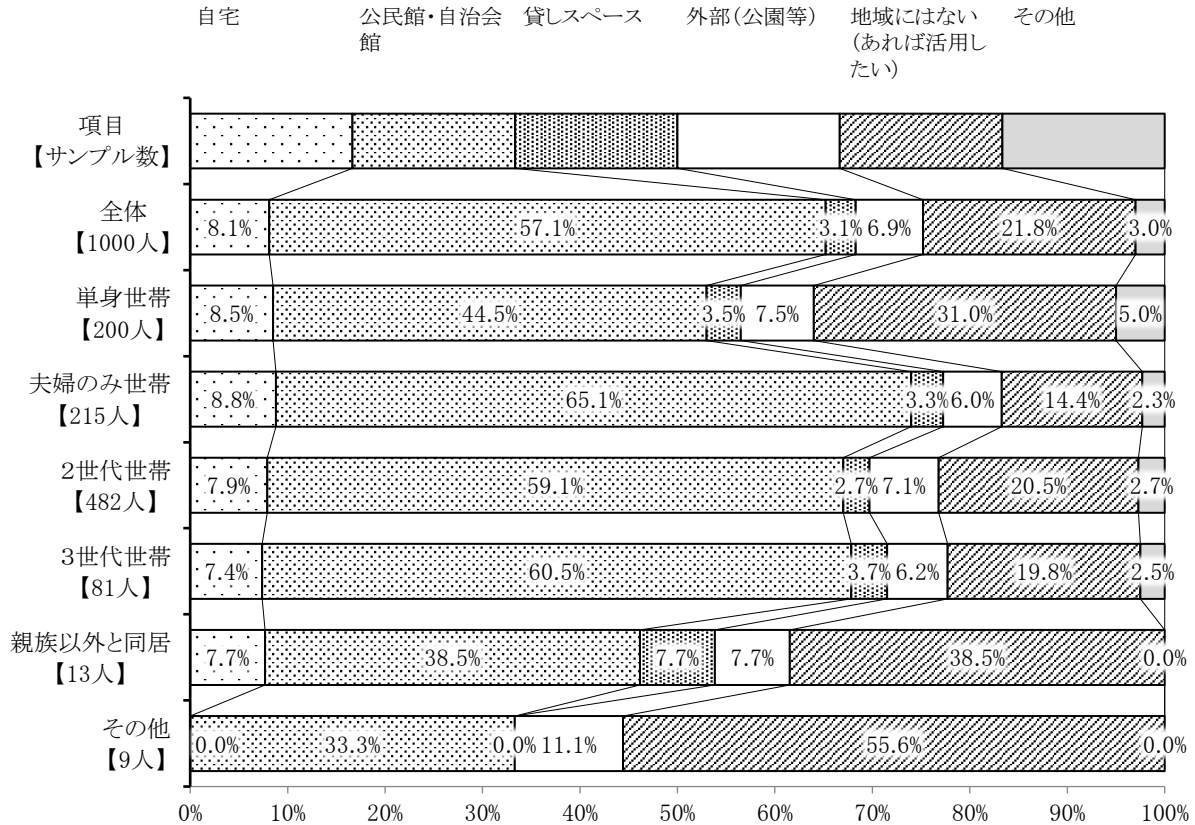
	回答者数	割合
1 自宅	81人	8.1%
2 公民館・自治会館	571人	57.1%
3 貸しスペース	31人	3.1%
4 外部(公園等)	69人	6.9%
5 地域にはない(あれば活用したい)	218人	21.8%
6 その他	30人	3.0%
サンプル数	1,000人	100.0%



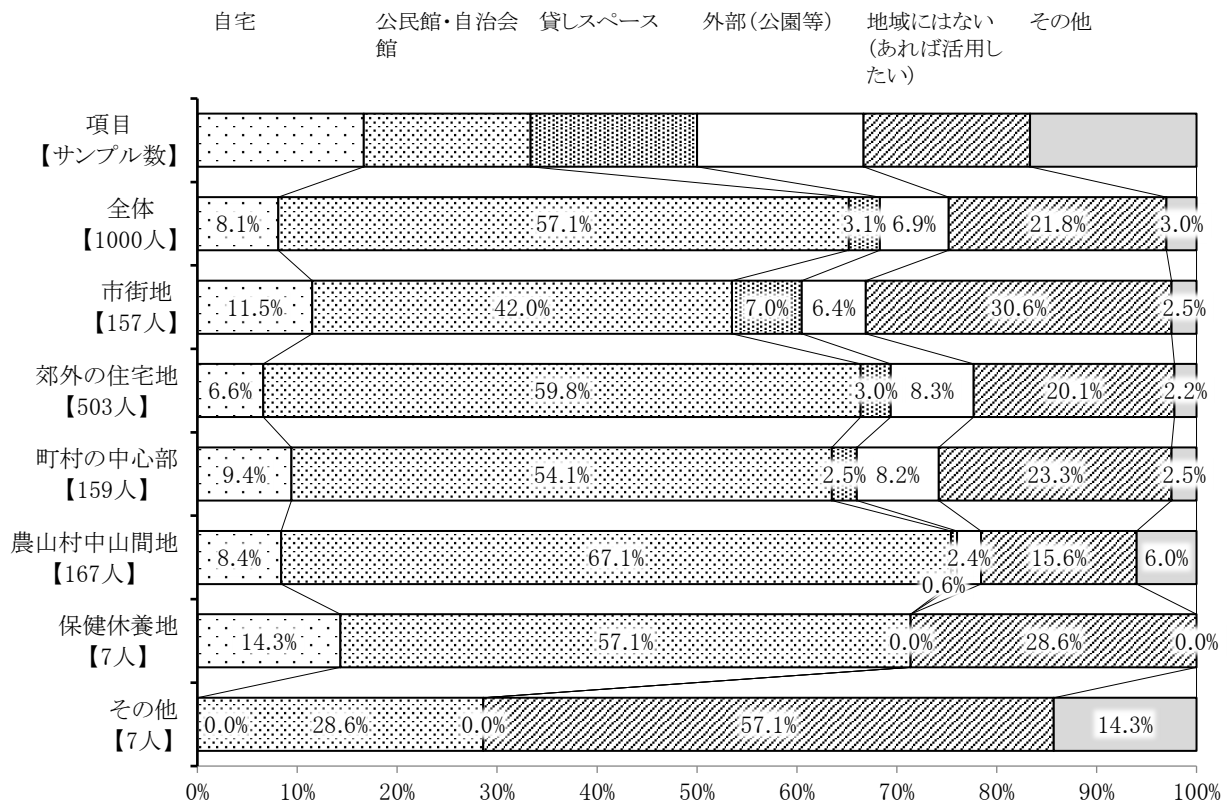
【年代別】



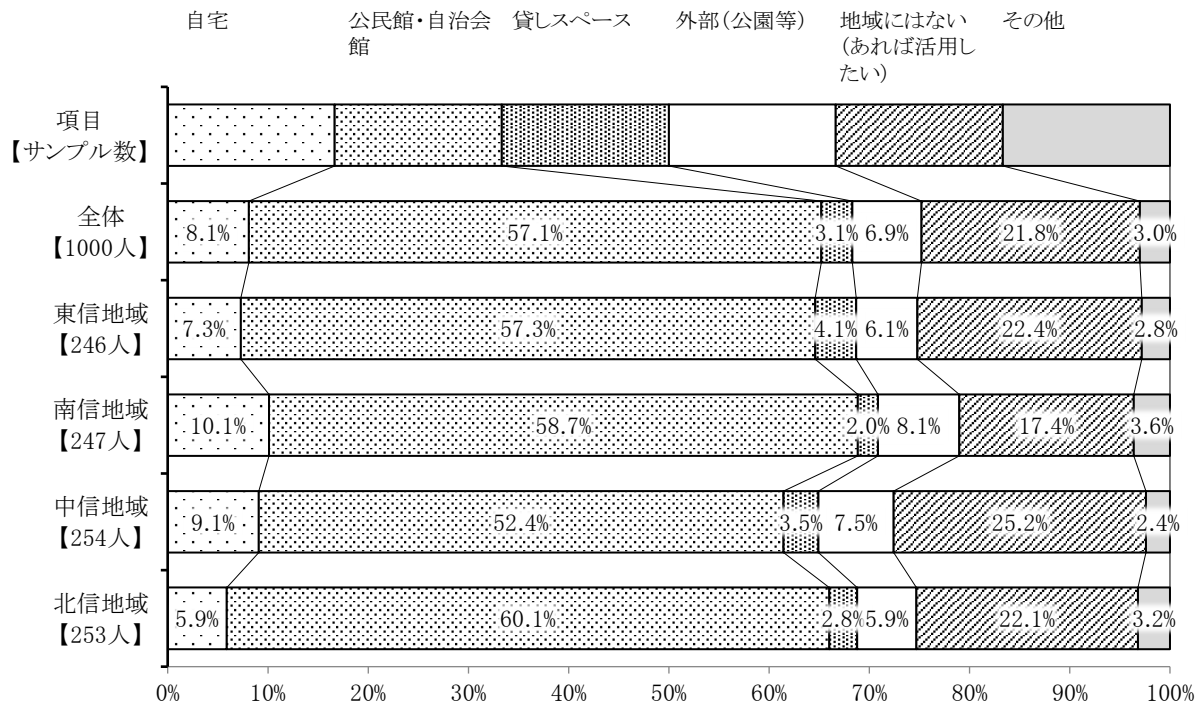
【世帯構成別】



【立地別】



【居住地域別】



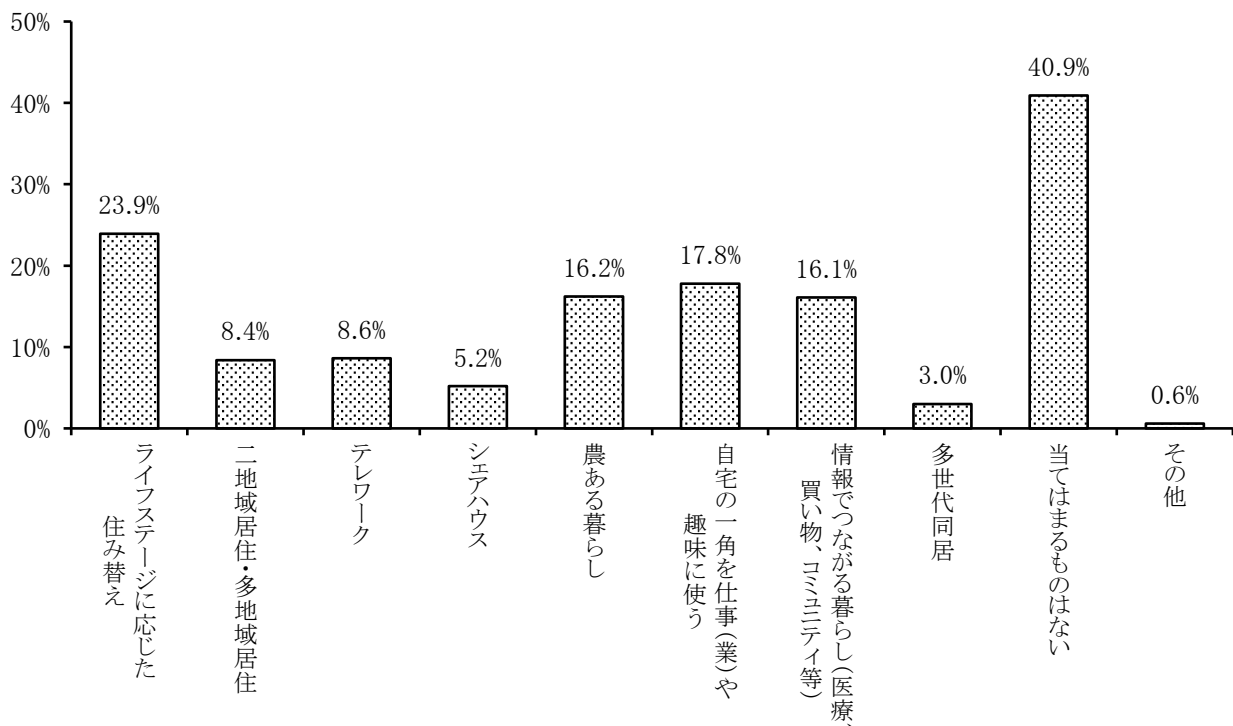
## 問38 将来してみたい住まい方/暮らし方

### ◆ 将来希望する住まい方は「ライフステージに応じた住み替え」が2割強

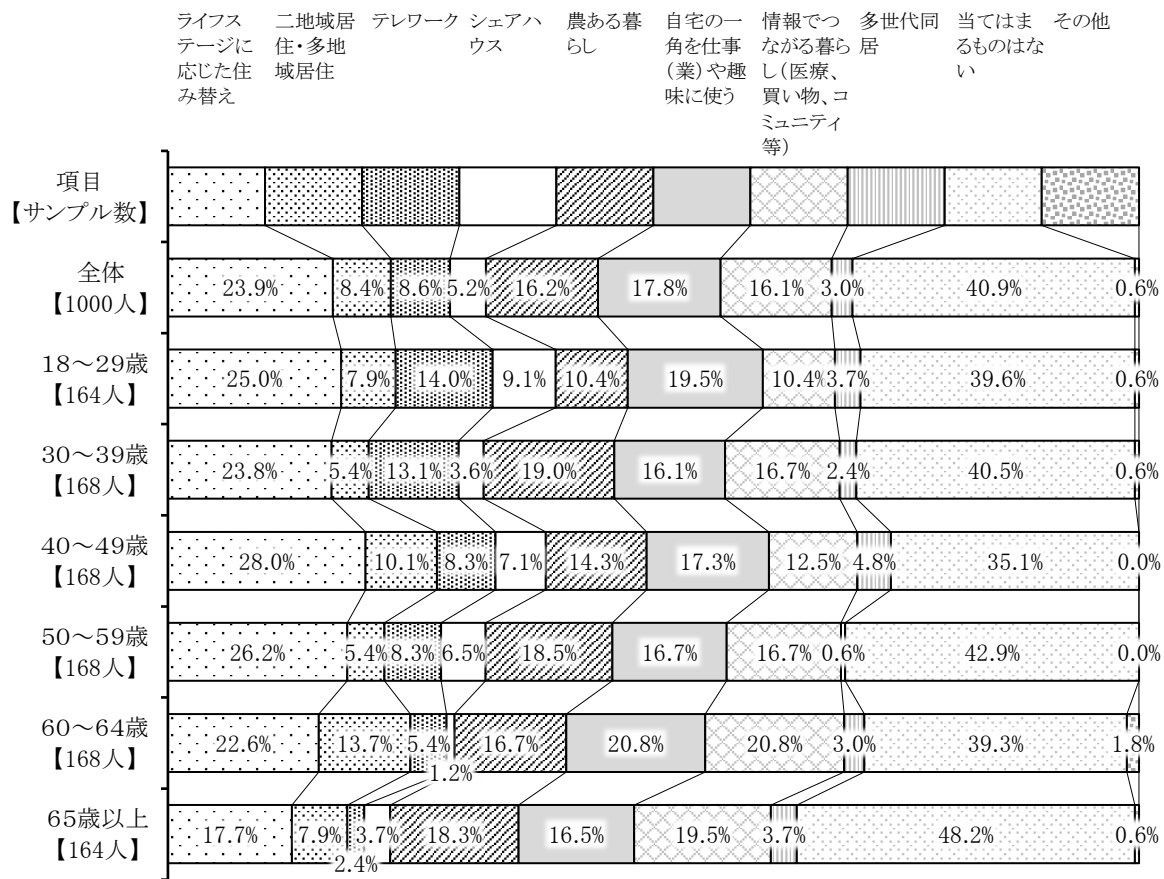
- 将来してみたい住まい方・暮らし方について、「ライフステージに応じた住み替え」が23.9%、次いで「自宅の一角を仕事(業)や趣味に使う」が17.8%となった。
- 世帯構成別では、3世代世帯で「ライフステージに応じた住み替え」(29.6%)と「農ある暮らし」(23.5%)が、他の世帯より多い。

問38 あなたが将来してみたい住まい方・暮らし方について当てはまるものはありますか。次の中から3つ以内で選んでください。

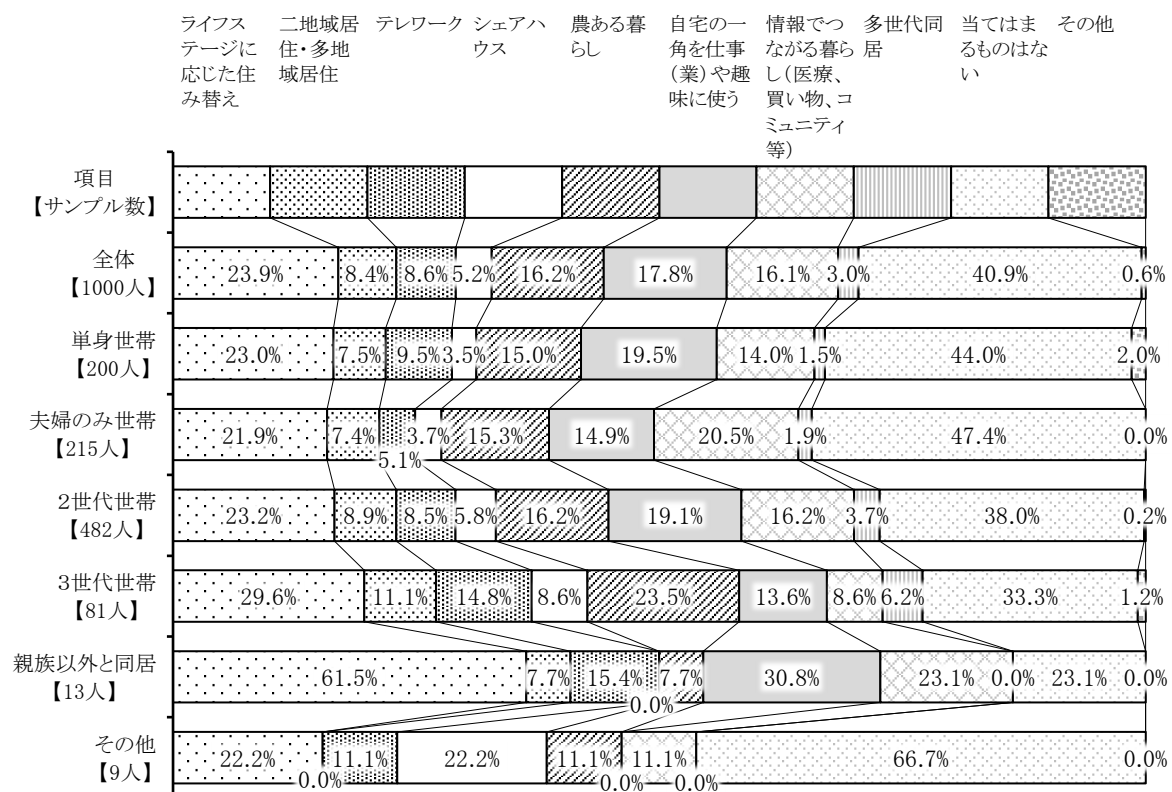
	回答者数	割合
1 ライフステージに応じた住み替え	239人	23.9%
2 二地域居住・多地域居住	84人	8.4%
3 テレワーク	86人	8.6%
4 シェアハウス	52人	5.2%
5 農ある暮らし	162人	16.2%
6 自宅の一角を仕事(業)や趣味に使う	178人	17.8%
7 情報でつながる暮らし(医療、買い物、コミュニティ等)	161人	16.1%
8 多世代同居	30人	3.0%
9 当てはまるものはない	409人	40.9%
10 その他	6人	0.6%
サンプル数	1,000人	100.0%



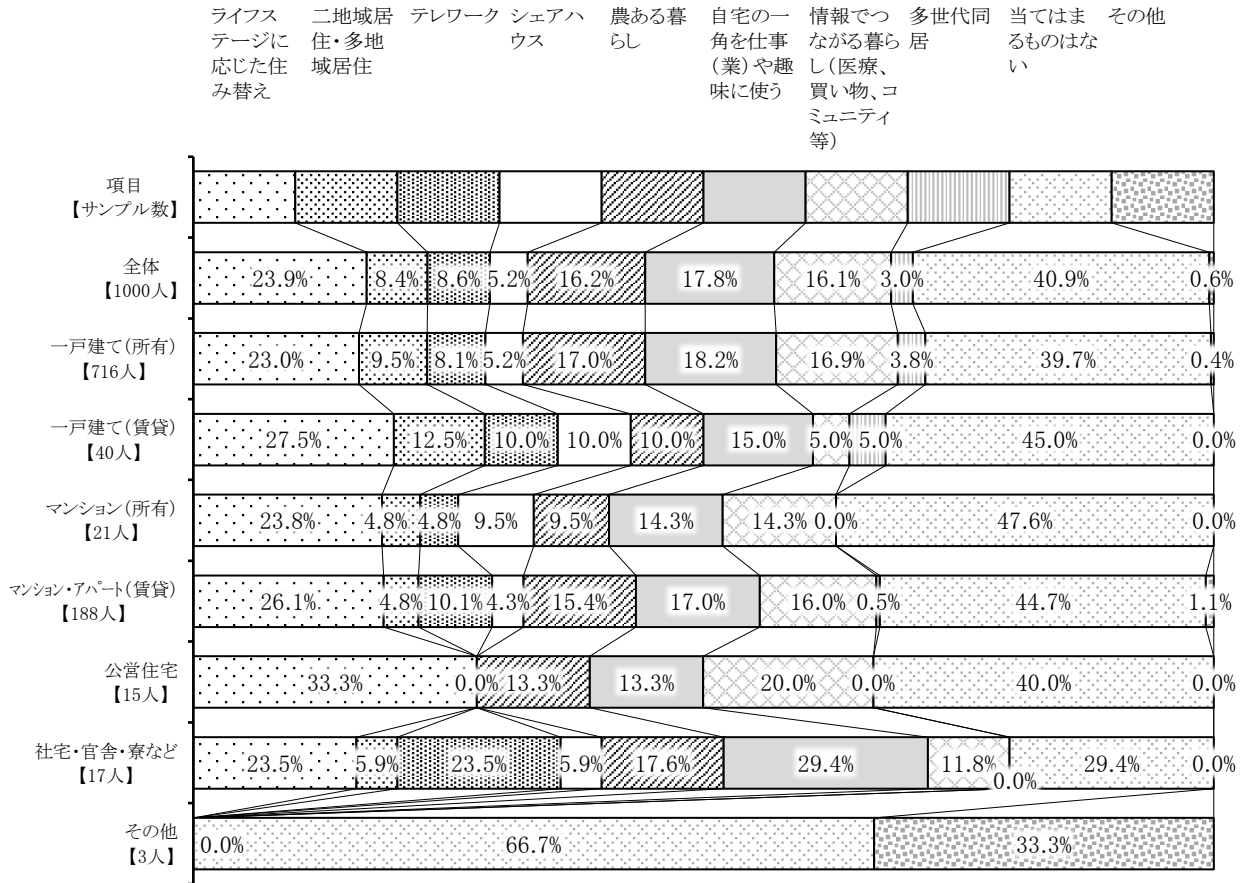
### 【年代別】



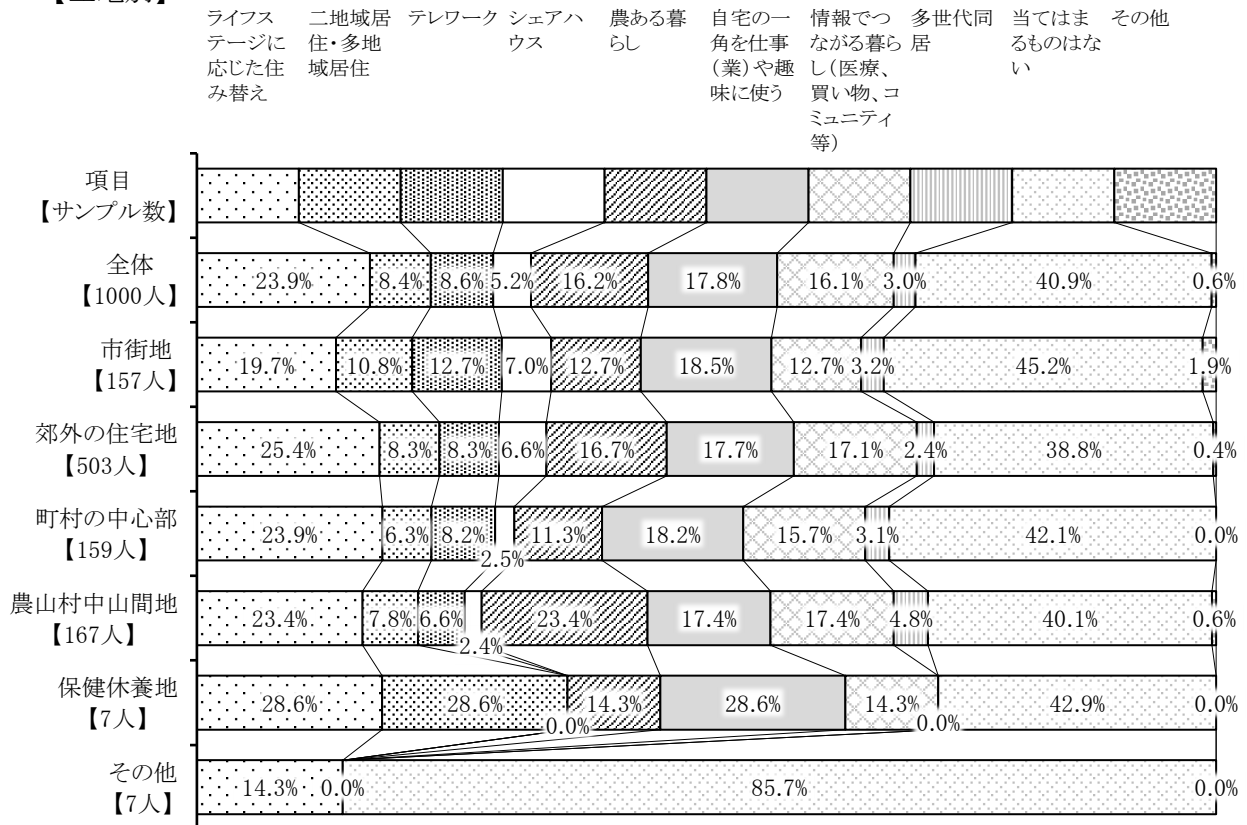
### 【世帯構成別】



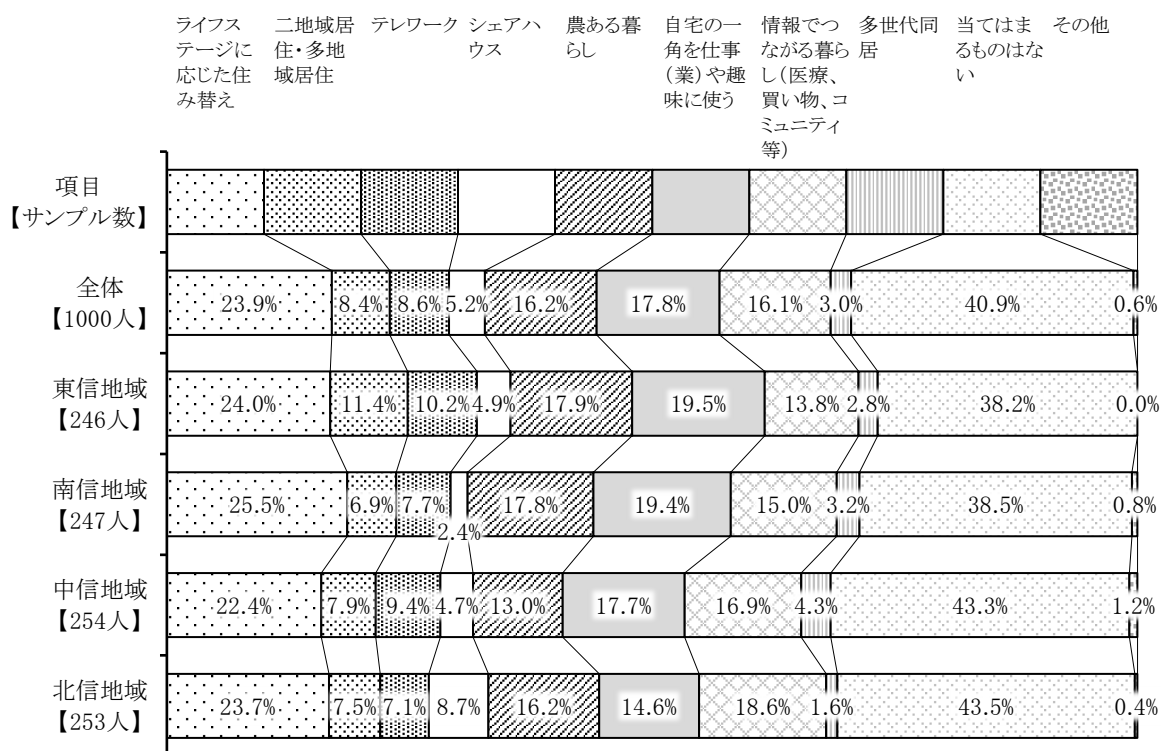
### 【住宅形態別】



### 【立地別】



【居住地域別】



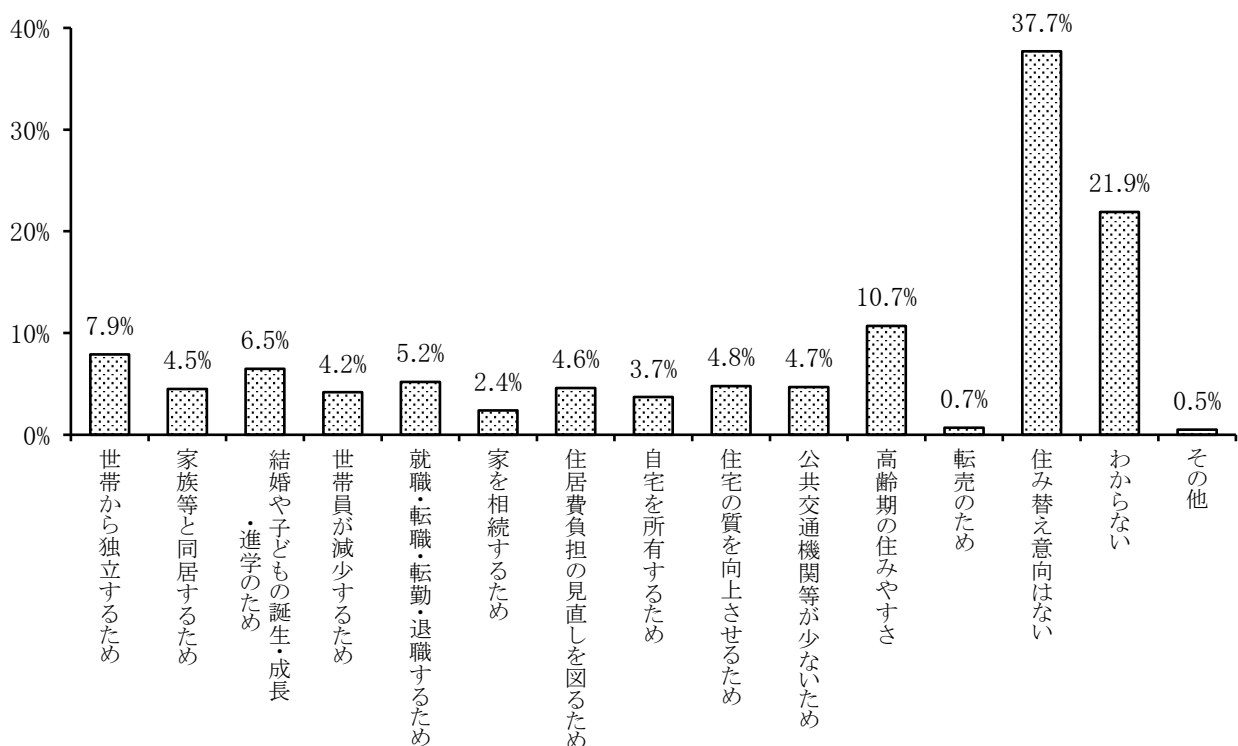
## 問39 今後の住み替え理由

◆ 今後の住み替え理由は「高齢期の住みやすさ」が1割、尚、「住み替え意向なし」は4割弱、「わからない」は2割強

- 年代別では、18～29歳で「世帯から独立するため」(14.6%)と「就職・転職・転勤・退職するため」(14.6%)が、他の年代より多い。
- 世帯構成別では、3代世帯で「世帯から独立するため」(16.0%)と「世帯員が減少するため」(9.9%)が、他の世帯構成より多い。

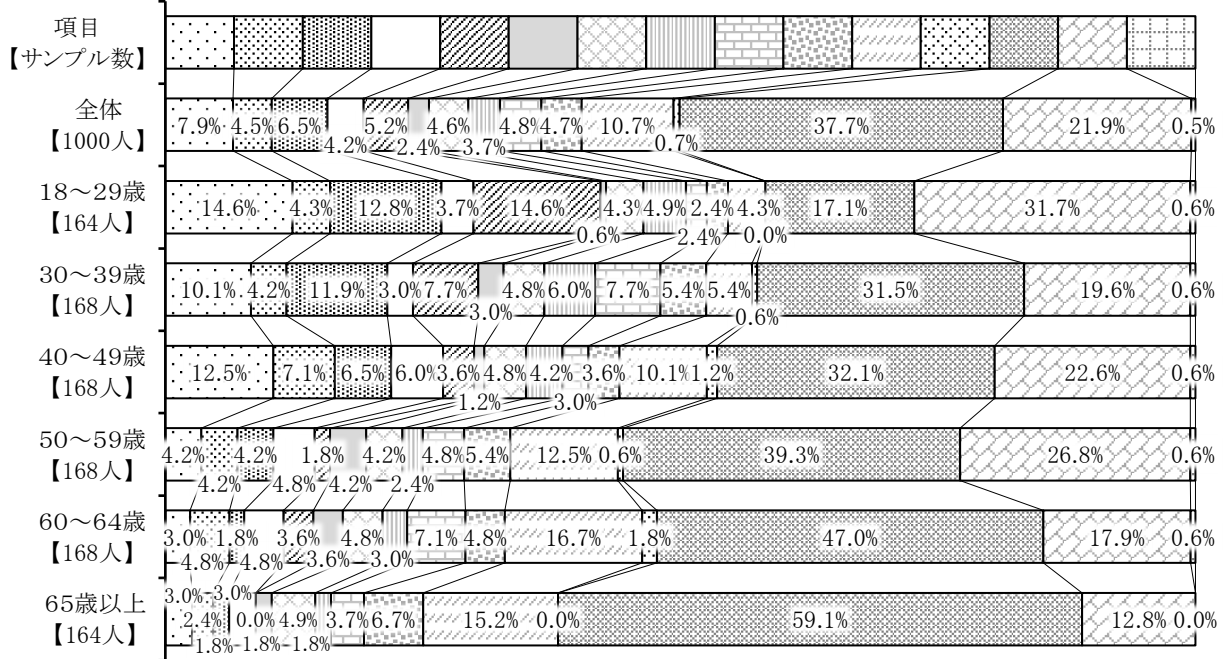
問39 今後10年以内の住み替えを考えている場合、その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。

	回答者数	割合
1 世帯から独立するため	79人	7.9%
2 家族等と同居するため	45人	4.5%
3 結婚や子どもの誕生・成長・進学のため	65人	6.5%
4 世帯員が減少するため	42人	4.2%
5 就職・転職・転勤・退職するため	52人	5.2%
6 家を相続するため	24人	2.4%
7 住居費負担の見直しを図るため	46人	4.6%
8 自宅を所有するため	37人	3.7%
9 住宅の質を向上させるため	48人	4.8%
10 公共交通機関等が少ないため	47人	4.7%
11 高齢期の住みやすさ	107人	10.7%
12 転売のため	7人	0.7%
13 住み替え意向はない	377人	37.7%
14 わからない	219人	21.9%
15 その他	5人	0.5%
サンプル数	1,000人	100.0%



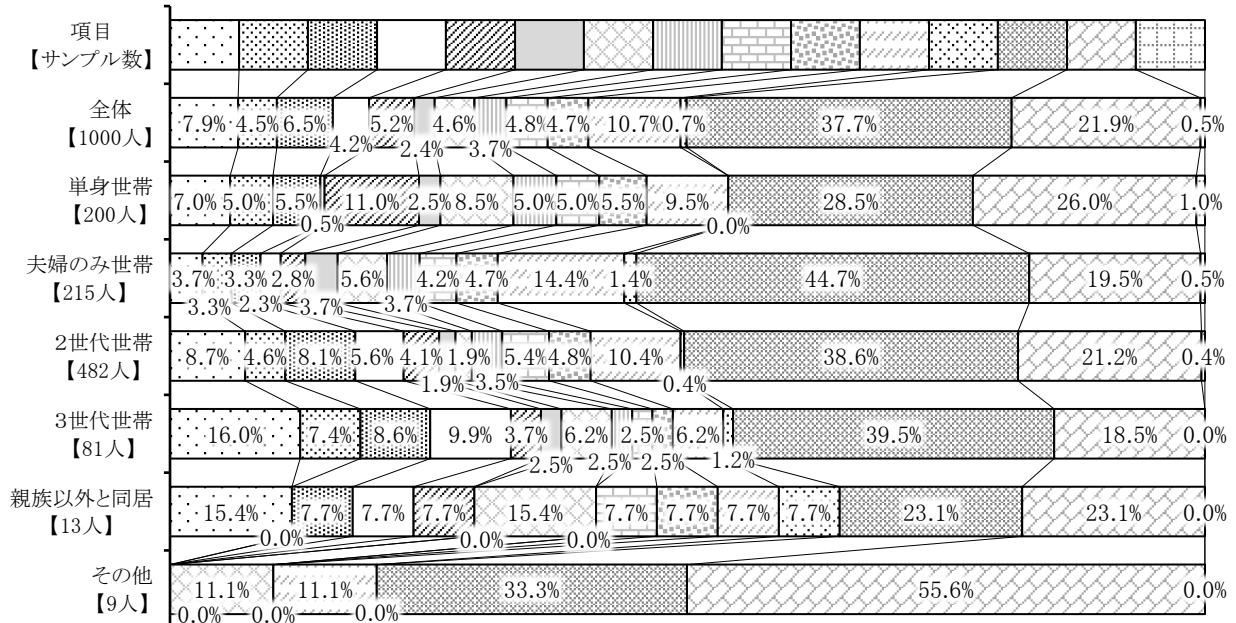
## 【年代別】

世帯か 家族等 結婚や 世帯員 就職・ 家を相 住居費 自宅を 住宅の 公共交 高齢期 転売の 住み替 わから その他  
 ら独立 と同居 子ども が減少 転職・ 続する 負担の 所有す 質を向 通機関 の住み ため え意向 ない  
 するた するた の誕 するた 転勤・ ため 見直し するた 上させ 等が少 やすさ はない  
 め め 生・成 め 退職す るため を図る るため ないた め  
 め  
 長・進 学のため  
 め



## 【世帯構成別】

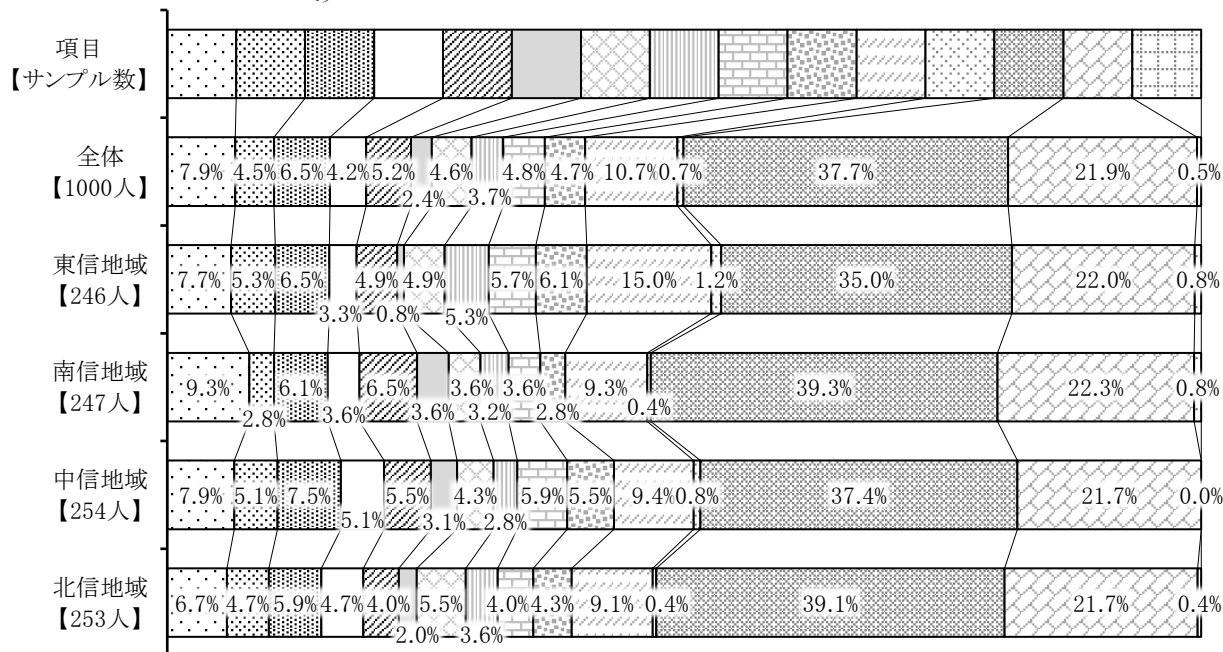
世帯か 家族等 結婚や 世帯員 就職・ 家を相 住居費 自宅を 住宅の 公共交 高齢期 転売の 住み替 わから その他  
 ら独立 と同居 子ども が減少 転職・ 続する 負担の 所有す 質を向 通機関 の住み ため え意向 ない  
 するた するた の誕 するた 転勤・ ため 見直し するた 上させ 等が少 やすさ はない  
 め め 生・成 め 退職す るため を図る るため ないた め  
 め  
 長・進 学のため  
 め





### 【居住地域別】

世帯から独立するため  
 家族等と同居するため  
 結婚や子どもの誕生・成長・進学のため  
 世帯員が減少する  
 就職・転職・転勤・退職するため  
 家を相続するため  
 住居費負担の見直しを図るため  
 自宅を所有するため  
 住宅の質を向上させるため  
 公共交通機関が少ないため  
 高齢期の住みやすさ  
 転売のため  
 住み替え意向はない  
 わからぬ  
 その他



## 問40 住宅・景観・まちづくりで行政に期待することや意見

問40 住宅・景観・まちづくりなどについて、行政に期待することや意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

● 自由記入方式で回答を求めたところ、次のようなキーワードが多く得られた。

### 1. 安全への対策

道路整備、除雪、防災対策、災害対策の強化、防犯意識 など

### 2. 景観について

自然保護、景観条例、景観を守る、高層マンション など

### 3. 空き家・耕作放棄地

空き家対策、空き家の活用、リノベーション、耕作放棄地の住宅用への活用 など

### 4. 希望する施設

商業施設、娯楽施設、病院、人が集まれる場所、子供の遊べる場所 など

### 5. まちづくり

高齢者が住みやすい街、コンパクトシティ、若い世代が住みたくなる街

### 6. 交通について

公共交通の整備・充実、利便性向上、渋滞解消 など

### 7. 補助金・支援

リフォーム補助金、家屋の解体補助、減税 など

● その他、次のような要望がみられた。

- ・ 自家用車以外の手段でも不自由なく暮らせるまちづくりを目指すべき
- ・ ふるさと納税額を大幅に増やせるような努力をして欲しい
- ・ 寺社仏閣などの保護の為、監視カメラ、防火設備の充実
- ・ 低所得者向けの住宅が増えることを期待

### Ⅲ 調 査 票

# 令和7年度 住まいに関する県民インターネットアンケート

問1	お住まいの地域を選んでください。	1 東信地域 2 南信地域 3 中信地域 4 北信地域
問2	お住まいの立地を選んでください。	1 市街地(大きな都市の中心部) 2 郊外の住宅地(大きな都市の中心部周辺や隣接町村) 3 町村の中心部(中心集落) 4 農山村中山間地 5 保健休養地 6 その他( )
問3	年齢を選んでください。	1 29歳以下 2 30～39歳 3 40～49歳 4 50～59歳 5 60～64歳 6 65歳以上
問4	世帯の構成を選んでください。 (同居世帯を含む)	1 単身世帯 2 夫婦のみ世帯 3 2世代世帯(親と子の世帯) 4 3世代世帯(祖父母と親と子など) 5 親族以外と同居 6 その他( )
問5	世帯に65歳以上の方は何人いますか。 ※ご自身が65歳以上の場合は、その人数にご自身を含めてご回答ください。	1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上 5 いない
問6	世帯に18歳未満の方は何人いますか。	1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上 5 いない
問7	現在住んでいる住宅は、次のどれに該当しますか。	1 一戸建て(自己又は家族所有) 2 一戸建て(賃貸) 3 マンション(自己又は家族所有) 4 マンション・アパート(賃貸) 5 公営住宅(県営・市町村営住宅など) 6 社宅・官舎・寮など 7 その他( )
問8	現在住んでいる住宅は、いつ頃建築されましたか。	1 昭和20年以前 2 昭和21年～昭和55年 3 昭和56年～平成3年 4 平成4年～平成10年 5 平成11年～平成24年 6 平成25年以降 7 分からない (注) 借家などにお住まいの方もご承知されている範囲で記入してください。
問9	「衣」「食」「住」のうち、あなたの「住」(住まい)は、10年前に比べて良くなっていますか。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 どちらとも言えない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
問10	自分が住んでもよいと思う住宅について、あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。	1 新築の持家がよい 2 条件によっては中古の持家でもよい 3 賃貸住宅(新築・中古)がよい 4 特にこだわらない
問11	(問10で1を選んだ方におたずねします。) 中古住宅を選択しなかった理由を次の中から2つ以内で選んでください。	1 早い時期にリフォーム(修繕や増改築など)が必要となりそうだから 2 耐久性に問題がありそうだから 3 資産価値の割に価格が高そうだから 4 他の人が利用した住宅に住みたくないから 5 希望通りの住宅が見つかりにくそうだから 6 見えない部分の状態に不安があるから 7 断熱効果が不十分(寒そう)だから 8 その他( )
問12	住宅を新築・購入するとしたら、どのような構造の住宅を選びますか。	1 一戸建ての木造住宅で、在来工法(注1)のもの 2 一戸建ての木造住宅で、在来工法以外のもの(プレハブ工法(注2)、枠組壁工法(2×4)(注3)など) 3 一戸建ての非木造住宅(鉄骨造や鉄筋コンクリート造の住宅) 4 マンションなどの集合住宅 5 特にこだわらない 6 その他( ) (注1)「在来工法」とは、木造軸組工法ともいい、土台の上に柱を立てて梁を架ける工法で、日本では最も一般的な建て方です。 (注2)「プレハブ工法」とは、規格化された部品や部材をあらかじめ工場で生産し、建築場所で組み立てる建て方です。 (注3)「枠組壁工法(2×4)」とは、壁や床、天井といった面で支える建て方です。
問13	住宅を新築したりリフォームするとしたら、どこに依頼しようと思いますか。	1 大手ハウスメーカー 2 地元の大工・工務店 3 設計は設計事務所、建設は大工・工務店 4 特にこだわらない 5 その他( )

問14	(問13で1から3を選んだ方におたずねします。) その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 技術力が高いから</li> <li>2 経験が豊富だから</li> <li>3 知名度が高いから</li> <li>4 建設費が安いから</li> <li>5 アフターサービスが良いから</li> <li>6 知り合いがいる、または自分が関係しているから</li> <li>7 人柄が信頼できそうだから</li> <li>8 細かな要望にも応えてくれそうだから</li> <li>9 その他( )</li> </ul>
問15	住宅を新築・購入するとしたら、どのような点を特に重視しますか。次の中から5つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 地震・台風・水害などに対する強さ</li> <li>2 長寿命化(耐久性)</li> <li>3 給排水管等設備の維持管理のしやすさ</li> <li>4 断熱性能(夏・冬の快適性、ヒートショック防止)</li> <li>5 日照、採光、通風のよさ</li> <li>6 地域材の活用(建築用材、薪ストーブ等)</li> <li>7 誰もが使いやすい構造や設備(バリアフリー等)</li> <li>8 防犯性</li> <li>9 間取りの変更のしやすさ</li> <li>10 十分な広さ、ゆとりのスペース</li> <li>11 光熱費などランニングコストの低さ</li> <li>12 外観や内装などのデザイン</li> <li>13 太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー)</li> <li>14 立地(利便性の良さ)</li> <li>15 被災想定区域内に所在していないこと</li> <li>16 資産価値が保たれること(将来的な売却のしやすさ)</li> <li>17 特にこだわらない</li> <li>18 その他( )</li> </ul>
問16	自宅の周辺環境について、不満に感じていることはありますか。該当するものを次の中から5つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 火災・地震・水害などに対する安全性</li> <li>2 まわりの道路の歩行時の安全性</li> <li>3 騒音、振動、空気・水の汚れ</li> <li>4 通勤・通学などの利便性</li> <li>5 日常の買い物、医療・福祉施設などの利便性</li> <li>6 大型商業施設、娯楽施設の充実</li> <li>7 公共交通機関の利便性</li> <li>8 子どもの遊び場・公園などの充実</li> <li>9 緑・水辺など自然の豊かさ</li> <li>10 日当たり、風通しなど空間のゆとり</li> <li>11 まちなみの景観</li> <li>12 近隣の人たちや地域とのつながり</li> <li>13 親族(親・子どもなど)の住宅との距離</li> <li>14 特にない</li> <li>15 その他( )</li> </ul>
問17	住宅の環境対策として、何を重視しますか。次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 壁や天井への十分な断熱材の施工</li> <li>2 太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー)</li> <li>3 県産木材や薪ストーブなど森林資源の活用</li> <li>4 軒の出や通風の確保など、住まいの設計の工夫</li> <li>5 その他( )</li> </ul>
問18	住宅の脱炭素化に向け、省エネルギー住宅を建築する際、光熱費等の削減を見越し、いくらまでなら建設費を上乗せできますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 50万円未満</li> <li>2 50万円以上100万円未満</li> <li>3 100万円以上200万円未満</li> <li>4 200万円以上300万円未満</li> <li>5 300万円以上400万円未満</li> <li>6 400万円以上500万円未満</li> <li>7 500万円以上</li> </ul>
問19	省エネルギー住宅を普及させるためには何が必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んで下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 環境への影響や健康面との関連性についての理解の浸透</li> <li>2 省エネルギー住宅に関する様々な情報提供(材料、設備、工法等)</li> <li>3 省エネルギーへの投資対効果に関する情報(コスト比較等)</li> <li>4 省エネルギーに詳しい建築士や工務店の情報</li> <li>5 信州にふさわしい住まいの姿の具体的な例示</li> <li>6 モデルハウスの充実</li> <li>7 補助金などの助成制度や税制優遇制度</li> <li>8 省エネルギーのための技術開発</li> <li>9 法律等による規制誘導</li> <li>10 その他( )</li> </ul>
問20	仮に現在住んでいる住宅の耐震性が不足した場合、どのような対策をとろうと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 全く壊れないように住宅を補強したい</li> <li>2 倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい</li> <li>3 特に住宅の補強はしないが、耐震シェルター(耐震ベッド)(注)を設置することで、少なくとも就寝時の安全は確保したい</li> <li>4 特に住宅の補強はしないが、本棚などの家具の転倒防止対策は行いたい</li> <li>5 現在の住宅の対策をとるのではなく、建て替えや別の住宅への住み替えをしたい</li> <li>6 特に対策をとらない</li> <li>7 その他( )</li> </ul> <p>(注)「耐震シェルター」、「耐震ベッド」とは、地震で住宅が倒壊しても寝室や睡眠スペースを守るため、住宅内の一部に木材や鉄骨等で作る強固な箱型の空間のことです。</p>
問21	(問20で3から5を選んだ方におたずねします。) その主な理由を選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 資金に余裕がないから</li> <li>2 どの業者に依頼すればよいか分からないから</li> <li>3 居住性や使い勝手が悪くなりそうだから</li> <li>4 住み続けながらの工事は大変そうだから</li> <li>5 自分が住んでいる間には、大地震は来ないと思うから</li> <li>6 住宅の後継者がおらず、お金をかける気がないから</li> <li>7 借家だから</li> <li>8 その他( )</li> </ul>

問22	高齢者になったとき(現在高齢者の方も含みます。)のことを考えて、現在住んでいる住宅及びその地域について不安に感じることはありますか。次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 住居費(改修費や家賃など)の負担</li> <li>2 災害時の安全性</li> <li>3 手すりがない、段差があるなど、バリアフリー化されていないこと</li> <li>4 病院や福祉施設などが近くにないこと</li> <li>5 商店が近くにないこと</li> <li>6 まわりの道路の歩行時の安全性</li> <li>7 親族が近くにないこと</li> <li>8 公共交通機関が不便なこと</li> <li>9 近隣や地域とのつながり</li> <li>10 相続に関すること(名義変更など)</li> <li>11 空き家問題(放置・解体・活用など)が起きないか心配</li> <li>12 特にない</li> <li>13 その他( )</li> </ul>
問23	高齢者になったとき(現在高齢者の方も含みます。)、誰と一緒に住む予定ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 単身または夫婦だけで住む</li> <li>2 子どもなど親族と一緒に住む</li> <li>3 親族の近くで単身または夫婦だけで住む</li> <li>4 知人や友人と一緒に住む</li> <li>5 その他( )</li> </ul>
問24	高齢者になったとき(現在高齢者の方も含みます。)、住み替えたいと思いますか。 ※最も近いものを次の中から選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自宅に住み続けたい</li> <li>2 自宅から、家族や親族の住宅へ移り住みたい</li> <li>3 交通機関や日常生活の利便性が高い住宅に住み替えたい</li> <li>4 病院や福祉施設に近い住宅に住み替えたい</li> <li>5 静かで落ち着いて暮らせる住宅に住み替えたい</li> <li>6 手すりやバリアフリー対策が施され、高齢者に配慮した住宅へ住み替えたい</li> <li>7 見守りサービス等高齢者向けのサービスがある住宅へ住み替えたい</li> <li>8 老人福祉施設等へ住み替えたい</li> <li>9 その他( )</li> </ul>
問25	空き家がある場合に生じる不安や問題等は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。 (空き家を所有していない方は空き家を所有していると仮定して回答ください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 治安、防災の面の不安</li> <li>2 景観、衛生等の面の不安</li> <li>3 空き家の活用の仕方が分からない</li> <li>4 空き家を売りたい(貸したい)が、買い手(借り手)が見つからない</li> <li>5 空き家の維持管理に費用や手間がかかる</li> <li>6 空き家の除却が進まない</li> <li>7 空き家についての相談先が分からない</li> <li>8 特にない</li> <li>9 その他( )</li> </ul>
問26	あなたは空き家を利活用してみたいと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 空き家の状態によっては利活用してみたい</li> <li>2 空き家の改修費用の額によっては利活用してみたい</li> <li>3 空き家が所在する場所によっては利活用してみたい</li> <li>4 空き家を利活用したいと思わない</li> </ul>
問27	空き家の利活用や除却が進まない理由はどこにあると考えますか。次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 空き家の所有者が近隣に居住していないから</li> <li>2 空き家の所有者が誰かわからない・既に亡くなっているから</li> <li>3 空き家に家財が残っているから</li> <li>4 流通(売買・賃貸)促進の支援がないから</li> <li>5 地域での活用がないから</li> <li>6 どこに相談すればよいかわからないから</li> <li>7 資金に余裕がないから</li> <li>8 どの業者に依頼すればよいか分からないから</li> <li>9 その他( )</li> </ul>
問28	公営住宅は、住宅にお困りで一定の収入以下の方に、低廉な家賃で住宅を賃貸することを目的としており、住宅のセーフティネットの役割を大きく担っているところです。 あなたは、このような現状の中、今後の公営住宅の供給量(戸数)をどのようにしたらよいと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 新たに増やしていくべきだと思う</li> <li>2 現状の戸数を維持していけばよいと思う</li> <li>3 一定の割合まで徐々に減らしていけばよいと思う</li> <li>4 公共での供給をやめ、民間賃貸住宅に任せていけばよいと思う</li> <li>5 その他( )</li> </ul>
問29	公営住宅は、昭和30年～昭和40年代に建設された住宅が数多くあるところです。あなたは、現在の公営住宅の状態をどのように感じていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 老朽化が顕著であり、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う</li> <li>2 老朽化が進み、周辺の住宅と比べ古いものが多いと思う</li> <li>3 周辺の住宅と比べ、老朽化が目立つ感じはしない</li> <li>4 周辺の住宅と比べ、新しいものが多いと思う</li> <li>5 その他( )</li> </ul>
問30	賃貸住宅を借りる場合に、何を重視しますか。 次の中から3つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 立地(自然豊かで環境に恵まれている)</li> <li>2 立地(市街地で交通や生活に便利である)</li> <li>3 住宅が新しく、設備等が整っている</li> <li>4 家賃の安さ</li> <li>5 被災想定区域内に所在していない</li> <li>6 断熱性能(冬は暖かく、夏は涼しい)</li> <li>7 地域・近隣とのつながりがある</li> <li>8 特にない</li> <li>9 その他( )</li> </ul>
問31	賃貸住宅を借りる際に感じる不満は何ですか。 次の中から5つ以内で選んでください。 (住宅を借りた経験のない方は、想像できる範囲で回答ください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 連帯保証人が必要である</li> <li>2 入居を拒まれることがある</li> <li>3 ペットが飼育できない物件がある</li> <li>4 楽器の演奏ができない物件がある</li> <li>5 敷金・礼金など契約時に費用が必要である</li> <li>6 契約時の説明がわかりにくい(情報が不十分)</li> <li>7 断熱性能・省エネ性能が十分でない</li> <li>8 駐車場が足りない</li> <li>9 特にない</li> <li>10 その他( )</li> </ul>
問32	地域の民間賃貸共同住宅(アパート・マンション等)について、どのように感じていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 十分な戸数があり、比較的新しいものが多いと思う</li> <li>2 十分な戸数があるが、比較的古いものが多いと思う</li> <li>3 近年、新たな建設が目立つと思う</li> <li>4 特に不足しているとは感じない</li> <li>5 不足していると思う</li> <li>6 その他( )</li> </ul>

問33	現在住んでいる地区のまちなみ景観について、どのような印象をお持ちですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 大変良い</li> <li>2 まあ良い</li> <li>3 どちらとも言えない</li> <li>4 あまり良くない</li> <li>5 良くない</li> </ul>
問34	(問33で4または5を選んだ方におたずねします。) その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 周囲の景観に調和していない建物や工作物があるから(外壁の色、形など)</li> <li>2 電柱、電線が気になるから</li> <li>3 看板、広告塔が乱立しているから</li> <li>4 ポスターなどが氾濫しているから</li> <li>5 塀、垣根などに緑が少ないから</li> <li>6 街路樹などが少ないから</li> <li>7 自動販売機が目立つから</li> <li>8 老朽建物や空き家があるから</li> <li>9 積極的な景観育成の取組がなく、殺風景だから</li> <li>10 その他( )</li> </ul>
問35-1	地域の自治活動に参加していますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自治活動に参加している</li> <li>2 自治活動に参加していない</li> </ul>
問35-2	地域の自治活動以外の活動(友人や近隣住民等、地域との交流・つながりを持つ活動)に参加していますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自治活動以外の活動に参加している</li> <li>2 自治活動以外の活動には参加していない</li> <li>3 自治活動以外の活動があるかどうかわからない</li> <li>4 自治活動以外の活動はない</li> </ul>
問36	地域との交流・つながりを持つ活動でしていること、または、したいことをお書きください。	[例:子育てサークルで育児に関する情報の交換]
問37	近隣住民や地域との交流・つながりを持つ活動をするための場所はどこですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自宅</li> <li>2 公民館・自治会館</li> <li>3 貸しスペース</li> <li>4 外部(公園等)</li> <li>5 地域にはない(あれば活用したい)</li> <li>6 その他( )</li> </ul>
問38	あなたが将来してみたい住まい方・暮らし方について当てはまるものはありますか。次の中から3つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ライフステージに応じた住み替え</li> <li>2 二地域居住・多地域居住</li> <li>3 テレワーク</li> <li>4 シェアハウス</li> <li>5 農ある暮らし</li> <li>6 自宅の一角を仕事(業)や趣味に使う</li> <li>7 情報でつながる暮らし(医療、買い物、コミュニティ等)</li> <li>8 多世代同居</li> <li>9 当てはまるものはない</li> <li>10 その他( )</li> </ul>
問39	今後10年以内の住み替えを考えている場合、その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 世帯から独立するため</li> <li>2 家族等と同居するため</li> <li>3 結婚や子どもの誕生・成長・進学のため</li> <li>4 世帯員が減少するため</li> <li>5 就職・転職・転勤・退職するため</li> <li>6 家を相続するため</li> <li>7 住居費負担の見直しを図るため</li> <li>8 自宅を所有するため</li> <li>9 住宅の質を向上させるため</li> <li>10 公共交通機関等が少ないため</li> <li>11 高齢期の住みやすさ</li> <li>12 転売のため</li> <li>13 住み替え意向はない</li> <li>14 わからない</li> <li>15 その他( )</li> </ul>
問40	住宅・景観・まちづくりなどについて、行政に期待することや意見などがありましたら、ご自由にお書きください。	

---

---

令和8年3月発行

発行 長野県

編集 長野県建設部 建築住宅課

長野市大字南長野字幅下692-2 電話026(235)7319(直通)

E-mail : [kenchiku@pref.nagano.lg.jp](mailto:kenchiku@pref.nagano.lg.jp)

---

---